

平成29年度 住宅市場整備推進等事業

大工・職人の実態に関するアンケート調査  
報告書

平成30年3月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会



# 大工・職人の実態に関するアンケート調査 報告書

## 目次

1章 アンケート調査の目的および概要	1
1. 背景・目的	1
2. アンケート調査実施概要	2
3. アンケート回答者の属性	5
2章 アンケート調査 結果概要	8
3章 アンケート調査 集計結果	
1. 職種別集計	16
2. 地域別集計	43
3. 年齢別集計	70
4. 経験年数別集計	92
5. 雇用形態別集計	113
6. 賃金別集計	136
資料編 アンケート調査 自由記述回答	
1. 設問(3) 職種【その他】の自由記述回答	資料編-1-
2. 設問(10)-3 健康保険【その他】の自由記述回答	資料編-8-
3. 設問(21) なぜ育てる予定はないのですか【その他】の自由記述回答	資料編-9-
4. 設問(23) 担い手育成についての意見(自由記述)	資料編-10-

# 1章 アンケート調査の目的および概要

## 1. 背景・目的

木造住宅・建築物の施工の中核的な存在である大工の不足が危惧されている。大工数は、特に若い世代の大工就業者が少ないため高齢化が進み、年々減少傾向にある。国勢調査によれば 2005 年に 54 万人いた大工は 2010 年には 40 万人に減少しており、この 5 年間でこれまでに最大の 14 万人の減少を招いた。2015 年の国勢調査では 35 万人と減少のペースは緩やかとなっているものの、近い将来に高齢化した大工が引退することにより大工が減少し、不足する状況に陥ることは明らかである。

木造住宅の新築工事では、プレカットの 9 割に達する普及により施工の合理化が進み、部材の墨付けや加工といった作業は大工の手から離れ、造作を含め加工済みの部材の組立・取付が、今日の大工の主たる作業となった。しかし、増改築やリフォームの現場では、大工が構造から造作・仕上げ、工事の進捗管理と工事を担う重要な役割を演じ、本来大工が備えるべき技能が不可欠となっている。

また、プレカットの普及により新築の現場では、熟練した技術よりパワーと早さが求められたため、高い賃金を得やすい一人親方の増加を招き、大工技術の習熟度による賃金体系を崩壊させ、特に大規模なビルダーの世界では、従来の大工技能を修得していない中堅大工が増加し、造作大工やリフォーム大工としての将来性が見いだせない組立工の職に嫌気をさして、多くの離職者を生み出している。

大工以外の設計者や工務店の現場監督、プレカット技術者等も、木造住宅・建築物を支える重要な技術者で、職業倫理とコンプライアンスが求められ、適切な設計や施工を遂行する上で、彼等の木造に関する知識・ノウハウ等が不可欠となっている。その技術者の多くは、大学や工業高校といった教育機関における建築専門課程を経て、就職することが一般的であるが、これらの教育機関では、木造に関わる講義・実習の機会はほとんどなく、大学や工業高校等で木造建築に関わる知識やノウハウを習得することは困難となっている。

これらの木造住宅・建築物を取り巻く状況により、企業や個人の努力に負って来た木造技能や技術の習得が急速に衰え、今後の健全な木造の生産活動が危惧される状況となっている。

木造建築を理解し、関連する専門的な職能を備えた担い手を育成しなければ、人材の空洞化は今後一層深刻になることは明らかで、健全な市場形成が危ぶまれる。木造建築の担い手のあり様や育成の枠組みを包括的に検討することが求められている。

本調査では、木造技能者としての大工・職人の実態に関するアンケート調査を実施し、大工・職人の実態を明らかにし、現状を把握することを目的とする。

## 2. アンケート調査実施概要

### (1) 大工・職人の実態調査実施概要

#### ①調査対象

平成 29 年度住宅省エネルギー技術施工技術者講習会に参加した木造技能者等

#### ②実施期間

2017 年 8 月～2018 年 2 月

#### ③調査場所

全国 47 都道府県で開催の講習会(平成 28 年度住宅省エネルギー技術施工技術者講習会)会場。

#### ④アンケート票配布及び回収方法

講習会で教材と共に配布。終了考査解答用紙と共に提出を原則義務付けた。

#### ⑤アンケート票回収数

全国で 4,717 票。

うち大工職種（内装大工含む）2,161 票。（3. アンケート回答者の属性において後述）

過去のアンケート票回収数の推移を以下の表に示す。（図 1-2-1）

図 1-2-1. アンケート票回収数推移

年度	前回調査 2016 (H28)	今回調査 2017 (H29)
アンケート票 回収総数	7,032票	4,717票
大工職種 (内装大工含む)	3,279票	2,161票

### (2) アンケート調査票

大工・職人の実態調査で用いたアンケート調査票を次頁に示す。（図 1-2-2）

H28 年度調査からアンケート票の設問等の変更点はない。

図 1-2-2. アンケート調査票

受講日:平成 年 月 日( ) 会場: \_\_\_\_\_ 会場(都道府県名でお書きください)

大工の実態に関するアンケート調査

施工C

現在、地域に根ざした木造住宅等の生産体制の強化に向けて、大工の実態把握に向けた調査を実施しております。お分かりの範囲内で結構ですので、ご回答をお願い致します。

※なお、お答えいただいた情報は、個人を特定できる情報として外部に公表されることはありません。

全国木造住宅生産体制推進協議会

■あなたの職業等について、お答え下さい。

(1) 年齢 [ ] 歳 (2) 性別 [1. 男 2. 女]

(3) 職種(下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください)

1. 建築大工 2. 内装大工 3. 設備組立工 4. その他[ ]

(4) 上記の職種の経験年数(下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください)

1. 3年未満 2. 3~5年 3. 6~10年 4. 11~20年  
5. 21~30年 6. 31~40年 7. 41~50年 8. 51年以上

(5) あなたはこの職種においてベテランだと思いますか。(下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください)

1. ベテラン 2. ややベテラン 3. 中堅 4. やや中堅 5. 見習い

■あなたの雇用形態について、お答え下さい。

(6) あなたの雇用形態(工務店等との)は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 工務店社員 2. 外注常用(日当制) 3. 外注常用(坪請主体) 4. その都度契約  
5. 元請として仕事 6. その他(アルバイト等)

(7) 就業規則 [1. 有 2. 無] (8) 有給休暇 [1. 有 2. 無] (9) 年間就業日数 約[ ]日

(10) 保険等について、あなたが現在加入しているものをそれぞれお選びください。(複数選択可)

10-1) 年金 :1. 厚生年金 2. 国民年金 3. 企業年金  
10-2) 労働保険:1. 雇用保険 2. 労災保険 3. 一人親方労災保険  
10-3) 健康保険:1. 国民健康保険 2. 組合健康保険(建設国保) 3. 組合保険(建設国保以外)  
4. その他の健康保険( )

(11) 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの全てに○をつけてください。(複数選択可)

1. 手道具 2. 電動工具 3. クギ金物 4. 車(保険含む) 5. ガソリン 6. 全て所属する工務店等が負担

(12) あなたのおおよその賃金((10)、(11)の諸経費が含まれた1日あたりの平均単価)をお答えください。1日あたりの平均単価が不明な場合は、総月収を労働日数で割ったおおよその額でご回答ください。

1. 8,000円未満 2. 8,000~10,000円未満 3. 10,000~15,000円未満  
4. 15,000~20,000円未満 5. 20,000~25,000円未満 6. 25,000円以上

■あなたがお持ちの資格や技能について、お答え下さい。

(13) 次の1~12の資格のうち、あなたがお持ちのもの全てに○をつけてください。

1. 1級建築士 2. 2級建築士 3. 木造建築士 4. 1級建築施工管理技士  
5. 2級建築施工管理技士 6. 1級建築大工技能士 7. 2級建築大工技能士  
8. 枠組壁建築技能士 9. 職業訓練指導員 10. 増改築相談員  
11. 足場の組立て等作業主任者 12. 木造建築物組立て作業主任者 13. 玉掛け技能講習修了者  
14. クレーン運転技能講習修了者 15. 木材加工用機械作業主任者



⇒大工職の方のみご回答ください。

(14) 次の各項目について、「はい」か「いいえ」のどちらかあてはまる方に○をつけてください。

- |                                  |                |
|----------------------------------|----------------|
| ①墨付けができますか。                      | [1. はい 2. いいえ] |
| ②今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。 (新築)  | [1. はい 2. いいえ] |
| ③今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。 (増改築) | [1. はい 2. いいえ] |
| ④和室造作ができますか。                     | [1. はい 2. いいえ] |
| ⑤2×4工法の住宅の施工ができますか。              | [1. はい 2. いいえ] |

■仕事に対する満足度や今後の意向について、お答え下さい。

(15) あなたは現在の仕事の内容について満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している 2. まあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

(16) あなたは現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している 2. まあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

(17) あなたは今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 60歳で引退する 2. 65歳で引退する 3. 70歳で引退する 4. 75歳で引退する  
5. 仕事が出る限り続ける 6. 仕事がないため近々退職・引退する予定である

■担い手育成について、お答え下さい。

(18) 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 現在育てている 2. 現在は育てていないが、人材がいれば育てたい  
3. 現在は育てていないし、今後も育てる予定はない

⇒「1. 現在育てている」と答えた方のみご回答ください。

(19) 育成期間の担い手の立場は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 正社員（職業訓練校）        | 2. 正社員（弟子として）        |
| 3. 一人親方等にあずける（職業訓練校） | 4. 一人親方等にあずける（弟子として） |

(20) 上記の育成にかかる費用負担を行っていますか [1. 有 2. 無]

⇒「3. 現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」と答えた方のみご回答ください。

(21) なぜ育てる予定はないのですか。その理由として、1～8のうちあてはまるもの全てに○をつけてください。

- |                         |                 |              |
|-------------------------|-----------------|--------------|
| 1. 育てても、一人前になると辞めてしまうため | 2. 教えるのが面倒なため   |              |
| 3. 費用がかかるため             | 4. 言うことを聞かないため  | 5. 人材がいらないため |
| 6. 育てる自信がないため           | 7. 将来の保障ができないため | 8. 年齢のため     |
| 9. 仕事がプレカットのため          | 10. 新築が少ないため    | 11. その他[ ]   |

(22) 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 3万円/月 2. 5万円/月 3. 10万円/月 4. 15万円/月 5. 必要ない

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたら、下欄にご自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

### 3. アンケート回答者の属性

#### (1) 都道府県、エリア

アンケート回答者を都道府県別の割合が大きい順でみると、「愛知県（7.1%）」、「静岡県（4.6%）」、「広島県（4.6%）」。

地域別の割合では、「関東（21.9%）」、「中部（17.1%）」、「九州・沖縄（14.5%）」。

図 1-3-1-1. アンケート回答者属性：都道府県

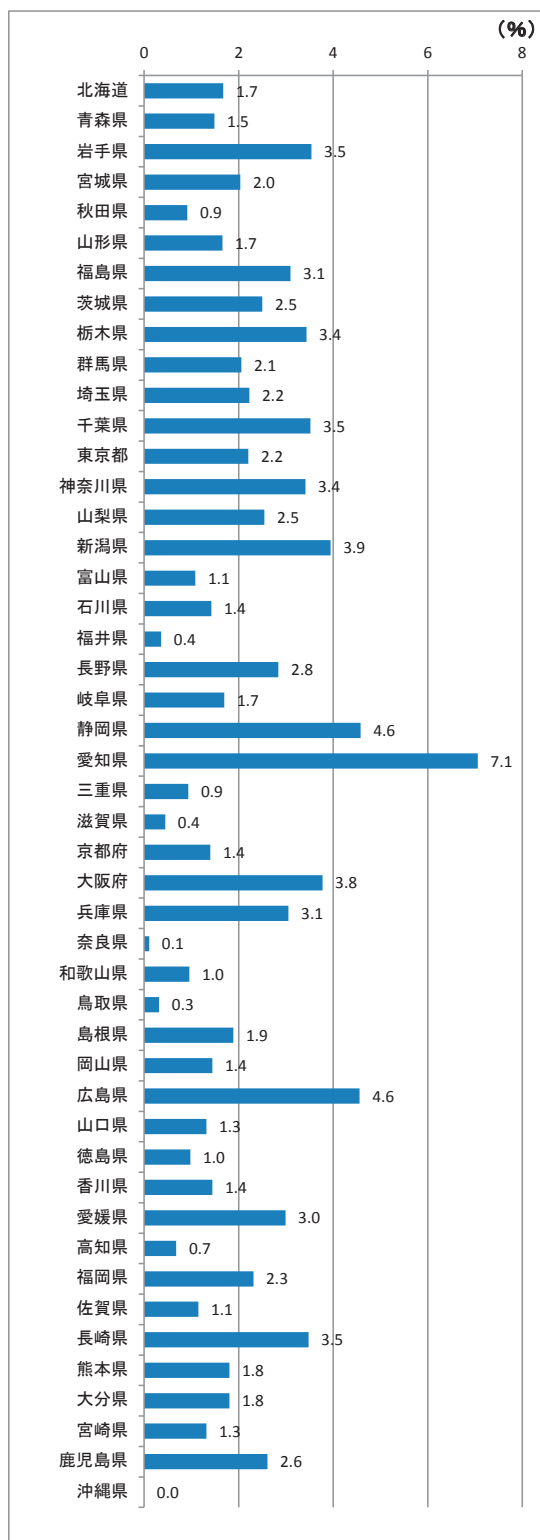
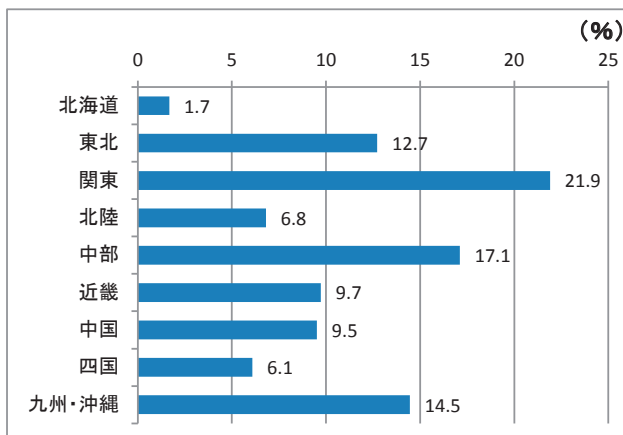


図 1-3-1-2. アンケート回答者属性：エリア

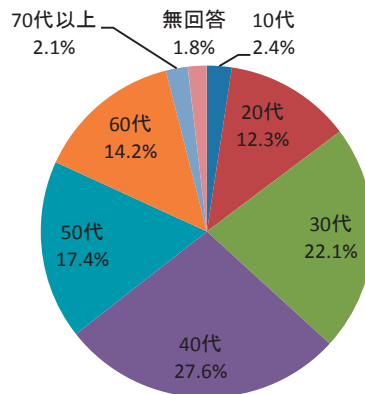




## (2) 年齢

アンケート回答者を年齢別で見ると、「40代(27.6%)」、次いで「30代(22.1%)」、「50代(17.4%)」。

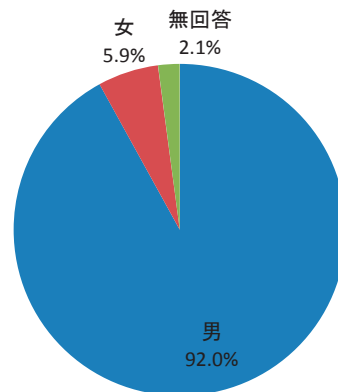
図 1-3-2. アンケート回答者属性：年齢



## (3) 性別

男女別で見ると、「男性(92.0%)」、「女性(5.9%)」。ほとんどが男性の回答であった。

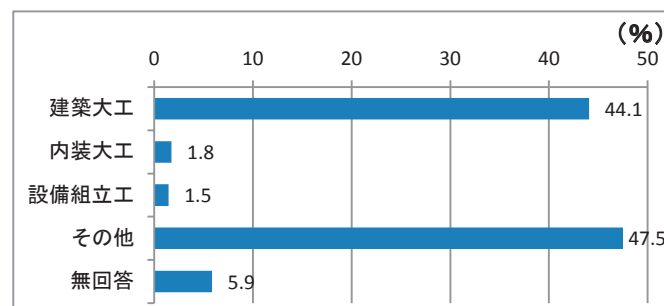
図 1-3-3. アンケート回答者属性：性別



## (4) 職種

職種では「建築大工(44.1%)」の割合が大きく、「内装大工(1.8%)」、「設備組立工(1.5%)」は少数であった。「その他(47.5%)」の内訳としては現場管理、設計、施工管理、現場監督、営業という回答が多くみられた。

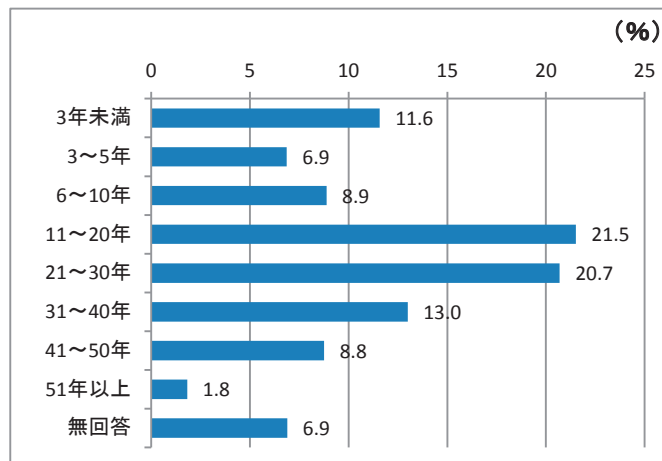
図 1-3-4. アンケート回答者属性：職種



### (5) 職種の経験年数

職種の経験年数では、回答の割合が大きい経験年数層は「11～20年（21.5%）」、次いで「21～30年（20.7%）」、「31～40年（13.0%）」。

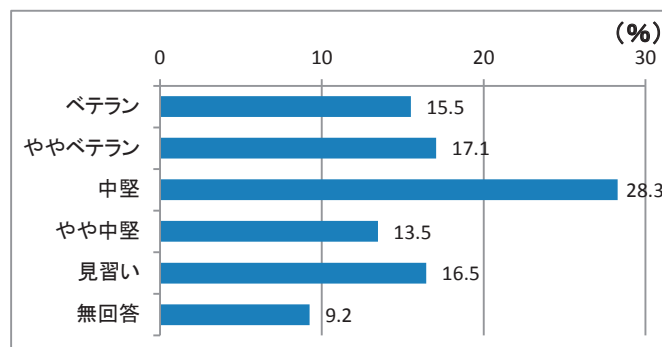
図 1-3-5. アンケート回答者属性：経験年数



### (6) 職種のベテラン度合い

自身のベテラン度合いについて、割合が大きいものは「中堅（28.3%）」、次いで「ややベテラン（17.1%）」、「見習い（16.5%）」。

図 1-3-6. アンケート回答者属性：ベテラン度合い



## 2章 アンケート調査 結果概要

得られたアンケート調査結果のうち、職種として建築大工及び内装大工（以下、大工職種）を選択した2,161票について、以下に結果概要を示す。

### (1) 職業等について

#### ①年齢

- ・全体の平均年齢は44.7歳であった。
- ・地域別の平均年齢は、「四国（47.1歳）」が最も高く、「中国（42.3歳）」が最も低い。

#### ②性別

- ・性別は97.5%が男性であった。
- ・地域別では女性の割合が総じて低いが、「東北（1.0%）」及び「中部（1.0%）」、「近畿（0.6%）」では他の地域と比較して回答が得られている。

#### ③職種の経験年数

- ・「11～20年（23.5%）」で最も多く、次いで「21～30年（22.3%）」、「31～40年（15.0%）」であった。
- ・「3年未満（8.8%）」は、前回調査（H28年度：12.0%）より3.2ポイント減少している。また「41～50年（13.1%）」は、前回調査（H28年度：3.2%）より9.9ポイント増加している。
- ・地域別では、いずれの地域においても「11～20年」、「21～30年」の割合が高い。また地域差はあるものの、「3年未満」から「31～40年」までが概ね8割以上であった。
- ・年代別では、入職初期である経験年数「3年未満」について「30代（5.2%）」、「40代（1.8%）」、「50代（0.8%）」での回答もみられた。

#### ④職種においてベテランだと思いますか

- ・「中堅（31.5%）」が最も多く、次いで「ベテラン（19.5%）」、「ややベテラン（19.3%）」であった。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた地域は、「ベテラン」：「北海道（24.1%）」、「ややベテラン」：「四国（25.2%）」、「中堅」：「北海道（41.4%）」、「やや中堅」：「東北（14.9%）」、「見習い」：「九州・沖縄（18.1%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた年代は、「ベテラン」：「70代以上（53.2%）」、「ややベテラン」：「50代（30.3%）」、「中堅」：「40代（46.5%）」、「やや中堅」：「30代（23.8%）」、「見習い」：「10代（100.0%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた経験年数は、「ベテラン」：「51年以上（60.9%）」、「ややベテラン」：「31～40年（31.6%）」、「中堅」：「11～20年（50.3%）」、「やや中堅」：「6～10年（38.8%）」、「見習い」：「5年未満（82.0%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた雇用形態は、「ベテラン」：「元請として仕事（31.4%）」、「ややベテラン」：「その都度契約（28.8%）」、「中堅」は「外注常用（日当制）（35.6%）」、「やや中堅」は「その他（アルバイト等）（27.3%）」、「見習い」は「その他（アルバイト等）（54.5%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた賃金は、「ベテラン」：「25,000円以上（32.4%）」、「ややベテラン」：「25,000円以上（29.7%）」、「中堅」：「20,000～25,000円未満（42.3%）」、「やや中堅」：「8,000～10,000円未満（18.3%）」、「見習い」：「8,000円未満（78.3%）」。

## (2) 雇用形態について

### ①雇用形態（工務店等との契約関係）

- ・「工務店社員（37.5%）」が最も多く、次いで「元請として仕事（30.7%）」、「外注常用（坪請主体）（12.8%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた地域は、「工務店社員」：「北海道（58.6%）」、「外注常用（日当制）」：「北海道（13.8%）」、「外注常用（坪請主体）」：「中国（25.2%）」、「その都度契約」：「四国（5.9%）」、「元請として仕事」：「近畿（43.0%）」、「その他（アルバイト等）」：「四国（3.4%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた年代は、「工務店社員」：「10代（81.4%）」、「外注常用（日当制）」：「70代以上（12.8%）」、「外注常用（坪請主体）」：「30代（16.8%）」、「その都度契約」：「50代（5.3%）」、「元請として仕事」：「70代以上（66.0%）」、「その他（アルバイト等）」：「20代（3.5%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた経験年数は、「工務店社員」：「5年未満（75.4%）」、「外注常用（日当制）」：「41～50年（12.5%）」、「外注常用（坪請主体）」：「11～20年（18.0%）」、「その都度契約」：「21～30年（4.8%）」、「元請として仕事」：「51年以上（58.0%）」、「その他（アルバイト等）」：「5年未満（3.2%）」。

### ②就業規則

- ・就業規則が「無い（49.0%）」が最も多く、次いで「有る（27.7%）」、「不明（23.3%）」であった。
- ・就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い地域は「北海道（55.2%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い地域は「四国（58.0%）」。
- ・就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い年代は「10代（55.8%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い年代は「40代（57.3%）」。
- ・就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満（44.5%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20年（58.6%）」。
- ・就業規則が「有る」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員（44.3%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約（69.9%）」。

### ③有給休暇

- ・有給休暇が「無い（60.6%）」が最も高く、次いで「不明（24.6%）」、「有る（14.8%）」であった。
- ・有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い地域は「北海道（24.1%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い地域は「四国（65.5%）」。
- ・有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い年代は「10代（41.9%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い年代は「40代（70.4%）」。
- ・有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満（32.5%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20年（74.3%）」。
- ・有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員（26.8%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）（72.7%）」。

### ④年間就業日数

- ・平均年間就業日数は262.63日であった。また「不明（45.5%）」との回答が多かった。
- ・平均年間就業日数が最も多い地域は「中国（271.65日）」。一方最も少ない地域は「東北（250.10日）」。
- ・平均年間就業日数が最も多い年代は「30代（270.90日）」。一方最も少なかった年齢層は、「70代以上（192.50日）」。
- ・平均年間就業日数が最も多い経験年数は「6～10年（276.88日）」。一方最も少ない経験年数は「51年以上（202.88日）」。

- ・平均年間就業日数が最も多い雇用形態は「外注常用（坪請主体）（270.00日）」。一方最も低い雇用形態は「その他（アルバイト等）（236.67日）」。

## ⑤保険等について

### 1) 年金保険

- ・「国民年金（54.4%）」が最も多く、次いで「厚生年金（33.0%）」であった。また、年金保険について「不明（13.8%）」との回答も一定数いる結果であった。
- ・「国民年金」、「厚生年金」、「企業年金」に加入している割合の合計値が最も高い地域は「北海道（93.1%）」。一方最も低い地域は「中国（84.5%）」。
- ・選択肢に対し最も多く回答が得られた雇用形態は、「厚生年金」：「工務店社員（57.9%）」、「国民年金」：「外注常用（坪請主体）（80.4%）」、「企業年金」：「元請として仕事（2.1%）」。

### 2) 労働保険

- ・「労災保険（一人親方労災保険を含む）（59.9%（労災保険／30.7%、一人親方労災保険／29.2%）」が最も多い。また、「雇用保険（21.0%）」であった。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた地域は、「雇用保険」：「北海道（58.6%）」、「労災保険」：「近畿（38.2%）」、「一人親方労災保険」：「中部（39.7%）」。
- ・選択肢に対して最も多く回答が得られた雇用形態は、「雇用保険」：「工務店社員（42.7%）」、「労災保険」：「元請として仕事（41.5%）」、「一人親方労災保険」：「外注常用（坪請主体）（64.7%）」。

### 3) 健康保険

- ・「組合健康保険（建設国保）（35.6%）」が最も多く、次いで「国民健康保険（29.4%）」であった。
- ・「国民健康保険」、「組合健康保険（建設国保）」、「組合保険（建設国保以外）」、「その他の健康保険」に加入している割合の合計値が最も高かったのは「北海道（82.7%）」。一方最も低い地域は「東北（61.6%）」。
- ・選択肢に対し最も多く回答が得られた雇用形態は、「国民健康保険」：「その他（アルバイト等）（40.9%）」、「組合健康保険（建設国保）」：「その都度契約（49.3%）」、「組合健康保険（建設国保以外）」：「元請けとして仕事（4.4%）」、「その他の健康保険」：「工務店社員（5.8%）」。

## ⑥賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・賃金の中に含まれ、自己負担となっているものの割合について、「大工」の合計値は、261.4%であった。その内訳は「手道具（69.2%）」が最も高く、次いで「電動工具（63.4%）」、「車（保険含む）（51.9%）」、「ガソリン（51.7%）」であった。一方「クギ金物（25.2%）」は他の選択肢と比較して低い。
- ・地域別では「四国（327.8%）」が最も高い。一方「近畿（215.8%）」が最も低い。
- ・年代別では「30代（286.2%）」が最も高い。一方「10代（188.4%）」が最も低い。
- ・経験年数別では「11~12年（289.7%）」が最も高い。一方「5年未満（185.8%）」が最も低い。
- ・雇用形態別では「外注常用（坪請主体）（441.1%）」が最も高い。一方「工務店社員（188.5%）」が最も低い。



### ⑦おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・一日あたりのおおよその賃金の平均値は15,240円。
- ・平均賃金が最も高い地域は「近畿（17,013円）」。一方最も低い地域は「東北（12,611円）」。
- ・平均賃金が最も高い年代は「40代（16,682円）」。一方最も低い年代は「10代（8,243円）」。
- ・平均賃金が最も高い経験年数は「21～30年（17,049円）」。一方最も低い経験年数は「5年未満（10,169円）」。
- ・平均賃金が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）（17,718円）」。一方最も低いのは「その他（アルバイト等）（12,045円）」。

## （3）資格や技能について

### ①持っている資格

- ・「玉掛け技能講習修了者（45.2%）」が最も多く、次いで「木造建築物組立て作業主任者（39.8%）」、「足場の組立て等作業主任者（39.8%）」であり、労働安全衛生法の技能講習取得割合が大きい。
- ・持っている資格の割合の合計値が最も高い地域は「北海道（330.9%）」。一方最も低い地域は「四国（196.7%）」。
- ・持っている資格の割合の合計値が最も高い年代は「70代以上（376.5%）」。一方最も低い年代は「10代（46.6%）」。
- ・持っている資格の割合の合計値が最も高い経験年数は「51年以上（378.1%）」。一方最も低い年代は「5年未満（98.0%）」。
- ・持っている資格の割合の合計値が最も高い雇用形態は「元請として仕事（317.6%）」。一方最も低い雇用形態は「その他（アルバイト等）（177.0%）」。
- ・持っている資格の割合の合計値が最も高い賃金帯は「15,000～20,000円未満（281.2%）」。一方最も低い賃金帯は「8,000円未満（123.9%）」。

### ②墨付けができますか

- ・「はい（67.8%）」、「いいえ（19.0%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い地域は「中部（73.8%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い地域は「中国（29.8%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い年代は「50代（79.8%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い年代は「20代（46.9%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「31～40年（83.0%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満（49.5%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請けとして仕事（78.6%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）（50.0%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000円以上（79.7%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000～10,000円未満（44.4%）」。

### ③今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか（新築）

- ・「はい（19.3%）」、「いいえ（66.6%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い地域は「東北（28.4%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い地域は「中国（74.4%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い年代は「20代（25.4%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い年代は「40代（73.9%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「51年以上（31.9%）」。一方「いいえ」と回答した割合が高い経験年数は「11～20年（74.3%）」。

- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員（24.6%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）（82.2%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「10,000～15,000 円未満（24.4%）」。一方「いいえ」と回答した割合が高い賃金帯は「25,000 円以上（79.7%）」。

#### ④今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか（増改築）

- ・「はい（41.3%）」、「いいえ（44.4%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い地域は「東北（48.1%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い地域は「中国（54.7%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い年代は「70 代以上（48.9%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い年代は「10 代（69.8%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「51 年以上（55.1%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5 年未満（55.2%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事（48.8%）」。「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト）（68.2%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「10,000～15,000 円未満（46.9%）」。「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000 円以上（58.1%）」。

#### ⑤和室造作ができますか

- ・「はい（61.3%）」、「いいえ（24.9%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い地域は「中部（70.2%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い地域は「中国（31.0%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い年代は「50 代（78.9%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い年代は「10 代（74.4%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「31～40 年（82.0%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5 年未満（76.0%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請けとして仕事（75.0%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）（68.2%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「15,000～20,000 円未満（77.0%）」及び「25,000 円以上（77.0%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000 円未満（67.1%）」。

#### ⑥2×4 工法の住宅の施工ができますか

- ・「はい（26.7%）」、「いいえ（57.8%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い地域は「北海道（37.9%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い地域は「中部（61.3%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い年代は「40 代（31.9%）」および「70 代以上（31.9%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い年齢層は「20 代（73.8%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い経験年数は「51 年以上（33.3%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い経験年数は「5 年未満（73.2%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）（40.4%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他（アルバイト等）（77.3%）」。
- ・「はい」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000 円以上（44.6%）」。一方「いいえ」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000 円未満（74.1%）」。

#### (4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

##### ①現在の仕事の内容について満足していますか

- ・「満足している (62.0%)」、「満足していない (27.9%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い地域は「九州・沖縄 (70.6%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い地域は「北陸 (41.1%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い年代は「10代 (67.5%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い年代は「50代 (32.3%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い経験年数は「6～10年 (67.9%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20年 (34.4%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他(アルバイト) (72.7%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その都度契約 (39.7%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000円以上 (74.4%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000～10,000円未満 (30.6%)」。

##### ②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか

- ・「満足している (38.8%)」、「満足していない (50.9%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い地域は「九州・沖縄 (45.4%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い地域は「北陸 (59.4%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い年代は「70代以上 (44.7%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い年代は「40代 (56.8%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い経験年数は「6～10年 (43.7%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い経験年数は「11～20年 (56.8%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い雇用形態は「工務店社員 (43.2%)」。一方「満足していない」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他(アルバイト) (59.1%)」。
- ・「満足している」と回答した割合が最も高い賃金帯は「25,000円以上 (52.7%)」。「満足していない」と回答した割合が最も高い賃金帯は「8,000円未満 (55.3%)」。

##### ③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか

- ・「仕事ができる限り続ける (49.7%)」が最も多く、次いで「65歳で引退する (14.6%)」、「70歳で引退する (13.0%)」。
- ・「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い地域は「中部 (56.7%)」。一方最も低い地域は「北海道 (31.0%)」。
- ・「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い年代は「20代 (67.3%)」。一方最も低い年代は「60代 (31.2%)」。
- ・「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い経験年数は「6～10年 (66.1%)」。一方最も低い経験年数は「41～50年 (35.9%)」。
- ・「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高い雇用形態は「その他(アルバイト等) (68.2%)」。一方最も低い雇用形態は「その都度契約 (41.1%)」。

## (5) 担い手育成について

### ①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか

- ・「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい（38.2%）」が最も多く、次いで「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない（32.8%）」、「現在育てている（12.2%）」。
- ・「現在育てている」と回答した割合が最も高い地域は「四国（16.0%）」及び「九州・沖縄（16.0%）」。
- ・「現在育てている」と回答した割合が最も高い年代は「70代以上（19.1%）」。
- ・「現在育てている」と回答した割合が最も高い経験年数は「51年以上（17.4%）」。
- ・「現在育てている」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請として仕事（17.7%）」。

### ②育成期間の担い手の立場

- ・「正社員（弟子として）（63.2%）」が最も多く、次いで「正社員（職業訓練校）（15.7%）」、「一人親方等にあずける（弟子として）（11.9%）」。
- ・「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高い地域は「関東（74.4%）」。次いで「近畿（66.7%）」、「九州・沖縄（65.8%）」。また「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い地域は「東北（29.6%）」。次いで「北海道（25.0%）」、「九州・沖縄（21.1%）」。
- ・「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高い年代は「70代以上（88.9%）」。次いで「40代（69.2%）」、「30代（65.6%）」。また「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い年代は「10代（50.0%）」。次いで「20代（35.0%）」、「30代（18.0%）」。
- ・「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高い経験年数は「51年以上（91.7%）」。次いで「11～20年（72.6%）」、「21～30年（69.8%）」。また「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満（47.1%）」。次いで「6～10年（33.3%）」、「41～50年（17.1%）」。
- ・「正社員（弟子として）」と回答した割合が最も高い雇用形態は「元請けとして仕事（69.2%）」。次いで「工務店社員（62.8%）」、「外注常用（日当制）（60.0%）」。また、「正社員（職業訓練校）」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（日当制）（40.0%）」。次いで「工務店社員（23.3%）」、「元請けとして仕事（15.4%）」。

### ③育成にかかる費用負担

- ・費用の負担について「有る（31.4%）」、「無い（18.0%）」であり、無回答などの「不明（50.6%）」が多い。
- ・「有る」と回答した割合が最も高い地域は「関東（37.2%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い地域は「北海道（25.0%）」。
- ・「有る」と回答した割合が最も高い年代は「40代（43.1%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い年代は「20代（55.0%）」。
- ・「有る」と回答した割合が最も高い経験年数は「21～30年（42.9%）」。一方「無い」と回答した割合が最も高い経験年数は「5年未満（52.9%）」。
- ・「有る」と回答した割合が最も高い雇用形態は「外注常用（坪請主体）（48.6%）」。一方「無い」と回答した割合が高い雇用形態は「その他（アルバイト等）（100.0%）」。

#### ④なぜ育てる予定はないのか

- ・「将来の保障ができないため (37.9%)」が最も多く、次いで「費用がかかるため (23.8%)」、「人材がないため (19.7%)」。
- ・育てる予定はない理由として回答した割合の合計値が最も高い地域は「東北 (181.2%)」。いずれの地域においても「将来に保証ができないため」、「人材がないため」の割合が高い。また地域差はあるものの「費用がかかるため」、「新築が少ないため」の割合が総じて高い。
- ・育てる予定はない理由として回答した割合の合計値が最も高い年代は「50代 (175.7%)」。また「30代」から「60代」では「将来の保障ができないため」と回答した割合が高い。一方「70代以上」では「年齢のため (40.0%)」の割合が大きい。
- ・育てる予定はない理由として回答した割合の合計値が最も高い経験年数は「21～30年 (190.0%)」。また「将来の保障ができないため」と回答した割合は「21～30年 (51.3%)」、「31～40年 (45.8%)」が他の年代と比較して高い。
- ・育てる予定はない理由として回答した割合の合計値が最も高い雇用形態は「元請けとして仕事 (188.3%)」。また「将来の保障ができないため」と回答した割合は「元請けとして仕事 (47.6%)」、「外注常用 (坪請主体) (43.6%)」が他の雇用形態と比較して高い。

#### ⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか

- ・「10万円/月 (27.9%)」で最も多く、次いで「15万円/月 (18.1%)」。
- ・各地域に共通して「10万円/月」との割合が多い。
- ・年代別では「10代」では「5万円/月 (23.3%)」の割合が多い。「20代」から「70代以上」の年齢層では「10万円/月」の割合が多い。
- ・各経験年数に共通して「10万円/月」の割合が多い。
- ・各雇用形態に共通して「10万円/月」の割合が多い。



### 3章 アンケート調査 集計結果

#### 1. 職種別集計

##### (1) 職業等について

###### ①年齢

- ・「大工」の平均年齢は 44.66 歳であった。前回調査（H28 年度）における「大工」の平均年齢（45.04 歳）と大きな変化はない。
- ・「40 代（26.3%）」が最も大きい。次いで「30 代（23.3%）」、「50 代（16.6%）」、「60 代（16.4%）」。
- ・前回調査（H28 年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(1)年齢								
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	平均
全体	4,717	2.4	12.3	22.1	27.6	17.4	14.2	2.1	1.8	44.25
職種 大工	2,147	2.0	12.1	23.3	26.3	16.6	16.4	2.2	1.1	44.66
設備組立工	69	0.0	4.3	27.5	31.9	17.4	13.0	1.4	4.3	44.64
その他	2,240	2.9	12.8	20.8	29.3	18.2	12.6	2.0	1.4	43.86

表 3.1.1 年齢（H29 年度）（割合%）

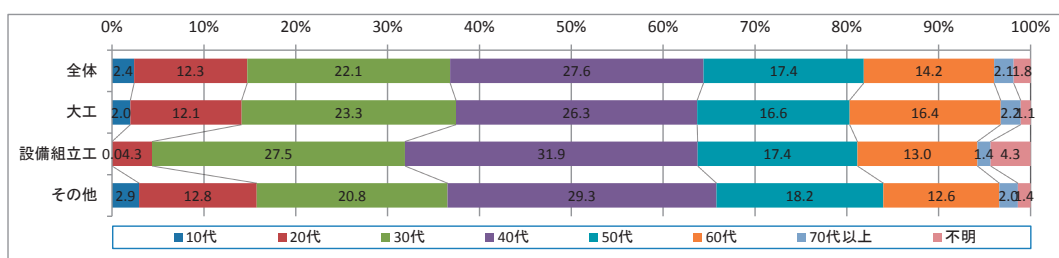


図 3.1.1 年齢（H29 年度）

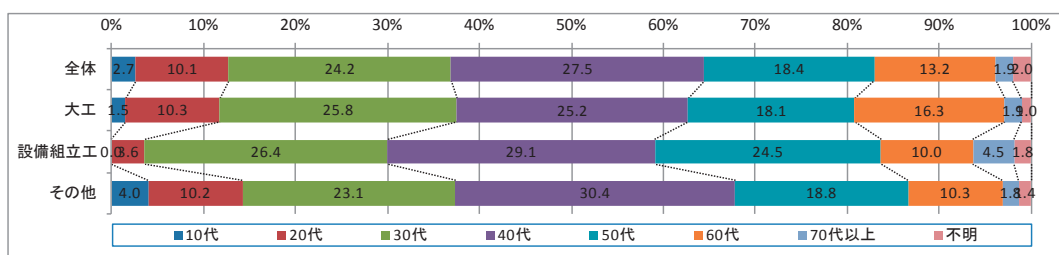


図 3.1.1# 年齢（H28 年度）

## ②性別

- ・「大工」の性別は「男性（97.5%）」、「女性（0.5%）」（10票）であった。
- ・「大工」における「女性」の割合は、「設備組立工」及び「その他」と比較して少ない。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(2)性別			
		男	女	不明	
全体	4,717	92.0	5.9	2.1	
職種	大工	2,147	97.5	0.5	2.0
	設備組立工	69	95.7	1.4	2.9
	その他	2,240	87.7	11.2	1.1

表 3.1.2 性別（H29年度）（割合%）

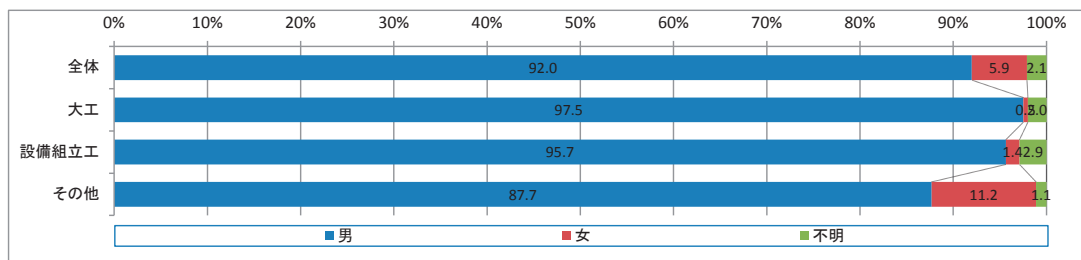


図 3.1.2 性別（H29年度）

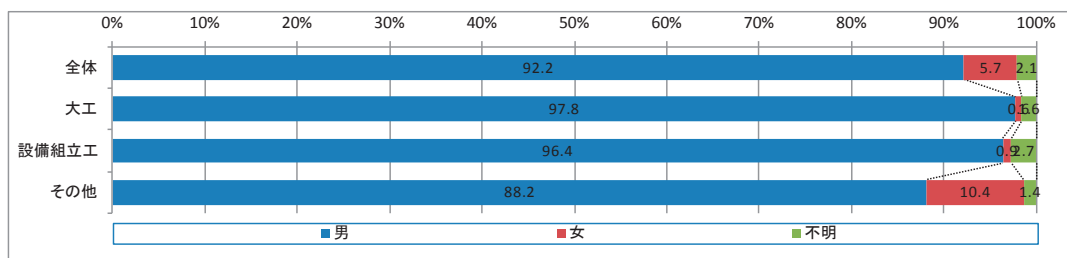


図 3.1.2# 性別（H28年度）

### ③職種の経験年数

- ・「大工」の経験年数は「11～20年（23.5%）」が最も大きい。次いで「21～30年（22.3%）」、「31～40年（15.0%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して、「大工」は10年以下が44.8%から22.4%に減少、31年以上が16.7%から31.3%に増加している。

	合計	(4)職種の経験年数								
		3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明
全体	4,717	11.6	6.9	8.9	21.5	20.7	13.0	8.8	1.8	6.9
職種 大工	2,147	8.8	5.9	7.7	23.5	22.3	15.0	13.1	3.2	0.4
設備組立工	69	7.2	11.6	13.0	29.0	26.1	7.2	4.3	1.4	0.0
その他	2,240	15.0	8.4	10.5	20.9	20.8	12.3	5.5	0.7	5.8

表 3.1.3 職種の経験年数（H29年度）（割合%）

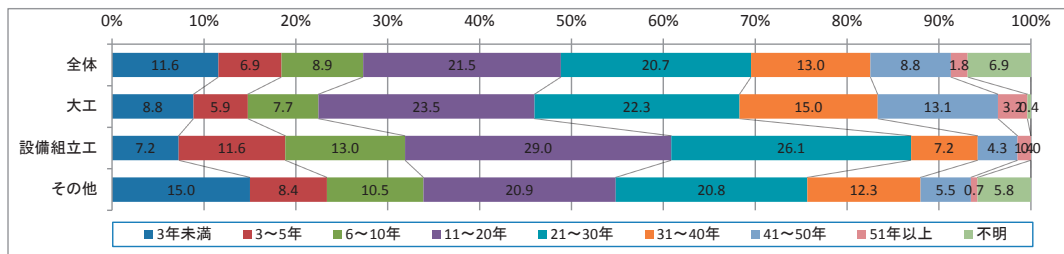


図 3.1.3 職種の経験年数（H29年度）

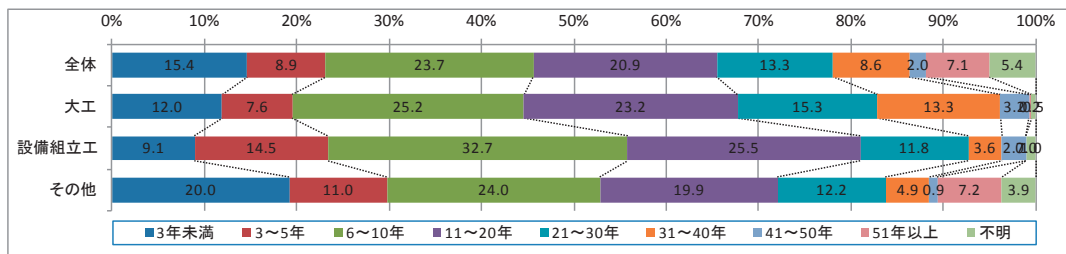


図 3.1.3# 職種の経験年数（H28年度）

④職種においてベテランだと思いませんか。

- ・「大工」のベテラン度合いは「中堅（31.5%）」が最も大きい。次いで「ベテラン（19.5%）」、「ややベテラン（19.3%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「設備組立工」における「ややベテラン」が減少しているものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	4717	15.5	17.1	28.3	13.5	16.5	9.2
大工	2147	19.5	19.3	31.5	11.5	15.5	2.7
設備組立工	69	13.0	15.9	40.6	14.5	8.7	7.2
その他	2240	13.4	16.3	26.7	16.4	18.8	8.4

表 3.1.4 職種のベテラン度合（H29年度）（割合%）

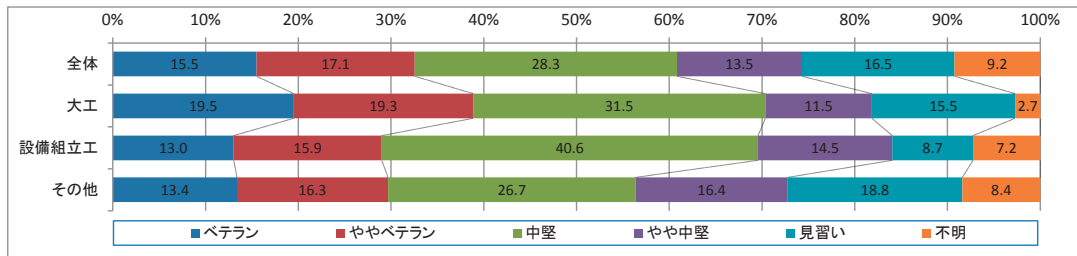


図 3.1.4 職種のベテラン度合（H29年度）

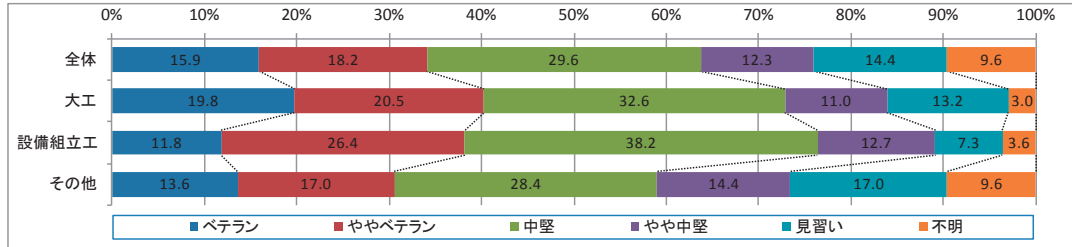


図 3.1.4# 職種のベテラン度合（H28年度）

## (2) 雇用形態について

### ①雇用形態（工務店等との）

- ・「大工」では「工務店社員（37.5%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（30.7%）」、「外注常用（坪請主体）（12.8%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「大工」の「工務店社員」、「元請けとして仕事」が減少し、「外注常用（坪請主体）」が増加している。

職種	合計	(6)あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常用(日当制)	外注常用(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明
全体	4717	39.5	5.3	6.4	3.3	27.5	2.6	15.4
大工	2147	37.5	10.5	12.8	3.4	30.7	1.0	4.0
設備組立工	69	31.9	4.3	7.2	8.7	39.1	5.8	2.9
その他	2240	43.9	1.0	0.8	3.2	25.8	4.1	21.2

表 3.1.5 雇用形態（H29年度）（割合%）

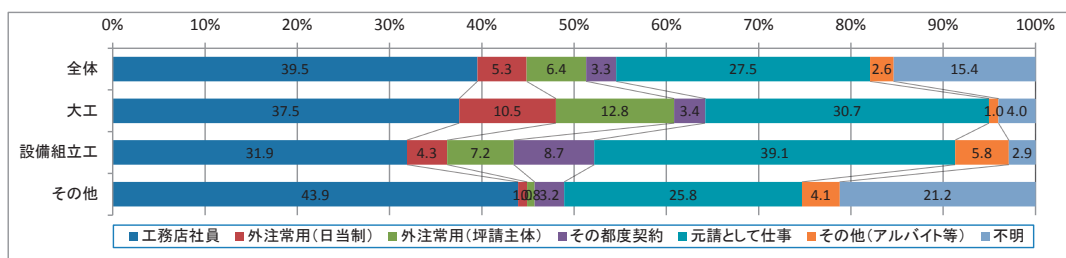


図 3.1.5 雇用形態（H29年度）

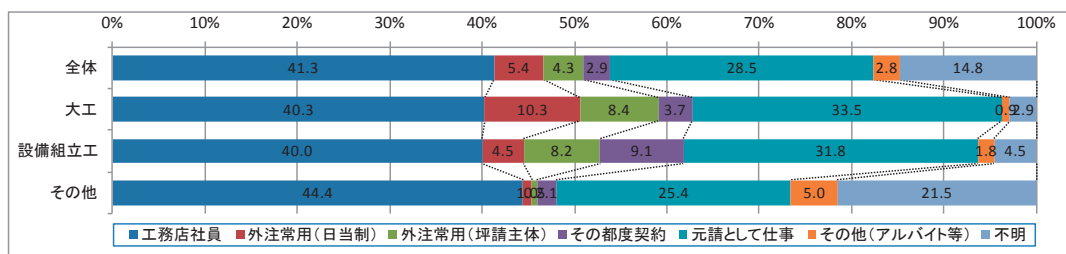


図 3.1.5# 雇用形態（H28年度）



## ②就業規則

- ・「大工」では、就業規則が「有る（27.7%）」、「無い（49.0%）」であった。
- ・就業規則が「有る」との回答は、「設備組立工（62.3%）」、「その他（58.5%）」であり、約6割となっている、
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(7)就業規則		
		有	無	不明
全体	4717	42.6	31.0	26.5
職種				
大工	2147	27.7	49.0	23.3
設備組立工	69	62.3	24.6	13.0
その他	2240	58.5	16.4	25.1

表 3.1.5 就業規則（H29年度）（割合%）

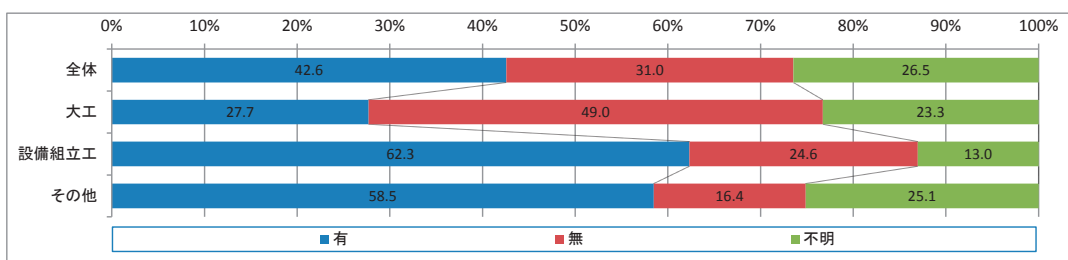


図 3.1.5 就業規則（H29年度）

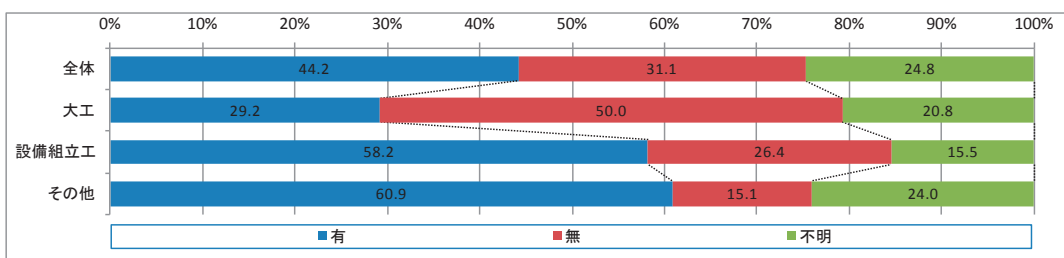


図 3.1.5#就業規則（H28年度）

### ③有給休暇

- ・「大工」では、有給休暇が「有る（14.8%）」、「無い（60.6%）」であった。
- ・有給休暇が「有る」との回答は、「設備組立工（62.3%）」、「その他（52.8%）」であった。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	4717	33.8	38.5	27.7
職種 大工	2147	14.8	60.6	24.6
設備組立工	69	62.3	21.7	15.9
その他	2240	52.8	20.8	26.3

表 3.1.7 有給休暇（H29年度）（割合%）

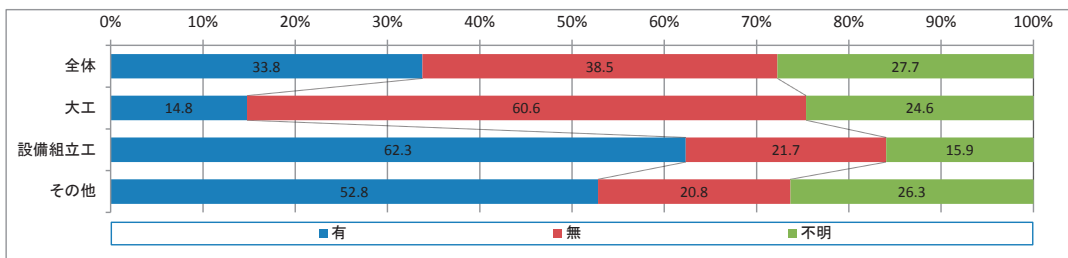


図 3.1.7 有給休暇（H29年度）

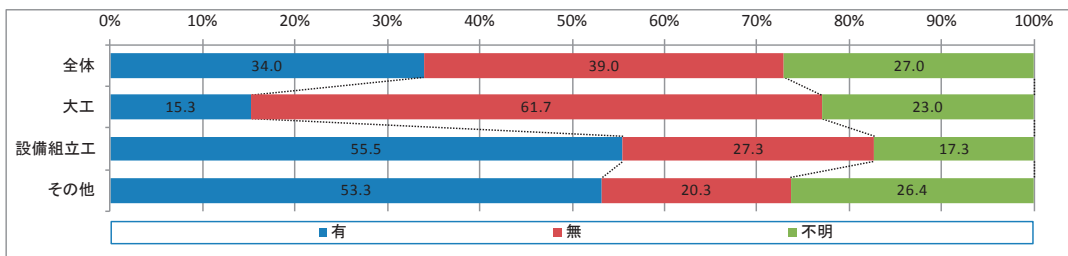


図 3.1.7# 有給休暇（H28年度）

#### ④年間就業日数

- 平均年間就業日数は、「大工」が262.63日、「設備組立工」が232.42日、「その他」が234.93日であり、「大工」が最も多い結果であった。
- 大工では「300日以上（25.2%）」が最も大きい。次いで「250日～300日未満（19.0%）」。
- 前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	
全体	4717	4.0	2.8	0.5	5.1	18.0	17.7	51.9	248.74
職種									
大工	2147	3.7	0.8	0.6	5.3	19.0	25.2	45.5	262.63
設備組立工	69	5.8	5.8	0.0	5.8	21.7	15.9	44.9	232.42
その他	2240	4.3	4.8	0.5	5.3	18.6	12.3	54.2	234.93

表 3.1.8 年間就業日数（H29年度）（割合%）

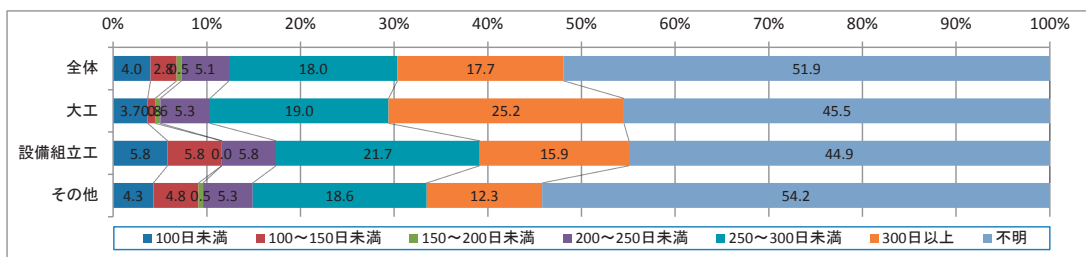


図 3.1.8 年間就業日数（H29年度）

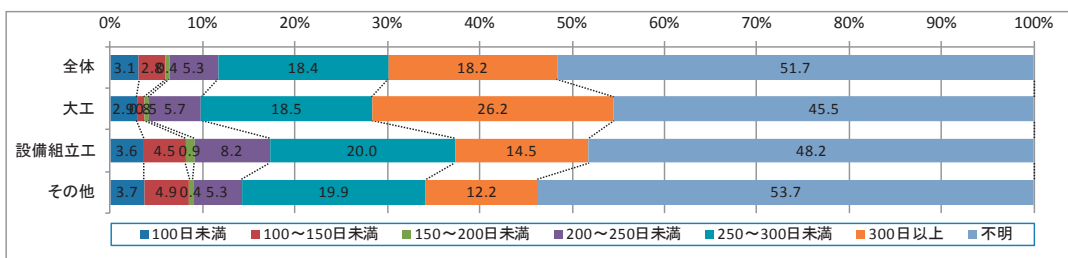


図 3.1.8# 年間就業日数（H28年度）

## ⑤保険等について

### 1) 年金保険

- ・「大工」では「国民年金（54.4%）」が最も大きい。次いで「厚生年金（33.0%）」。
- ・「設備組立工」では「厚生年金（66.7%）」、「国民年金（24.6%）」、その他では「厚生年金（63.1%）」、「国民年金（15.0%）」。
- ・「大工」では「国民年金」が半数以上を占めているが、「大工」以外の職種では「厚生年金」が6割以上との結果であった。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「大工」は「厚生年金」が減少し、「国民年金」が増加している。

	合計	(10-1)加入している年金			
		厚生年金	国民年金	企業年金	不明
全体	4717	47.8	32.6	1.3	21.1
職種					
大工	2147	33.0	54.4	1.0	13.8
設備組立工	69	66.7	24.6	4.3	10.1
その他	2240	63.1	15.0	1.5	23.8

図 3.1.9 年金保険（H29年度）（割合%）

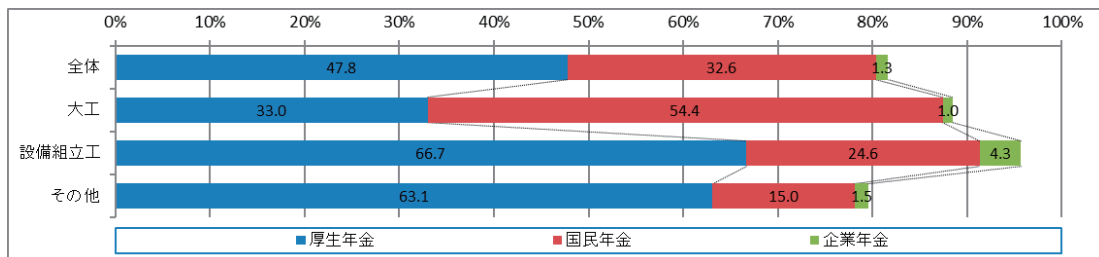


図 3.1.9 年金保険（H29年度）

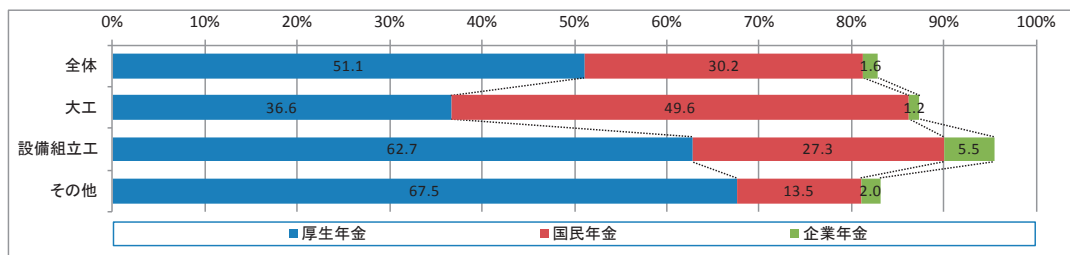


図 3.1.9# 年金保険（H28年度）

## 2) 労働保険

### ○雇用保険

- ・「雇用保険」に加入しているとの回答は「大工(21.0%)」、「設備組立工(47.8%)」、「その他(47.7%)」。
- ・雇用形態が工務店社員の「大工」は37.5% (P.20 参照) であるが、雇用保険に加入している「大工」は21.0%となっている。

### ○労災保険・一人親方労災保険

- ・「大工」では、「労災保険」、「一人親方労災保険」に加入している割合の合計が59.9% (「労災保険(30.7%)」、「一人親方労災保険(29.2%)」)。
- ・大工以外の職種では、「設備組立工」が37.6% (「労災保険(24.6%)」、「一人親方労災保険(13.0%)」)、その他が24.5% (「労災保険(19.6%)」、「一人親方労災保険(4.9%)」) であり、「大工」の「労災保険等」への加入率は高い結果であった。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(10-2)加入している労働保険			
		雇用保険	労災保険	一人親方 労災保険	不明
全体	4717	34.1	24.4	16.0	36.0
職種					
大工	2147	21.0	30.7	29.2	30.0
設備組立工	69	47.8	24.6	13.0	27.5
その他	2240	47.7	19.6	4.9	38.3

表 3.1.10 労働保険 (H29 年度) (割合%)

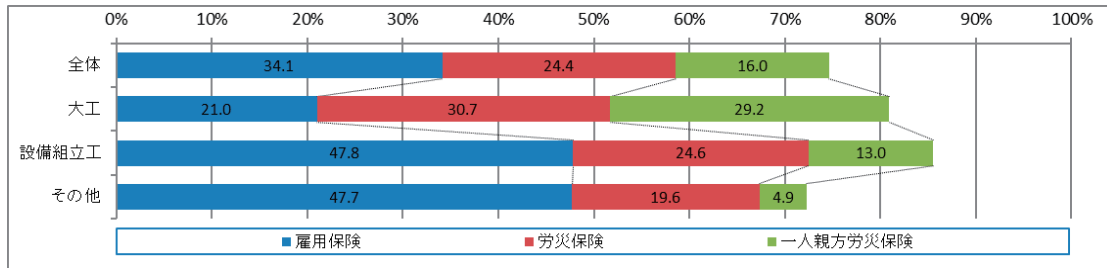


図 3.1.10 労働保険 (H29 年度)

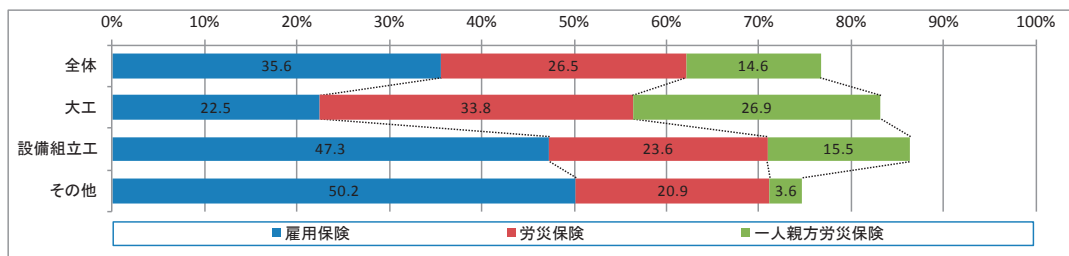


図 3.1.10# 労働保険 (H28 年度)

### 3) 健康保険

- ・「大工」では加入している健康保険の割合は、「組合健康保険（建設国保）（35.6%）」が最も大きい。次いで「国民健康保険（29.4%）」。
- ・「設備組立工」では「組合健康保険（建設国保）（33.3%）」が最も大きい。次いで「国民健康保険（24.6%）」。
- ・「その他」では「国民健康保険（26.7%）」、「組合健康保険（建設国保）（16.1%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して、「設備組立工」で「国民健康保険」が減少し「組合健康保険（建設国保）」が増加している。

	合計	(10-3)加入している健康保険				
		国民健康保険	組合健康保険(建設国保)	組合保険(建設国保以外)	その他の健康保険	不明
全体	4717	27.2	24.8	4.7	6.1	37.7
職種						
大工	2147	29.4	35.6	3.0	4.1	28.6
設備組立工	69	24.6	33.3	10.1	5.8	29.0
その他	2240	26.7	16.1	6.7	8.4	42.5

表 3.1.11 健康保険（H29年度）（割合%）

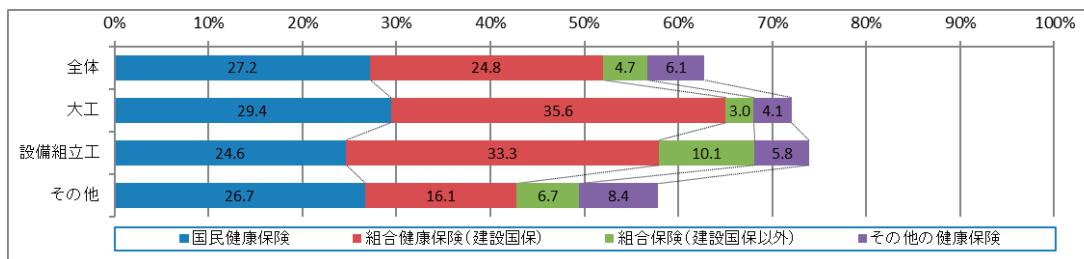


図 3.1.11 健康保険（H29年度）

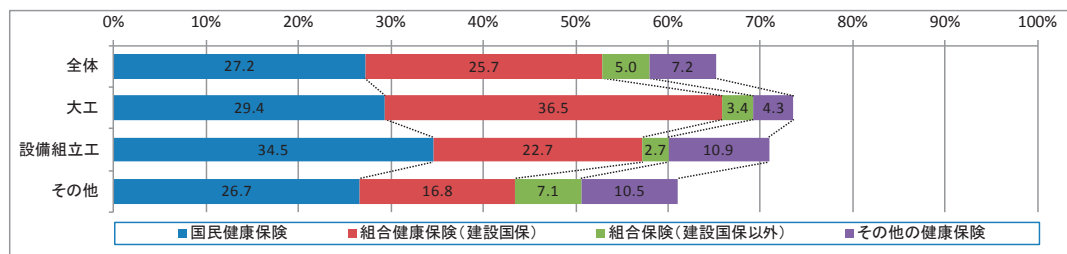


図 3.1.11 健康保険（H28年度）

### ⑥賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・自己負担するものの割合の合計値は「大工(261.4%)」が最も大きい。次いで「設備組立工(104.2%)」、「その他(52.1%)」であり、「大工」は他の職種と比較して自己負担となっているものが多い。
- ・「大工」では、自己負担となっているものとして「手道具(69.2%)」が最も多い。次いで「電動工具(63.4%)」、「車(保険含む)(51.9%)」、「ガソリン(51.7%)」。一方「クギ金物(25.2%)」は比較的少ない。
- ・前回調査(H28年度)と比較して「大工」における選択肢の合計値が増加したものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	4717	38.8	34.6	13.2	31.4	29.7	21.7	30.2
職種								
大工	2147	69.2	63.4	25.2	51.9	51.7	14.4	9.0
設備組立工	69	31.9	24.6	7.2	18.8	21.7	34.8	23.2
その他	2240	12.8	10.1	3.1	14.8	11.3	29.8	45.4

表 3.1.12 自己負担となっているもの (H29年度) (割合%)

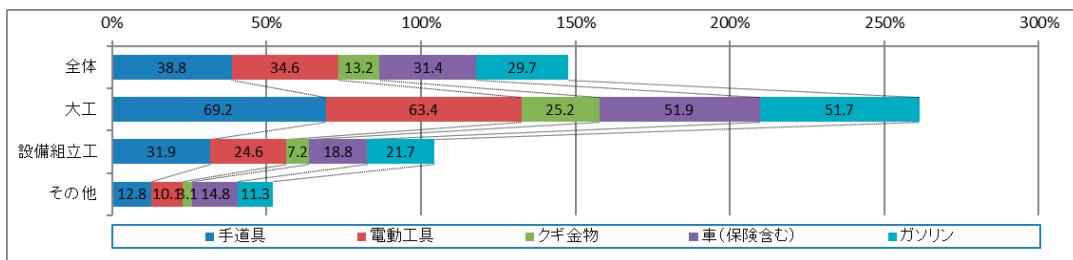


図 3.1.12.1 自己負担となっているもの (H29年度)

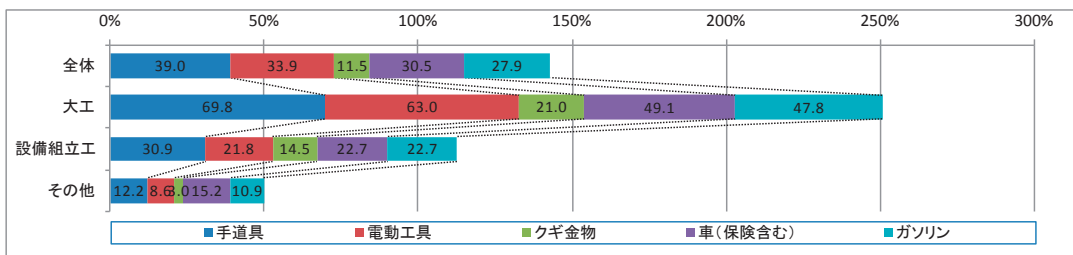


図 3.1.12.1# 自己負担となっているもの (H28年度)



⑦おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・一日あたりのおおよその賃金の平均値は「大工 15,240 円」、「設備組立工 15,373 円」、「その他 14,540 円」。
- ・大工では「15,000～20,000 円未満（35.2%）」が最も大きい。次いで「15,000～20,000 円未満（35.2%）」、「10,000～15,000 円未満（31.2%）」。
- ・前回調査（H28 年度）と比較して「大工」の「15,000～20,000 円未満」が増加し、「10,000～15,000 円未満」は減少している。
- ・賃金の平均値が「大工」及び「設備組立工」で増加しているが、「その他」は減少している。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金						
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明
全体	4717	5.6	9.6	25.4	23.6	8.1	3.6	24.0
職種								
大工	2147	6.7	8.4	31.2	35.2	10.0	3.4	5.1
設備組立工	69	5.8	7.2	31.9	24.6	10.1	5.8	14.5
その他	2240	5.0	11.2	22.0	14.3	6.9	4.1	36.5

表 3.1.13 一日あたりのおおよその賃金（H29 年度）（割合%）

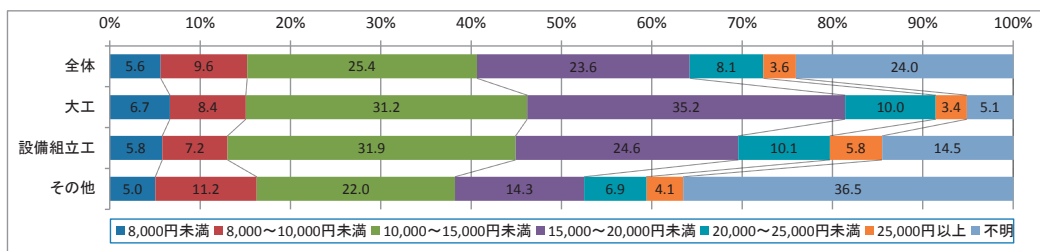


図 3.1.13 一日あたりのおおよその賃金（H29 年度）

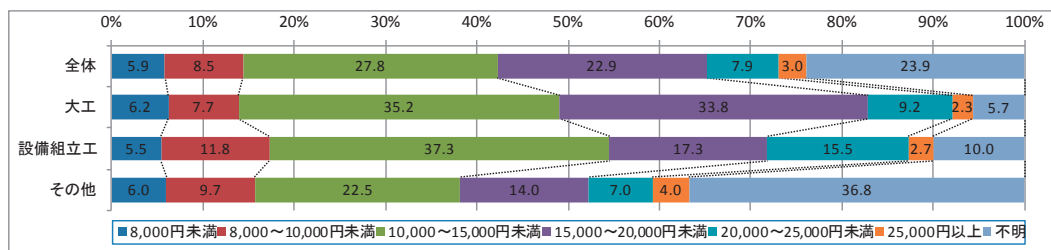


図 3.1.13 一日あたりのおおよその賃金（H28 年度）

### (3) 資格や技能について

#### ①持っている資格

- ・「大工」では「玉掛け技能講習修了者（45.2%）」が最も大きい。次いで「木造建築物組立て作業主任者（39.8%）」「足場の組立て等作業主任者（39.8%）」。また「2級建築士（27.2%）」、「建築大工技能士（1級・2級）（22.2%）」の取得割合が高い。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

職種	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	4717	11.4	26.8	1.5	11.8	11.7	10.8	1.0	5.3	4.8	27.9	23.3	32.3	12.6	5.1	28.6
大工	2147	4.7	27.2	2.4	4.2	12.4	22.2	1.9	9.9	6.7	39.8	39.8	45.2	16.9	9.8	18.3
設備組立工	69	1.4	8.7	1.4	2.9	11.6	2.9	1.4	4.3	2.9	23.2	5.8	36.2	18.8	0.0	39.1
その他	2240	18.3	28.0	0.7	19.8	11.3	1.3	0.3	1.4	3.4	19.1	9.9	22.4	9.4	1.3	34.2

表 3.1.14 持っている資格（H29年度）（割合%）

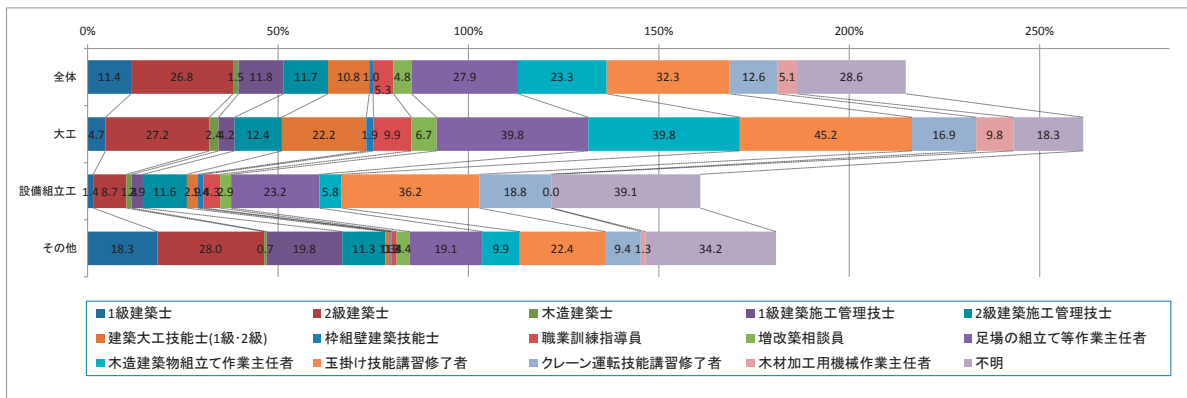


図 3.1.14 持っている資格（H29年度）

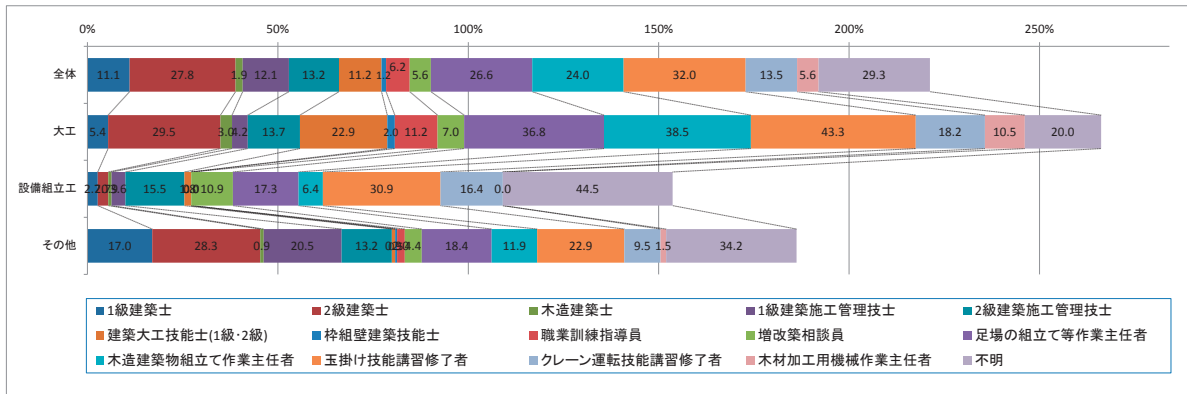


図 3.1.14#持っている資格（H28年度）

②大工職のみ回答 墨付けができますか.

- ・「はい (67.8%)」、「いいえ (19.0%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「はい」が減少、「いいえ」が増加している。

	合計	(14)①墨付けができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	67.8	19.0	13.2
職種				
大工	2147	67.8	19.0	13.2
設備組立工	5	60.0	0.0	40.0
その他	10	60.0	30.0	10.0

表 3.1.15 墨付け (H29 年度) (割合%)

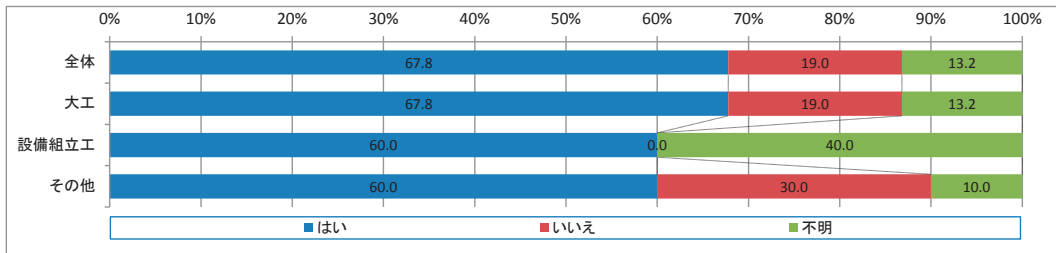


図 3.1.15 墨付け (H29 年度)

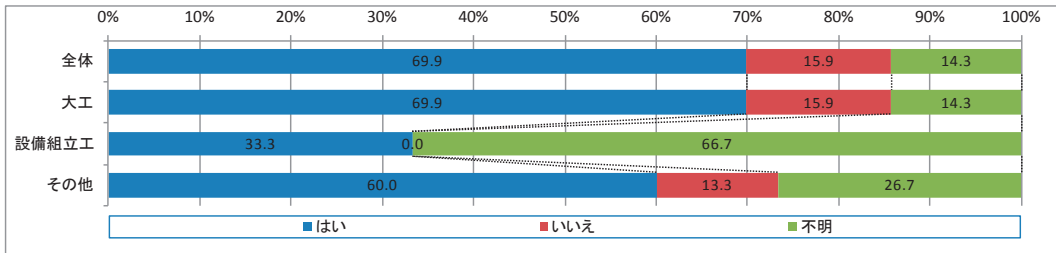


図 3.1.15# 墨付け (H28 年度)

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事年1棟以上行っていますか。(新築)

- ・「はい (19.3%)」、「いいえ (66.6%)」であり、3分の2の大工は新築の手刻み加工の仕事を行っていないという結果であった。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「はい」が減少、「いいえ」が増加している。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	19.3	66.6	14.1
大工	2147	19.3	66.6	14.1
設備組立工	5	0.0	60.0	40.0
その他	10	30.0	60.0	10.0

表 3.1.16 手刻み加工の仕事 (新築) (H29 年度) (割合%)

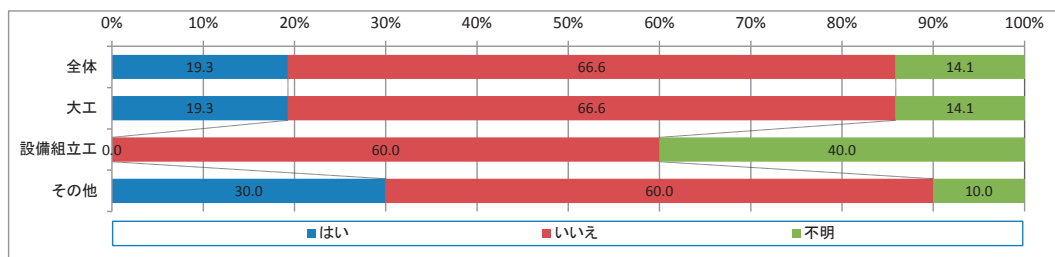


図 3.1.16 手刻み加工の仕事 (新築) (H29 年度)

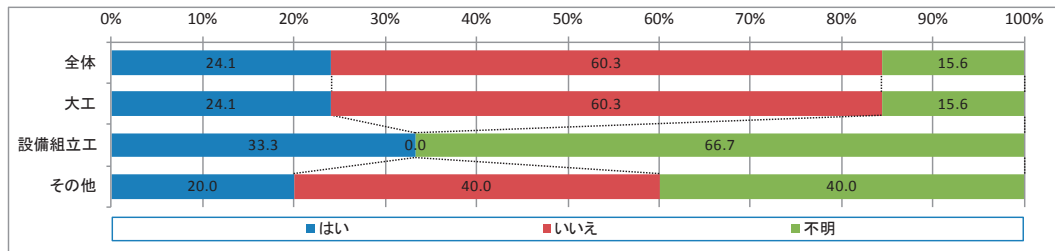


図 3.1.16# 手刻み加工の仕事 (新築) (H28 年度)

④ **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

- ・「はい (41.3%)」、「いいえ (44.4%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「はい」が減少、「いいえ」が増加している。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	41.3	44.4	14.3
大工	2147	41.3	44.4	14.3
設備組立工	5	60.0	0.0	40.0
その他	10	40.0	50.0	10.0

表 3.1.17 手刻み加工の仕事 (増改築) (H29 年度) (割合%)

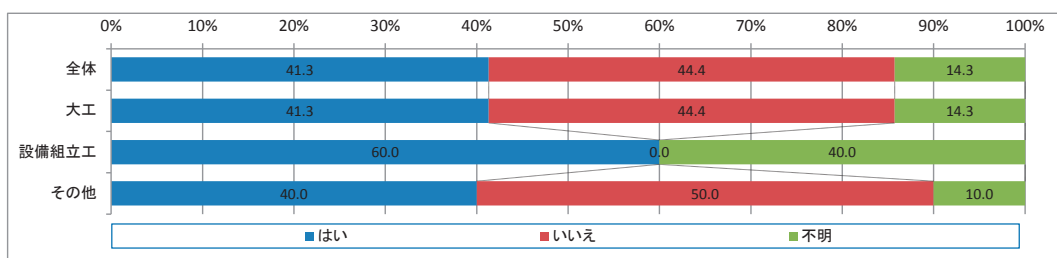


図 3.1.17 手刻み加工の仕事 (増改築) (H29 年度)

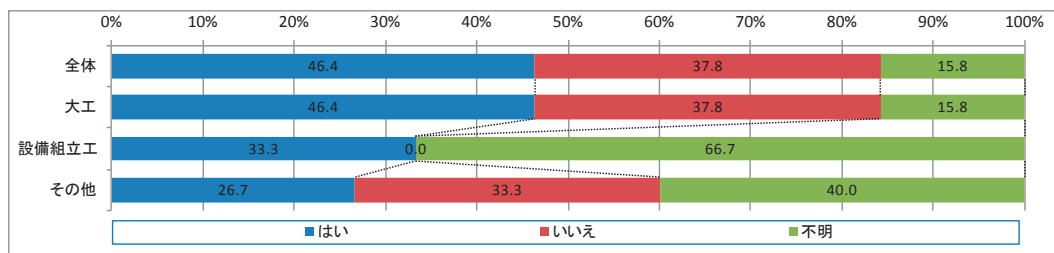


図 3.1.17# 手刻み加工の仕事 (増改築) (H28 年度)

⑤ **大工職のみ回答** 和室造作ができますか.

- ・「はい (61.3%)」、「いいえ (24.9%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「はい」が減少、「いいえ」が増加している。

	合計	(14)④和室造作ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	61.3	24.9	13.8
職種	2147	61.3	24.9	13.8
大工	5	20.0	20.0	60.0
設備組立工	10	60.0	30.0	10.0

表 3.1.18 和室造作 (H29 年度) (割合%)

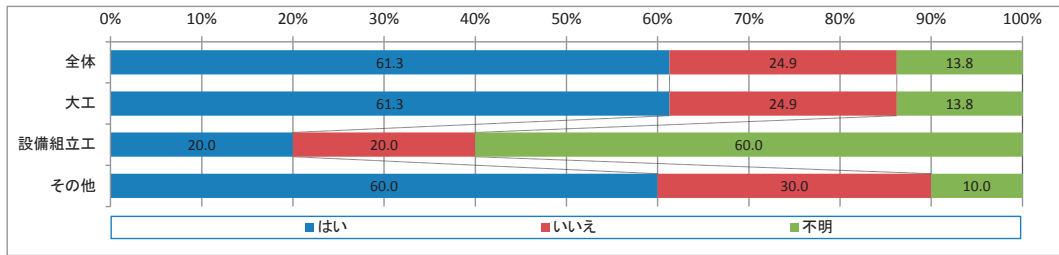


図 3.1.18 和室造作 (H29 年度)

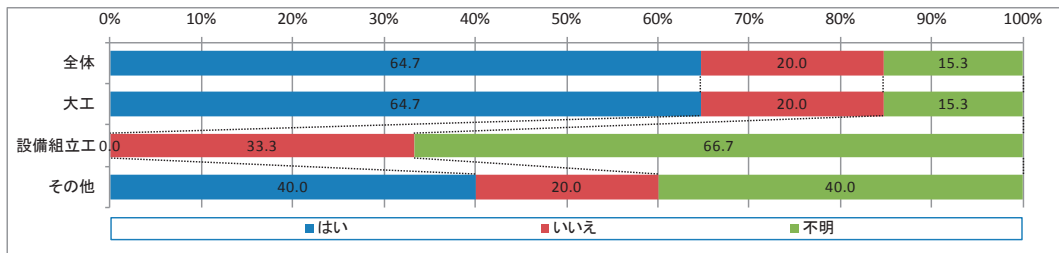


図 3.1.18#和室造作 (H28 年度)

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

- ・「はい (26.7%)」、「いいえ (57.8%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

		合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工 ができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		2147	26.7	57.8	15.4
職種	大工	2147	26.7	57.8	15.4
	設備組立工	5	0.0	60.0	40.0
	その他	10	10.0	80.0	10.0

表 3.1.19 2×4 工法の住宅の施工 (H29 年度) (割合%)

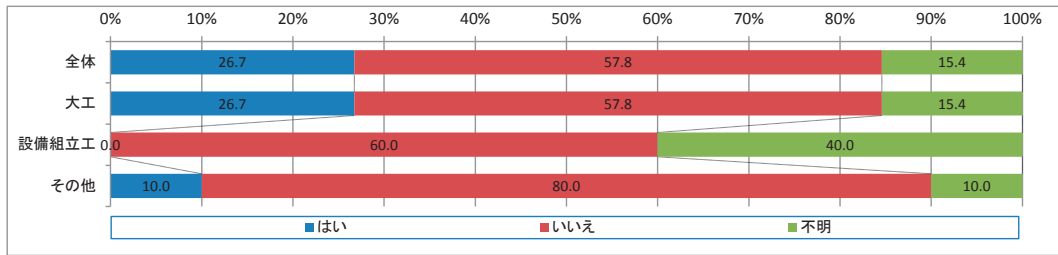


図 3.1.19 2×4 工法の住宅の施工 (H29 年度)

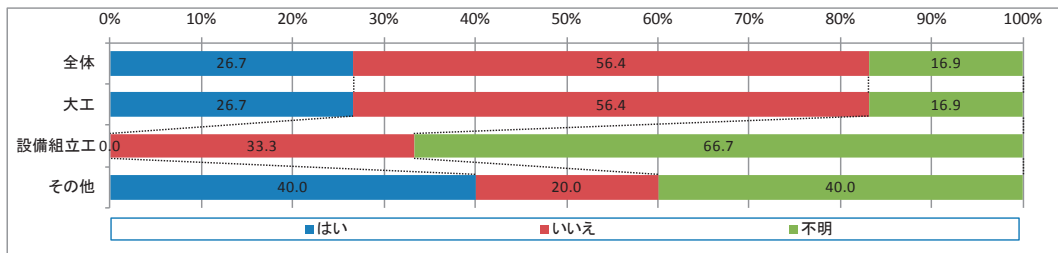


図 3.1.19# 2×4 工法の住宅の施工 (H28 年度)



#### (4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

##### ①現在の仕事の内容について満足していますか。

- ・「大工」では「とても満足している (10.2%)」、「まあ満足している (51.8%)」の合計値が (62.0%)。一方「あまり満足していない (22.3%)」、「満足していない (5.6%)」の合計値は (27.9%) であった。
- ・「設備組立工」、「その他」と比較して、「大工」は「とても満足している」及び「あまり満足していない」が大きい。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	4717	9.1	47.5	17.3	4.0	22.0
大工	2147	10.2	51.8	22.3	5.6	10.1
設備組立工	69	7.2	56.5	14.5	5.8	15.9
その他	2240	8.3	46.2	13.9	2.8	28.8

表 3.1.20 仕事の内容についての満足度 (H29 年度) (割合%)

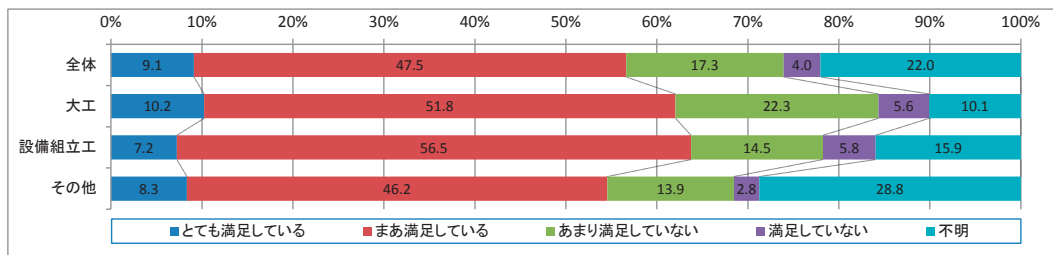


図 3.1.20 仕事の内容についての満足度 (H29 年度)

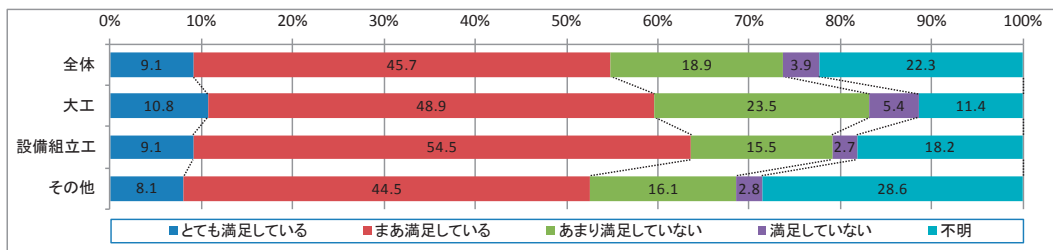


図 3.20# 仕事の内容についての満足度 (H28 年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・「大工」では「とても満足している (3.9%)」、「まあ満足している (34.9%)」の合計値が (38.8%)。一方「あまり満足していない (35.5%)」、「満足していない (15.4%)」の合計値は (50.9%) であった。
- ・「大工」以外の職種では「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値が「設備組立工 (40.5%)」、「その他 (35.4%)」であり、「大工」と比較して少ない。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して、「大工」の「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は増加している。また「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は減少している。

職種	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	4717	3.5	32.7	30.3	11.2	22.2
大工	2147	3.9	34.9	35.5	15.4	10.3
設備組立工	69	5.8	37.7	27.5	13.0	15.9
その他	2240	3.1	32.5	27.6	7.8	28.9

表 3.1.21 収入等についての満足度 (H29 年度) (割合%)

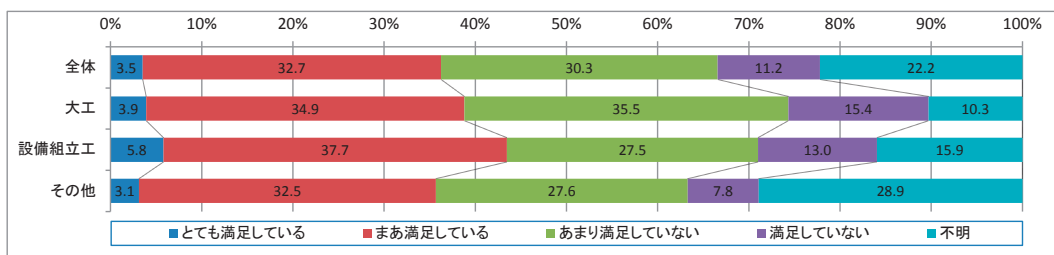


図 3.1.21 収入等についての満足度 (H29 年度)

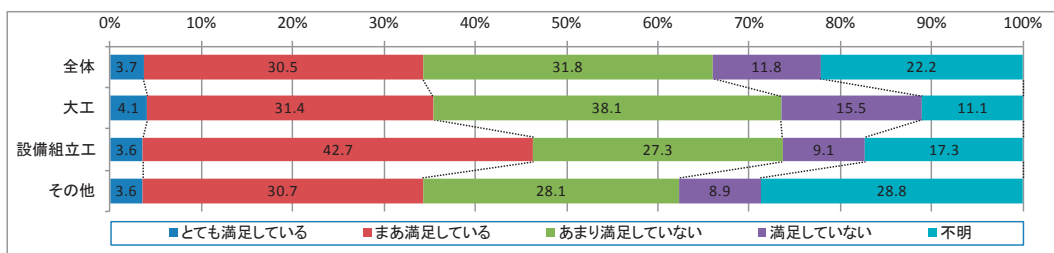


図 3.1.21# 収入等についての満足度 (H28 年度)

### ③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

- ・「大工」では、「仕事ができる限り続ける(49.7%)」が最も大きい。次いで「65歳で引退する(14.6%)」、「70歳で引退する(13.0%)」。
- ・「仕事ができる限り続ける」は「設備組立工(36.2%)」、「その他(30.4%)」であり、「大工」と比較して低い結果であった。
- ・前回調査(H28年度)と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	4717	8.1	17.1	9.8	2.5	38.6	0.8	23.2
大工	2147	7.6	14.6	13.0	3.2	49.7	1.1	10.8
設備組立工	69	14.5	17.4	11.6	4.3	36.2	0.0	15.9
その他	2240	8.9	20.4	7.5	1.8	30.4	0.5	30.4

表 3.1.22 何歳まで仕事を続ける予定か (H29年度) (割合%)

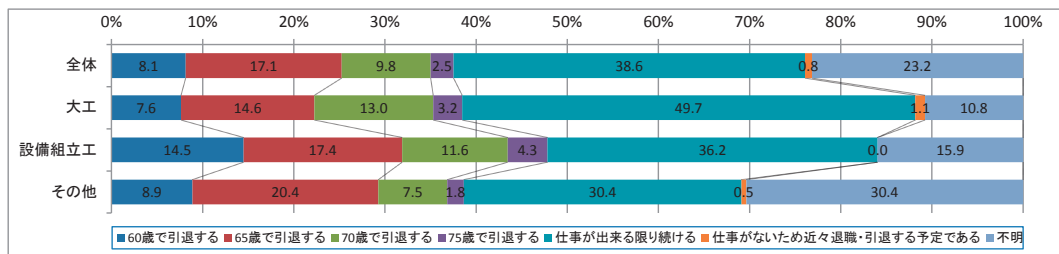


図 3.1.22 何歳まで仕事を続ける予定か (H29年度)

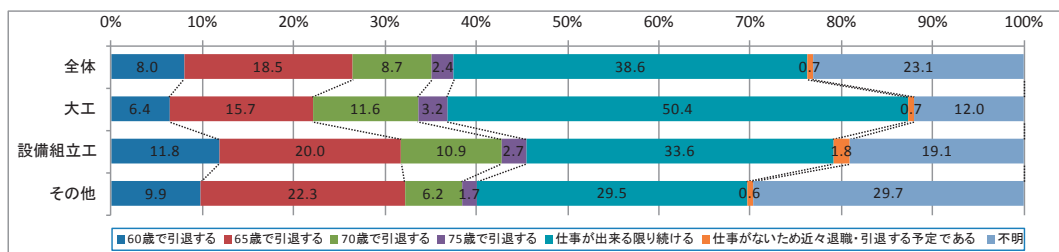


図 3.1.22 何歳まで仕事を続ける予定か (H28年度)

## (5) 担い手育成について

### ①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

- ・「大工」では、「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい（38.2%）」が最も大きい。次いで「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない（32.8%）」、「現在育てている（12.2%）」。
- ・「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」との回答について、「大工（32.8%）」、「設備組立工（14.5%）」、「その他（13.3%）」であり、「大工」とそれ以外の職種で大きく差がある結果であった。
- ・前回調査（H28年度）と比較して、「大工」の「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」が増加している。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	4717	11.7	34.4	21.8	32.2
大工	2147	12.2	38.2	32.8	16.8
設備組立工	69	21.7	42.0	14.5	21.7
その他	2240	11.5	32.7	13.3	42.5

表 3.1.23 担い手の育成状況（H29年度）（割合%）

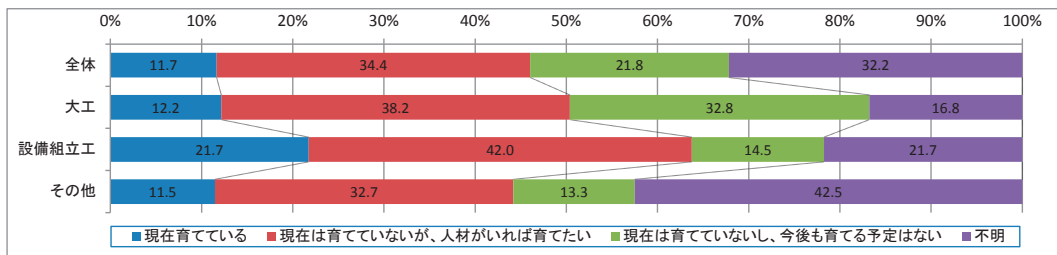


図 3.1.23 担い手の育成状況（H29年度）

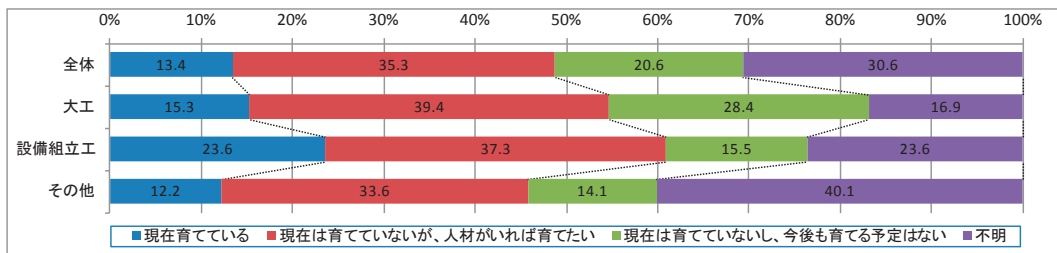


図 3.1.23# 担い手の育成状況（H28年度）

②「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

- ・「大工」では、「正社員（弟子として）（63.2%）」が最も大きい。次いで「正社員（職業訓練校）（15.7%）」、「一人親方等にあずける（弟子として）（11.9%）」。
- ・「大工」の育成期間の担い手の立場は、「正社員（職業訓練校・弟子として）（78.9%）」、「一人親方等にあずける（職業訓練校・弟子として）（13.4%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「大工」の「正社員（職業訓練校）」が減少している。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方 等にあずける (職業訓練校)	一人親方 等にあずける (弟子として)	不明
全体	550	26.9	55.3	0.9	7.1	9.8
大工	261	15.7	63.2	1.5	11.9	7.7
設備組立工	15	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
その他	257	37.4	48.2	0.4	2.3	11.7

表 3.1.24 育成期間の担い手の立場（H29年度）（割合%）

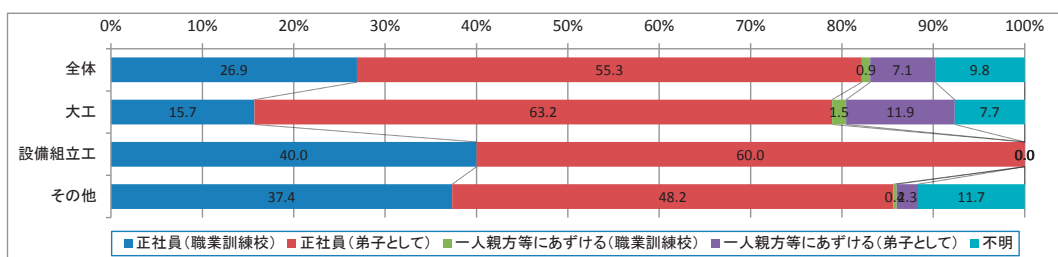


図 3.1.24 育成期間の担い手の立場（H29年度）

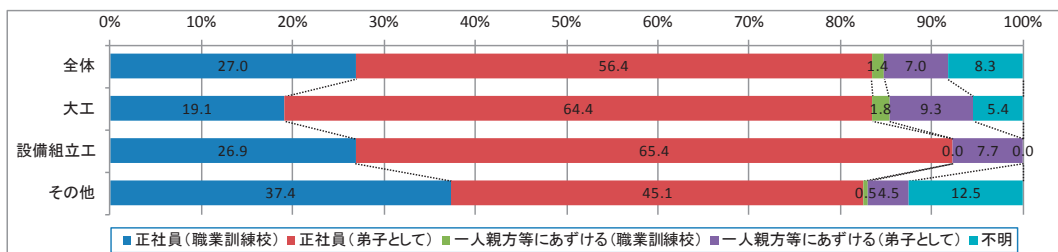


図 3.1.24# 育成期間の担い手の立場（H28年度）

③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

- ・「大工」では「有る（31.4%）」、「無い（18.0%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「大工」では「有る」「無い」共に増加している。また、「設備組立工」では「有る」、「無い」共に減少している。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	550	26.9	15.8	57.3
職種				
大工	261	31.4	18.0	50.6
設備組立工	15	13.3	6.7	80.0
その他	257	23.7	14.8	61.5

表 3.1.25 育成期間にかかる費用負担（H29年度）（割合%）

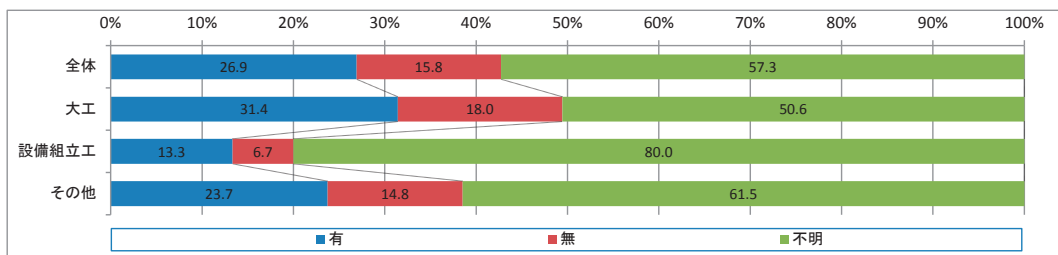


図 3.1.25 育成期間にかかる費用負担（H29年度）

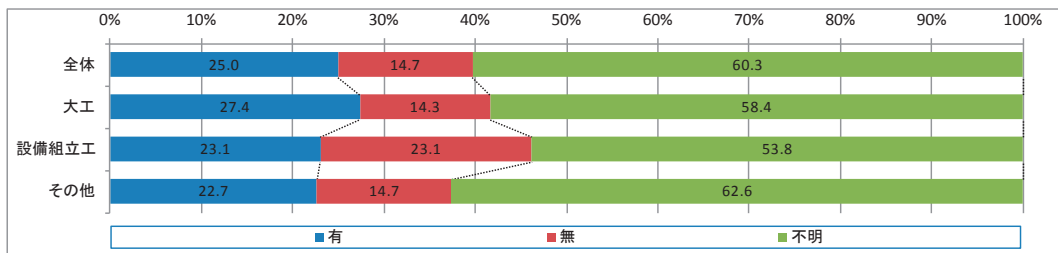


図 3.1.25# 育成期間にかかる費用負担（H28年度）

④「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

- ・「大工」では「将来の保障ができないため（37.9%）」が最も大きい。次いで「費用がかかるため（23.8%）」、「人材がいないため（19.7%）」。
- ・「設備組立工」では「将来の保障ができないため（30.0%）」及び「人材がいないため（30.0%）」、その他では「人材がいないため（25.5%）」が最も大きい。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「大工」では「費用がかかるため」が増加しているものの、総じて大きな変化はない。

職種	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	1029	9.1	9.8	19.4	3.5	21.6	13.3	31.8	12.5	7.4	11.8	7.5	15.5
大工	705	10.1	11.1	23.8	4.3	19.7	16.0	37.9	11.8	9.8	15.0	5.5	12.6
設備組立工	10	0.0	20.0	10.0	0.0	30.0	0.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0
その他	298	7.4	6.7	10.1	1.0	25.5	7.0	17.1	14.1	1.7	4.0	12.4	22.8

表 3.1.26 なぜ育てる予定はないのか（H29年度）（割合%）

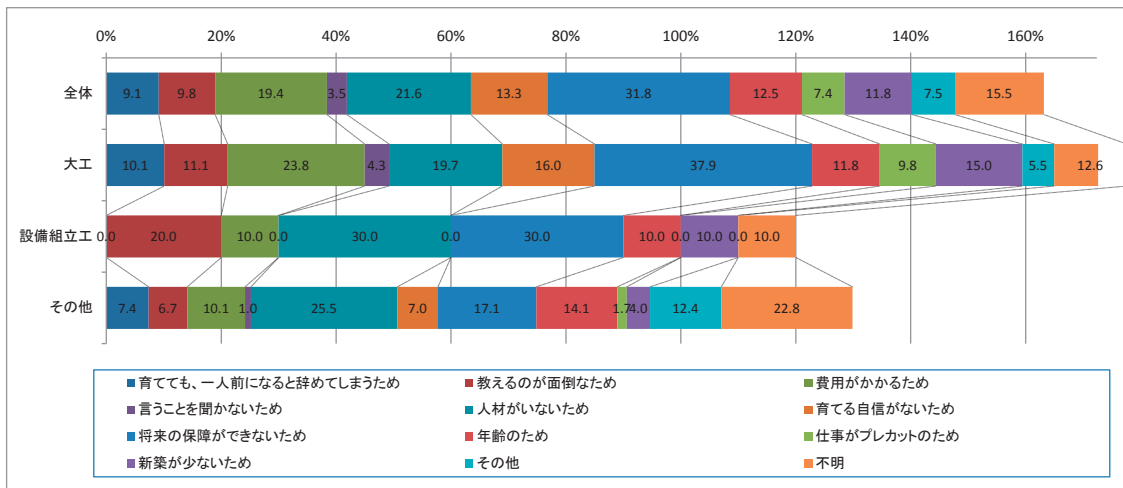


図 3.1.26 なぜ育てる予定はないのか（H29年度）

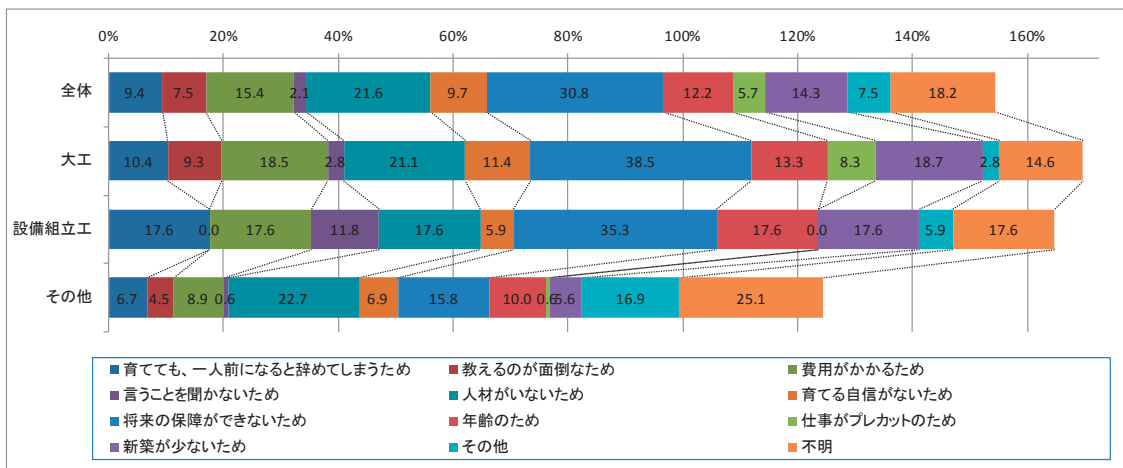


図 3.1.26#なぜ育てる予定はないのか（H28年度）



⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

- ・「大工」では「10万円/月（27.9%）」が最も大きい。次いで「15万円/月（18.1%）」、「5万円/月（14.2%）」。また「設備組立工」、「その他」も同様の傾向となっている。
- ・前回調査（H28年度）と比較して、「設備組立工」では「10万円/月」が増加している。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体	4717	3.0	11.9	21.7	12.9	3.2	47.2
職種							
大工	2147	3.1	14.2	27.9	18.1	3.4	33.4
設備組立工	69	2.9	17.4	26.1	14.5	0.0	39.1
その他	2240	3.2	10.6	17.2	8.8	3.4	56.8

表 3.1.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H29年度）（割合%）

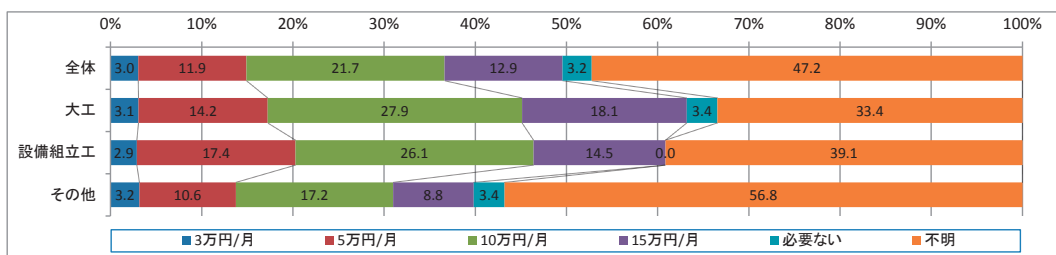


図 3.1.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H29年度）

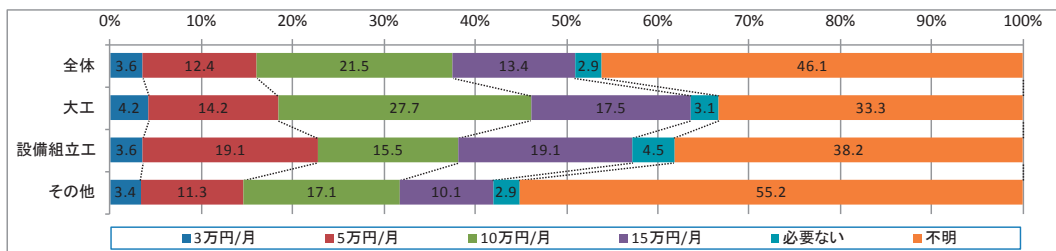


図 3.1.27# 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H28年度）

## 2. 地域別集計

### (1) 職業等について

#### ①年齢

- ・地域別の平均年齢は「四国（47.13歳）」で最も高い。「中国（42.26歳）」で最も低い。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「北海道」、「関東」、「北陸」、「中部」では平均年齢が上がっている。一方「東北」、「近畿」、「中国」、「四国」、「九州・沖縄」では平均年齢が下がっている。

	合計	(1)年齢								平均
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	
全体	2147	2.0	12.1	23.3	26.3	16.6	16.4	2.2	1.1	44.66
地域										
北海道	29	0.0	13.8	24.1	27.6	17.2	17.2	0.0	0.0	44.48
東北	289	2.8	13.1	28.4	23.2	15.2	15.2	1.4	0.7	43.16
関東	443	3.2	12.6	18.7	24.6	17.6	17.6	3.6	2.0	45.56
北陸	190	0.0	7.4	22.6	31.1	17.4	20.5	1.1	0.0	46.87
中部	416	2.2	11.1	22.1	26.4	17.5	18.8	1.2	0.7	45.16
近畿	165	0.0	13.9	12.1	34.5	24.2	10.9	3.0	1.2	45.63
中国	258	2.7	14.0	25.2	29.8	14.0	11.2	1.6	1.6	42.26
四国	119	0.0	10.1	25.2	21.0	17.6	22.7	2.5	0.8	47.13
九州・沖縄	238	2.1	13.0	33.2	21.8	10.9	14.7	3.4	0.8	42.87

表 3.2.1 年齢(H29年度) (割合%)

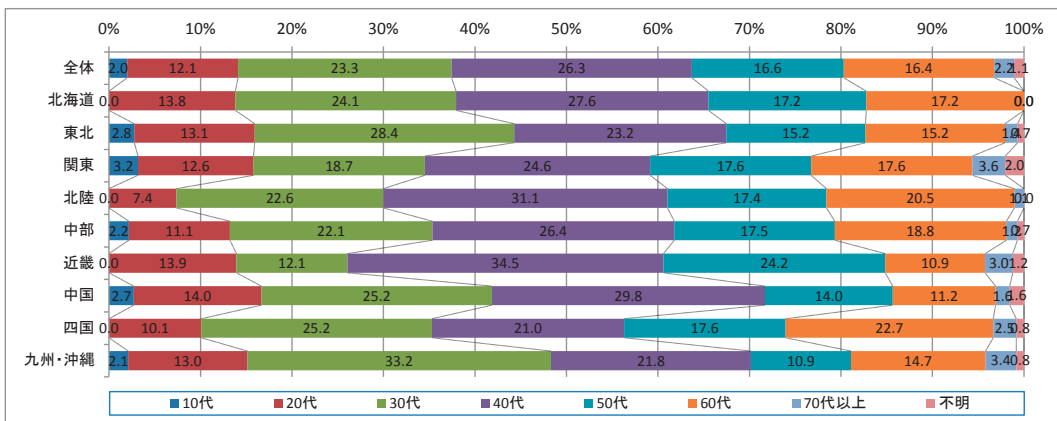


図 3.2.1 年齢(H29年度)

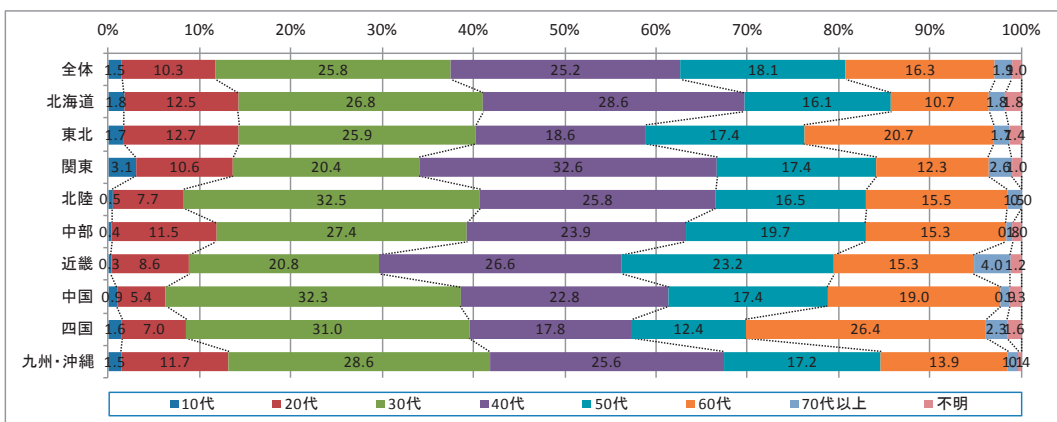


図 3.2.1# 年齢(H28年度)

## ②性別

- ・「女性」は「東北（1.0%）」、「中部（1.0%）」、「近畿（0.6%）」、「九州・沖縄（0.4%）」であった。
- ・今年度の調査は「北海道」、「北陸」、「中国」、「四国」で「女性」との回答は得られなかった。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(2)性別		
		男	女	不明
全体	2147	97.5	0.5	2.0
地域				
北海道	29	100.0	0.0	0.0
東北	289	97.2	1.0	1.7
関東	443	97.1	0.2	2.7
北陸	190	98.9	0.0	1.1
中部	416	96.9	1.0	2.2
近畿	165	98.8	0.6	0.6
中国	258	98.1	0.0	1.9
四国	119	97.5	0.0	2.5
九州・沖縄	238	97.1	0.4	2.5

表 3.2.2 性別(H29年度) (割合%)

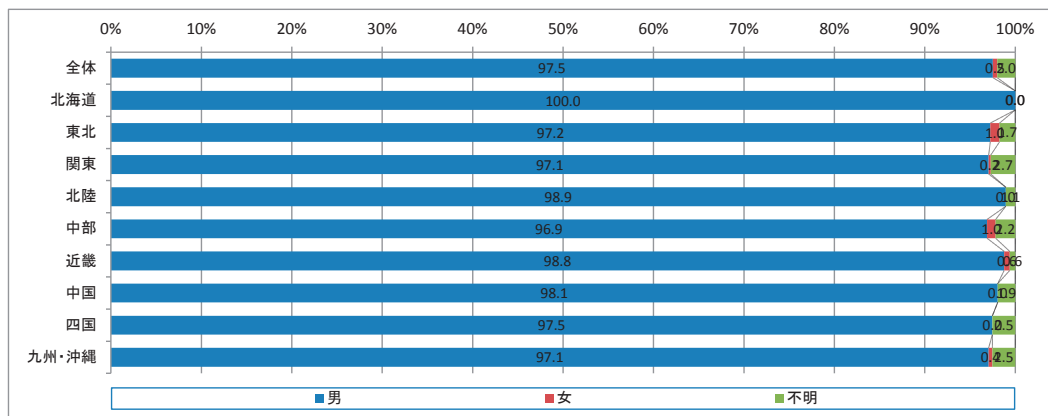


図 3.2.2 性別(H29年度)

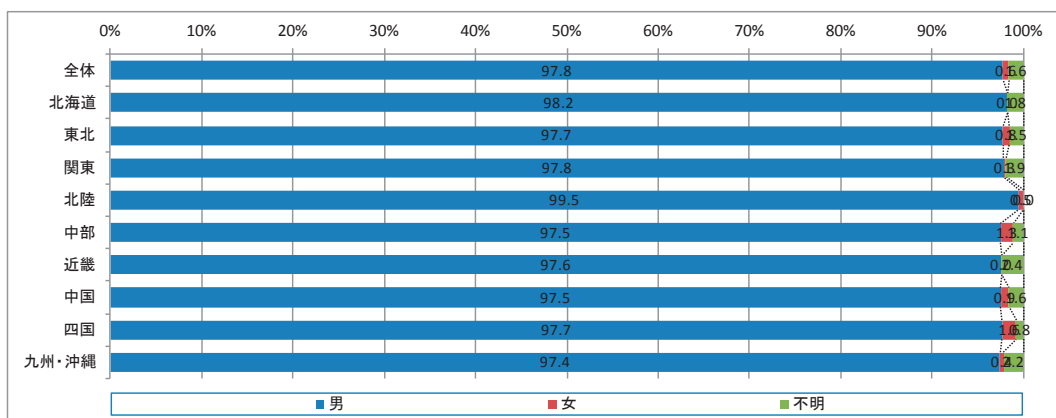


図 3.2.2#性別(H28年度)

### ③職種の経験年数

- ・各地域に共通して「11～20年」および「21～30年」の割合が大きい。
- ・各地域に共通して経験年数が「11～20年」、「21～30年」、「31～40年」の合計値が50%以上となっている。
- ・「3年未満」は「中国（10.9%）」が最も大きい。次いで「関東（10.2%）」、「東北（9.3%）」であった。
- ・「41～50年」は「北陸（20.5%）」が最も大きい。次いで「北海道（17.2%）」であった。
- ・前回調査（H28年度）と比較して各地域に共通して「6～10年」が減少している。一方「21～30年」が増加している。

	合計	(4)職種の経験年数								
		3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明
全体	2147	8.8	5.9	7.7	23.5	22.3	15.0	13.1	3.2	0.4
地域										
北海道	29	6.9	3.4	3.4	24.1	31.0	10.3	17.2	0.0	3.4
東北	289	9.3	8.3	10.0	25.6	16.6	12.8	14.2	2.8	0.3
関東	443	10.2	5.6	7.7	19.2	20.1	16.7	14.4	5.4	0.7
北陸	190	4.7	5.3	5.3	22.6	26.8	14.2	20.5	0.5	0.0
中部	416	8.9	5.5	5.5	23.6	22.6	15.6	14.7	3.6	0.0
近畿	165	7.9	4.8	7.3	20.6	31.5	18.8	7.3	1.2	0.6
中国	258	10.9	5.0	8.9	27.9	24.0	12.4	8.5	1.6	0.8
四国	119	5.9	3.4	5.0	25.2	25.2	17.6	14.3	3.4	0.0
九州・沖縄	238	9.2	8.0	11.3	26.1	18.5	13.9	8.4	4.6	0.0

表 3.2.3 職種の経験年数(H29年度) (割合%)

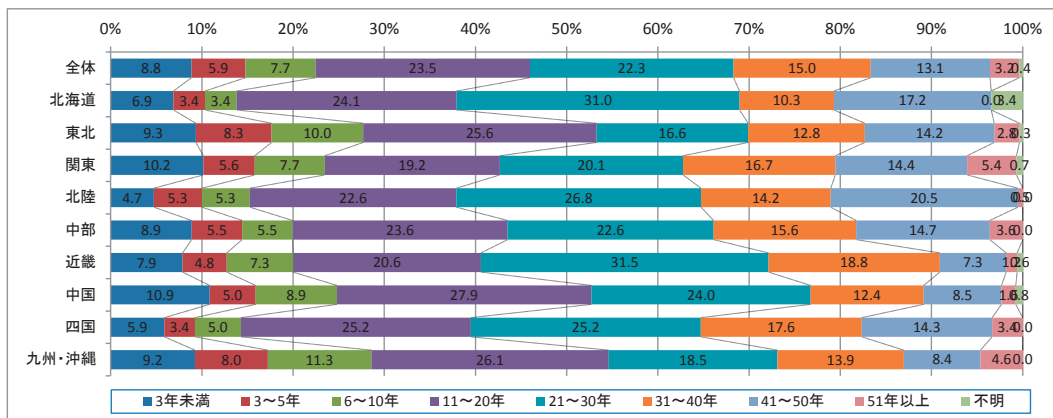


図 3.2.3 職種の経験年数(H29年度)

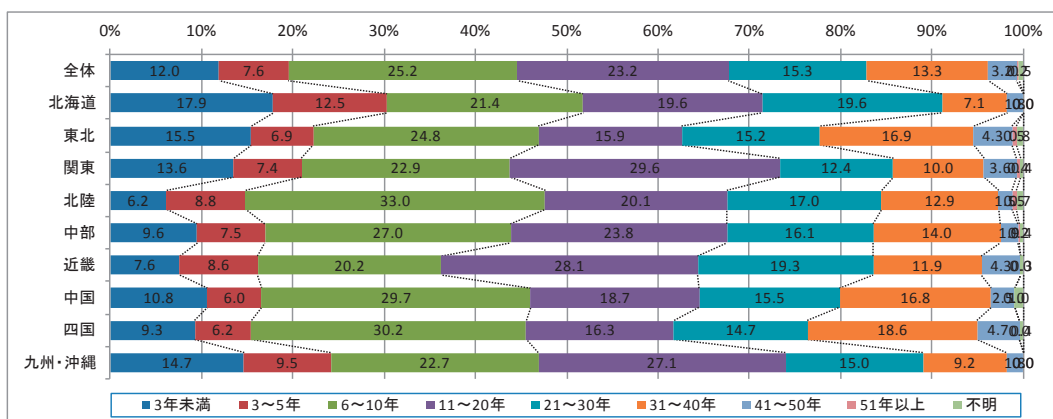


図 3.2.3# 職種の経験年数(H28年度)

⑤職種においてベテランだと思いませんか。

- ・「ベテラン」は「北海道 (24.1%)」が最も大きい。次いで「中部 (21.4%)」、「関東 (20.8%)」。
- ・「ややベテラン」は「四国 (25.2%)」が最も大きい。次いで「近畿 (22.4%)」、「東北 (20.8%)」。
- ・「中堅」は「北海道 (41.4%)」が最も大きい。次いで「北陸 (37.4%)」、「近畿 (33.9%)」。
- ・「やや中堅」は「東北 (14.9%)」が最も大きい。次いで「北陸 (14.2%)」、「中国 (13.2%)」。
- ・「見習い」は「九州・沖縄 (18.1%)」が最も大きい。次いで「東北 (17.3%)」、「中国 (17.1%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「北海道」では「やや中堅」、「見習い」が減少し、「中堅」、「ベテラン」、「ややベテラン」が増加している。その他の地域では全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	2147	19.5	19.3	31.5	11.5	15.5	2.7
地域							
北海道	29	24.1	13.8	41.4	6.9	10.3	3.4
東北	289	14.5	20.8	29.4	14.9	17.3	3.1
関東	443	20.8	19.6	31.6	9.5	16.0	2.5
北陸	190	20.5	16.3	37.4	14.2	10.0	1.6
中部	416	21.4	18.0	32.2	9.9	15.1	3.4
近畿	165	18.2	22.4	33.9	12.1	12.1	1.2
中国	258	19.0	18.6	29.5	13.2	17.1	2.7
四国	119	20.2	25.2	25.2	8.4	16.0	5.0
九州・沖縄	238	19.7	18.1	30.7	11.3	18.1	2.1

表 3.2.4 職種のベテラン度合(H29 年度) (割合%)

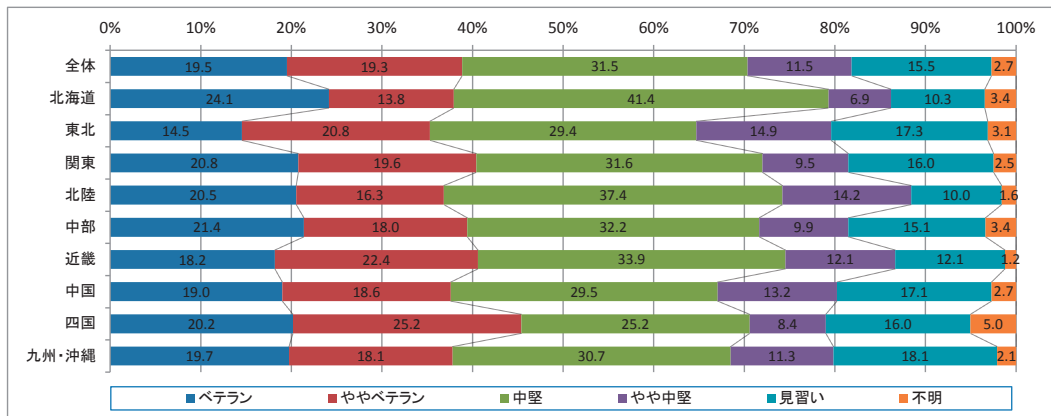


図 3.2.4 職種のベテラン度合(H29 年度)

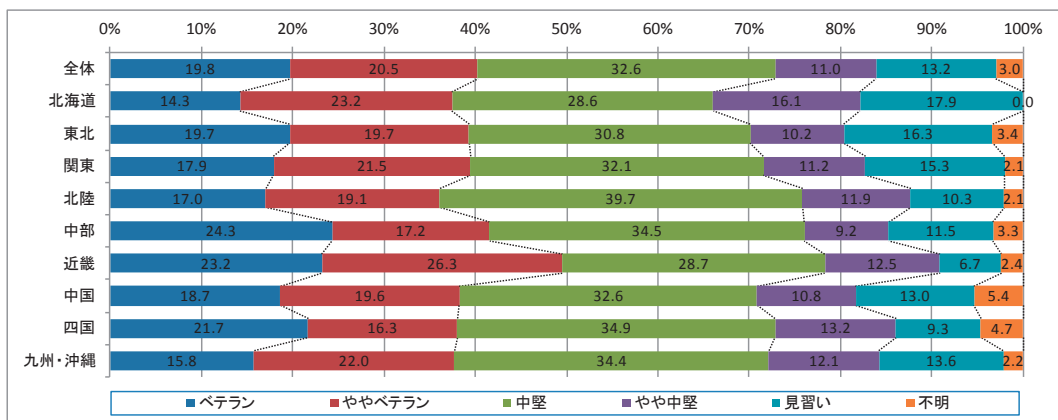


図 3.2.4# 職種のベテラン度合(H28 年度)

## (2) 雇用形態について

### ①雇用形態（工務店等との）

- ・「工務店社員」は「北海道(58.6%)」が最も大きい。次いで「東北(56.1%)」、「九州・沖縄(39.5%)」。
- ・「外注常用(日当制)」は「北海道(13.8%)」が最も大きい。次いで「中国(13.2%)」、「関東(11.7%)」。
- ・「外注常用(坪請主体)」は「中国(25.2%)」が最も大きい。次いで「四国(24.4%)」、「北陸(18.9%)」。
- ・「その都度契約」は「四国(5.9%)」が最も大きい。次いで「北陸(5.3%)」、「中国(5.0%)」。
- ・「元請として仕事」は「近畿(43.0%)」が最も大きい。次いで「中部(38.7%)」、「九州・沖縄(34.5%)」。
- ・「その他(アルバイト等)」は「四国(3.4%)」が最も大きい。次いで「近畿(1.8%)」、「九州・沖縄(1.7%)」。
- ・前回調査(H28年度)と比較して、「中国」では「外注常用(坪請主体)」が増加、「元請けとして仕事」が減少し、「外注常用(坪請主体)」が占める割合が高くなっている。また、「元請として仕事」は「北陸」で減少、「四国」で減少と他の雇用形態と比較して一部の地域で大きく減少している。

	合計	(6)あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常用(日当制)	外注常用(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明
全体	2147	37.5	10.5	12.8	3.4	30.7	1.0	4.0
地域								
北海道	29	58.6	13.8	6.9	0.0	10.3	0.0	10.3
東北	289	56.1	9.7	5.2	0.3	23.2	1.0	4.5
関東	443	36.3	11.7	12.0	3.4	32.1	0.5	4.1
北陸	190	38.9	6.3	18.9	5.3	26.3	0.5	3.7
中部	416	31.0	10.3	11.8	3.6	38.7	0.5	4.1
近畿	165	35.8	10.9	4.8	1.8	43.0	1.8	1.8
中国	258	30.6	13.2	25.2	5.0	19.8	1.2	5.0
四国	119	26.1	9.2	24.4	5.9	27.7	3.4	3.4
九州・沖縄	238	39.5	9.7	7.6	3.8	34.5	1.7	3.4

表 3.2.5 雇用形態(H29年度) (割合%)

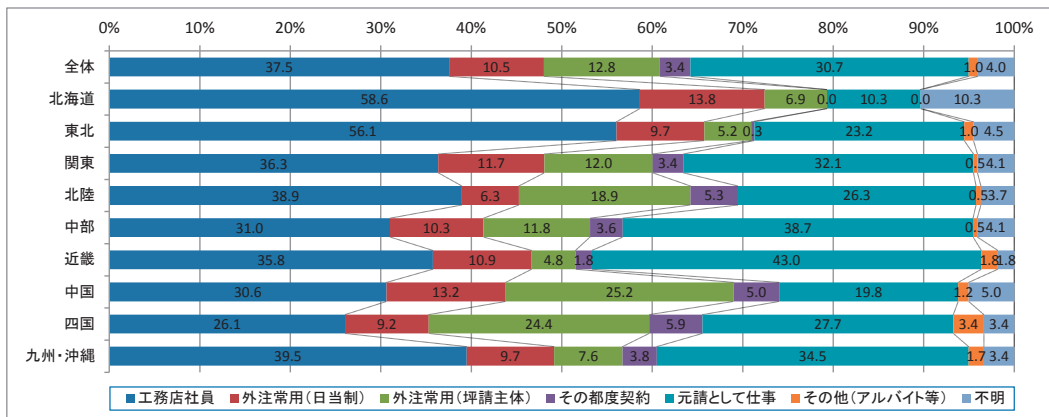


図 3.2.5 雇用形態(H29年度)

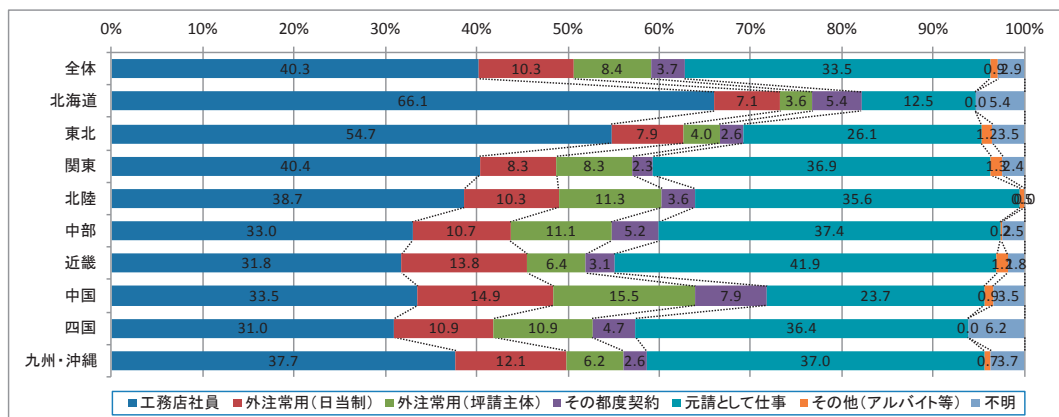


図 3.2.5# 雇用形態(H28年度)

## ②就業規則

- ・「有る」は「北海道（55.2%）」が最も大きい。次いで「東北（42.2%）」、「中国（30.2%）」。
- ・「無い」は「四国（58.0%）」が最も大きい。次いで「近畿（55.2%）」、「関東（54.6%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「有る」との回答は「北海道」、「近畿」、「中国」、「北陸」、「東北」で増加している。一方「関東」、「四国」、「九州・沖縄」「中部」で減少している。

	合計	(7)就業規則		
		有	無	不明
全体	2147	27.7	49.0	23.3
地域				
北海道	29	55.2	31.0	13.8
東北	289	42.2	35.3	22.5
関東	443	23.0	54.6	22.3
北陸	190	28.9	46.8	24.2
中部	416	25.5	51.0	23.6
近畿	165	24.2	55.2	20.6
中国	258	30.2	45.0	24.8
四国	119	16.0	58.0	26.1
九州・沖縄	238	23.9	51.3	24.8

表 3.2.6 就業規則(H29年度) (割合%)

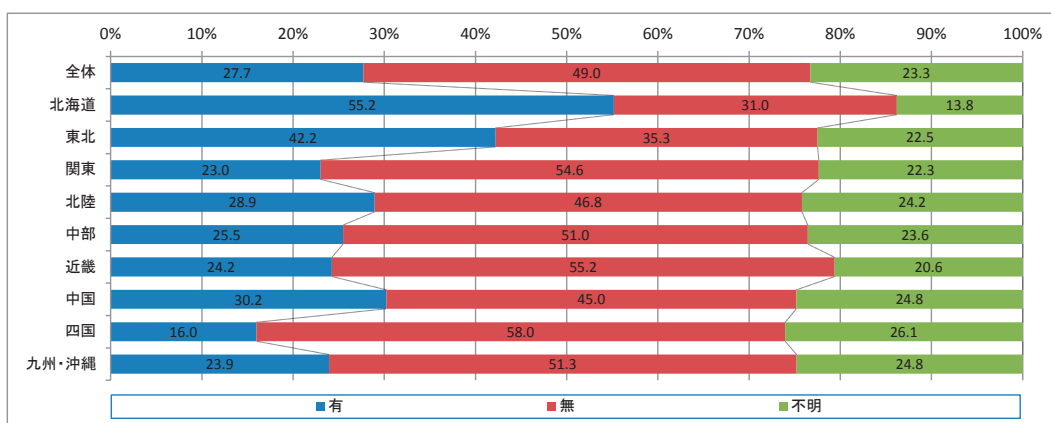


図 3.2.6 就業規則(H29年度)



図 3.2.6# 就業規則(H28年度)



### ③有給休暇

- ・「有る」は「北海道 (24.1%)」が最も大きい。次いで「東北 (20.1%)」、「九州・沖縄 (18.1%)」。
- ・「無い」は「四国 (65.5%)」が最も大きい。次いで「中国 (64.3%)」、「近畿 (63.3%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「有る」との回答は「九州・沖縄」、「近畿」、「中国」、「東北」で増加しているが、その他の地域では減少している。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	2147	14.8	60.6	24.6
地域				
北海道	29	24.1	58.6	17.2
東北	289	20.1	55.4	24.6
関東	443	13.3	61.4	25.3
北陸	190	12.6	57.4	30.0
中部	416	14.2	62.5	23.3
近畿	165	16.4	63.6	20.0
中国	258	12.4	64.3	23.3
四国	119	6.7	65.5	27.7
九州・沖縄	238	18.1	56.3	25.6

表 3.2.7 有給休暇(H29 年度) (割合%)

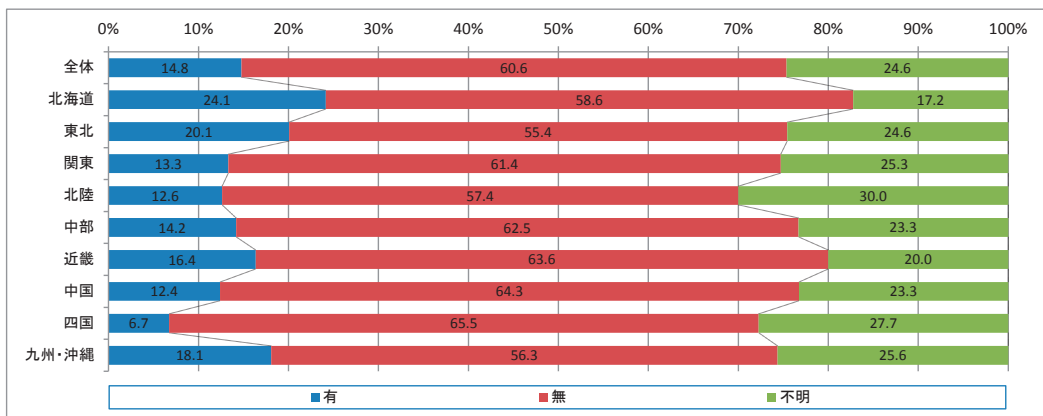


図 3.2.7 有給休暇(H29 年度)

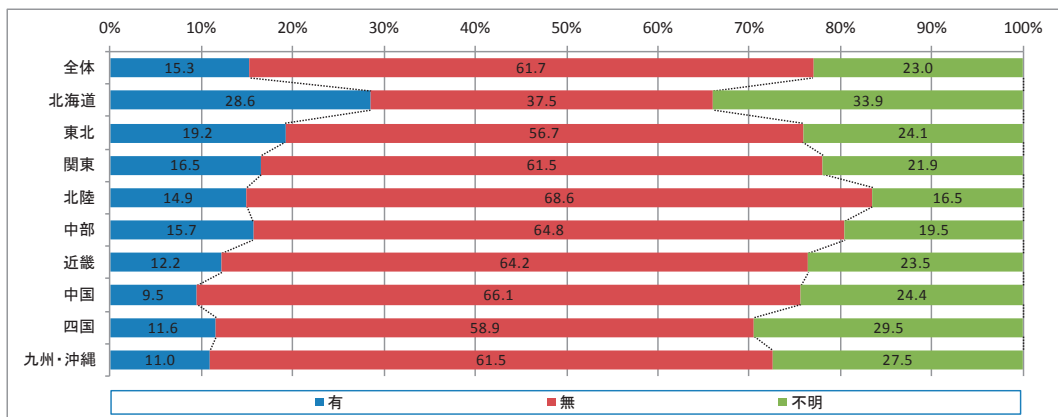


図 3.2.7# 有給休暇(H28 年度)

#### ④年間就業日数

- 平均年間就業日数は「中国（271.65日）」が最も多く、次いで「近畿（270.22日）」、「九州・沖縄（269.69日）」。
- 平均年間就業日数は「東北（250.10日）」が最も多く、次いで「北陸（253.67日）」、「関東（262.24日）」。
- 平均年間就業日数が最も多い地域と少ない地域では21.55日の差がみられた。また、平均年間就業日数が260日未満（年間休日105日）の地域は「東北」、「北陸」のみであった。
- 前回調査（H28年度）と比較して「四国」、「中国」、「九州・沖縄」では平均年間就業日数が増加しているが、その他の地域では減少している。

	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	
全体	2147	3.7	0.8	0.6	5.3	19.0	25.2	45.5	262.63
地域									
北海道	29	3.4	0.0	0.0	3.4	27.6	24.1	41.4	267.18
東北	289	5.2	0.0	1.0	6.9	21.1	17.6	48.1	250.10
関東	443	3.6	0.7	0.9	4.7	16.0	23.9	50.1	262.24
北陸	190	3.7	1.6	0.5	8.4	19.5	21.1	45.3	253.67
中部	416	4.8	0.5	0.5	4.8	23.8	26.2	39.4	262.25
近畿	165	1.8	2.4	0.0	3.6	16.4	30.9	44.8	270.22
中国	258	2.3	1.2	0.4	4.3	15.9	30.2	45.7	271.65
四国	119	4.2	0.8	0.0	7.6	17.6	26.9	42.9	263.50
九州・沖縄	238	2.5	0.4	0.4	4.2	18.5	27.7	46.2	269.69

表 3.2.8 年間就業日数(H29年度) (割合%)

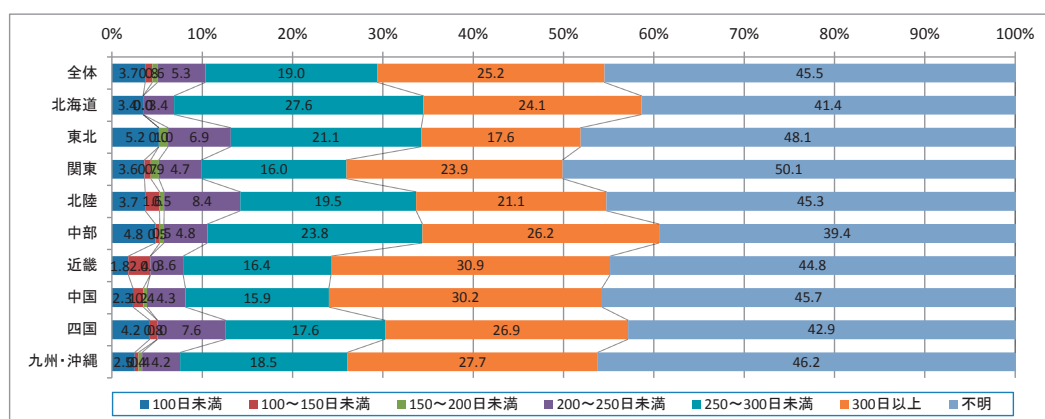


図 3.2.8 年間就業日数(H29年度)

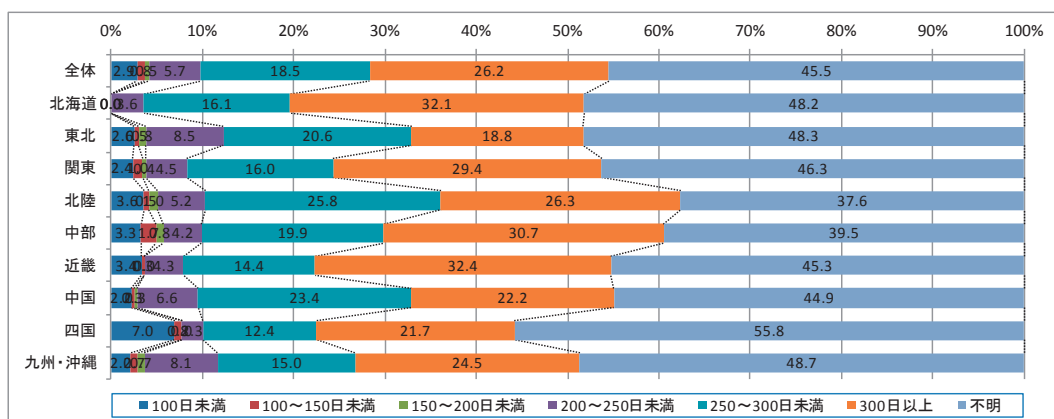


図 3.2.8#年間就業日数(H28年度)

## ⑤保険等について

### 1) 年金保険

- ・「厚生年金」、「国民年金」、「企業年金」の合計値が最も大きいのは「北海道 (93.1%)」。次いで「近畿 (92.7%)」、「中部 (92.6%)」。
- ・「厚生年金」、「国民年金」、「企業年金」の合計値が最も小さいのは「中国 (84.5%)」。次いで「九州・沖縄 (85.4%)」、「東北 (86.7%)」。
- ・「厚生年金」は「北海道 (51.7%)」が最も大きい。次いで「東北 (41.5%)」、「近畿 (37.0%)」。
- ・「国民年金」は「中部 (61.5%)」が最も大きい。次いで「四国 (60.5%)」、「北陸 (57.4%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「四国」で「国民年金」との回答が増加している。

	合計	(10-1)加入している年金			
		厚生年金	国民年金	企業年金	不明
全体	2147	33.0	54.4	1.0	13.8
地域					
北海道	29	51.7	41.4	0.0	13.8
東北	289	41.5	44.3	1.0	14.9
関東	443	31.6	54.4	0.7	14.9
北陸	190	32.6	57.4	0.5	10.0
中部	416	29.6	61.5	1.2	11.8
近畿	165	37.0	53.9	1.8	9.7
中国	258	28.7	55.4	0.4	17.4
四国	119	26.9	60.5	2.5	13.4
九州・沖縄	238	34.5	49.6	1.3	16.0

表 3.2.9 年金保険(H29 年度) (割合%)

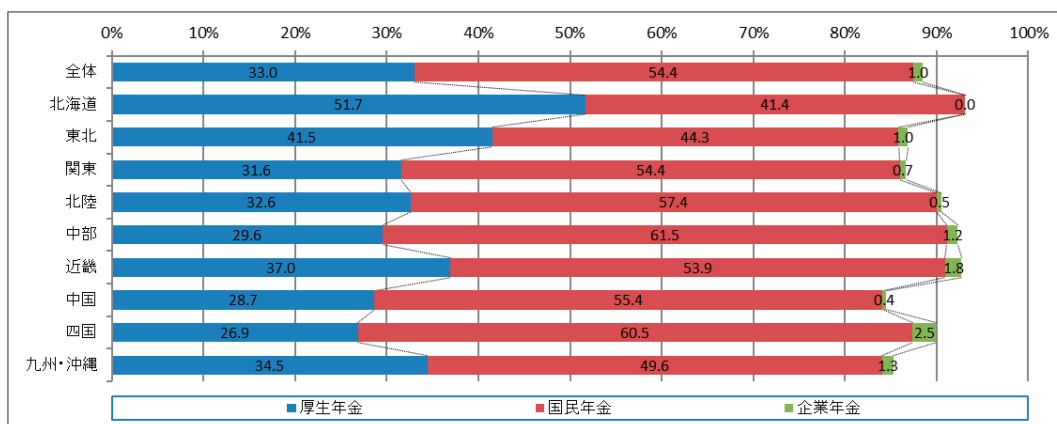


図 3.2.9 年金保険(H29 年度)

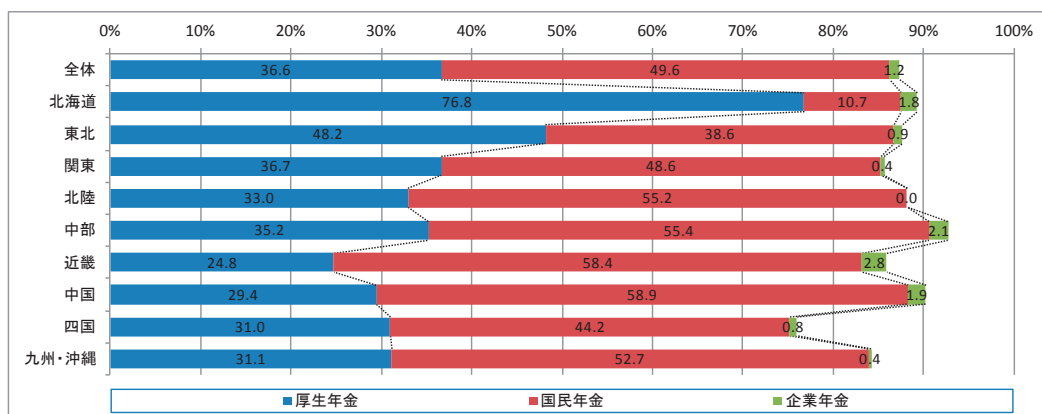


図 3.2.9# 年金保険(H28 年度)

## 2) 労働保険

- ・「雇用保険」は「北海道 (58.6%)」が最も大きい。次いで「東北 (35.6%)」、「九州・沖縄 (24.4%)」。
- ・「労災保険」は「近畿 (38.2%)」が最も大きい。次いで「関東 (34.8%)」、「中部 (32.7%)」。
- ・「一人親方労災保険」は「中部 (39.7%)」が最も大きい。次いで「中国 (34.1%)」、「北陸 (33.7%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「雇用保険」、「労災保険」、「一人親方労災保険」の合計値は「四国」が最も小さかった。

	合計	(10-2)加入している労働保険			
		雇用保険	労災保険	一人親方 労災保険	不明
全体	2147	21.0	30.7	29.2	30.0
地域					
北海道	29	58.6	31.0	20.7	13.8
東北	289	35.6	30.1	16.3	33.6
関東	443	13.8	34.8	27.1	32.7
北陸	190	19.5	28.9	33.7	25.8
中部	416	17.3	32.7	39.7	23.6
近畿	165	19.4	38.2	26.1	31.5
中国	258	22.9	22.5	34.1	28.7
四国	119	10.1	18.5	31.9	41.2
九州・沖縄	238	24.4	31.5	23.5	31.9

表 3.2.10 労働保険(H29 年度) (割合%)

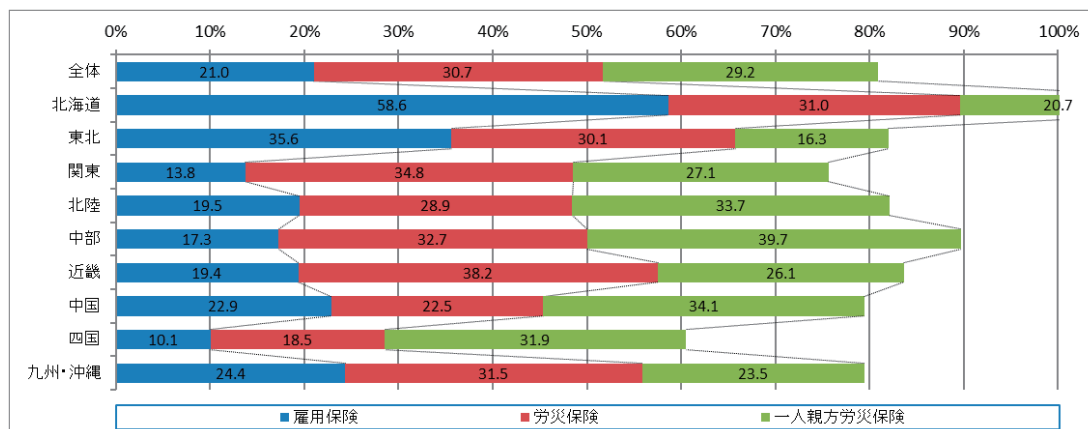


図 3.2.10 労働保険(H29 年度)

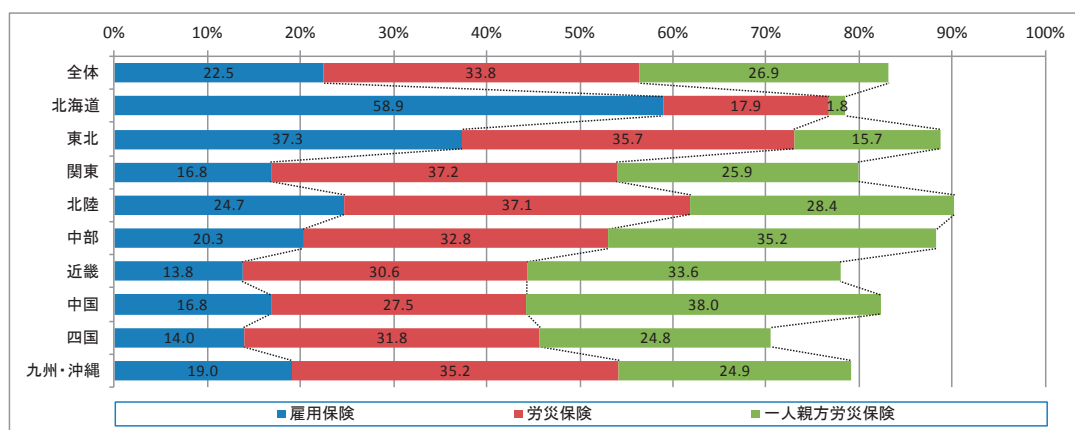


図 3.2.10 労働保険(H28 年度)

### 3) 健康保険

- ・「国民健康保険」は「中部（34.6%）」が最も大きい。次いで「関東（34.1%）」、「近畿（30.9%）」。
- ・「組合健康保険（建設国保）」は「北海道（48.3%）」が最も大きい。次いで「中国（47.3%）」、「北陸（45.8%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「国民健康保険」は「中国」で大きく増加している。また「組合健康保険（建設国保）」は「四国」で大きく増加している。

	合計	(10-3)加入している健康保険				
		国民健康保険	組合健康保険(建設国保)	組合保険(建設国保以外)	その他の健康保険	不明
全体	2147	29.4	35.6	3.0	4.1	28.6
地域						
北海道	29	24.1	48.3	6.9	3.4	17.2
東北	289	25.3	28.0	4.5	3.8	39.1
関東	443	34.1	31.6	3.2	4.5	26.9
北陸	190	15.3	45.8	3.7	4.7	31.1
中部	416	34.6	36.8	2.2	3.4	23.8
近畿	165	30.9	30.3	4.8	4.2	31.5
中国	258	29.1	47.3	0.0	3.5	21.3
四国	119	26.1	37.0	0.8	2.5	33.6
九州・沖縄	238	29.8	30.7	4.2	5.5	29.8

表 3.2.11 健康保険(H29年度) (割合%)

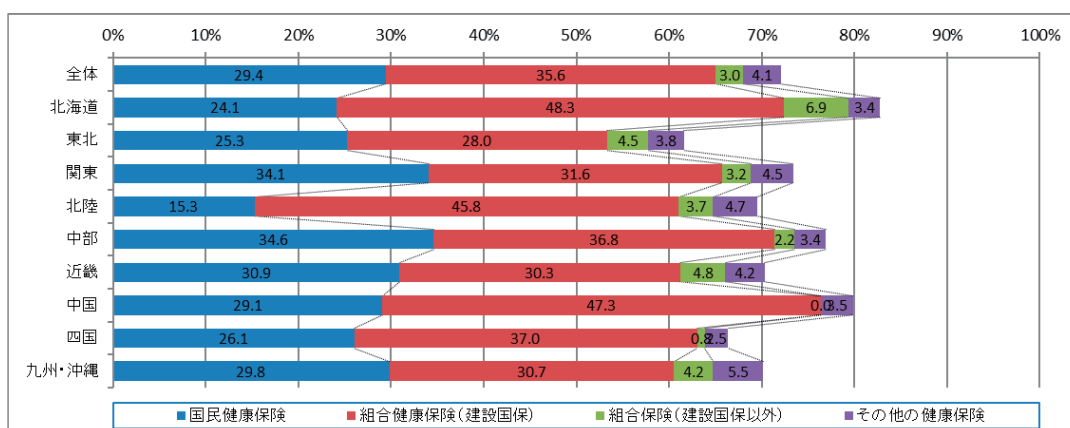


図 3.2.11 健康保険(H29年度)

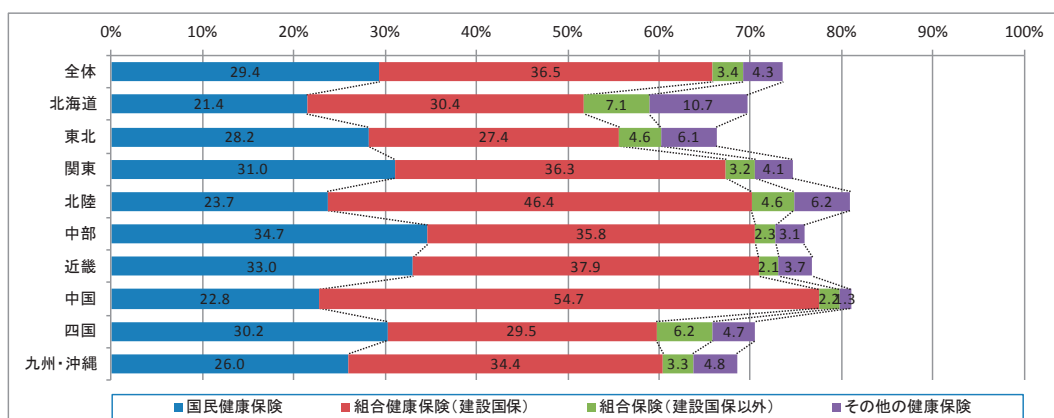


図 3.2.11# 健康保険(H28年度)

### ⑥賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・自己負担するものの割合の合計値は「四国（327.7%）」が最も大きい。次いで「中国（305.1%）」、「北陸（284.3%）」。一方最も小さい合計値は「近畿（215.8%）」。
- ・「全て所属する工務店等が負担」は「中部（19.2%）」が最も大きい。次いで「近畿（18.2%）」、「関東（16.3%）」。一方最も小さい地域は「四国（5.0%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(1)自己負担となっているもの						不明
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	
全体	2147	69.2	63.4	25.2	51.9	51.7	14.4	9.0
地域								
北海道	29	75.9	75.9	3.4	41.4	48.3	6.9	17.2
東北	289	77.2	69.6	9.7	51.9	50.5	8.0	7.6
関東	443	68.6	58.2	25.3	47.6	49.4	16.3	8.1
北陸	190	71.6	69.5	32.1	55.8	55.3	12.6	7.4
中部	416	64.7	59.4	28.6	51.7	51.7	19.2	11.1
近畿	165	57.6	55.2	19.4	43.0	40.6	18.2	13.3
中国	258	72.5	69.8	39.9	62.0	60.9	15.5	5.4
四国	119	78.2	77.3	36.1	68.1	68.1	5.0	7.6
九州・沖縄	238	66.0	58.0	17.6	45.4	44.1	13.4	10.9

表 3.2.12 自己負担となっているもの(H29年度) (割合%)

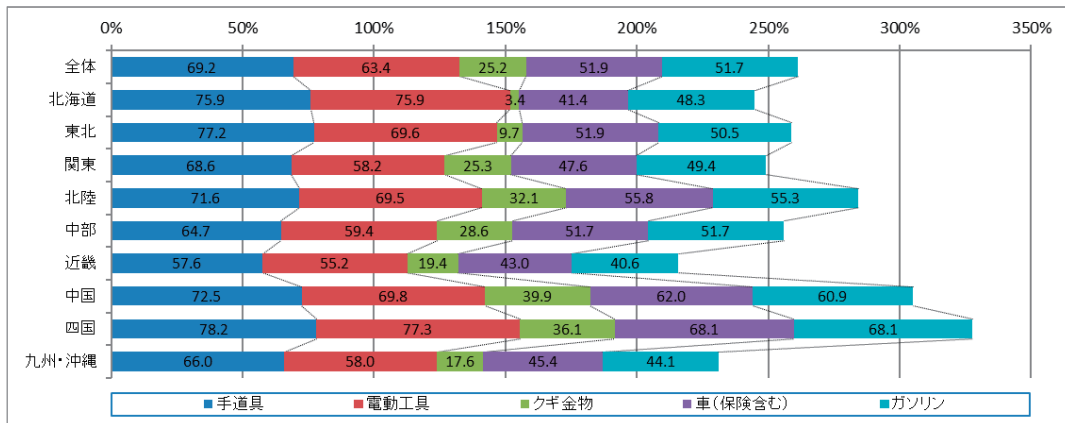


図 3.2.12 自己負担となっているもの(H29年度)

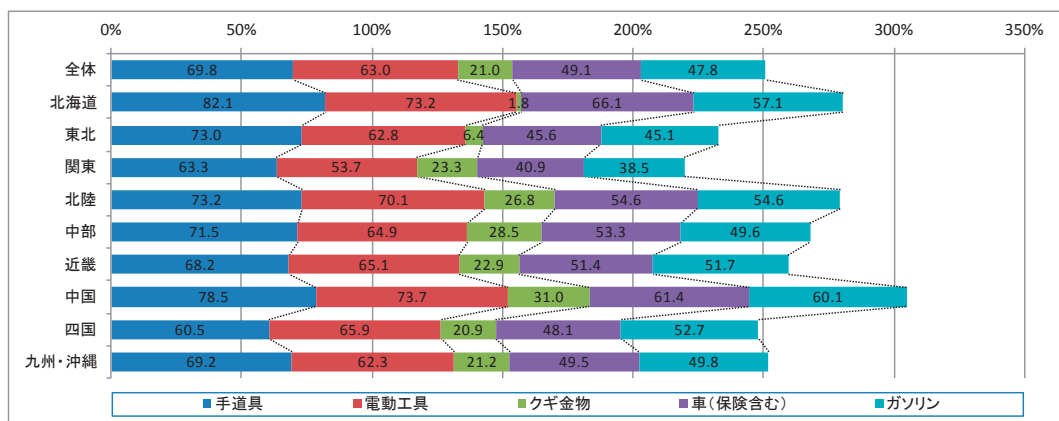


図 3.2.12# 自己負担となっているもの(H28年度)

⑦おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・平均賃金は「近畿（17,013円）」が最も高く、「東北（12,611円）」が最も低い。
- ・「10,000～15,000円未満」は「東北（56.4%）」が最も大きい。次いで「北海道（44.8%）」、「九州・沖縄（40.8%）」。
- ・「15,000～20,000円未満」は「中部（45.0%）」が最も大きい。次いで「近畿（41.8%）」、「四国（41.2%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して、総じて「8,000～10,000円未満」が減少し、より高額な賃金帯の割合が高くなっている。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金						
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明
全体	2147	6.7	8.4	31.2	35.2	10.0	3.4	5.1
地域								
北海道	29	3.4	17.2	44.8	17.2	3.4	3.4	10.3
東北	289	8.0	12.8	56.4	11.4	2.1	1.0	8.3
関東	443	5.9	7.9	24.6	37.7	15.3	2.7	5.9
北陸	190	4.2	8.4	38.9	34.7	8.4	2.1	3.2
中部	416	7.0	5.5	20.2	45.0	14.7	3.8	3.8
近畿	165	3.6	7.9	18.2	41.8	16.4	8.5	3.6
中国	258	8.1	7.8	21.7	40.7	10.1	6.6	5.0
四国	119	8.4	5.9	36.1	41.2	0.8	3.4	4.2
九州・沖縄	238	8.0	10.1	40.8	31.5	3.8	1.3	4.6

表 3.2.13 1日あたりのおおよその賃金(H29年度) (割合%)

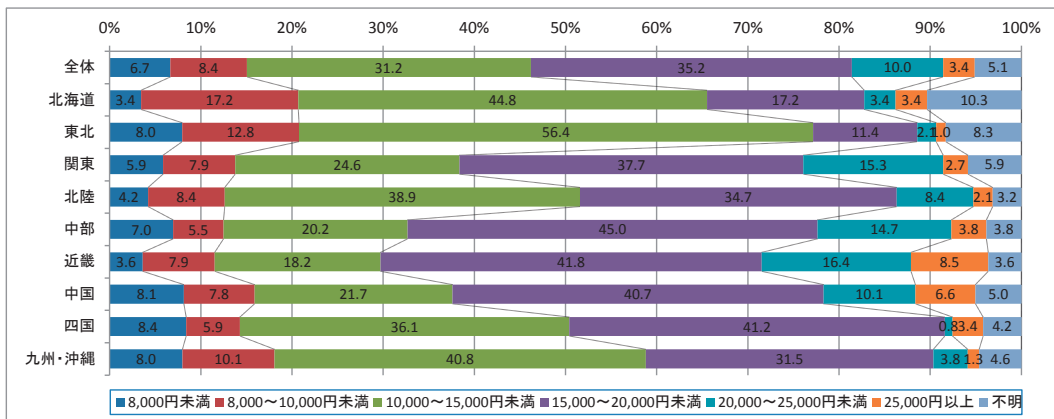


図 3.2.13 1日あたりのおおよその賃金(H29年度)

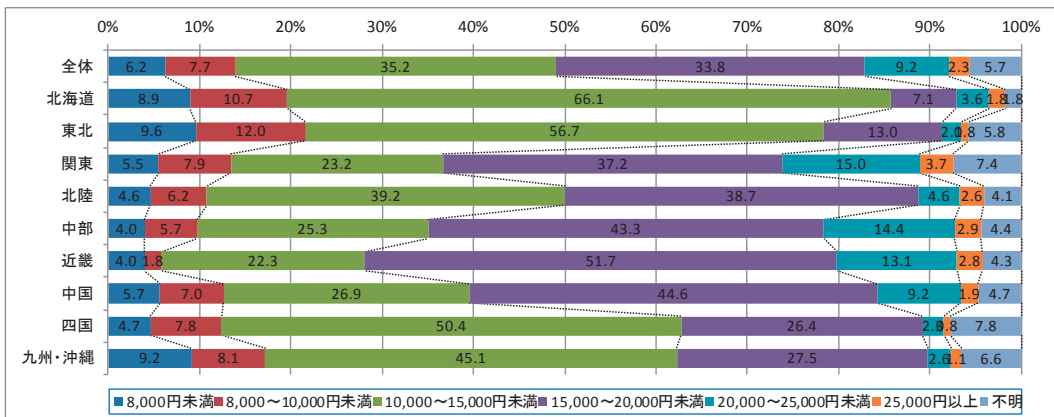


図 3.2.13# 1日あたりのおおよその賃金(H28年度)

### (3) 資格や技能について

#### ①持っている資格

- ・持っている資格の割合の合計値は「北海道（331.0%）」が最も大きい、「四国（196.7%）」が最も小さい。
- ・「北海道」では、他地域と比較して「クレーン運転技能講習修了者」の割合が大きい。
- ・前回調査（H28年度）と比較して各地域の合計値に増減はある。また、前回調査でも「四国」は最も小さい結果であったが、今年度調査では合計値が大きくなっている。

地域	合計	(13)お持ちの資格													
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者
全体	2147	4.7	27.2	2.4	4.2	12.4	22.2	1.9	9.9	6.7	39.8	39.8	45.2	16.9	9.8
北海道	29	10.3	20.7	0.0	6.9	10.3	37.9	13.8	13.8	3.4	58.6	48.3	55.2	37.9	13.8
東北	289	2.4	20.1	2.4	2.1	12.8	29.1	1.7	15.6	4.8	37.0	39.4	51.2	24.6	7.3
関東	443	4.3	27.5	2.0	2.3	12.4	19.0	1.1	7.9	9.9	36.6	32.5	35.9	14.0	9.0
北陸	190	5.3	32.6	3.7	2.1	12.1	21.1	0.5	9.5	4.7	45.8	55.3	57.9	17.9	17.9
中部	416	5.3	27.9	1.7	3.1	12.3	29.8	1.9	18.3	5.8	44.2	42.8	54.1	21.4	18.0
近畿	165	9.7	31.5	3.6	13.3	17.0	14.5	1.8	2.4	9.1	35.8	28.5	29.1	12.7	6.7
中国	258	2.7	22.1	3.5	3.9	8.1	14.0	3.9	3.9	4.7	46.5	49.6	55.8	12.0	5.0
四国	119	5.0	32.8	1.7	3.4	7.6	16.0	0.8	0.8	5.0	36.1	42.9	32.8	7.6	4.2
九州・沖縄	238	4.6	30.7	2.1	8.0	16.8	22.7	1.7	8.4	7.6	31.9	30.7	34.5	14.3	3.4

表 3.2.14 持っている資格(H29年度) (割合%)

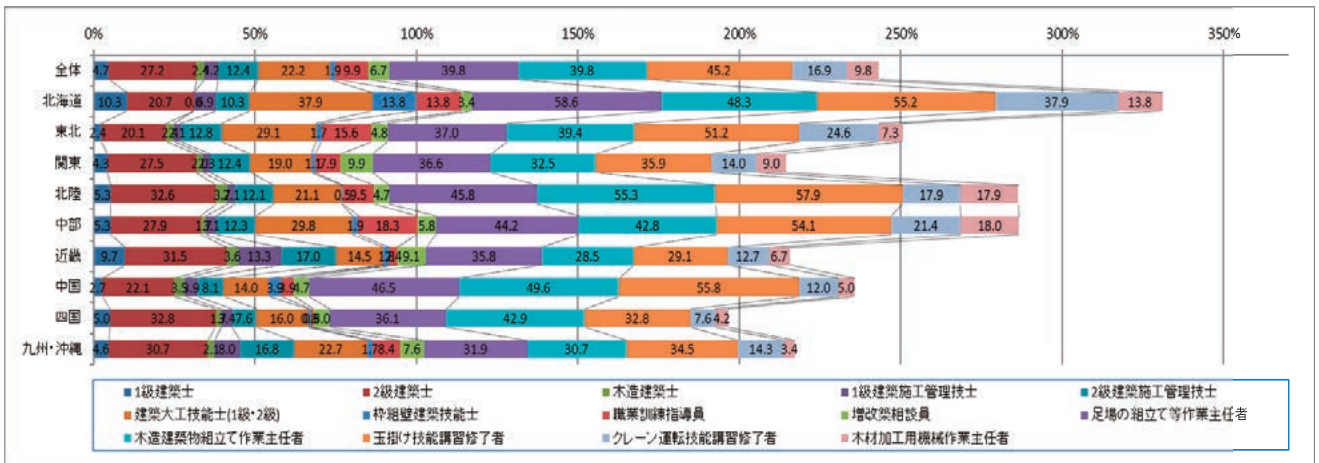


図 3.2.14 持っている資格(H29年度)

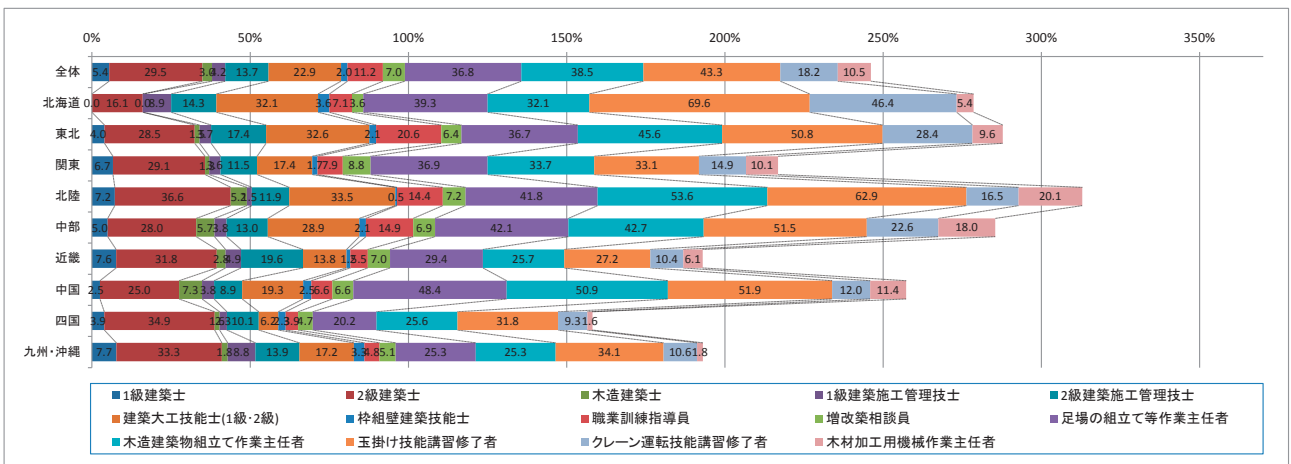


図 3.2.14# 持っている資格(H28年度)



②大工職のみ回答 墨付けができますか。

- ・「はい」は「中部（73.8%）」が最も大きい。次いで「北陸（71.1%）」、「東北（69.2%）」。
- ・「いいえ」は「中国（29.8%）」が最も大きい。次いで「関東（20.3%）」、「北陸（18.9%）」。
- ・前回調査（H28 年度）と比較して、「東北」、「関東」を除く地域で「はい」が減少している。また「北海道」、「東北」、「九州・沖縄」を除く地域で「いいえ」が増加している。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	2147	67.8	19.0	13.2	
地域	北海道	29	58.6	6.9	34.5
	東北	289	69.2	16.3	14.5
	関東	443	68.6	20.3	11.1
	北陸	190	71.1	18.9	10.0
	中部	416	73.8	16.8	9.4
	近畿	165	66.7	15.8	17.6
	中国	258	57.0	29.8	13.2
	四国	119	68.1	16.8	15.1
	九州・沖縄	238	64.7	17.2	18.1

表 3.2.15 墨付け(H29 年度) (割合%)

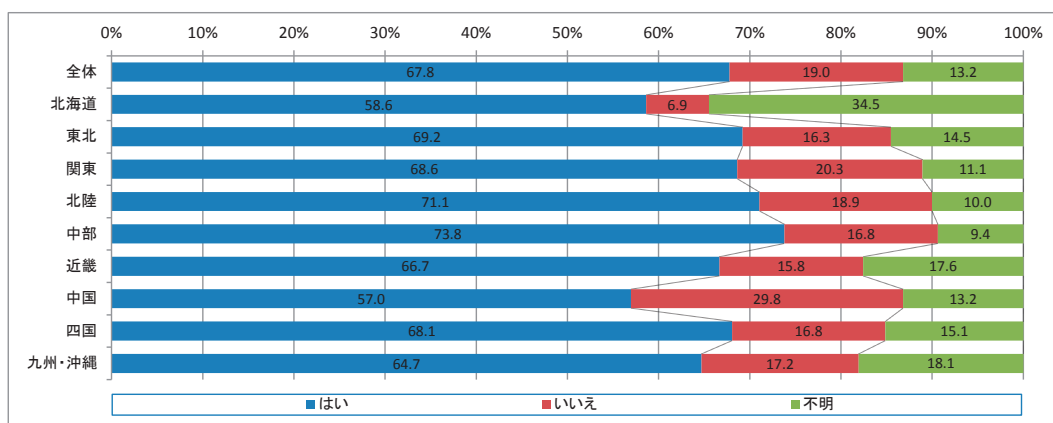


図 3.2.15 墨付け(H29 年度)

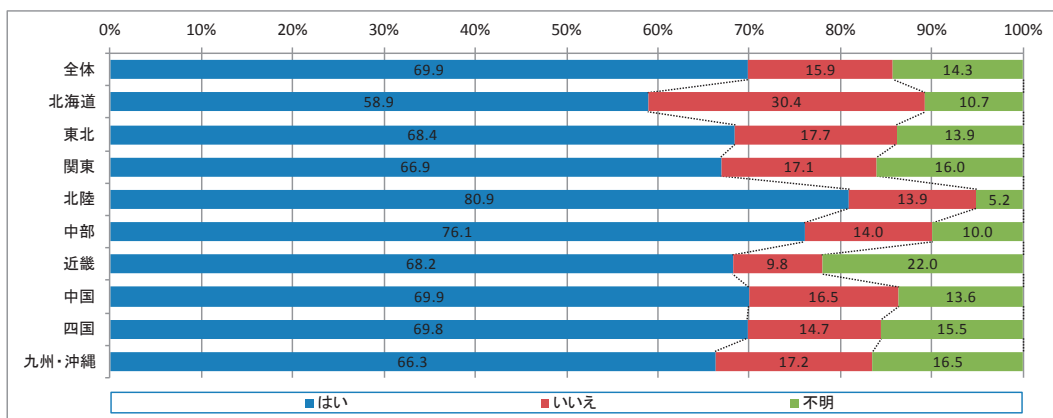


図 3.2.15# 墨付け(H28 年度)

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事年1棟以上行っていますか。(新築)

- ・「はい」は「東北 (28.4%)」が最も大きい。次いで「北海道 (27.6%)」、「四国 (24.4%)」。
- ・「いいえ」は「中国 (74.4%)」が最も大きい。次いで「関東 (72.7%)」、「北陸 (71.6%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「東北」、「近畿」、「四国」で「はい」の割合が増加している。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	19.3	66.6	14.1
地域				
北海道	29	27.6	37.9	34.5
東北	289	28.4	55.7	15.9
関東	443	14.2	72.7	13.1
北陸	190	17.9	71.6	10.5
中部	416	20.7	70.4	8.9
近畿	165	20.0	60.0	20.0
中国	258	12.0	74.4	13.6
四国	119	24.4	59.7	16.0
九州・沖縄	238	20.2	60.9	18.9

表 3.2.16 手刻み加工の仕事 (新築) (H29 年度) (割合%)

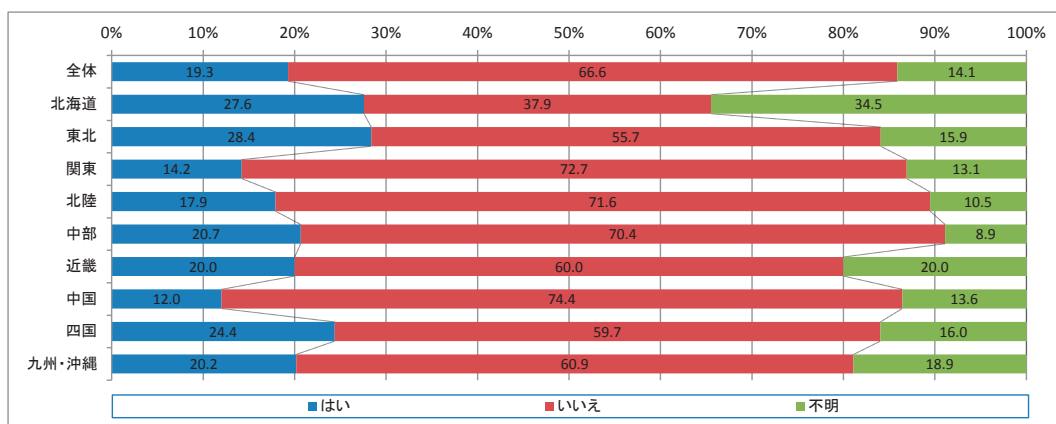


図 3.2.16 手刻み加工の仕事 (新築) (H29 年度)

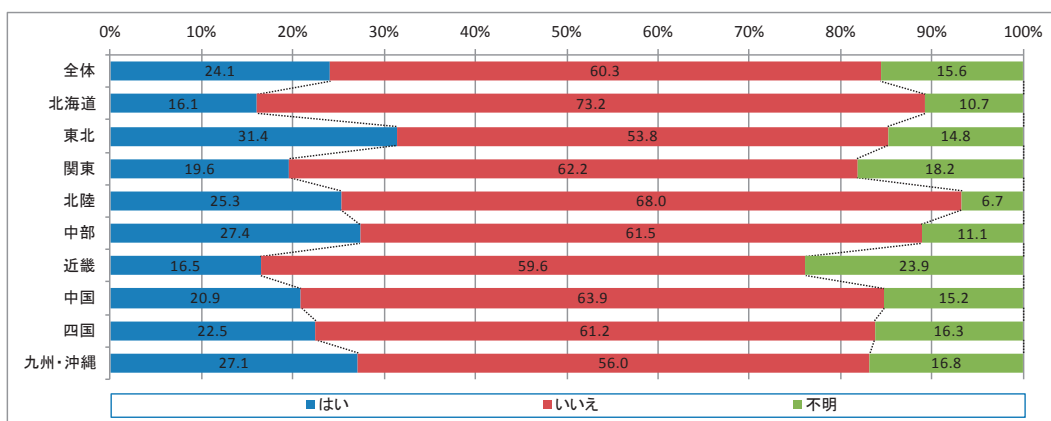


図 3.2.16# 手刻み加工の仕事 (新築) (H28 年度)

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

- ・「はい」は「東北 (48.1%)」が最も大きい。次いで「近畿 (47.3%)」、「九州・沖縄 (46.6%)」。
- ・「いいえ」は「中国 (54.7%)」が最も大きい。次いで「関東 (52.4%)」、「北陸 (50.0%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「中国」における「はい」が大きく減少している。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	41.3	44.4	14.3
地域				
北海道	29	34.5	31.0	34.5
東北	289	48.1	36.0	15.9
関東	443	35.2	52.4	12.4
北陸	190	38.4	50.0	11.6
中部	416	45.9	44.7	9.4
近畿	165	47.3	33.9	18.8
中国	258	31.0	54.7	14.3
四国	119	41.2	41.2	17.6
九州・沖縄	238	46.6	34.5	18.9

表 3.2.17 手刻み加工の仕事 (増改築) (H29 年度) (割合%)

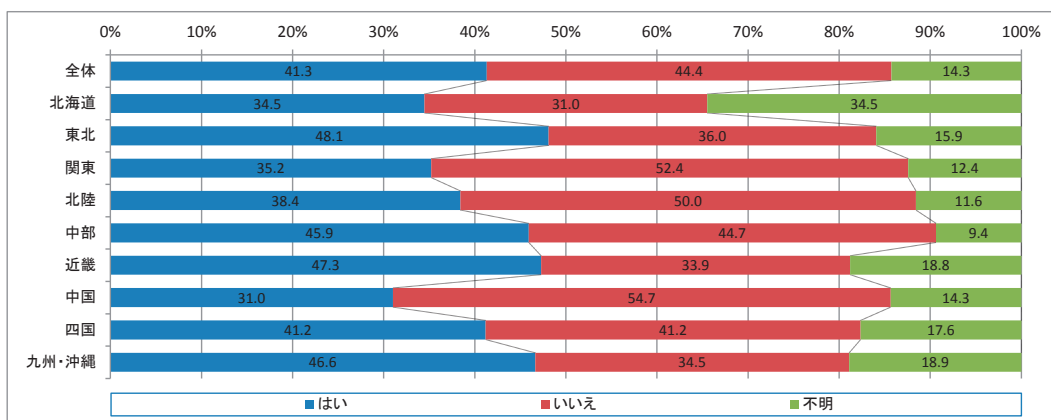


図 3.2.17 手刻み加工の仕事 (増改築) (H29 年度)

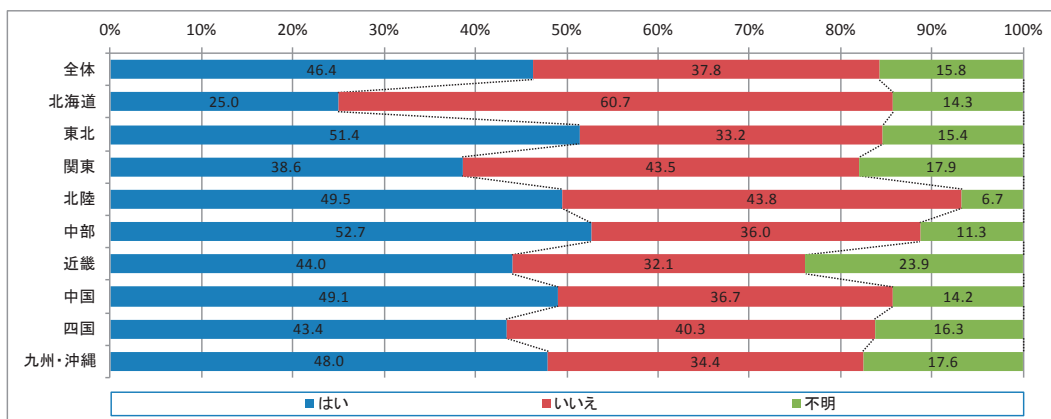


図 3.2.17# 手刻み加工の仕事 (増改築) (H28 年度)

⑤ **大工職のみ回答** 和室造作ができますか。

- ・「はい」は「中部（70.2%）」が最も大きい。次いで「北陸（67.9%）」、「四国（61.3%）」。
- ・「いいえ」は「中国（31.0%）」が最も大きい。次いで「東北（28.0%）」、「関東（27.1%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「北海道」、「関東」を除く地域で「はい」が減少している。

	合計	(14)④和室造作ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	2147	61.3	24.9	13.8	
地域	北海道	29	48.3	17.2	34.5
	東北	289	56.1	28.0	15.9
	関東	443	60.9	27.1	12.0
	北陸	190	67.9	21.1	11.1
	中部	416	70.2	20.7	9.1
	近畿	165	58.8	21.2	20.0
	中国	258	55.8	31.0	13.2
	四国	119	61.3	21.8	16.8
	九州・沖縄	238	56.7	26.1	17.2

表 3.2.18 和室造作(H29年度) (割合%)

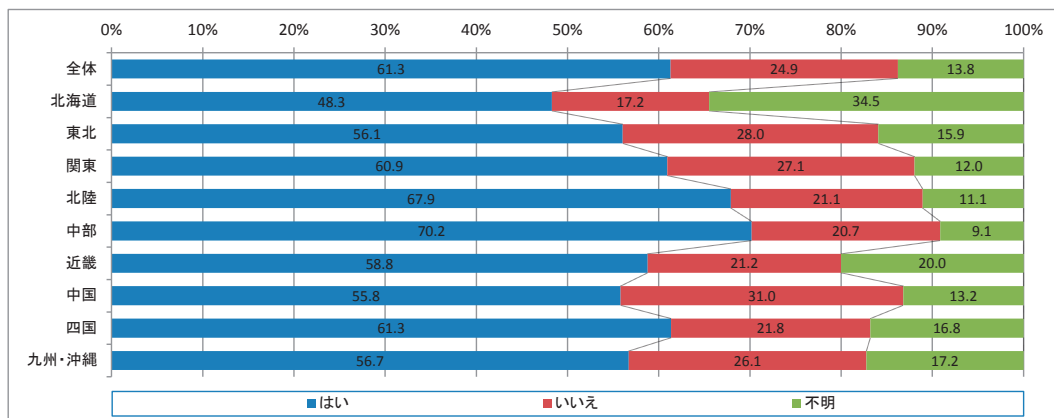


図 3.2.18 和室造作(H29年度)

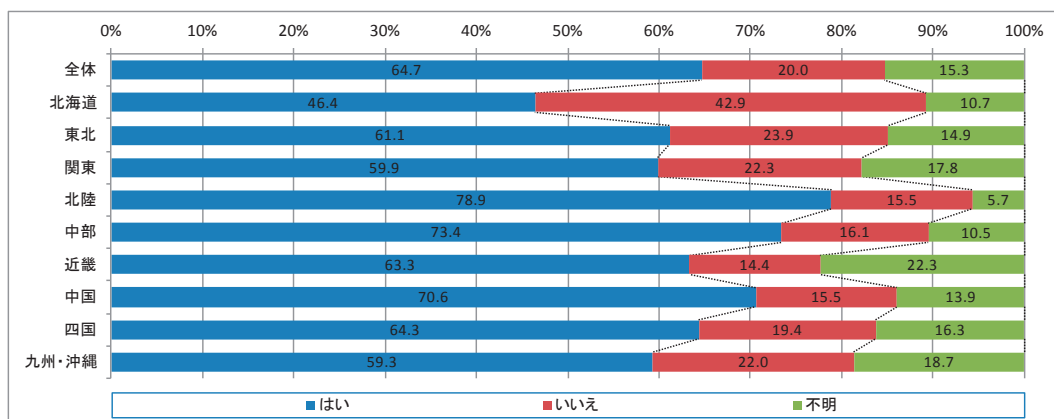


図 3.2.18# 和室造作(H28年度)

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

- ・「はい」は「北海道 (37.9%)」が最も大きい。次いで「四国 (33.6%)」、「中国 (32.2%)」。
- ・「いいえ」は「中部 (61.3%)」が最も大きい。次いで「関東 (60.5%)」、「北陸 (60.5%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工 ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	26.7	57.8	15.4
地域				
北海道	29	37.9	27.6	34.5
東北	289	26.6	57.4	15.9
関東	443	25.5	60.5	14.0
北陸	190	24.7	60.5	14.7
中部	416	27.9	61.3	10.8
近畿	165	20.6	57.0	22.4
中国	258	32.2	53.5	14.3
四国	119	33.6	48.7	17.6
九州・沖縄	238	22.3	58.8	18.9

表 3.2.19 2×4 工法の住宅の施工(H29 年度) (割合%)

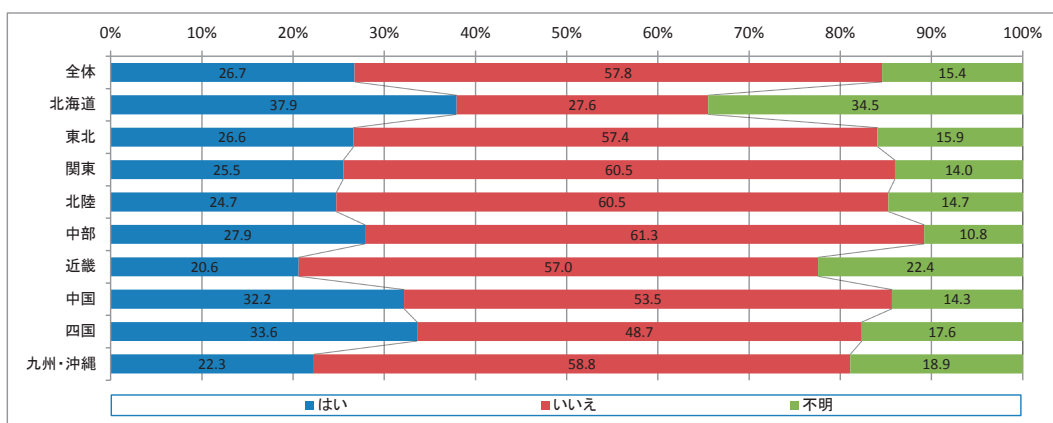


図 3.2.19 2×4 工法の住宅の施工(H29 年度)

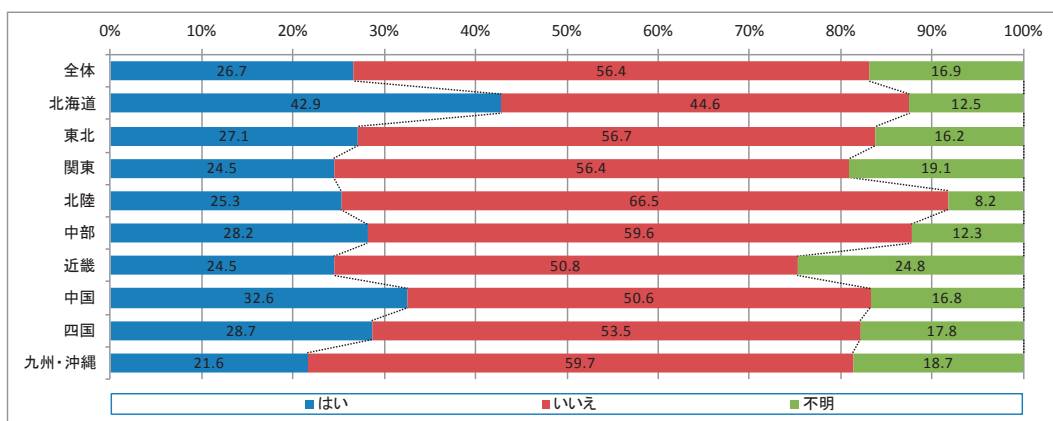


図 3.2.19# 2×4 工法の住宅の施工(H28 年度)

#### (4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

##### ①現在の仕事の内容について満足していますか。

- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「九州・沖縄 (70.6%)」が最も大きい。次いで「中部 (68.3%)」、「四国 (66.7%)」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「北陸 (41.1%)」が最も大きい。次いで「中国 (33.3%)」、「近畿 (31.5%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値が大きく変動している地域は「北陸」で減少、「九州・沖縄」で増加であった。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	2147	10.2	51.8	22.3	5.6	10.1
地域						
北海道	29	17.2	44.8	6.9	0.0	31.0
東北	289	8.0	56.1	20.4	3.8	11.8
関東	443	7.9	51.2	25.1	5.6	10.2
北陸	190	8.4	43.7	33.2	7.9	6.8
中部	416	12.7	55.5	19.0	6.5	6.3
近畿	165	9.1	46.1	24.8	6.7	13.3
中国	258	8.9	47.3	26.0	7.4	10.5
四国	119	13.4	53.8	20.2	4.2	8.4
九州・沖縄	238	14.3	56.3	13.9	2.9	12.6

表 3.2.20 仕事の内容についての満足度(H29 年度) (割合%)

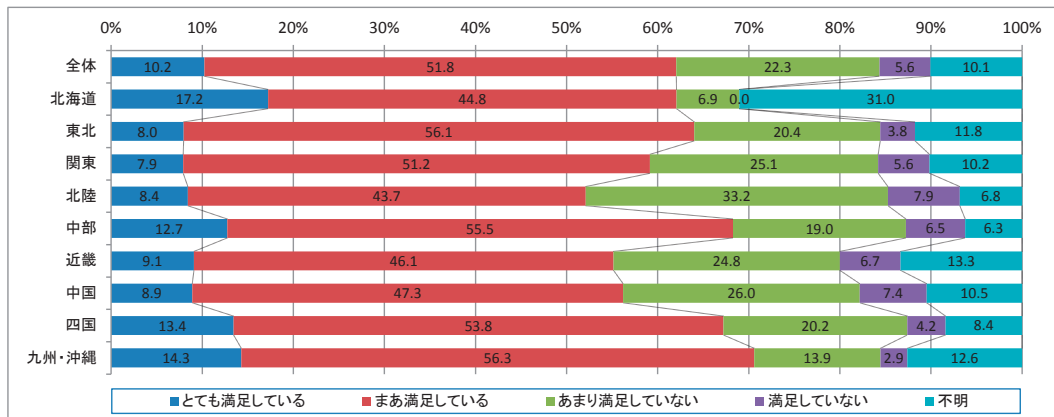


図 3.2.20 仕事の内容についての満足度(H29 年度)

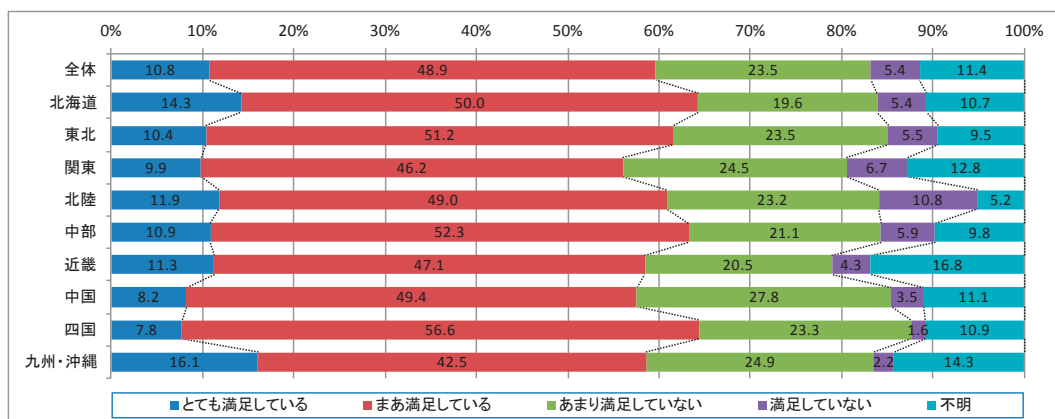


図 3.2.20# 仕事の内容についての満足度(H28 年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「九州・沖縄（45.4%）」が最も大きい。次いで「四国（45.3%）」、「北海道（44.8%）」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「北陸（59.5%）」が最も大きい。次いで「中国（56.2%）」、「関東（56.0%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値が大きく変動している地域は「四国」、「九州・沖縄」で増加、「北海道」で減少であった。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	2147	3.9	34.9	35.5	15.4	10.3
地域						
北海道	29	6.9	37.9	20.7	3.4	31.0
東北	289	3.5	35.6	35.6	12.8	12.5
関東	443	2.7	31.2	38.6	17.4	10.2
北陸	190	4.2	30.0	36.8	22.6	6.3
中部	416	3.8	37.5	35.1	15.9	7.7
近畿	165	4.8	38.2	29.1	14.5	13.3
中国	258	3.1	30.6	38.4	17.8	10.1
四国	119	5.0	40.3	35.3	10.9	8.4
九州・沖縄	238	5.9	39.5	32.8	9.7	12.2

表 3.2.21 収入等についての満足度(H29年度) (割合%)

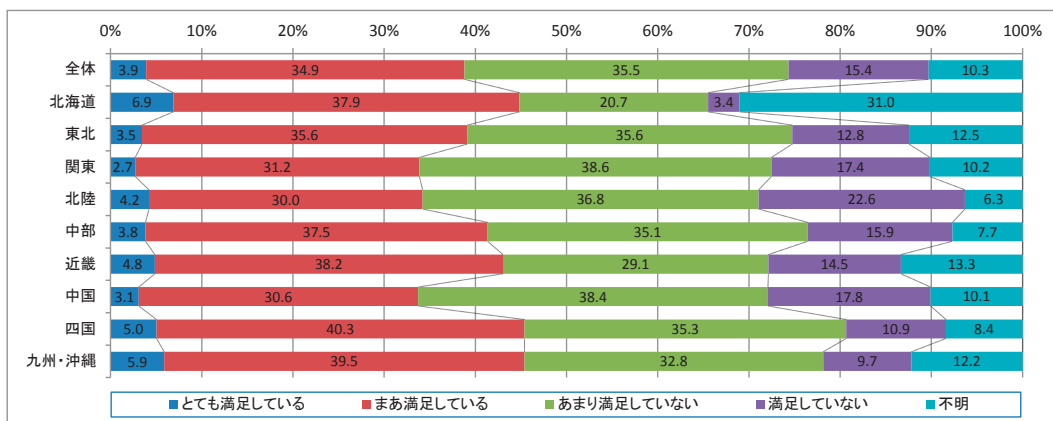


図 3.2.21 収入等についての満足度(H29年度)

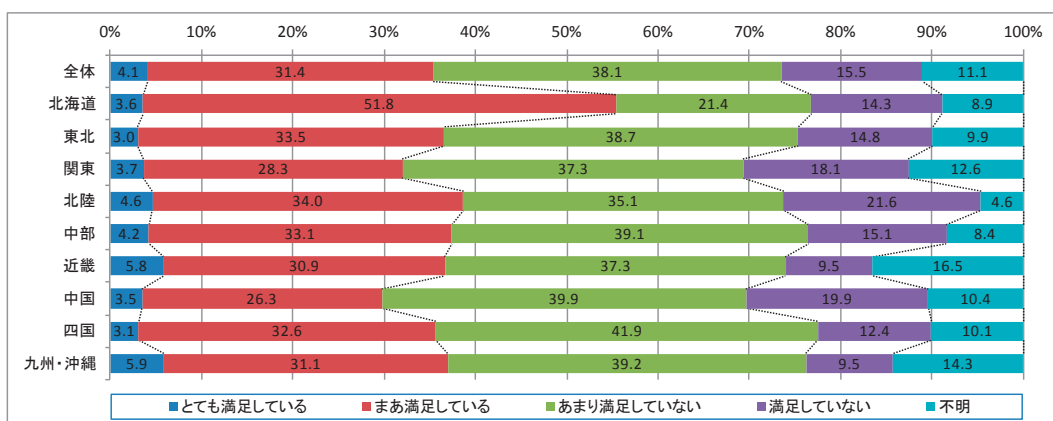


図 3.2.21# 収入等についての満足度(H28年度)

### ③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

- ・「仕事ができる限り続ける」は「中部（56.7%）」が最も大きい。次いで「関東（51.5%）」、「東北（51.2%）」であった。
- ・各地域に共通して「仕事ができる限り続ける」が最も大きい。次いで「65歳で引退する」、「70歳で引退する」となっている。
- ・前回調査（H28年度）と比較して各地域とも各選択肢における割合の変動はあるものの、回答の構成について総じて大きな変化はない。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	2147	7.6	14.6	13.0	3.2	49.7	1.1	10.8
地域								
北海道	29	10.3	17.2	6.9	3.4	31.0	0.0	31.0
東北	289	8.3	13.8	10.7	0.7	51.2	1.7	13.5
関東	443	6.1	12.6	13.5	5.6	51.5	0.2	10.4
北陸	190	8.9	20.5	19.5	3.2	38.9	1.6	7.4
中部	416	6.5	11.8	14.4	2.6	56.7	0.7	7.2
近畿	165	10.3	16.4	11.5	1.2	45.5	2.4	12.7
中国	258	8.5	15.5	9.3	2.7	50.8	1.9	11.2
四国	119	8.4	17.6	16.8	5.0	41.2	0.8	10.1
九州・沖縄	238	7.1	15.5	11.3	3.4	49.2	0.4	13.0

表 3.2.22 何歳まで仕事を続ける予定か(H29年度) (割合%)

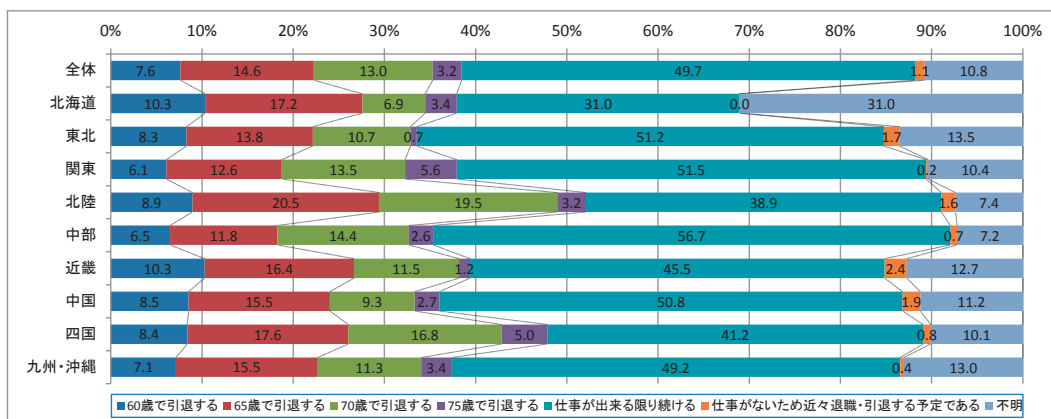


図 3.2.22 何歳まで仕事を続ける予定か(H29年度)

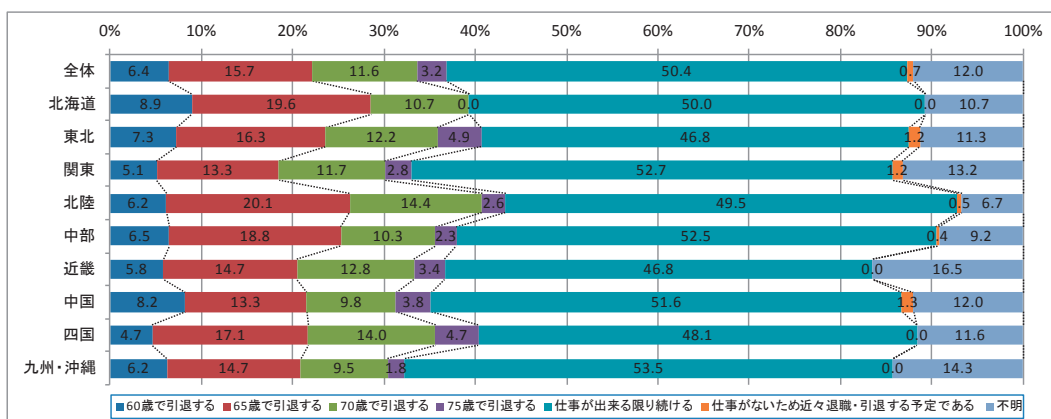


図 3.2.22 何歳まで仕事を続ける予定か(H28年度)



## (5) 担い手育成について

### ①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

- ・「現在育てている」は「四国、九州・沖縄（16.0%）」が最も大きい。次いで「近畿（14.5%）」。
- ・「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」は「九州・沖縄（41.6%）」が最も大きい。次いで「東北（40.5%）」、「関東（39.7%）」。
- ・「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」は「北陸（44.7%）」が最も大きい。次いで「四国（37.0%）」、「関東（35.9%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「現在育てている」、「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」の合計値は各地域とも減少傾向にあり、特に「北海道」、「北陸」で大きく減少している。

地域	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	2147	12.2	38.2	32.8	16.8
北海道	29	13.8	34.5	13.8	37.9
東北	289	9.3	40.5	25.6	24.6
関東	443	9.7	39.7	35.9	14.7
北陸	190	8.4	33.2	44.7	13.7
中部	416	13.7	38.5	34.6	13.2
近畿	165	14.5	35.8	32.1	17.6
中国	258	12.8	38.4	33.3	15.5
四国	119	16.0	31.9	37.0	15.1
九州・沖縄	238	16.0	41.6	23.5	18.9

表 3.2.23 担い手の育成状況(H29年度) (割合%)

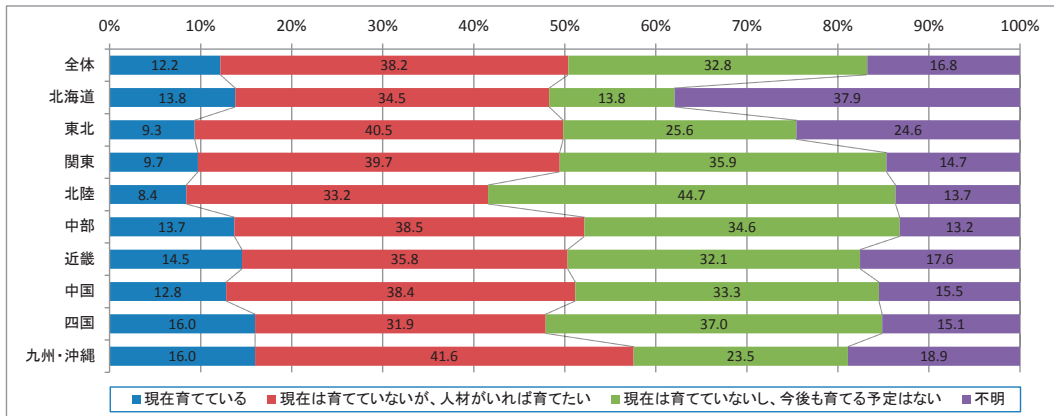


図 3.2.23 担い手の育成状況(H29年度)

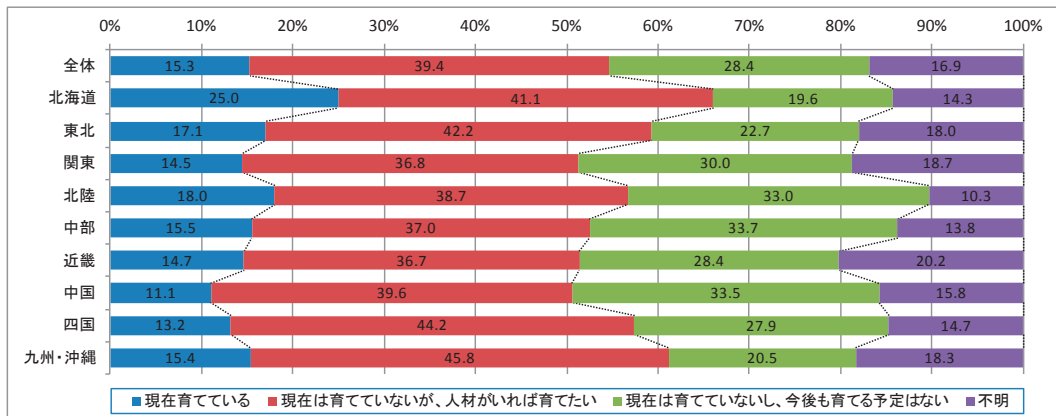


図 3.2.23# 担い手の育成状況(H28年度)

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

- ・「正社員（職業訓練校）」は「東北（29.6%）」が最も大きい。次いで「北海道（25.0%）」。
- ・「正社員（弟子として）」は「関東（74.4%）」が最も大きい。次いで「近畿（66.7%）」。
- ・「一人親方等にあずける（職業訓練校）」は「関東（4.7%）」が最も大きい。次いで「東北（3.7%）」。
- ・「一人親方等にあずける（弟子として）」は「中国（21.2%）」が最も大きい。次いで「四国（21.1%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「正社員（職業訓練校）」及び「正社員（弟子として）」の合計値は、「北海道」、「北陸」、「中部」、「近畿」で増加している。一方、「中国」では大きく減少している。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方 等にあず ける(職業 訓練校)	一人親方 等にあず ける(弟子 として)	不明
全体	261	15.7	63.2	1.5	11.9	7.7
地域						
北海道	4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0
東北	27	29.6	55.6	3.7	7.4	3.7
関東	43	7.0	74.4	4.7	7.0	7.0
北陸	16	18.8	62.5	0.0	12.5	6.3
中部	57	17.5	57.9	1.8	10.5	12.3
近畿	24	8.3	66.7	0.0	12.5	12.5
中国	33	15.2	63.6	0.0	21.2	0.0
四国	19	5.3	57.9	0.0	21.1	15.8
九州・沖縄	38	21.1	65.8	0.0	10.5	2.6

表 3.2.24 育成期間の担い手の立場(H29年度) (割合%)

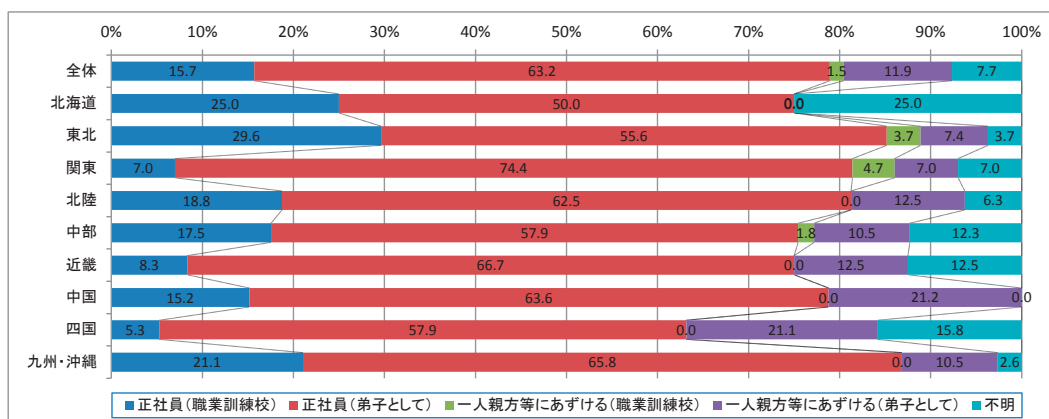


図 3.2.24 育成期間の担い手の立場(H29年度)

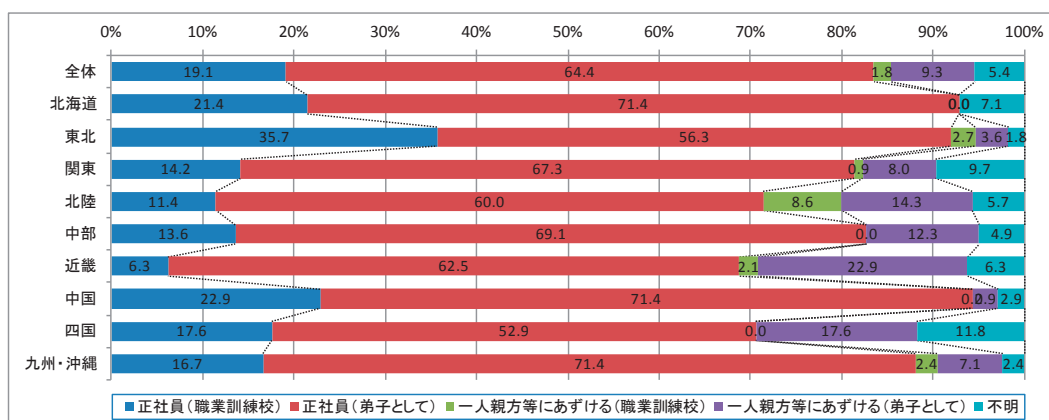


図 3.2.24# 育成期間の担い手の立場(H28年度)

③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

- ・「有る」は「関東（37.2%）」が最も大きい。次いで「東北（37.0%）」。
- ・「無い」は「北海道（25.0%）」が最も大きい。次いで「中国（24.2%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「有る」の割合が増加している地域が多いが、「北陸」、「中部」、「近畿」では減少している。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	261	31.4	18.0	50.6
地域				
北海道	4	25.0	25.0	50.0
東北	27	37.0	14.8	48.1
関東	43	37.2	14.0	48.8
北陸	16	31.3	18.8	50.0
中部	57	28.1	21.1	50.9
近畿	24	16.7	12.5	70.8
中国	33	33.3	24.2	42.4
四国	19	26.3	5.3	68.4
九州・沖縄	38	36.8	23.7	39.5

表 3.2.25 育成期間にかかる費用負担(H29年度) (割合%)

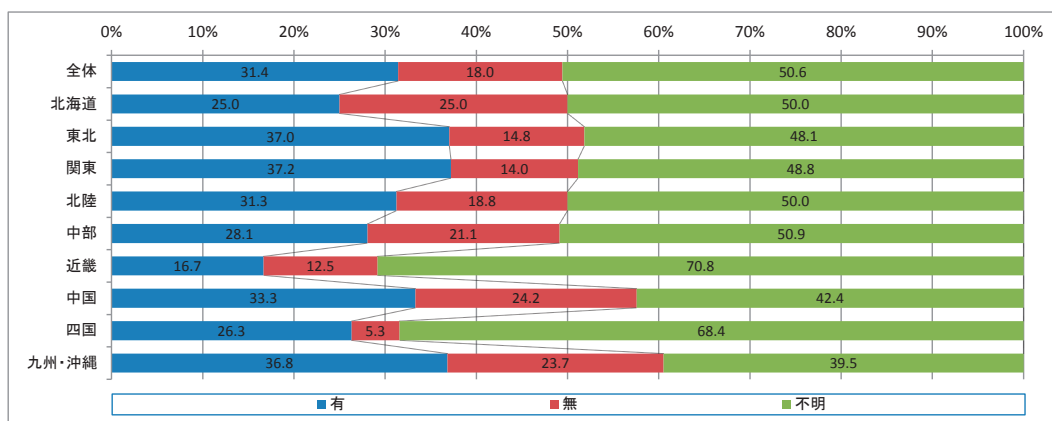


図 3.2.25 育成期間にかかる費用負担(H29年度)

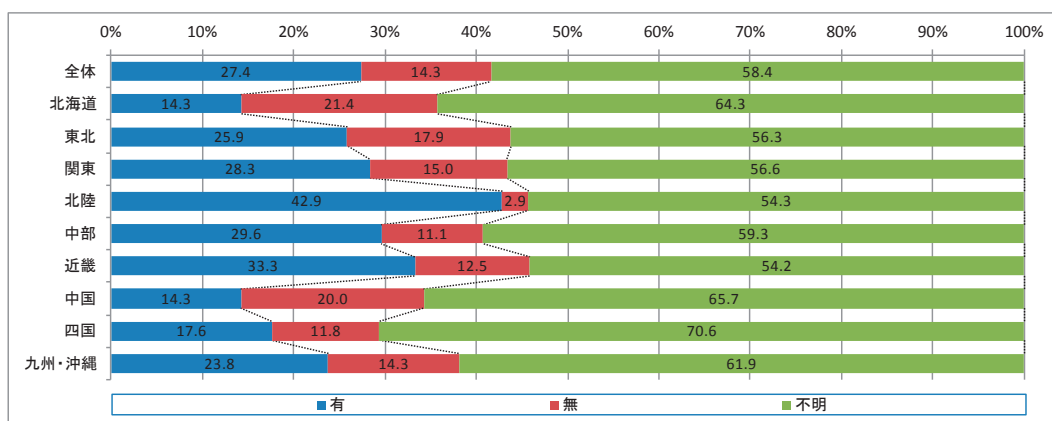


図 3.2.25# 育成期間にかかる費用負担(H28年度)

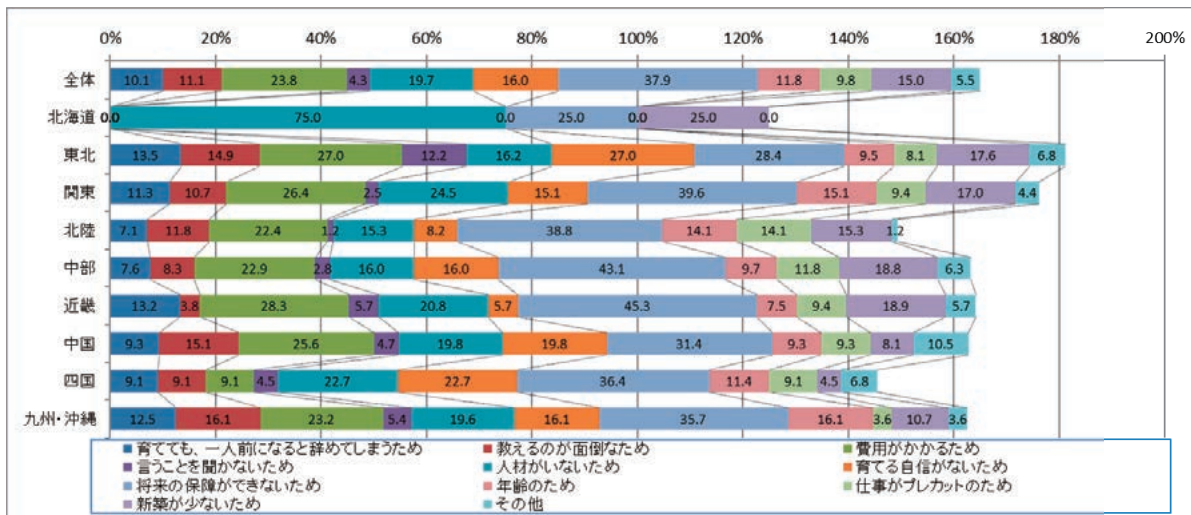
④「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

- ・回答した割合の合計値は「東北（181.2%）」が最も大きく、次いで「関東（176.1%）」。
- ・各地域に共通して「将来の保障ができないため」、「費用がかかるため」、「人材がいないため」、「新築が少ないため」が占める割合が大きい。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「育てる自信がないため」が「北陸」、「近畿」を除く地域で増加している。また「費用がかかるため」が「東北」、「関東」、「北陸」で増加している。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	705	10.1	11.1	23.8	4.3	19.7	16.0	37.9	11.8	9.8	15.0	5.5	12.6
地域													
北海道	4	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
東北	74	13.5	14.9	27.0	12.2	16.2	27.0	28.4	9.5	8.1	17.6	6.8	10.8
関東	159	11.3	10.7	26.4	2.5	24.5	15.1	39.6	15.1	9.4	17.0	4.4	8.8
北陸	85	7.1	11.8	22.4	1.2	15.3	8.2	38.8	14.1	14.1	15.3	1.2	14.1
中部	144	7.6	8.3	22.9	2.8	16.0	16.0	43.1	9.7	11.8	18.8	6.3	16.0
近畿	53	13.2	3.8	28.3	5.7	20.8	5.7	45.3	7.5	9.4	18.9	5.7	15.1
中国	86	9.3	15.1	25.6	4.7	19.8	19.8	31.4	9.3	9.3	8.1	10.5	14.0
四国	44	9.1	9.1	9.1	4.5	22.7	22.7	36.4	11.4	9.1	4.5	6.8	15.9
九州・沖縄	56	12.5	16.1	23.2	5.4	19.6	16.1	35.7	16.1	3.6	10.7	3.6	8.9

表 3.2.26 なぜ育てる予定はないのか(H29年度) (割合%)



2.2.26 なぜ育てる予定はないのか(H29年度)

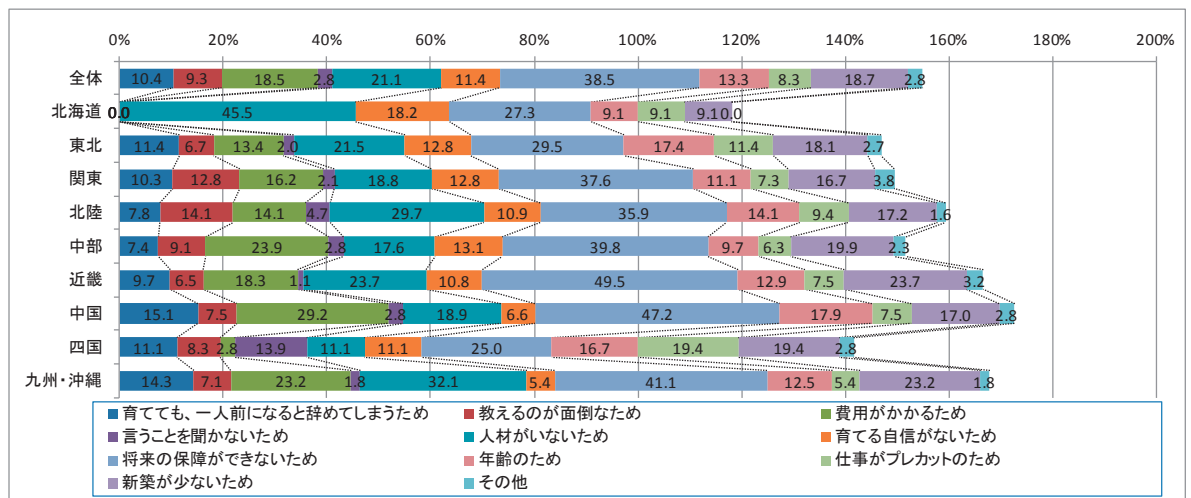


図 3.2.26# なぜ育てる予定はないのか(H28年度)

⑤担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

- ・各地域に共通して「10万円/月」が2～3割程度を占めており、最も多くなっている。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助ほどの程度必要か					
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体	2147	3.1	14.2	27.9	18.1	3.4	33.4
地域							
北海道	29	3.4	10.3	24.1	13.8	0.0	48.3
東北	289	3.1	15.6	24.9	13.1	3.1	40.1
関東	443	1.8	15.3	27.5	20.8	3.4	31.2
北陸	190	4.7	15.3	22.6	21.6	1.6	34.2
中部	416	3.6	16.1	30.3	16.3	2.9	30.8
近畿	165	1.8	9.7	36.4	18.8	3.6	29.7
中国	258	3.9	15.5	24.4	14.7	5.8	35.7
四国	119	3.4	5.9	31.9	21.8	1.7	35.3
九州・沖縄	238	2.9	12.2	28.6	21.0	4.2	31.1

表 3.2.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か(H29年度) (割合%)

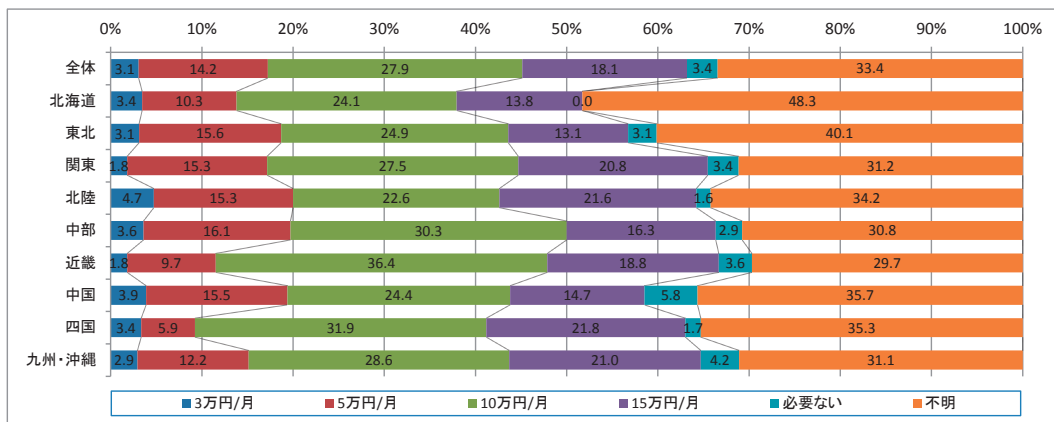


図 3.2.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か(H29年度)

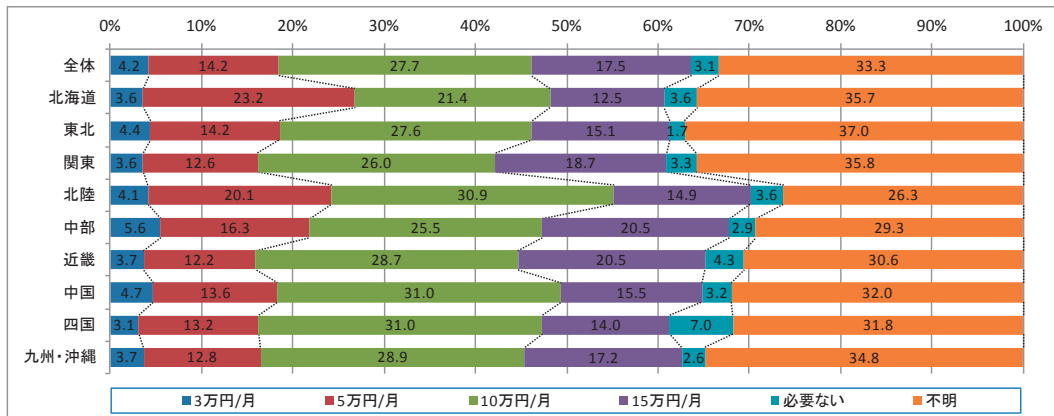


図 3.2.27 非公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か(H28年度)

### 3. 年齢別集計

#### (1) 職業等について

##### ① 職種の経験年数

- ・入職初期である「3年未満」について、少数ではあるが「30代」、「40代」、「50代」で回答がみられた。
- ・前回調査（H28年度）と比較して各年代ともに「3年未満」が減少している。また「6～10年」では主に「30代」が減少している。

	合計	(4)職種の経験年数								
		3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明
全体	2147	8.8	5.9	7.7	23.5	22.3	15.0	13.1	3.2	0.4
年齢										
10代	43	97.7	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	260	41.5	32.7	20.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
30代	501	5.2	5.4	16.6	64.9	7.2	0.6	0.0	0.0	0.2
40代	564	1.8	2.1	3.9	25.7	63.7	2.7	0.0	0.0	0.2
50代	356	0.8	0.0	0.6	5.6	19.9	61.0	11.2	0.8	0.0
60代	353	0.0	0.0	0.6	0.8	2.3	22.9	64.3	8.8	0.3
70代以上	47	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	4.3	23.4	68.1	2.1

表 3.3.1 職種の経験年数（H29年度）（割合％）

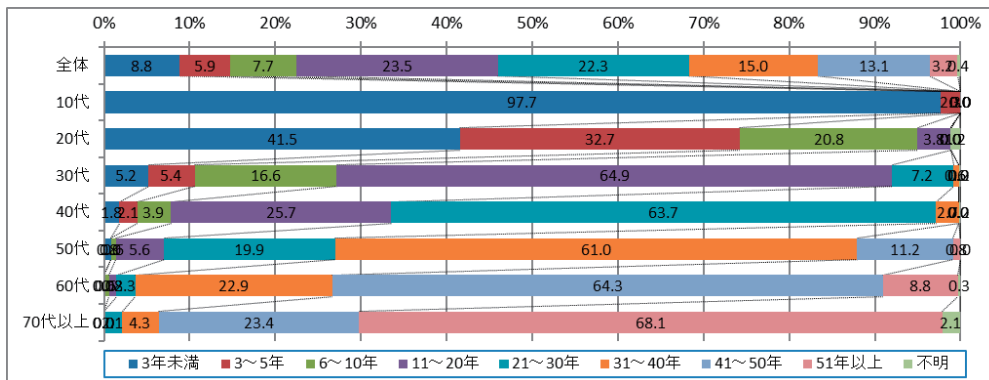


図 3.3.1 職種の経験年数（H29年度）

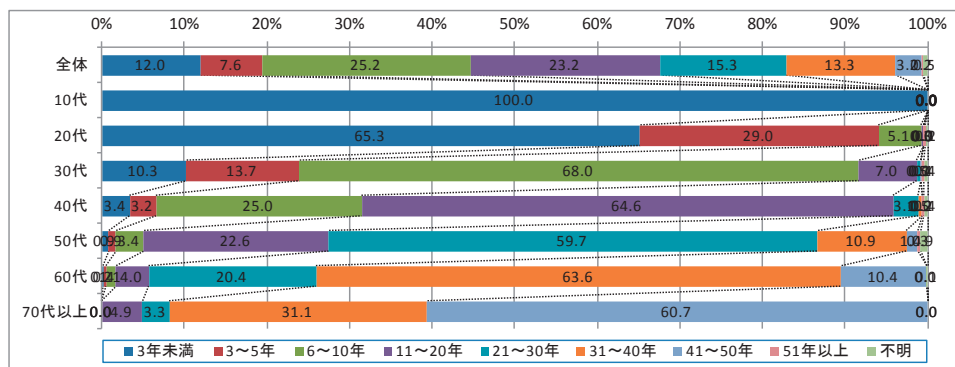


図 3.3.1# 職種の経験年数（H28年度）

②職種においてベテランだと思いませんか。

- ・「ベテラン」は「70代以上 (53.2%)」が最も大きい。次いで「60代 (47.9%)」、「50代 (34.6%)」。
- ・「ややベテラン」は「50代 (30.3%)」が最も大きい。次いで「60代 (27.8%)」、「40代 (23.8%)」。
- ・「中堅」は「40代 (46.5%)」が最も大きい。次いで「30代 (44.5%)」、「50代 (28.7%)」。
- ・「やや中堅」は「30代 (23.8%)」が最も大きい。次いで「20代 (20.0%)」、「40代 (9.2%)」。
- ・「見習い」は「10代 (100%)」が最も大きい。次いで「20代 (68.1%)」、「30代 (12.8%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	2147	19.5	19.3	31.5	11.5	15.5	2.7
年齢							
10代	43	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20代	260	0.0	1.5	8.5	20.0	68.1	1.9
30代	501	4.8	11.0	44.5	23.8	12.8	3.2
40代	564	12.9	23.8	46.5	9.2	6.4	1.2
50代	356	34.6	30.3	28.7	3.7	0.6	2.2
60代	353	47.9	27.8	15.6	2.8	1.4	4.5
70代以上	47	53.2	19.1	17.0	0.0	0.0	10.6

表 3.3.2 職種のベテラン度合 (H29 年度) (割合%)

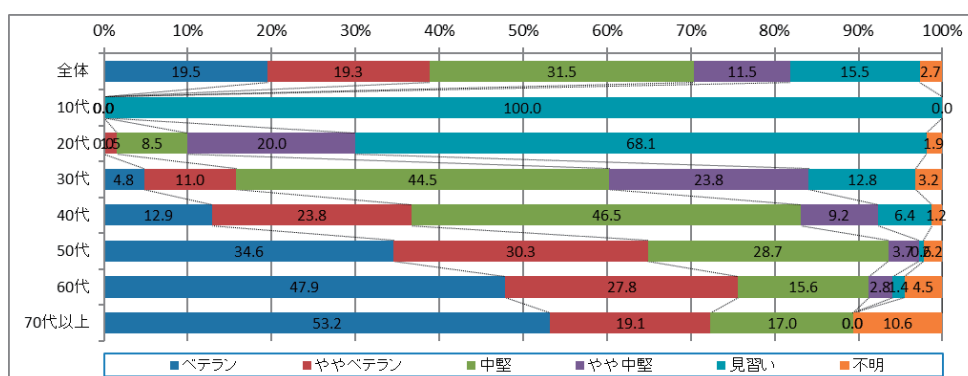


図 3.3.2 職種のベテラン度合 (H29 年度)

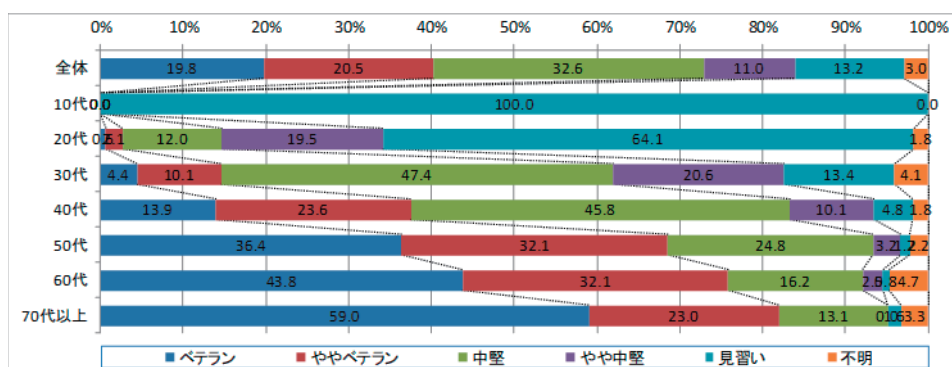


図 3.3.2# 職種のベテラン度合 (H28 年度)



## (2) 雇用形態について

### ①雇用形態（工務店等との）

- ・「工務店社員」は「10代（81.4%）」が最も大きい。次いで「20代（75.0%）」、「30代（44.3%）」。
- ・「外注常用（日当制）」は「70代以上（12.8%）」が最も大きい。次いで「50代（12.1%）」、「60代（11.0%）」。
- ・「外注常用（坪請主体）」は「30代（16.8%）」が最も大きい。次いで「40代（15.1%）」、「50代（14.0%）」。
- ・「その都度契約」は「50代（5.3%）」が最も大きい。次いで「30代（3.8%）」。
- ・「元請として仕事」は「70代以上（66.0%）」が最も大きい。次いで「60代（48.4%）」、「50代（41.0%）」。
- ・「その他（アルバイト等）」は「20代」（3.5%）」が最も大きい。
- ・10代～40代までは「工務店社員」の割合が最も大きい。一方、50代以上は「元請として仕事」の割合が最も大きくなる。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「10代」で「工務店社員」が増加している。また「その都度契約」が「30代」～「60代」で増加している。

	合計	(6)あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常用(日当制)	外注常用(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明
全体	2147	37.5	10.5	12.8	3.4	30.7	1.0	4.0
年齢								
10代	43	81.4	7.0	0.0	0.0	2.3	0.0	9.3
20代	260	75.0	8.5	1.9	1.2	6.2	3.5	3.8
30代	501	44.3	10.0	16.8	3.8	20.0	1.6	3.6
40代	564	34.0	10.1	15.1	3.4	33.2	0.9	3.4
50代	356	23.3	12.1	14.0	5.3	41.0	0.0	4.2
60代	353	19.5	11.0	13.0	3.4	48.4	0.0	4.5
70代以上	47	8.5	12.8	4.3	2.1	66.0	0.0	6.4

表 3.3.3 雇用形態（H29年度）（割合%）

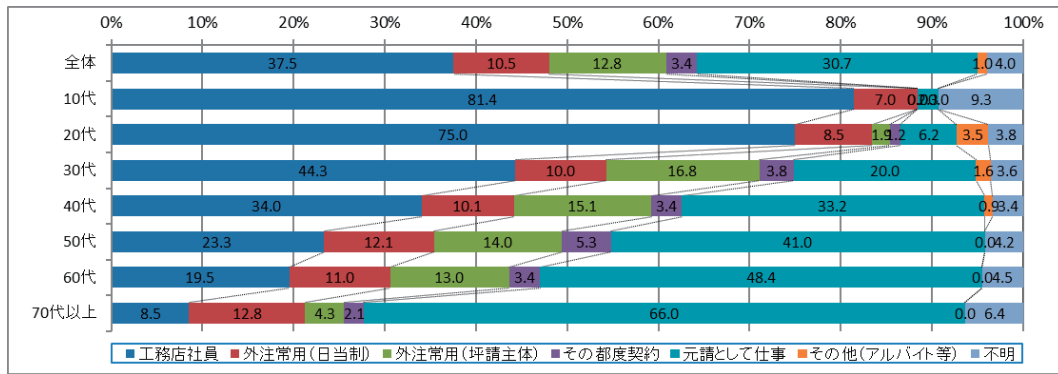


図 3.3.3 雇用形態（H29年度）

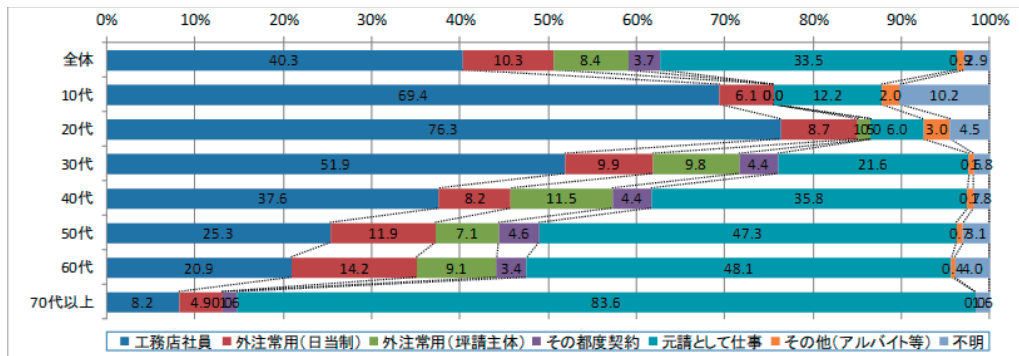


図 3.3.3# 雇用形態（H28年度）



## ②就業規則

- ・「有る」は「10代（55.8%）」が最も大きい。次いで「20代（41.2%）」。
- ・「無い」は「40代（57.3%）」が最も大きい。また「30代」以上では4～5割以上が「無い」と回答している。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(7)就業規則			
		有	無	不明	
全体	2147	27.7	49.0	23.3	
年齢	10代	43	55.8	11.6	32.6
	20代	260	41.2	35.0	23.8
	30代	501	26.3	54.1	19.6
	40代	564	24.6	57.3	18.1
	50代	356	25.8	52.2	21.9
	60代	353	23.5	41.4	35.1
	70代以上	47	25.5	46.8	27.7

表 3.3.4 就業規則（H29年度）（割合%）

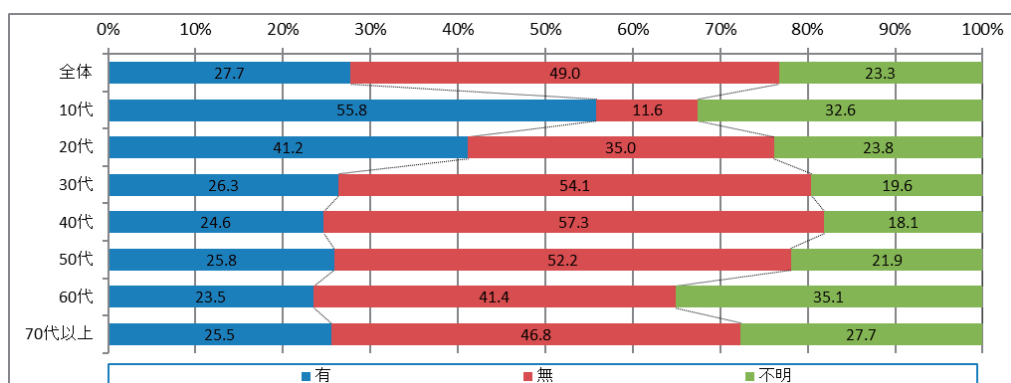


図 3.3.4 就業規則（H29年度）

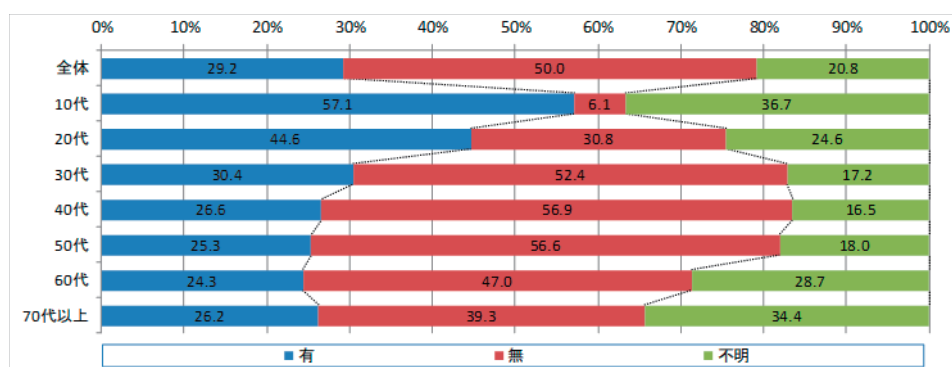


図 3.3.4#就業規則（H28年度）

### ③有給休暇

- ・「有る」は「10代（41.9%）」が最も大きい。次いで「20代（31.2%）」。
- ・「無い」は「40代（70.4%）」が最も大きい。次いで「30代（68.3%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「有る」が「10代」では減少、「20代」では増加している。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	2147	14.8	60.6	24.6
年齢				
10代	43	41.9	27.9	30.2
20代	260	31.2	52.7	16.2
30代	501	13.4	68.3	18.4
40代	564	11.3	70.4	18.3
50代	356	9.0	63.5	27.5
60代	353	12.5	44.8	42.8
70代以上	47	12.8	38.3	48.9

表 3.3.5 有給休暇（H29年度）（割合%）

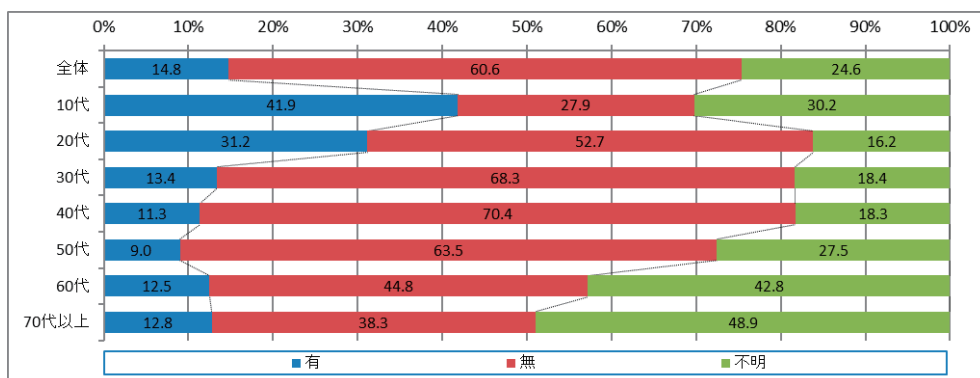


図 3.3.5 有給休暇（H29年度）

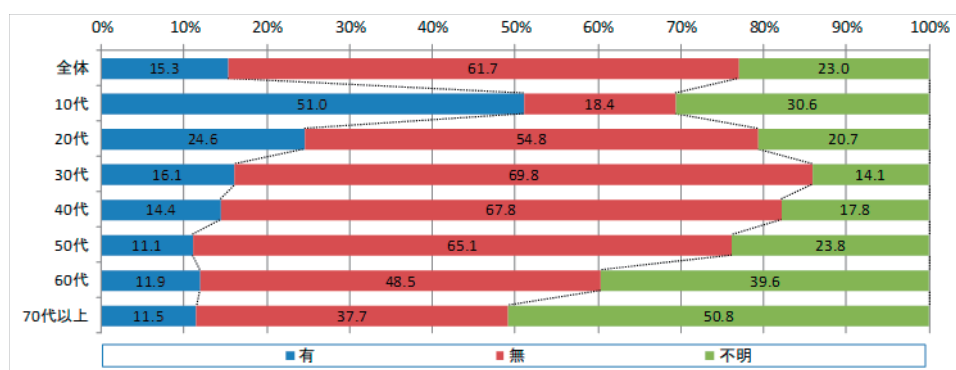


図 3.3.5#有給休暇（H28年度）

#### ④年間就業日数

- 平均年間就業日数は、「30代（270.90日）」が最も多く、次いで「40代（270.84日）」。一方「70代以上（192.50日）」が最も少なく、次いで「60代（246.09日）」であった。
- 前回調査（H28年度）と比較して「10代」の平均年間就業日数が増加しているが、その他の年代では減少している。

	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	
全体	2147	3.7	0.8	0.6	5.3	19.0	25.2	45.5	262.63
10代	43	4.7	0.0	0.0	2.3	11.6	16.3	65.1	255.67
20代	260	5.4	1.2	0.4	1.9	12.7	26.9	51.5	258.98
30代	501	3.6	0.6	0.0	3.0	19.6	31.1	42.1	270.90
40代	564	3.5	0.7	0.2	3.7	20.7	30.9	40.2	270.84
50代	356	3.1	0.6	1.1	5.9	19.7	22.5	47.2	261.05
60代	353	3.4	0.6	1.4	13.0	22.1	13.9	45.6	246.09
70代以上	47	4.3	6.4	2.1	10.6	10.6	4.3	61.7	192.50

表 3.3.6 年間就業日数（H29年度）（割合％）

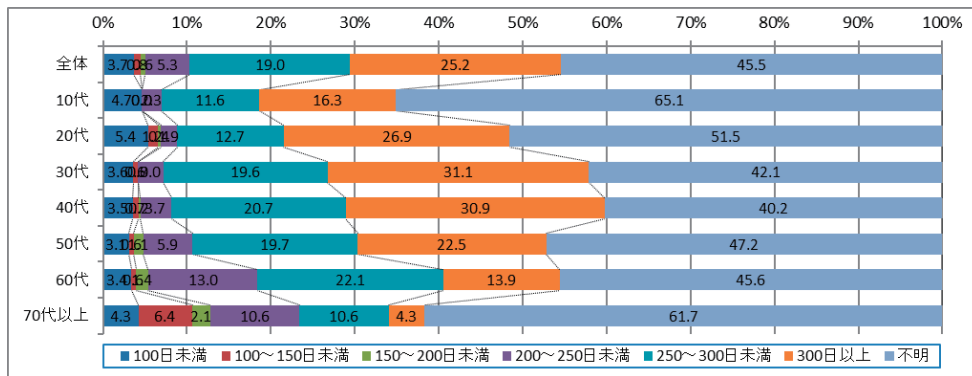


図 3.3.6 年間就業日数（H29年度）

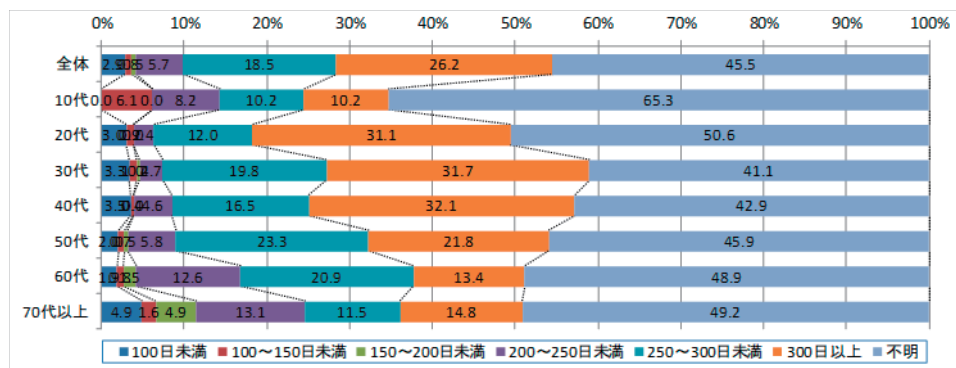


図 3.3.6# 年間就業日数（H28年度）

### ⑤賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・自己負担となっているものの割合の合計値は「30代（286.2%）」が最も大きい。次いで「50代（277.1%）」。
- ・「全て所属する工務店等が負担」は「40代（16.7%）」が最も大きい。次いで「20代（16.5%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して自己負担となっているものの割合の合計値は「30代」以上で増加、「20代」以下で減少している。

	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	2147	69.2	63.4	25.2	51.9	51.7	14.4	9.0
年齢								
10代	43	67.4	44.2	7.0	39.5	30.2	7.0	14.0
20代	260	63.5	52.7	7.7	40.8	39.2	16.5	8.5
30代	501	75.6	69.1	27.1	57.5	56.9	13.8	3.4
40代	564	68.3	64.2	27.0	51.4	52.0	16.7	8.7
50代	356	68.5	65.4	31.7	55.6	55.9	14.0	9.8
60代	353	67.4	62.6	28.0	51.0	51.3	11.0	14.4
70代以上	47	70.2	66.0	27.7	51.1	51.1	10.6	17.0

表 3.3.7 自己負担となっているもの（H29年度）（割合%）

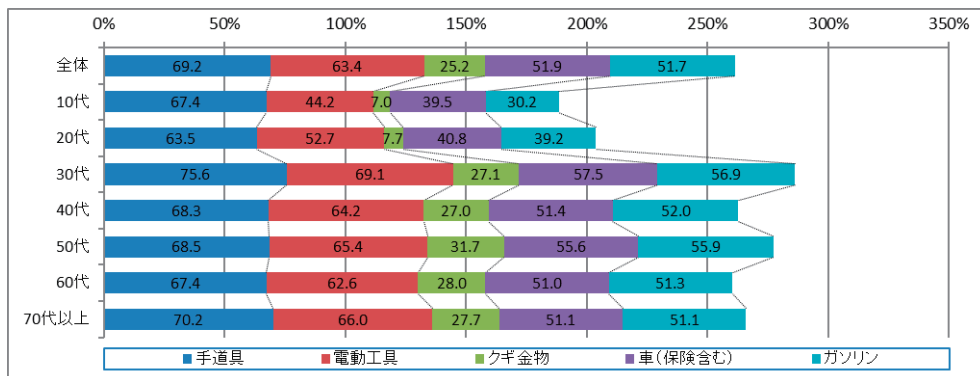


図 3.3.7 自己負担となっているもの（H29年度）

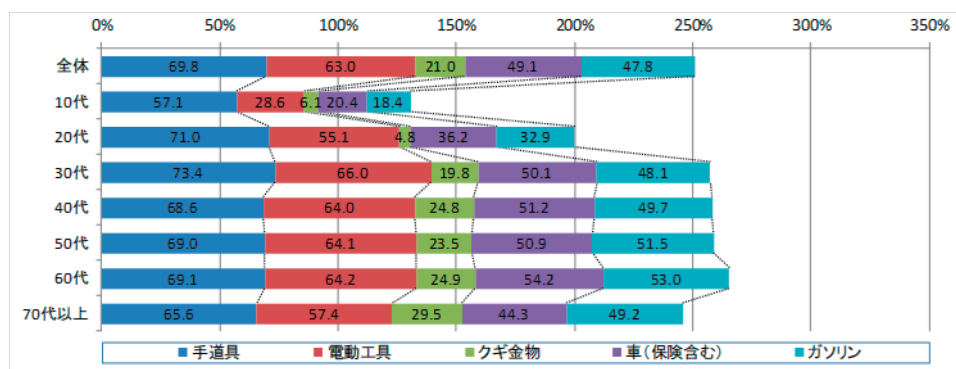


図 3.3.7# 自己負担となっているもの（H28年度）

### ⑥おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・平均の賃金は「40代（16,682円）」が最も高く、次いで「50代（16,448円）」であった。一方「10代（8,243円）」が最も低く、次いで「20代（10,445円）」であった。
- ・「50代」、「60代」では、「15,000～20,000円未満」が半数程度となっている。
- ・前回調査（H28年度）と比較して30代～60代で「15,000～20,000円未満」が増加している。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明	
全体	2147	6.7	8.4	31.2	35.2	10.0	3.4	5.1	
年齢	10代	43	65.1	20.9	0.0	0.0	0.0	14.0	
	20代	260	28.8	30.4	28.5	4.2	0.8	1.2	6.2
	30代	501	3.4	9.0	39.7	31.3	9.6	3.6	3.4
	40代	564	1.1	4.8	29.6	39.2	16.8	4.8	3.7
	50代	356	1.1	2.8	28.1	49.7	9.6	3.7	5.1
	60代	353	3.4	2.0	31.2	47.0	7.4	2.8	6.2
	70代以上	47	2.1	4.3	29.8	31.9	17.0	4.3	10.6

表 3.3.8 1日あたりのおおよその賃金（H29年度）（割合%）

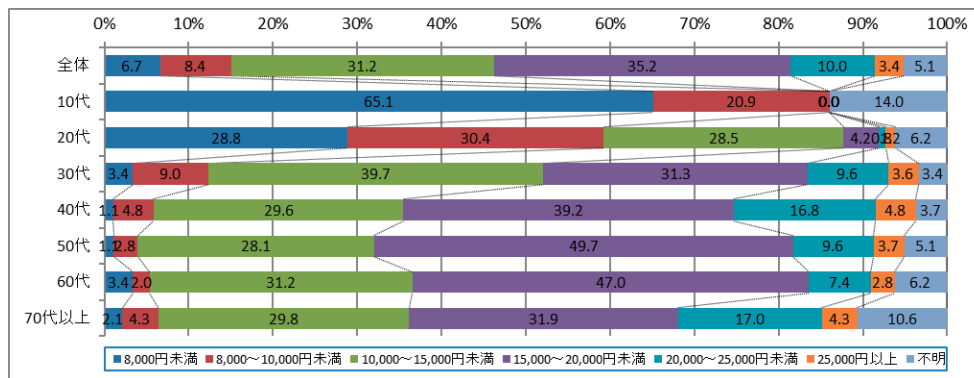


図 3.3.8 1日あたりのおおよその賃金（H29年度）

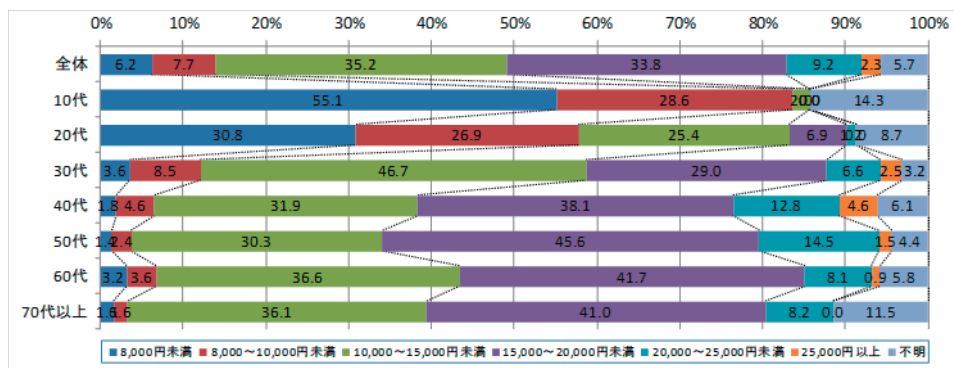


図 3.3.8# 1日あたりのおおよその賃金（H28年度）

### (3) 資格や技能について

#### ①持っている資格

- ・持っている資格の合計値は「70代以上 (376.5%)」が最も大きい。次いで「60代」(328.4%)。一方「10代 (46.6%)」が最も小さく、次いで「20代 (124.4%)」。
- ・「10代」では「玉掛け技能講習 (23.3%)」が最も大きい。
- ・「30代」より上の年代では「2級建築士」、「足場の組立て等作業主任者」、「木造建築物組立て作業主任者」との回答が増加する。
- ・前回調査 (H28年度) と比較して「60代」以下では全体的な構成に大きな変化はない。

年齢	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	2147	4.7	27.2	2.4	4.2	12.4	22.2	1.9	9.9	6.7	39.8	39.8	45.2	16.9	9.8	18.3
10代	43	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.3	7.0	0.0	62.8
20代	260	0.8	8.1	0.4	0.0	4.6	21.2	0.0	1.2	0.4	14.6	12.7	43.1	15.8	1.5	37.3
30代	501	1.0	23.6	1.4	3.4	10.6	21.8	1.0	4.8	1.4	35.3	36.1	52.1	15.4	4.8	18.2
40代	564	5.9	33.5	0.7	6.4	10.6	19.1	2.1	6.4	7.1	44.7	44.3	43.4	14.4	8.3	16.1
50代	356	8.7	32.9	3.4	4.5	20.8	23.0	2.0	10.1	10.4	48.6	49.4	44.1	20.8	13.2	10.4
60代	353	7.4	33.4	6.2	5.4	16.4	27.5	4.0	27.5	12.2	51.3	52.1	44.5	20.1	20.4	10.8
70代以上	47	6.4	31.9	12.8	2.1	19.1	31.9	4.3	31.9	25.5	57.4	51.1	44.7	25.5	31.9	4.3

表 3.3.9 持っている資格 (H29年度) (割合%)

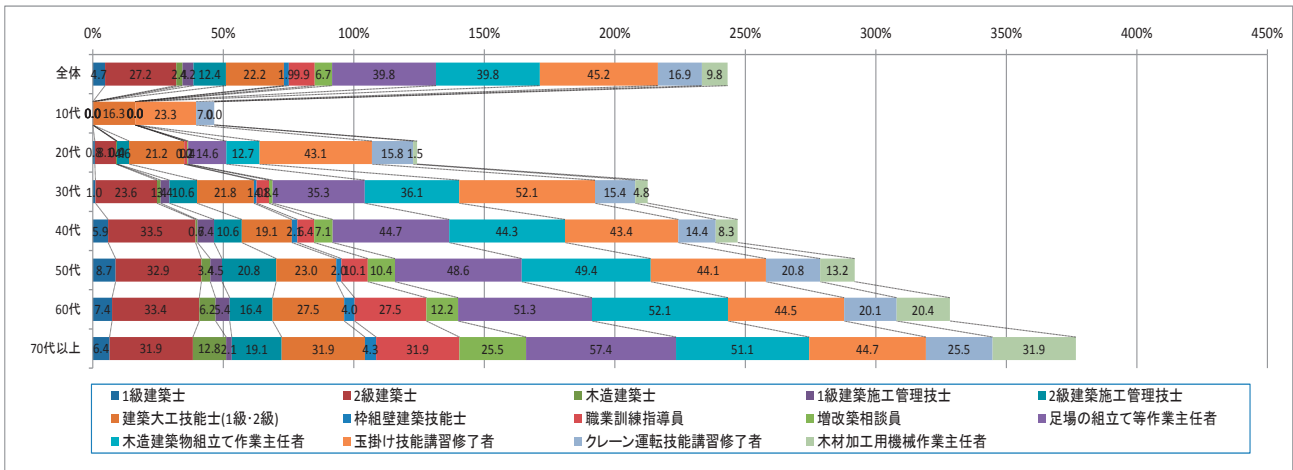


図 3.3.9 持っている資格 (H29年度)

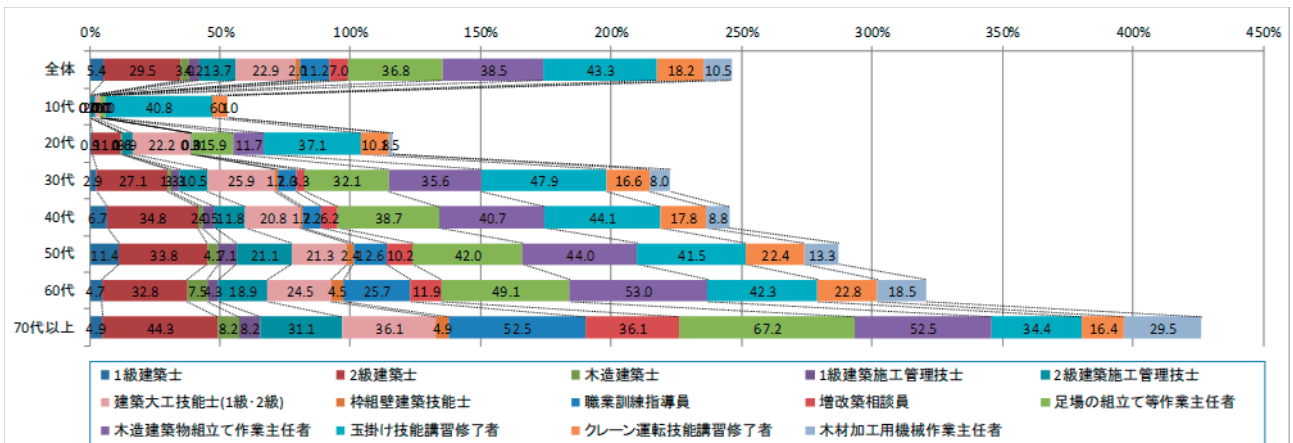


図 3.3.9# 持っている資格 (H28年度)

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

- ・「はい」は「50代（79.8%）」が最も大きい。「50代」以上の年代では8割程度であった。また「20代」以下でも4割程度が「はい」と回答している。
- ・「いいえ」は「20代（46.9%）」が最も大きい。また「20代」以下は4割程度が「いいえ」と回答している。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)①墨付けができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	67.8	19.0	13.2
年齢				
10代	43	37.2	41.9	20.9
20代	260	40.8	46.9	12.3
30代	501	60.5	26.9	12.6
40代	564	73.6	17.9	8.5
50代	356	79.8	5.9	14.3
60代	353	79.0	3.1	17.8
70代以上	47	76.6	0.0	23.4

表 3.3.10 墨付け（H29年度）（割合%）

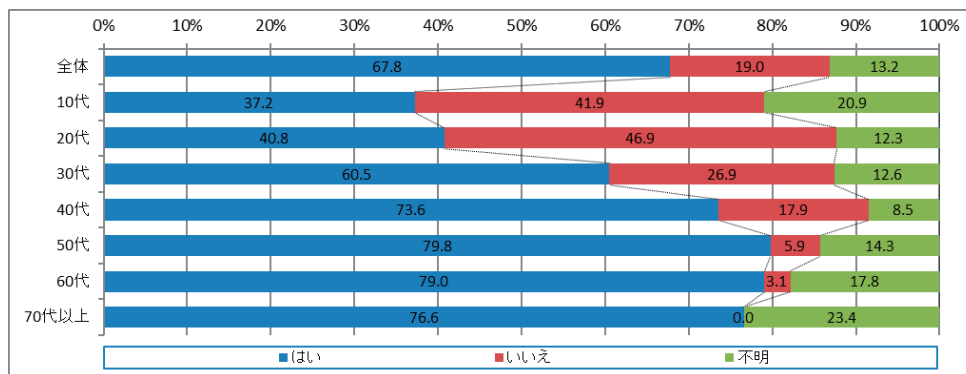


図 3.3.10 墨付け（H29年度）

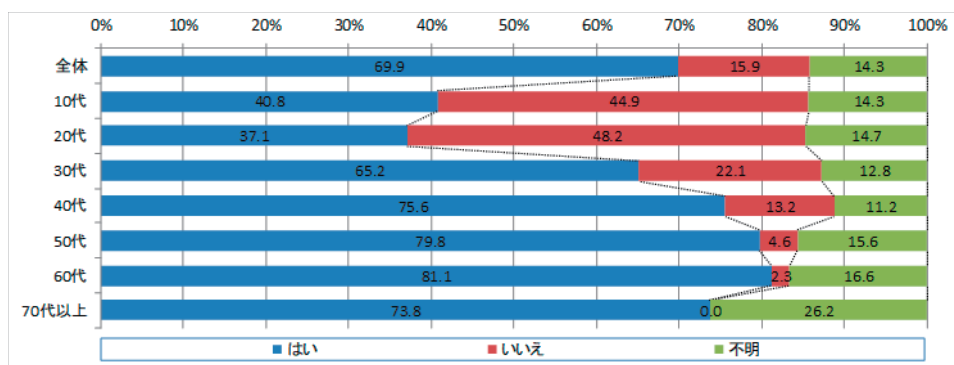


図 3.3.10# 墨付け（H28年度）

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事年1棟以上行っていますか。(新築)

- ・「はい」は「20代(25.4%)」が最も大きい。次いで「60代(23.5%)」、「70代(21.3%)」。
- ・「いいえ」は「40代(73.9%)」が最も大きい。次いで「10代(72.1%)」、「30代(70.3%)」。
- ・前回調査(H28年度)と比較して「20代」以上の年代において「はい」が減少している。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	19.3	66.6	14.1
年齢				
10代	43	7.0	72.1	20.9
20代	260	25.4	62.3	12.3
30代	501	17.0	70.3	12.8
40代	564	17.2	73.9	8.9
50代	356	18.3	66.9	14.9
60代	353	23.5	55.2	21.2
70代以上	47	21.3	48.9	29.8

表 3.3.11 手刻み加工の仕事(新築)(H29年度) (割合%)

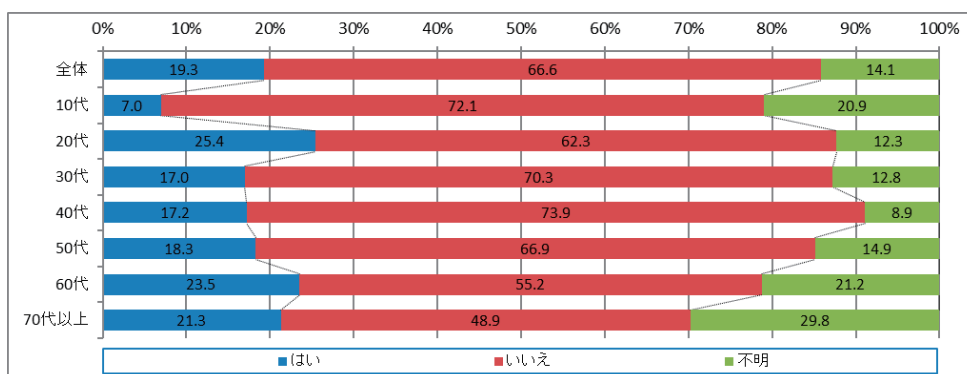


図 3.3.11 手刻み加工の仕事(新築)(H29年度)

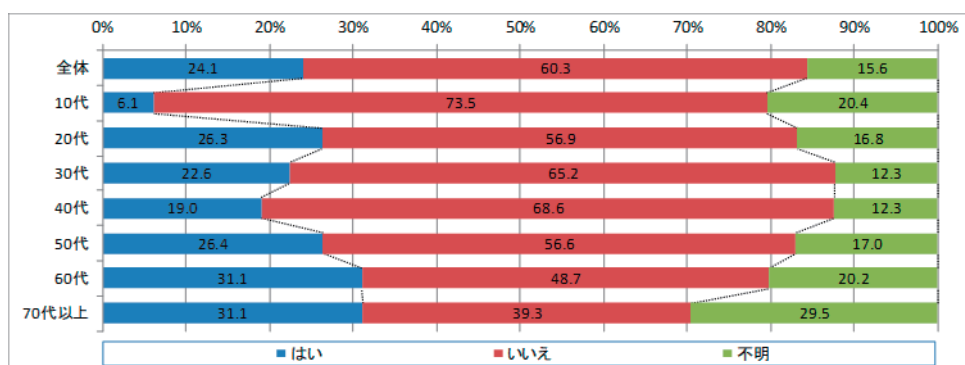


図 3.3.11# 手刻み加工の仕事(新築)(H28年度)



④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事年1棟以上行っていますか。(増改築)

- ・「はい」は「70代以上(48.9%)」が最も大きい。次いで「60代(43.9%)」、「50代(43.5%)」。
- ・「いいえ」は「10代(69.8%)」が最も大きい。次いで「20代(48.8%)」、「40代(48.2%)」。
- ・前回調査(H28年度)と比較して「30代」以上の年代で「はい」が減少している。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	41.3	44.4	14.3
年齢				
10代	43	9.3	69.8	20.9
20代	260	38.8	48.8	12.3
30代	501	39.9	47.5	12.6
40代	564	42.2	48.2	9.6
50代	356	43.5	41.9	14.6
60代	353	43.9	34.0	22.1
70代以上	47	48.9	25.5	25.5

表 3.3.12 手刻み加工の仕事(増改築)(H29年度) (割合%)

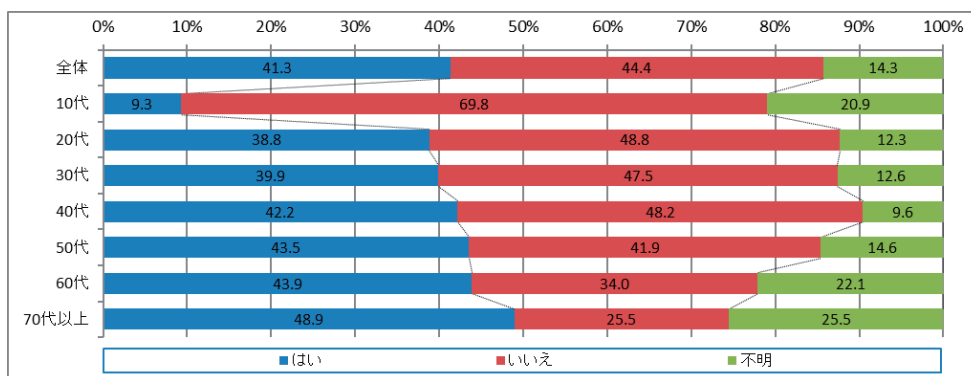


図 3.3.12 手刻み加工の仕事(増改築)(H29年度)

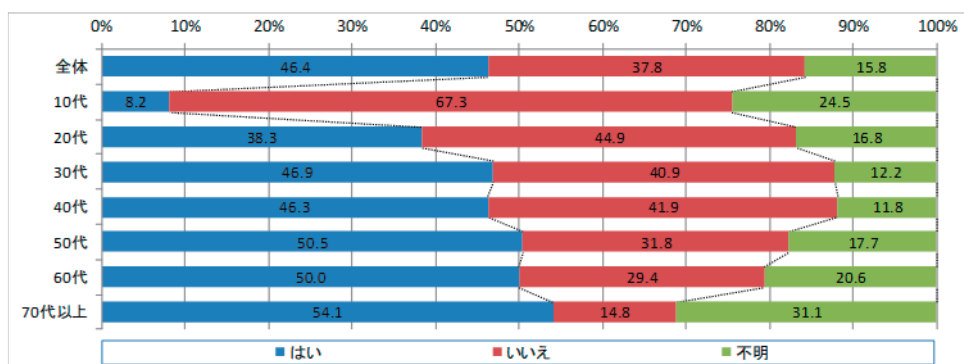


図 3.3.12 手刻み加工の仕事(増改築)(H28年度)

⑤ **大工職のみ回答** 和室造作ができますか。

- ・「はい」は「50代（78.9%）」が最も大きい。次いで「60代（77.1%）」、「70代以上（74.5%）」。
- ・「いいえ」は「10代（74.4%）」が最も大きい。次いで「20代（71.2%）」、「30代（33.1%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「20代」～「60代」では「いいえ」が増加している。

	合計	(14)④和室造作ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	61.3	24.9	13.8
年齢				
10代	43	2.3	74.4	23.3
20代	260	15.0	71.2	13.8
30代	501	53.7	33.1	13.2
40代	564	71.3	20.2	8.5
50代	356	78.9	7.3	13.8
60代	353	77.1	3.1	19.8
70代以上	47	74.5	0.0	25.5

表 3.3.13 和室造作（H29年度）（割合%）

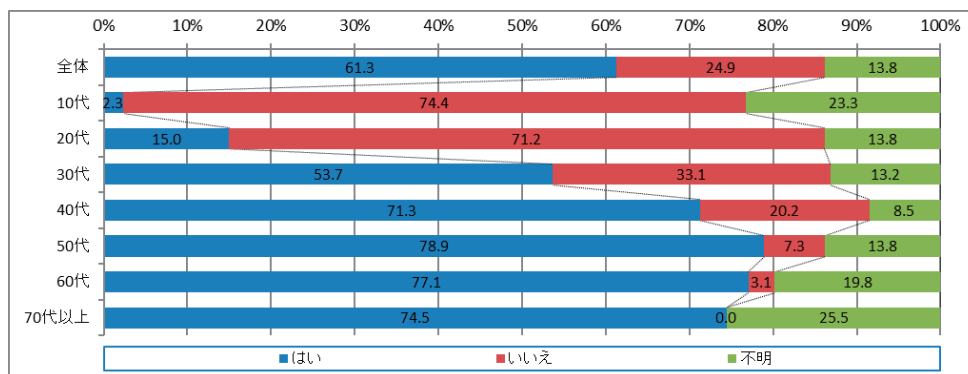


図 3.3.13 和室造作（H29年度）

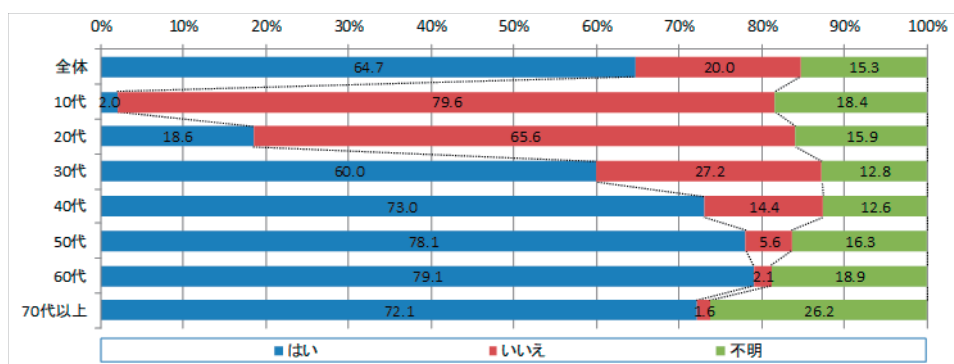


図 3.3.13 井和室造作（H28年度）

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

- ・「はい」は「70代以上、40代（31.9%）」が最も大きい。次いで「50代（30.6%）」。
- ・「いいえ」は「20代（73.8%）」が最も大きい。次いで「10代（69.8%）」、「30代（61.7%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「20代」、「50代」、「60代」で「はい」が減少している。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	26.7	57.8	15.4
年齢				
10代	43	7.0	69.8	23.3
20代	260	12.7	73.8	13.5
30代	501	25.1	61.7	13.2
40代	564	31.9	58.3	9.8
50代	356	30.6	53.4	16.0
60代	353	28.6	47.0	24.4
70代以上	47	31.9	36.2	31.9

表 3.3.14 2×4 工法の住宅の施工（H29年度）（割合%）

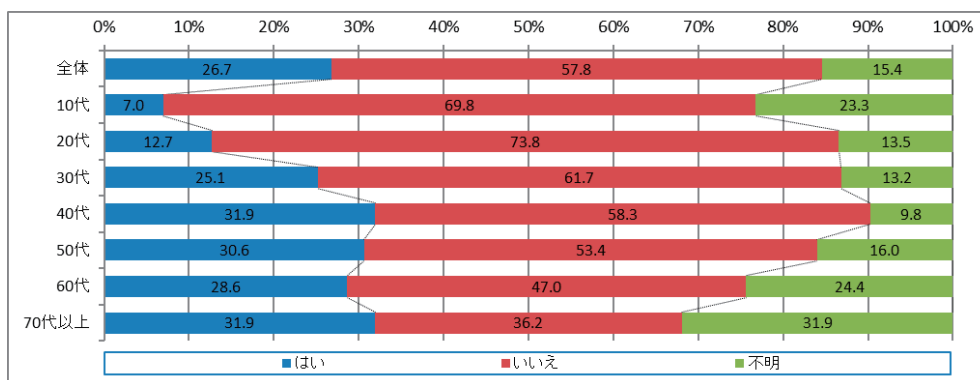


図 3.3.14 2×4 工法の住宅の施工（H29年度）

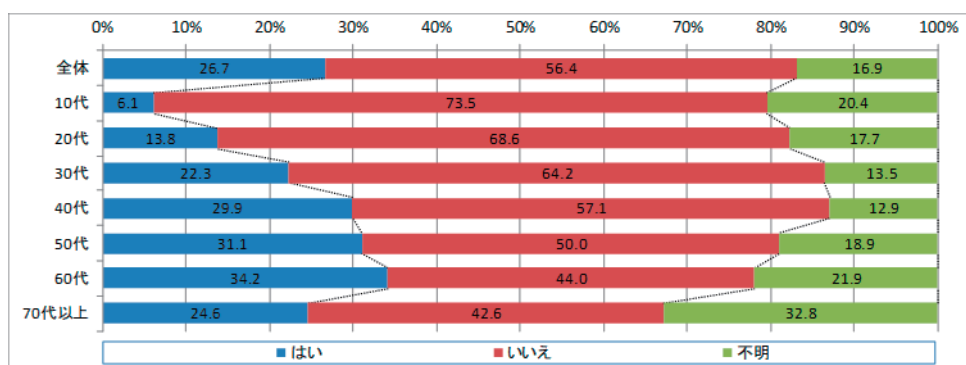


図 3.3.14# 2×4 工法の住宅の施工（H28年度）

#### (4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

##### ①現在の仕事の内容について満足していますか。

- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「10代 (67.5%)」が最も大きい。次いで「20代 (65.0%)」、「40代 (64.9%)」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「50代 (32.3%)」が最も大きい。次いで「40代 (29.0%)」、「30代 (28.8%)」。
- ・前回調査 (H28年度) と比較して「10代」で「とても満足している」が減少している。また「70代以上」で「満足していない」が増加している。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	2147	10.2	51.8	22.3	5.6	10.1
年齢						
10代	43	16.3	51.2	16.3	0.0	16.3
20代	260	16.2	48.8	20.0	5.0	10.0
30代	501	8.6	53.9	21.2	7.6	8.8
40代	564	9.4	55.5	23.0	6.0	6.0
50代	356	8.7	48.9	27.0	5.3	10.1
60代	353	9.6	49.6	21.8	3.4	15.6
70代以上	47	17.0	38.3	17.0	8.5	19.1

表 3.3.15 仕事の内容についての満足度 (H29年度) (割合%)

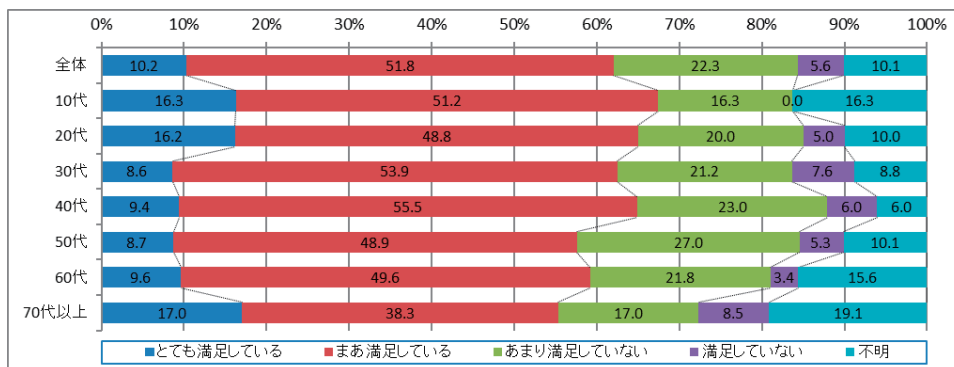


図 3.3.15 仕事の内容についての満足度 (H29年度)

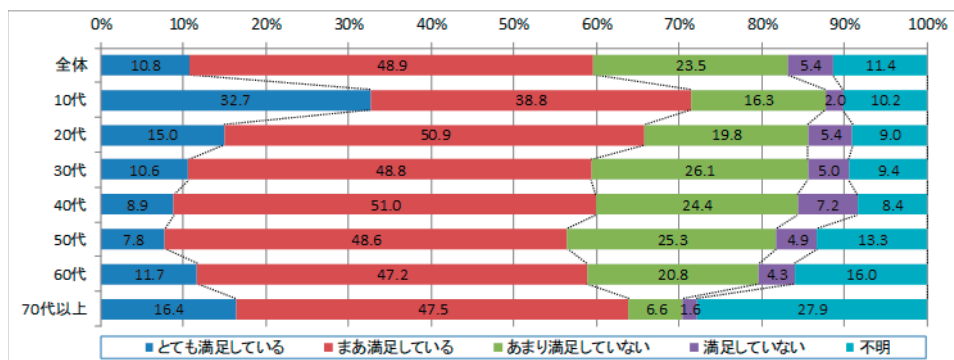


図 3.3.15 仕事の内容についての満足度 (H28年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「70代以上（44.7%）」が最も大きい。次いで「30代（40.1%）」、「20代（39.7%）」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「40代（56.8%）」が最も大きい。次いで「50代（52.8%）」、「30代（50.9%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「あまり満足していない」は総じて減少している。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	2147	3.9	34.9	35.5	15.4	10.3
年齢						
10代	43	9.3	27.9	34.9	14.0	14.0
20代	260	8.5	31.2	28.8	20.8	10.8
30代	501	4.4	35.7	32.7	18.2	9.0
40代	564	3.0	34.0	41.0	15.8	6.2
50代	356	2.0	35.4	37.9	14.9	9.8
60代	353	2.5	37.1	35.1	8.8	16.4
70代以上	47	4.3	40.4	27.7	8.5	19.1

表 3.3.16 収入等についての満足度（H29年度）（割合%）

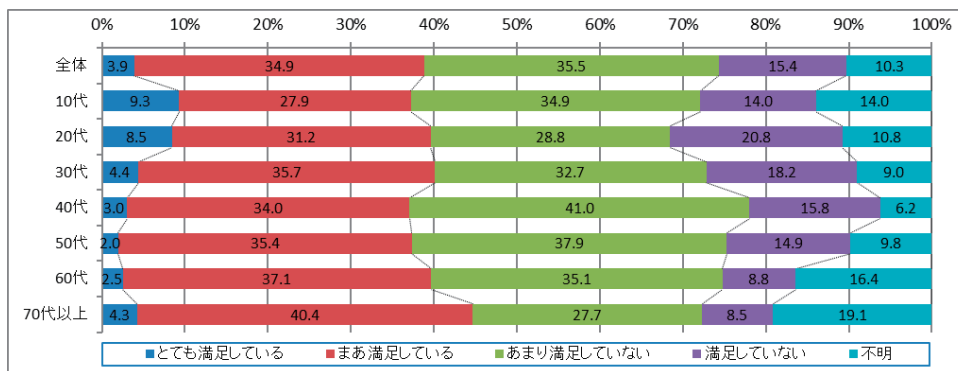


図 3.3.16 収入等についての満足度（H29年度）

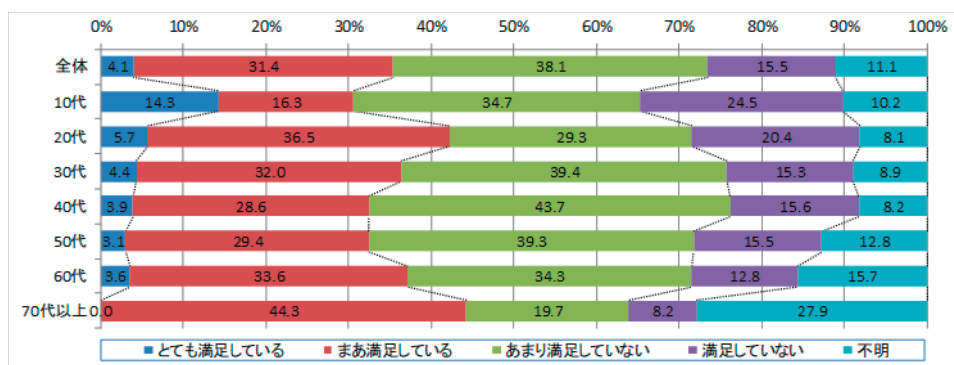


図 3.3.16# 収入等についての満足度（H28年度）

③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

- ・「仕事ができる限り続ける」は「20代（67.3%）」が最も大きい。次いで「10代（65.1%）」、「30代（54.7%）」。一方「60代（31.2%）」が最も小さい。
- ・「65歳で引退する」は「30代」～「50代」までで「仕事ができる限り続ける」の次に大きな割合を占める。
- ・「仕事がないため、近々退職・引退する予定である」は「30代（2.4%）」で最も大きい。次いで「70代（2.1%）」であった。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

		合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
			60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体		2147	7.6	14.6	13.0	3.2	49.7	1.1	10.8
年齢	10代	43	7.0	11.6	2.3	0.0	65.1	0.0	14.0
	20代	260	9.6	8.5	2.7	0.4	67.3	1.2	10.4
	30代	501	9.2	14.4	7.8	1.8	54.7	2.4	9.8
	40代	564	12.2	17.4	9.8	1.6	51.8	0.7	6.6
	50代	356	5.6	21.9	18.0	1.4	42.4	0.6	10.1
	60代	353	0.0	10.8	31.2	9.1	31.2	0.3	17.6
	70代以上	47	0.0	2.1	2.1	23.4	51.1	2.1	19.1

表 3.3.17 何歳まで仕事を続ける予定か（H29年度）（割合％）

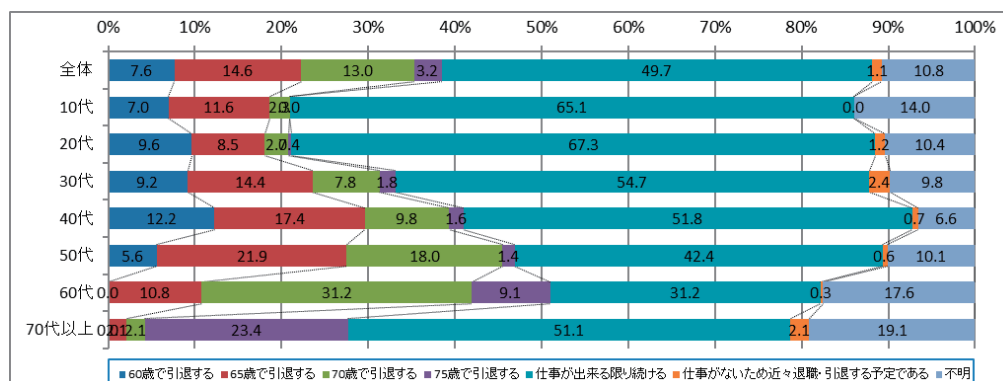


図 3.3.17 何歳まで仕事を続ける予定か（H29年度）

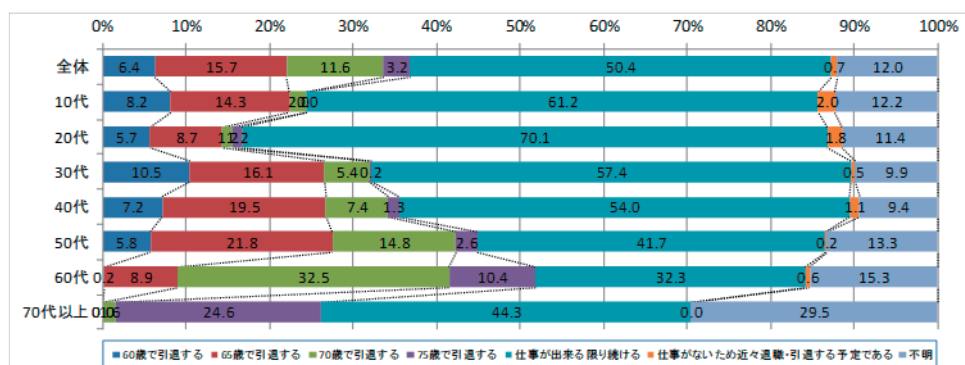


図 3.3.17 何歳まで仕事を続ける予定か（H28年度）

## (5) 担い手育成について

### ①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

- ・「現在育てている」は「70代以上（19.1%）」が最も大きい。次いで「50代（15.7%）」、「60代（13.3%）」。
- ・「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」は「40代（46.5%）」が最も大きい。次いで「30代（45.7%）」、「20代（39.6%）」。
- ・「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」とは「50代（43.0%）」が最も大きい。次いで「60代（38.5%）」、「40代（32.6%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「20代」以上で「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」が増加している。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	2147	12.2	38.2	32.8	16.8
年齢					
10代	43	4.7	30.2	20.9	44.2
20代	260	7.7	39.6	23.1	29.6
30代	501	12.2	45.7	27.9	14.2
40代	564	11.5	46.5	32.6	9.4
50代	356	15.7	28.9	43.0	12.4
60代	353	13.3	25.8	38.5	22.4
70代以上	47	19.1	29.8	31.9	19.1

表 3.3.18 担い手の育成状況（H29年度）（割合%）

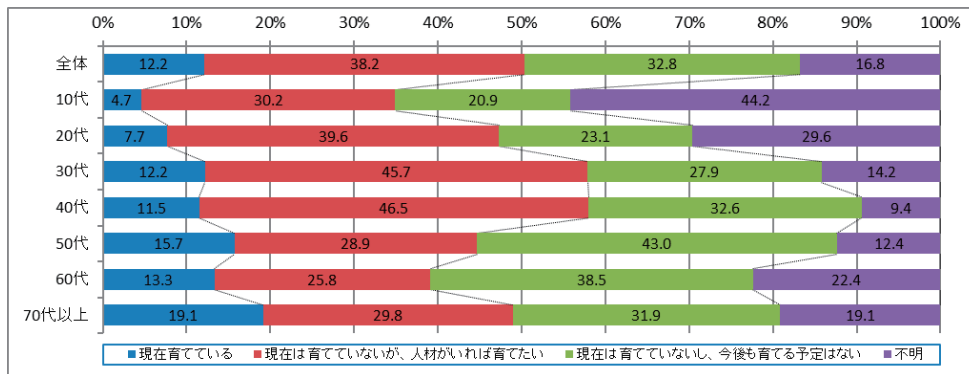


図 3.3.18 担い手の育成状況（H29年度）

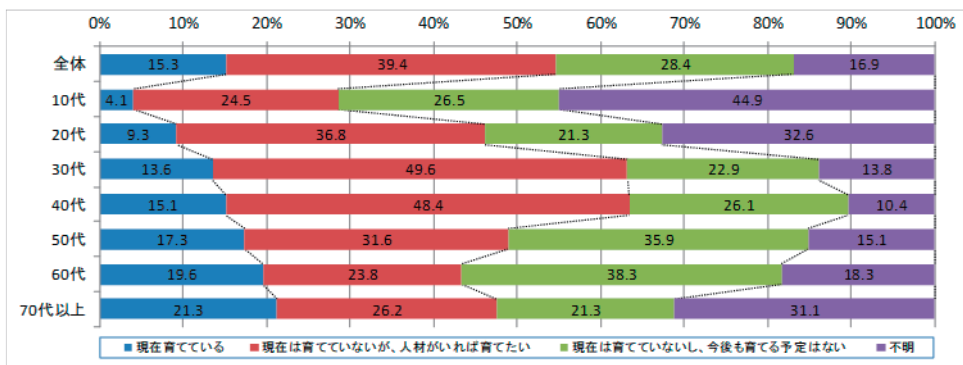


図 3.3.18# 担い手の育成状況（H28年度）

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

- ・「正社員（職業訓練校）」は「10代（50.0%）」が最も大きい。次いで「20代（35.0%）」、「30代（18.0%）」。
- ・「正社員（弟子として）」は「70代以上（88.9%）」が最も大きい。次いで「40代（69.2%）」、「30代（65.6%）」。
- ・「一人親方等にあずける（職業訓練校）」は「10代（50.0%）」が最も大きい。次いで「60代（6.4%）」。
- ・「一人親方等にあずける（弟子として）」は「30代（16.4%）」が最も大きい。次いで「50代（14.3%）」、「40代（12.3%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「正社員（職業訓練校）」及び「正社員（弟子として）」は総じて減少している。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場					
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方 等にあずける (職業訓練校)	一人親方 等にあずける (弟子として)	不明	
全体	261	15.7	63.2	1.5	11.9	7.7	
年齢	10代	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20代	20	35.0	55.0	0.0	10.0	0.0
	30代	61	18.0	65.6	0.0	16.4	0.0
	40代	65	9.2	69.2	0.0	12.3	9.2
	50代	56	12.5	58.9	0.0	14.3	14.3
	60代	47	17.0	59.6	6.4	6.4	10.6
	70代以上	9	11.1	88.9	0.0	0.0	0.0

表 3.3.19 育成期間の担い手の立場（H29年度）（割合%）

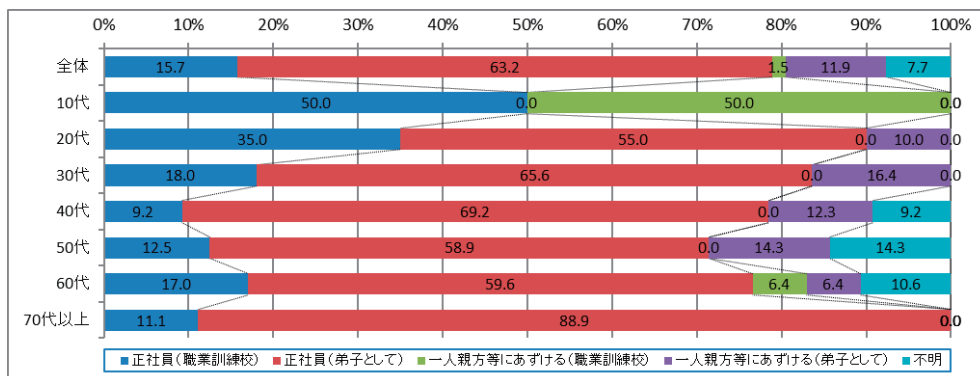


図 3.3.19 育成期間の担い手の立場（H29年度）

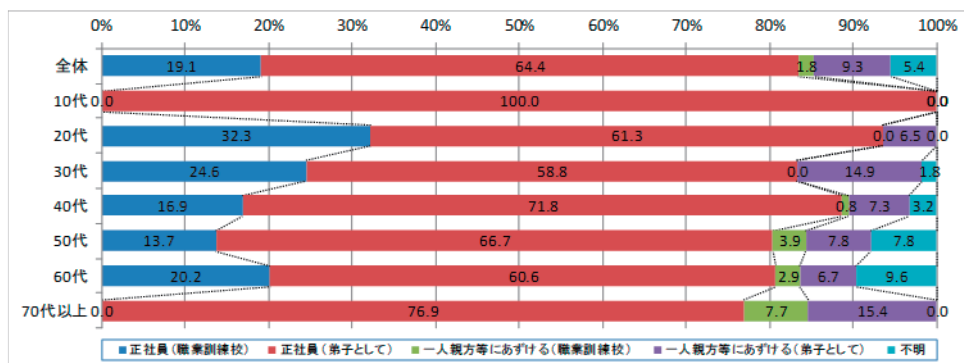


図 3.3.19# 育成期間の担い手の立場（H28年度）



③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担（回答件数の少ない「10代」を除く）

- ・「有る」は「40代（43.1%）」が最も大きい。次いで「30代（39.3%）」、「70代（33.3%）」。
- ・「無い」は「20代（55.0%）」が最も大きい、次いで「10代（50.0%）」、「30代（19.7%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「30代」、「50代」で「有る」が増加している。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	261	31.4	18.0	50.6
年齢				
10代	2	50.0	50.0	0.0
20代	20	20.0	55.0	25.0
30代	61	39.3	19.7	41.0
40代	65	43.1	15.4	41.5
50代	56	23.2	8.9	67.9
60代	47	19.1	14.9	66.0
70代以上	9	33.3	11.1	55.6

表 3.3.20 育成期間にかかる費用負担（H29年度）（割合%）

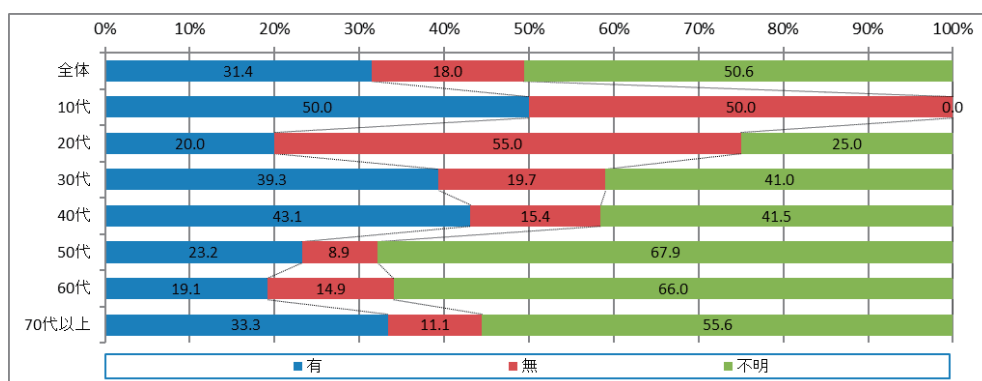


図 3.3.20 育成期間にかかる費用負担（H29年度）

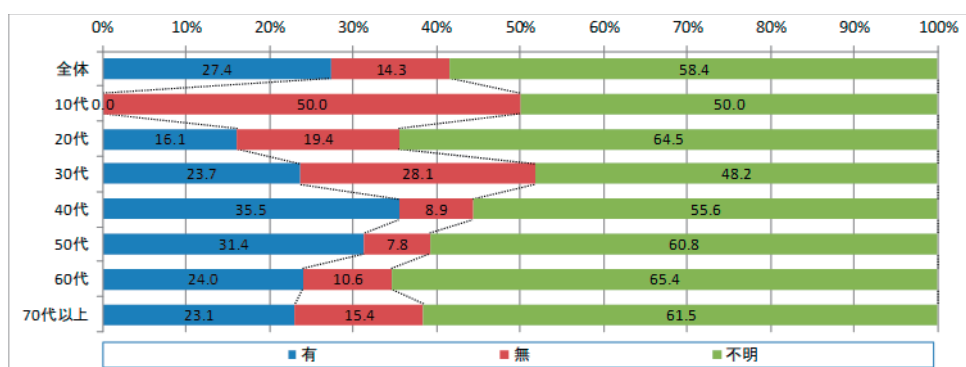


図 3.3.20# 育成期間にかかる費用負担（H28年度）

④ 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

- ・育てる予定がない理由として回答した割合の合計値は、「50代（175.8%）」が最も大きく、次いで「40代（173.9%）」、「60代（173.5%）」。
- ・「30代」から「60代」では「将来の保障ができないため」及び「人材がないため」の割合が大きい。また「60代以上」では「年齢のため」の割合が大きい。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「70代」では「将来の保障ができないため」及び「人材がないため」が増加している。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	705	10.1	11.1	23.8	4.3	19.7	16.0	37.9	11.8	9.8	15.0	5.5	12.6
10代	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	55.6	22.2
20代	60	5.0	11.7	8.3	1.7	8.3	30.0	6.7	15.0	1.7	5.0	11.7	21.7
30代	140	9.3	20.0	24.3	3.6	19.3	16.4	35.7	1.4	8.6	12.1	7.9	11.4
40代	184	13.0	12.0	27.2	7.6	21.2	20.1	42.9	2.7	8.7	15.2	3.3	10.9
50代	153	12.4	7.8	32.7	3.3	20.3	13.7	49.0	9.8	5.2	16.3	5.2	11.1
60代	136	6.6	5.1	18.4	3.7	22.8	6.6	38.2	31.6	19.9	20.6	0.0	14.0
70代以上	15	13.3	0.0	13.3	0.0	26.7	0.0	13.3	40.0	20.0	13.3	13.3	13.3

表 3.3.21 なぜ育てる予定はないのか（H29年度）（割合%）

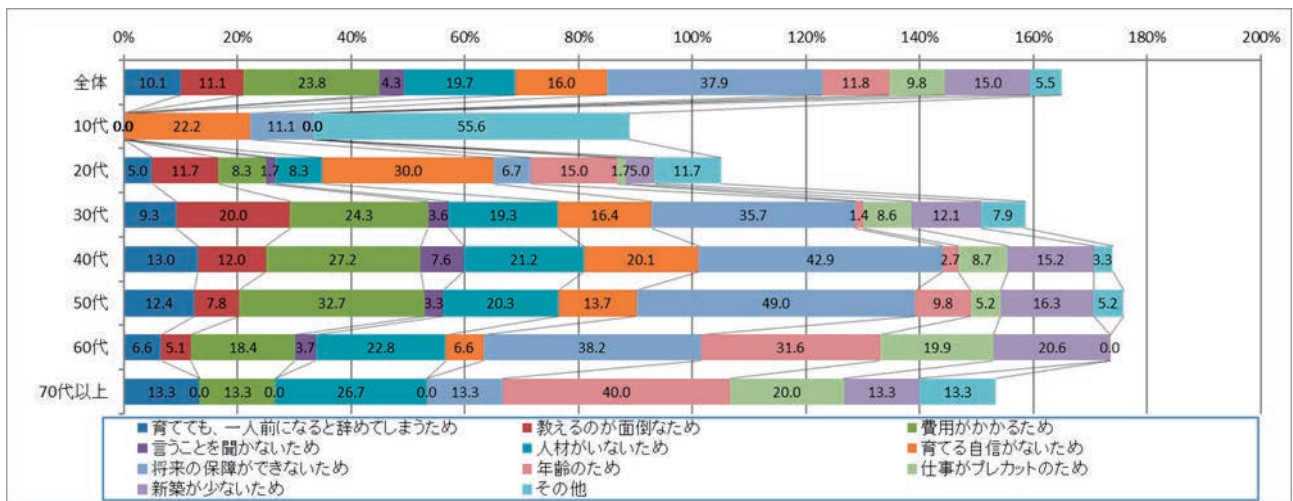


図 3.3.21 なぜ育てる予定はないのか（H29年度）

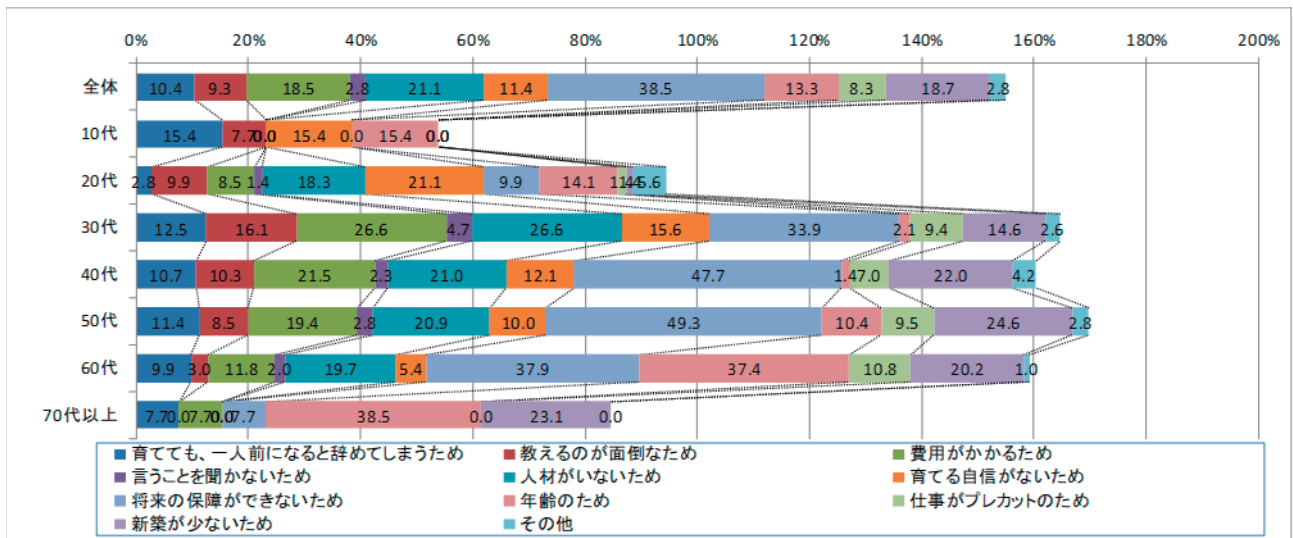


図 3.3.21#なぜ育てる予定はないのか（H28年度）

⑤ 担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

- ・「5万円/月」は「10代（23.3%）」が多い。また、「20代」から「70代以上」の年齢層では「10万円/月」が多い。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体	2147	3.1	14.2	27.9	18.1	3.4	33.4
10代	43	2.3	23.3	4.7	2.3	4.7	62.8
20代	260	3.5	17.3	18.1	10.4	4.2	46.5
30代	501	3.2	16.0	31.5	19.8	4.2	25.3
40代	564	3.0	14.2	32.1	23.4	3.5	23.8
50代	356	3.1	13.5	29.8	19.4	1.4	32.9
60代	353	3.1	9.9	25.2	13.3	3.4	45.0
70代以上	47	2.1	10.6	25.5	14.9	2.1	44.7

表 3.3.22 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H29年度）（割合%）

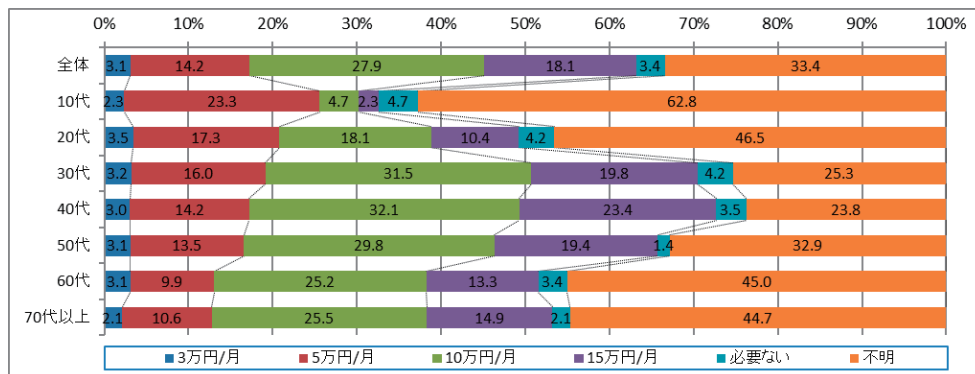


図 3.3.22 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H29年度）

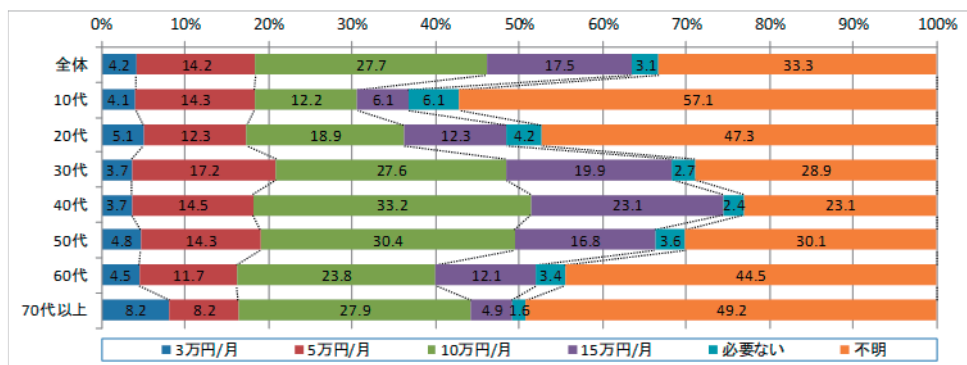


図 3.3.22# 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H28年度）

#### 4. 経験年数別集計

##### (1) 職業等について

###### ①職種においてベテランだと思いませんか。

- ・「ベテラン」は「51年以上 (60.9%)」が最も大きい。次いで「41～50年 (48.0%)」、「31～40年 (38.7%)」。
- ・「ややベテラン」は「31～40年 (31.6%)」が最も大きい。次いで「21～30年 (27.3%)」、「41～50年 (27.0%)」。
- ・「中堅」は「11～20年 (50.3%)」が最も大きい。次いで「21～30年 (47.2%)」、「6～10年 (34.5%)」。
- ・「やや中堅」は「6～10年 (38.8%)」が最も大きい。次いで「11～20年 (19.2%)」、「5年未満 (13.9%)」。
- ・「見習い」は「5年未満 (82.0%)」が最も大きい。次いで「6～10年 (18.2%)」、「11～20年 (4.8%)」。
- ・前回調査 (H28年度) と比較して「51年以上」で「ベテラン」との回答が増加している。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて						
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明	
全体	2147	19.5	19.3	31.5	11.5	15.5	2.7	
経験年数	5年未満	317	0.0	0.0	2.8	13.9	82.0	1.3
	6～10年	165	0.0	6.7	34.5	38.8	18.2	1.8
	11～20年	505	6.5	15.4	50.3	19.2	4.8	3.8
	21～30年	479	17.5	27.3	47.2	5.8	1.9	0.2
	31～40年	323	38.7	31.6	23.5	2.5	0.9	2.8
	41～50年	281	48.0	27.0	16.7	1.8	1.1	5.3
	51年以上	69	60.9	24.6	11.6	0.0	0.0	2.9

表 3.4.1 職種のベテラン度合 (H29年度) (割合%)

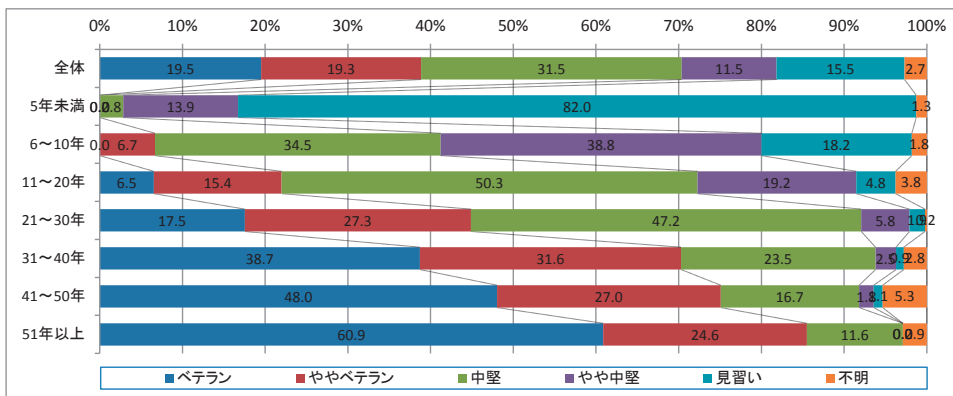


図 3.4.1 職種のベテラン度合 (H29年度)

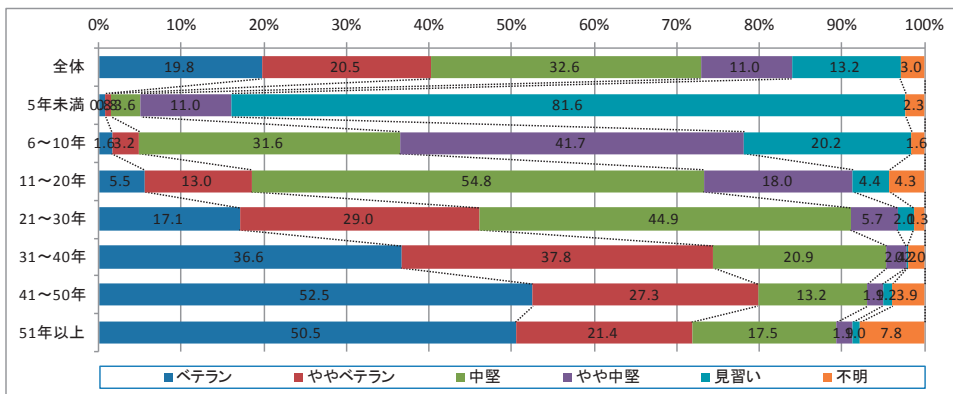


図 3.4.1# 職種のベテラン度合 (H28年度)

## (2) 雇用形態について

### ①雇用形態（工務店等との）

- ・「工務店社員」は「5年未満（75.4%）」が最も大きい。次いで「6～10年（60.6%）」。
- ・「外注常用（日当制）」は「41～50年（12.5%）」が最も大きい。次いで「51年以上（11.6%）」。
- ・「外注常用（坪請主体）」は「11～20年（18.0%）」が最も大きい。次いで「21～30年（15.9%）」。
- ・「その都度契約」は「21～30年（4.8%）」が最も大きい。次いで「11～20年（4.6%）」。
- ・「元請として仕事」は「51年以上（58.0%）」が最も大きい。次いで「41～50年（44.8%）」。
- ・「その他（アルバイト等）」は「5年未満（3.2%）」が最も大きい。次いで「6～10年（2.4%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「51年以上」以外の経験年数で「外注常用（坪請主体）」が増加している。

	合計	(6)あなたの雇用形態							
		工務店社員	外注常用 (日当制)	外注常用 (坪請主体)	その都度 契約	元請として 仕事	その他(アル バイト等)	不明	
全体	2147	37.5	10.5	12.8	3.4	30.7	1.0	4.0	
経験 年数	5年未満	317	75.4	9.8	1.9	0.3	5.7	3.2	3.8
	6～10年	165	60.6	10.9	6.7	1.8	14.5	2.4	3.0
	11～20年	505	37.6	10.5	18.0	4.6	24.8	0.8	3.8
	21～30年	479	29.2	9.0	15.9	4.8	38.2	0.4	2.5
	31～40年	323	21.7	11.1	13.9	3.7	44.6	0.6	4.3
	41～50年	281	19.2	12.5	14.9	3.2	44.8	0.0	5.3
	51年以上	69	14.5	11.6	5.8	2.9	58.0	0.0	7.2

表 3.4.2 雇用形態（H29年度）（割合%）

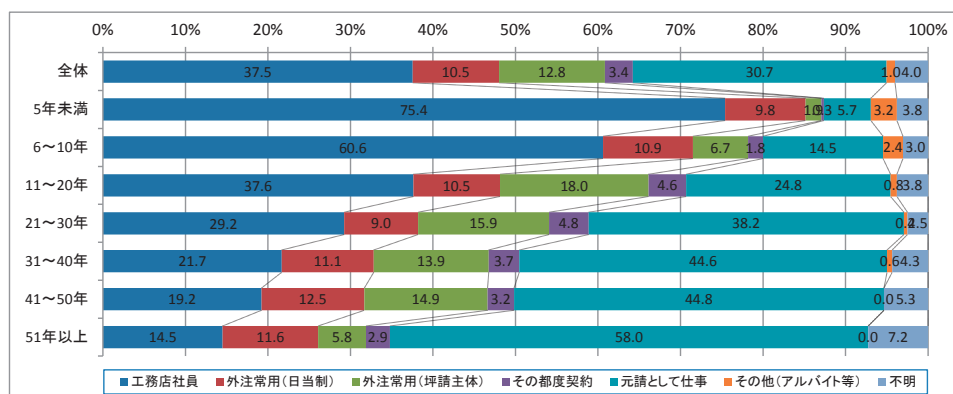


図 3.4.2 雇用形態（H29年度）

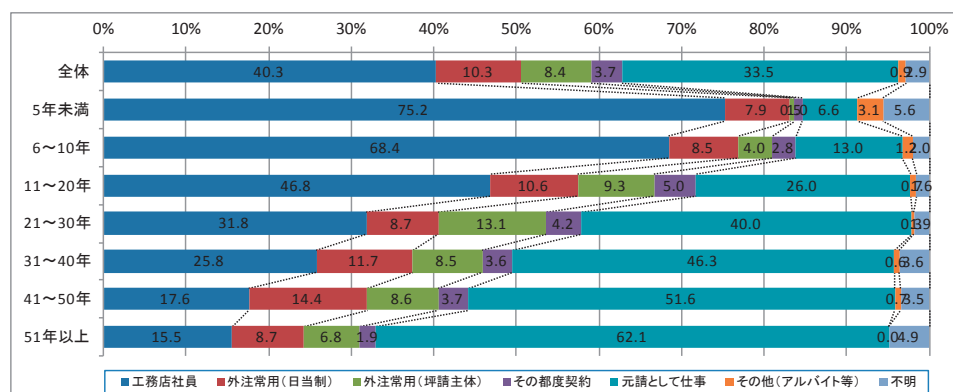


図 3.4.2#雇用形態（H28年度）

## ②就業規則

- ・「有る」は「5年未満(44.5%)」が最も大きい。次いで「6～10年(33.3%)」、「51年以上(26.1%)」。
- ・「無い」は「11～20年(58.6%)」が最も大きい。また「6～10年」以上では4～5割以上が「無い」と回答している。
- ・前回調査(H28年度)と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(7)就業規則			
		有	無	不明	
全体	2147	27.7	49.0	23.3	
経験年数	5年未満	317	44.5	28.7	26.8
	6～10年	165	33.3	49.1	17.6
	11～20年	505	25.5	58.6	15.8
	21～30年	479	20.9	57.8	21.3
	31～40年	323	26.9	46.7	26.3
	41～50年	281	22.8	44.8	32.4
	51年以上	69	26.1	42.0	31.9

表 3.4.3 就業規則 (H29 年度) (割合%)

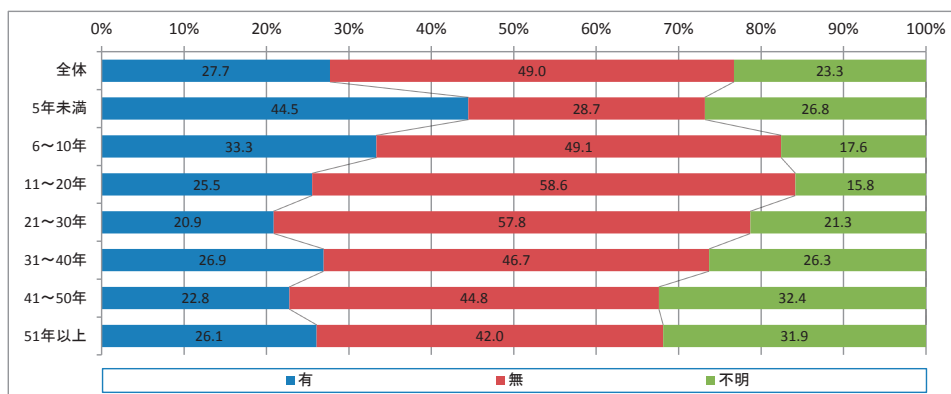


図 3.4.3 就業規則 (H29 年度)

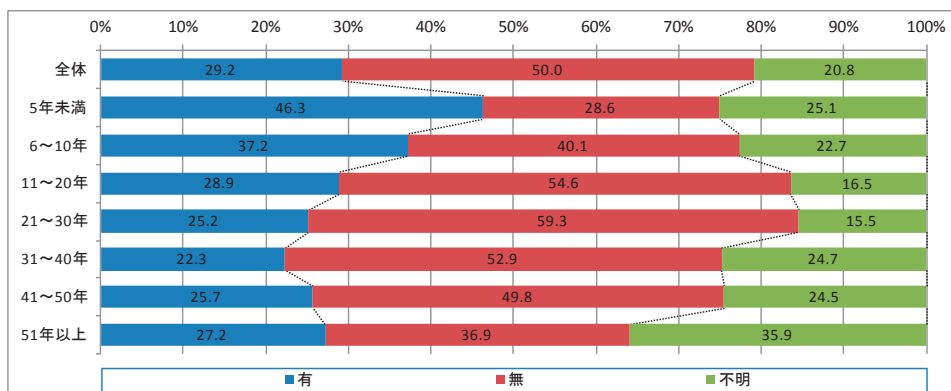


図 3.4.3# 就業規則 (H28 年度)

### ③有給休暇

- ・「有る」は「5年未満(32.5%)」が最も大きい。次いで「6～10年(17.6%)」、「11～20年(11.7%)」。
- ・「無い」は「11～20年(74.3%)」が最も大きい。次いで「21～30年(68.5%)」、「6～10年(66.7%)」。
- ・前回調査(H28年度)と比較して「有る」は減少しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(8)有給休暇			
		有	無	不明	
全体	2147	14.8	60.6	24.6	
経験年数	5年未満	317	32.5	45.4	22.1
	6～10年	165	17.6	66.7	15.8
	11～20年	505	11.7	74.3	14.1
	21～30年	479	10.6	68.5	20.9
	31～40年	323	11.1	60.1	28.8
	41～50年	281	10.7	44.5	44.8
	51年以上	69	10.1	34.8	55.1

表 3.4.4 有給休暇 (H29 年度) (割合%)

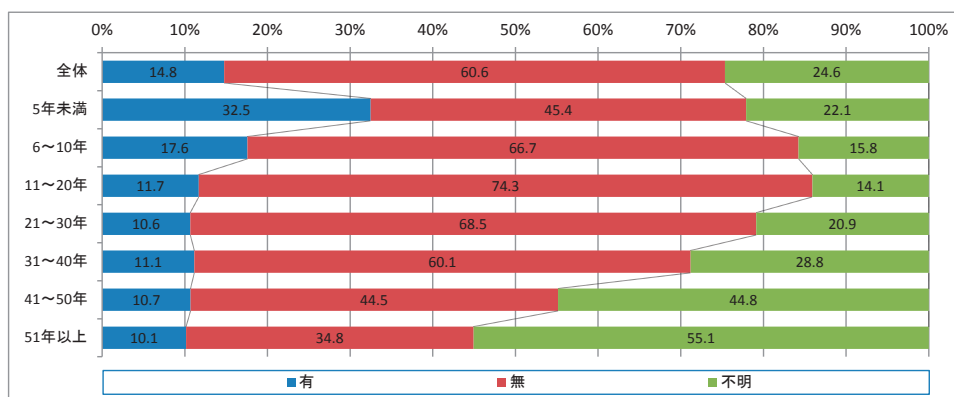


図 3.4.4 有給休暇 (H29 年度)

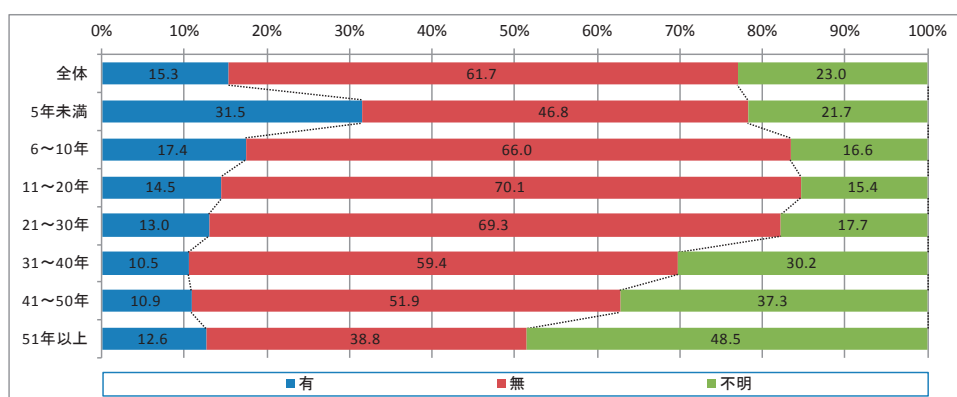


図 3.4.4# 有給休暇 (H28 年度)

#### ④年間就業日数

- 平均年間就業日数は「6～10年（276.88日）」が最も多く、次いで「11～20年（271.57日）」であった。一方「51年以上（202.88日）」が最も少なく、次いで「41～50年（242.91日）」であった。
- 前回調査（H28年度）と比較して「51年以上」で「300日以上」が減少している。

	合計	(9)年間就業日数							平均	
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明		
全体	2147	3.7	0.8	0.6	5.3	19.0	25.2	45.5	262.63	
経験年数	5年未満	317	4.7	1.6	0.3	2.5	12.0	22.7	56.2	254.22
	6～10年	165	1.8	0.6	0.0	5.5	18.8	29.1	44.2	276.88
	11～20年	505	3.6	0.6	0.2	3.6	20.8	32.7	38.6	271.57
	21～30年	479	4.0	0.2	0.2	2.7	20.3	30.9	41.8	270.61
	31～40年	323	3.1	0.6	0.9	7.4	21.1	20.7	46.1	259.12
	41～50年	281	3.6	1.1	2.1	11.7	22.1	13.2	46.3	242.91
	51年以上	69	5.8	2.9	0.0	13.0	11.6	4.3	62.3	202.88

表 3.4.5 年間就業日数（H29年度）（割合％）

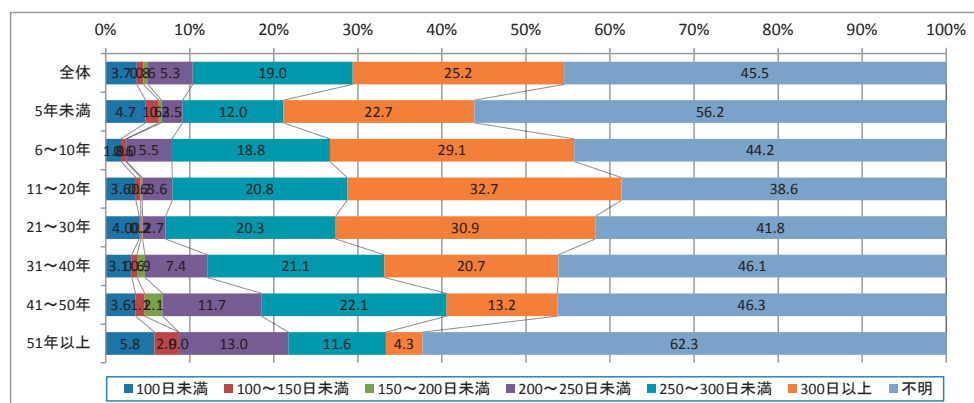


図 3.4.5 年間就業日数（H29年度）

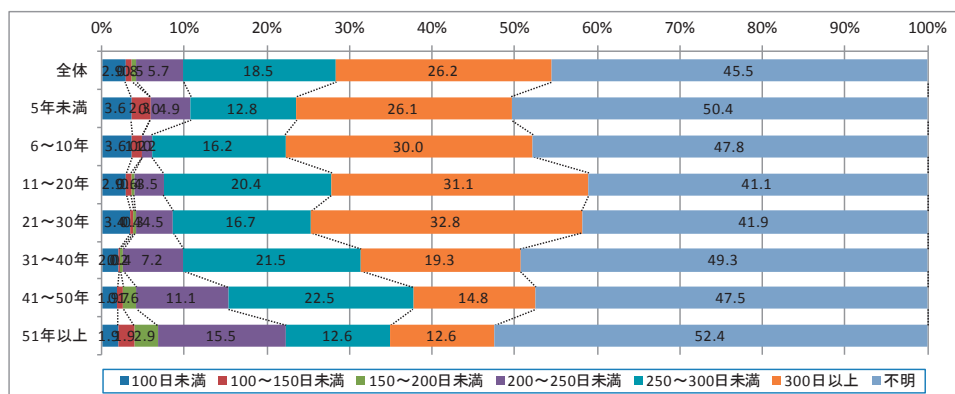


図 3.4.5# 年間就業日数（H28年度）



### ⑤賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・自己負担となっているものの割合の合計値は「11~12年（289.7%）」が最も大きい。次いで「41~50年（288.0%）」であった。
- ・「全て所属する工務店等が負担」は「5年未満（19.2%）」が最も大きい。次いで「21~30年（15.7%）」であった。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「自己負担となっているもの」の割合の合計値は総じて増加している。

	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	2147	69.2	63.4	25.2	51.9	51.7	14.4	9.0
5年未満	317	58.7	46.4	6.6	37.2	36.9	19.2	8.2
6~10年	165	72.1	60.6	13.9	50.3	49.1	12.1	9.1
11~20年	505	74.7	69.7	29.7	57.0	58.6	14.5	5.3
21~30年	479	70.8	67.4	31.1	53.9	52.4	15.7	8.1
31~40年	323	65.0	63.8	28.5	53.9	51.1	13.6	11.5
41~50年	281	74.4	67.3	30.6	56.6	59.1	10.0	11.0
51年以上	69	65.2	62.3	27.5	47.8	47.8	10.1	18.8

表 3.4.6 自己負担となっているもの（H29年度）（割合%）

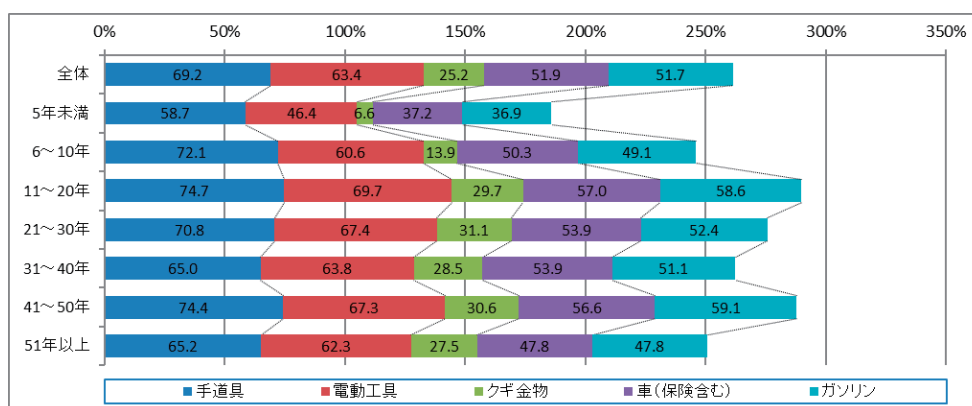


図 3.4.6 自己負担となっているもの（H29年度）

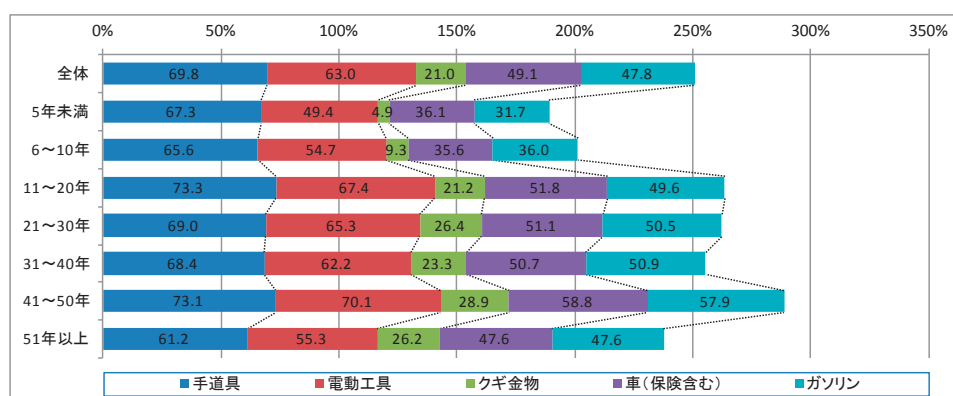


図 3.4.6# 自己負担となっているもの（H28年度）

⑥おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・平均賃金は「21～30年（17,049円）」が最も高く、次いで「31～40年（16,704円）」であった。一方「5年未満（10,169円）」が最も低く、次いで「6～10年（13,434円）」であった。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金						
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明
全体	2147	6.7	8.4	31.2	35.2	10.0	3.4	5.1
経験年数								
5年未満	317	33.8	30.3	23.3	4.4	0.6	0.9	6.6
6～10年	165	2.4	18.8	52.1	14.5	4.8	3.6	3.6
11～20年	505	2.2	5.0	36.8	38.0	12.1	3.6	2.4
21～30年	479	0.6	2.9	26.9	42.2	18.0	4.4	5.0
31～40年	323	1.5	1.5	26.0	53.6	8.4	5.3	3.7
41～50年	281	2.8	2.1	32.0	44.1	8.9	2.5	7.5
51年以上	69	5.8	2.9	29.0	39.1	8.7	2.9	11.6

表 3.4.7 1日あたりのおおよその賃金（H29年度）（割合%）

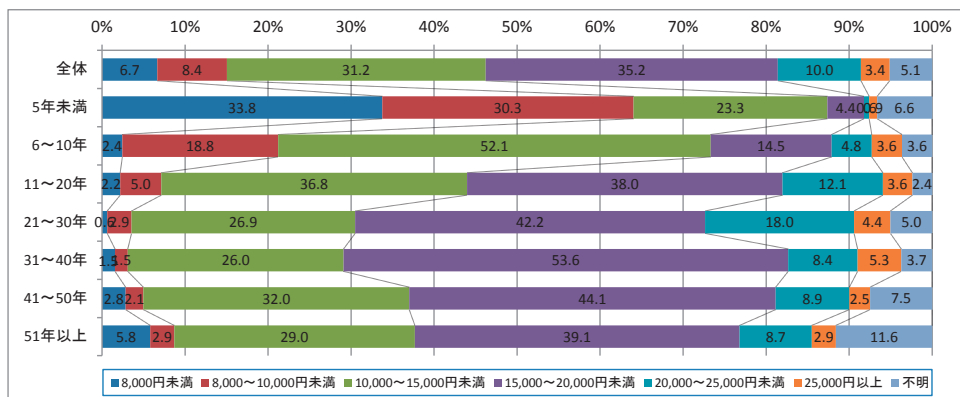


図 3.4.7 1日あたりのおおよその賃金（H29年度）

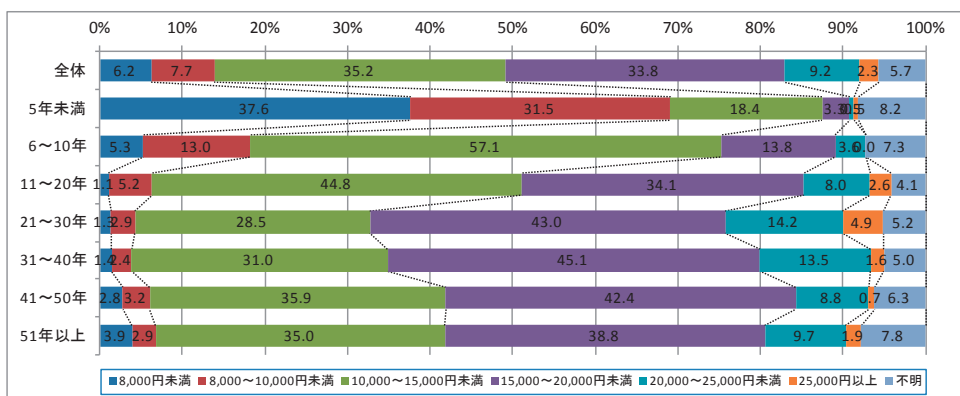


図 3.4.7# 1日あたりのおおよその賃金（H28年度）

### (3) 資格や技能について

#### ①持っている資格

- ・持っている資格の合計値は「51年以上(378.1%)」が最も大きい。次いで「41～50年(334.5%)」。
- ・一方「5年未満(98.0%)」が最も小さく、次いで「6～10年(170.9%)」。
- ・「5年未満」では「玉掛け技能講習(36.9%)」が最も多い。
- ・「11～20年」より上の経験年数では「2級建築士」、「足場の組立て等作業主任者」、「木造建築物組立て作業主任者」との回答が増加する。
- ・前回調査(H28年度)と比較して「5年未満」の合計値が増加している。

経験年数	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	2147	4.7	27.2	2.4	4.2	12.4	22.2	1.9	9.9	6.7	39.8	39.8	45.2	16.9	9.8	18.3
5年未満	317	0.9	7.6	0.6	1.6	4.7	11.7	0.0	0.3	0.9	11.0	6.6	36.9	13.6	1.6	45.1
6～10年	165	3.6	16.4	0.6	2.4	5.5	27.3	0.6	4.2	0.6	23.6	20.0	45.5	19.4	1.2	26.7
11～20年	505	4.4	29.1	1.2	5.3	12.9	21.4	1.4	5.3	5.0	43.6	42.6	54.1	14.1	6.7	12.1
21～30年	479	5.4	35.1	0.8	5.8	11.7	20.7	2.3	7.3	6.1	44.7	47.0	42.2	15.9	9.0	13.8
31～40年	323	8.7	33.7	5.0	4.0	19.5	21.4	2.5	10.5	11.1	50.2	52.6	44.9	19.5	13.9	11.5
41～50年	281	3.9	31.3	6.4	3.2	17.4	34.2	3.9	28.8	11.7	50.9	55.2	45.6	21.0	21.0	10.0
51年以上	69	7.2	30.4	7.2	5.8	14.5	31.9	4.3	40.6	23.2	60.9	50.7	43.5	24.6	33.3	10.1

表 3.4.8 持っている資格 (H29 年度) (割合%)

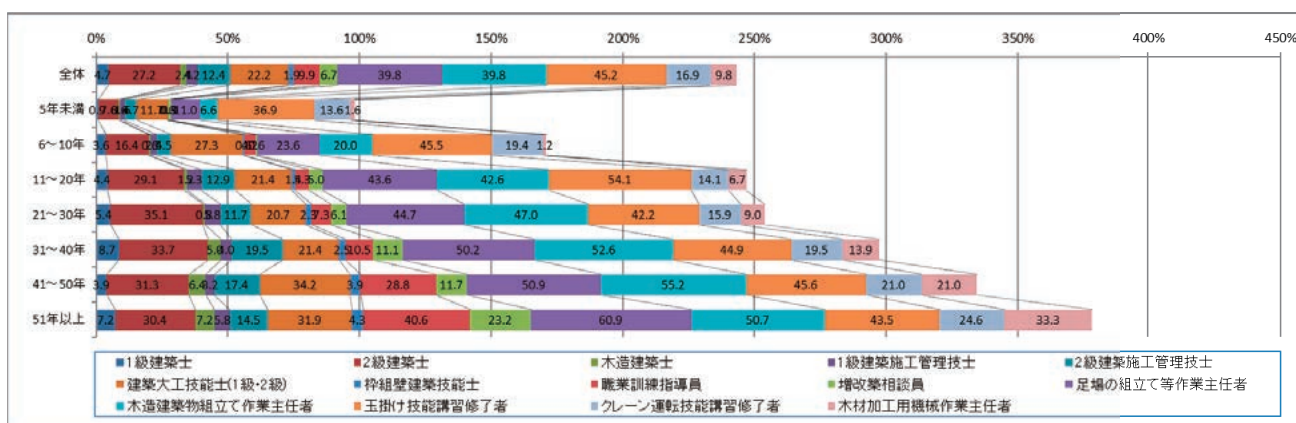


図 3.4.8 持っている資格 (H29 年度)

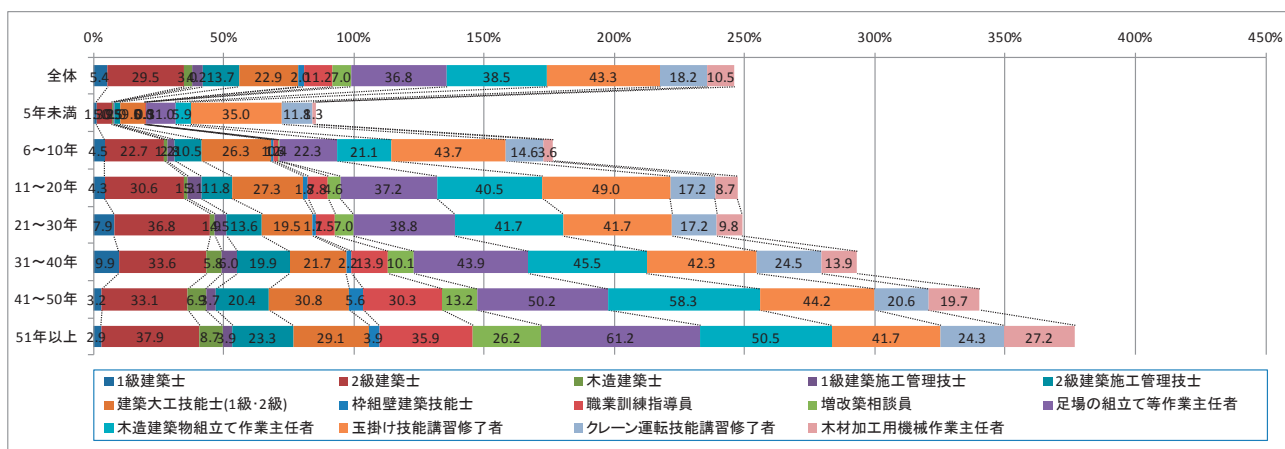


図 3.4.8# 持っている資格 (H28 年度)

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

- ・「はい」は「31～40年（83.0%）」が最も大きい。また経験年数31年以上では「はい」が8割以上であった。
- ・「いいえ」は「5年未満（49.5%）」が最も大きい。次いで「6～10年（33.3%）」、「11～20年（24.2%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「5年未満」及び「6～10年」で「はい」が増加している。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	2147	67.8	19.0	13.2	
経験年数	5年未満	317	35.3	49.5	15.1
	6～10年	165	46.7	33.3	20.0
	11～20年	505	67.9	24.2	7.9
	21～30年	479	76.8	12.1	11.1
	31～40年	323	83.0	3.1	13.9
	41～50年	281	81.5	2.1	16.4
	51年以上	69	81.2	0.0	18.8

表 3.4.9 墨付け（H29年度）（割合%）

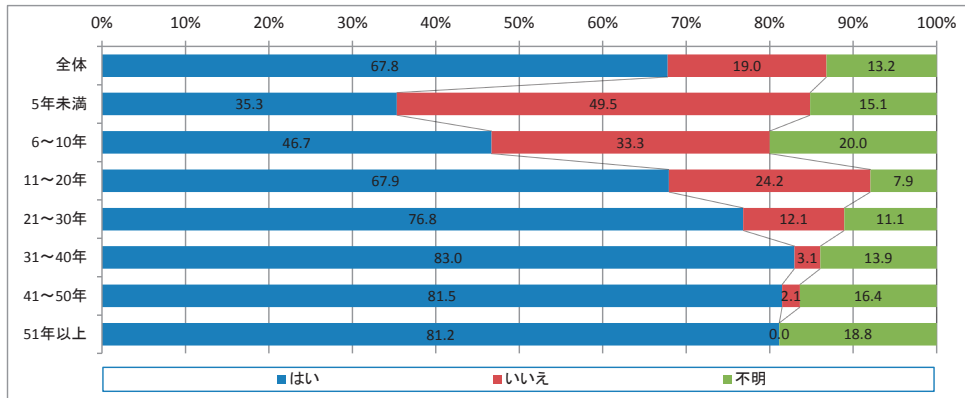


図 3.4.9 墨付け（H29年度）

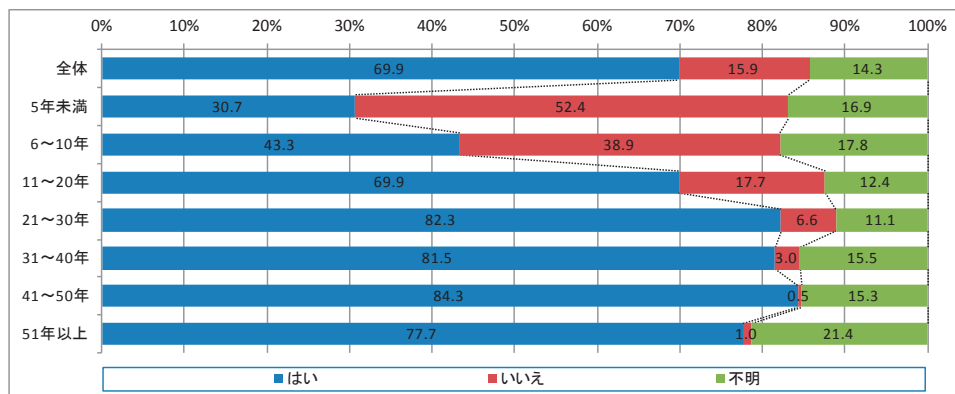


図 3.4.9# 墨付け（H28年度）

③ **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

- ・「はい」は「51年以上(31.9%)」が最も大きい。次いで「41～50年(24.6%)」、「6～10年(20.6%)」。
- ・「いいえ」は「11～20年(74.3%)」が最も大きい。次いで「21～30年(70.1%)」。
- ・前回調査(H28年度)と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	19.3	66.6	14.1
経験年数				
5年未満	317	18.0	66.9	15.1
6～10年	165	20.6	61.2	18.2
11～20年	505	17.4	74.3	8.3
21～30年	479	18.4	70.1	11.5
31～40年	323	17.3	66.9	15.8
41～50年	281	24.6	55.5	19.9
51年以上	69	31.9	44.9	23.2

表 3.4.10 手刻み加工の仕事(新築)(H29年度) (割合%)

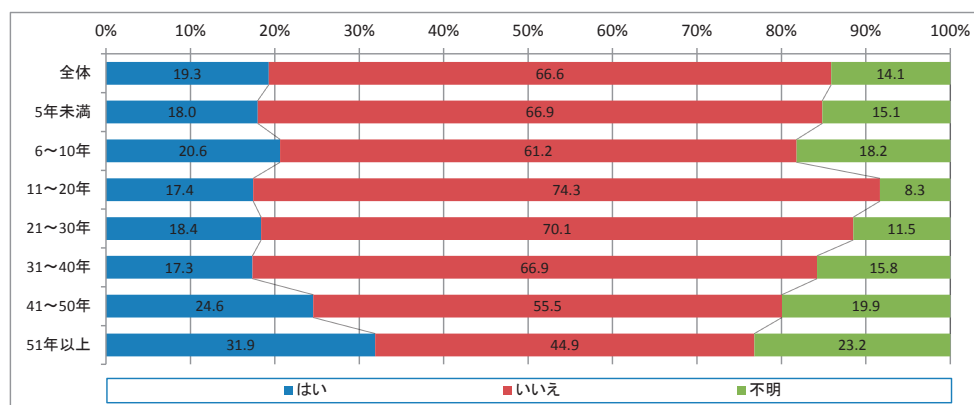


図 3.4.10 手刻み加工の仕事(新築)(H29年度)

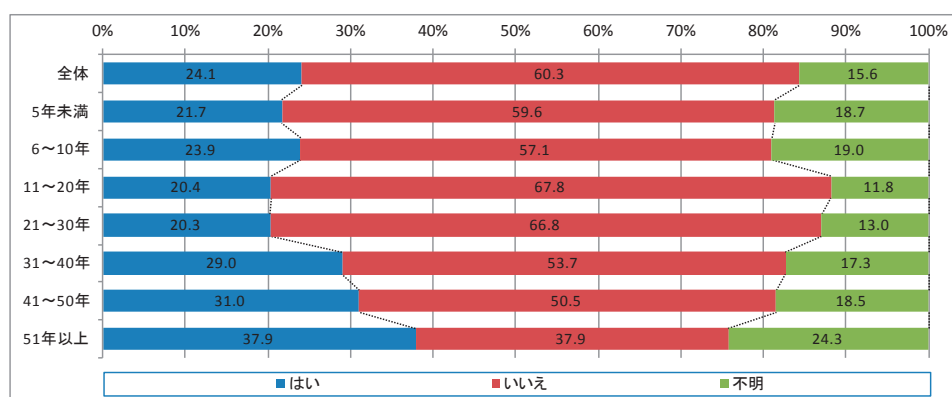


図 3.4.10 手刻み加工の仕事(新築)(H28年度)

④ **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

- ・「はい」は「51年以上(55.1%)」が最も大きい。次いで「31～40年(44.9%)」、「41～50年(43.1%)」。
- ・「いいえ」は「5年未満(55.2%)」が最も大きい。次いで「11～20年(49.7%)」、「21～30年(44.9%)」。
- ・前回調査(H28年度)と比較して「41～50年」以下で「はい」が減少している。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	2147	41.3	44.4	14.3	
経験年数	5年未満	317	29.7	55.2	15.1
	6～10年	165	41.2	40.6	18.2
	11～20年	505	42.2	49.7	8.1
	21～30年	479	43.0	44.9	12.1
	31～40年	323	44.9	39.6	15.5
	41～50年	281	43.1	35.9	21.0
	51年以上	69	55.1	21.7	23.2

表 3.4.11 手刻み加工の仕事(増改築)(H29年度) (割合%)

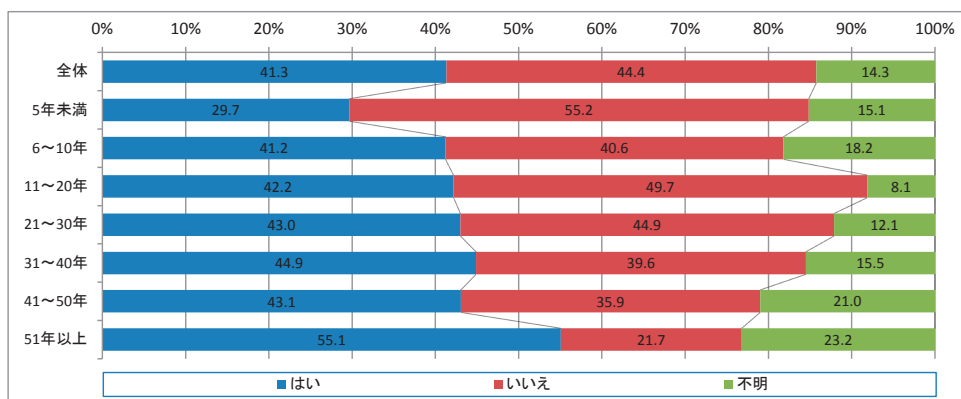


図 3.4.11 手刻み加工の仕事(増改築)(H29年度)

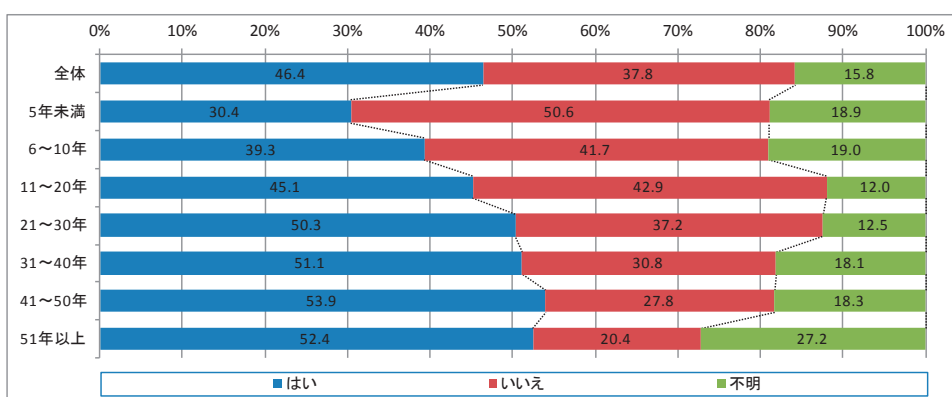


図 3.4.11 #手刻み加工の仕事(増改築)(H28年度)

⑤ **大工職のみ回答** 和室造作ができますか。

- ・「はい」は「31～40年（82.0%）」が最も大きい。また経験年数21年以上では「はい」が8割程度であった。
- ・「いいえ」は「5年未満（76.0%）」が最も大きい。次いで「6～10年（54.5%）」、「11～20年（26.9%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)④和室造作ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	2147	61.3	24.9	13.8	
経験年数	5年未満	317	7.6	76.0	16.4
	6～10年	165	26.1	54.5	19.4
	11～20年	505	64.4	26.9	8.7
	21～30年	479	79.3	9.8	10.9
	31～40年	323	82.0	4.0	13.9
	41～50年	281	79.0	2.5	18.5
	51年以上	69	79.7	0.0	20.3

表 3.4.12 和室造作（H29年度）（割合%）

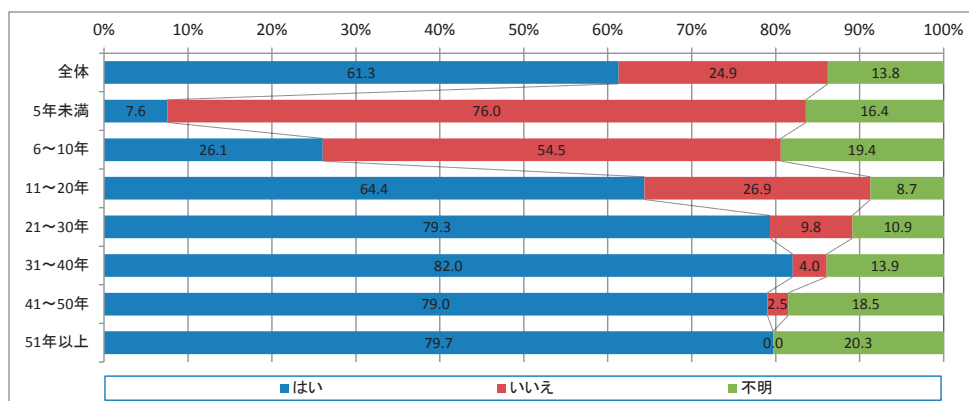


図 3.4.12 和室造作（H29年度）

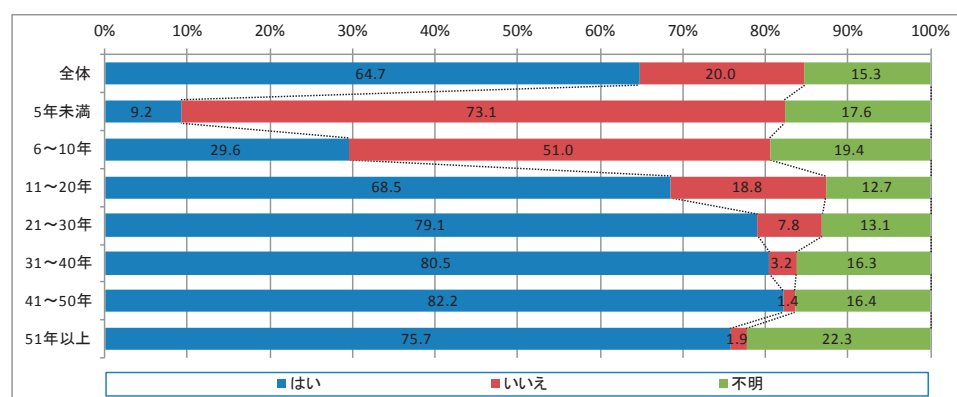


図 3.4.12 井和室造作（H28年度）

⑥ **大工職のみ回答** 2×4 工法の住宅の施工ができますか

- ・「はい」は「51年以上（33.3%）」が最も大きい。また経験年数 11年以上では「はい」が3割程度であった。
- ・「いいえ」は「5年未満（73.2%）」が最も大きい。次いで「6～10年（61.8%）」、「11～20年（60.6%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「はい」は「11～20年」で増加している。一方「41～50年」では減少している。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	2147	26.7	57.8	15.4	
経験年数	5年未満	317	10.1	73.2	16.7
	6～10年	165	18.8	61.8	19.4
	11～20年	505	30.9	60.6	8.5
	21～30年	479	32.4	54.9	12.7
	31～40年	323	29.4	52.9	17.6
	41～50年	281	28.8	49.5	21.7
	51年以上	69	33.3	39.1	27.5

表 3.4.13 2×4 工法の住宅の施工（H29年度）（割合%）

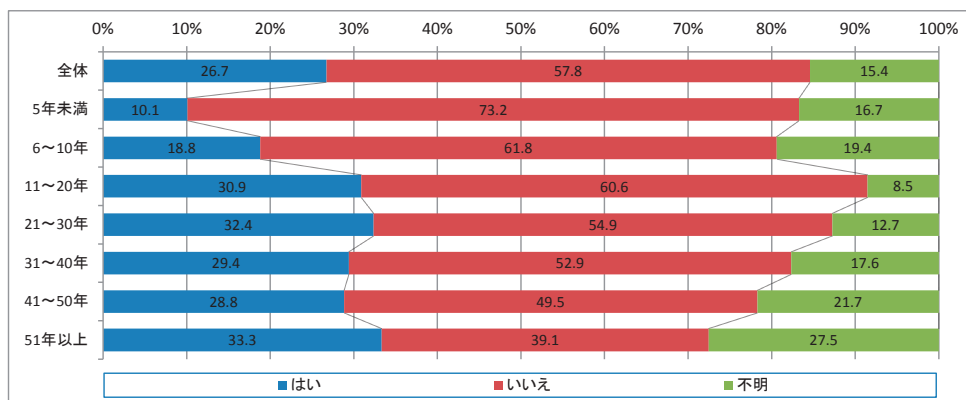


図 3.4.13 2×4 工法の住宅の施工（H29年度）

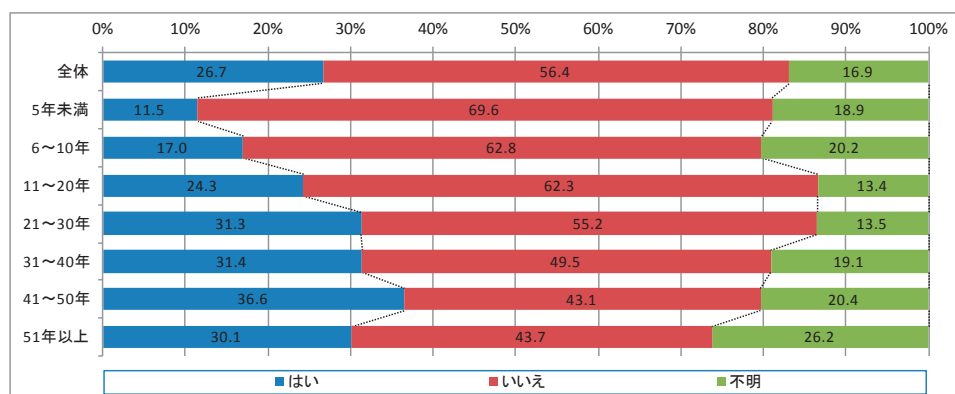


図 3.4.13# 2×4 工法の住宅の施工（H28年度）



#### (4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

##### ①現在の仕事の内容について満足していますか。

- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「6～10年（67.9%）」が最も大きい。次いで「5年未満（66.6%）」、「21～30年（65.8%）」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「11～20年（34.4%）」が最も大きい。次いで「31～40年（32.2%）」、「21～30年（26.3%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「41～50年」以下で「まあ満足している」が増加している。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	2147	10.2	51.8	22.3	5.6	10.1
経験年数						
5年未満	317	16.1	50.5	18.3	4.4	10.7
6～10年	165	12.7	55.2	18.2	4.2	9.7
11～20年	505	7.3	51.7	25.5	8.9	6.5
21～30年	479	9.2	56.6	21.3	5.0	7.9
31～40年	323	8.0	49.2	27.2	5.0	10.5
41～50年	281	10.0	49.5	21.4	3.9	15.3
51年以上	69	18.8	42.0	15.9	4.3	18.8

表 3.4.14 仕事の内容についての満足度（H29年度）（割合％）

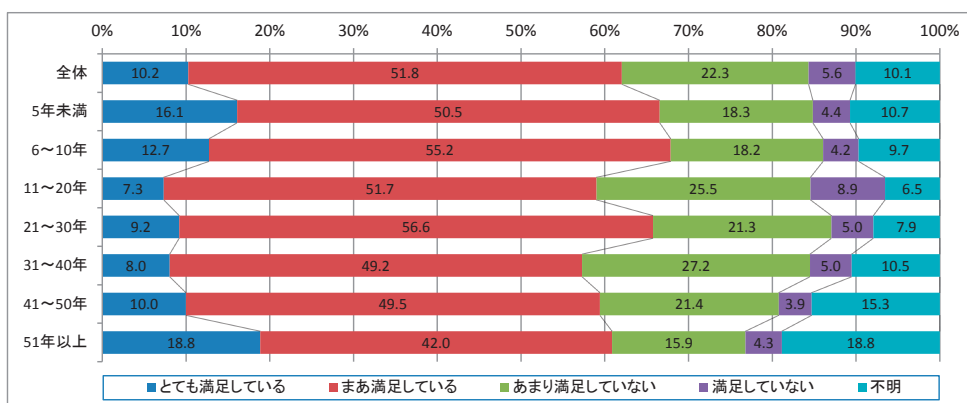


図 3.4.14 仕事の内容についての満足度（H29年度）

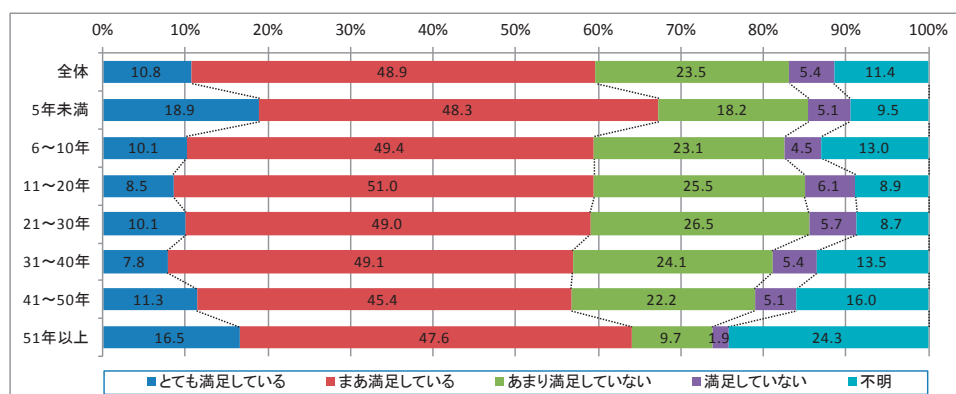


図 3.4.14# 仕事の内容についての満足度（H28年度）

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「6～10年（43.7%）」が最も大きい。次いで「51年以上（43.4%）」、「5年未満（41.3%）」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「11～20年（56.8%）」が最も大きい。次いで「21～30年（56.8%）」、「31～40年（51.1%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「41～50年」以下で「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値が増加している。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	2147	3.9	34.9	35.5	15.4	10.3	
経験年数	5年未満	317	8.5	32.8	27.1	20.2	11.4
	6～10年	165	6.1	37.6	30.9	16.4	9.1
	11～20年	505	4.0	32.5	37.6	19.2	6.7
	21～30年	479	2.5	35.1	40.5	14.0	7.9
	31～40年	323	1.9	36.2	37.2	13.9	10.8
	41～50年	281	2.8	37.0	36.3	8.5	15.3
	51年以上	69	1.4	42.0	27.5	7.2	21.7

表 3.4.15 収入等についての満足度（H29年度）（割合%）

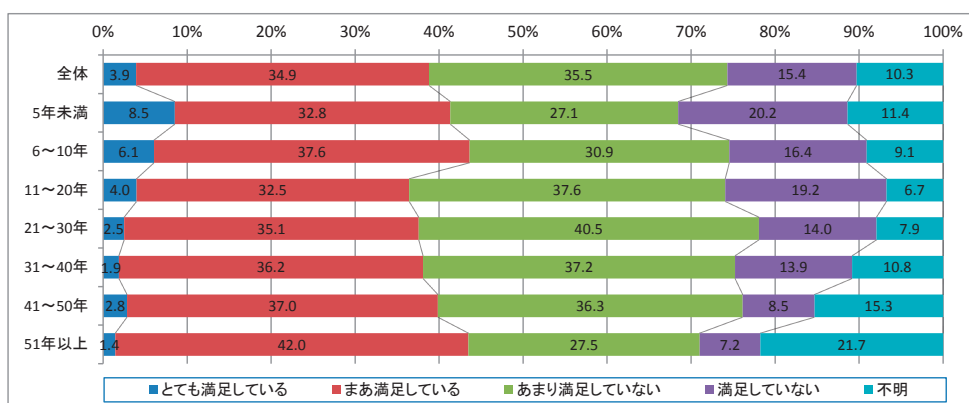


図 3.4.15 収入等についての満足度（H29年度）

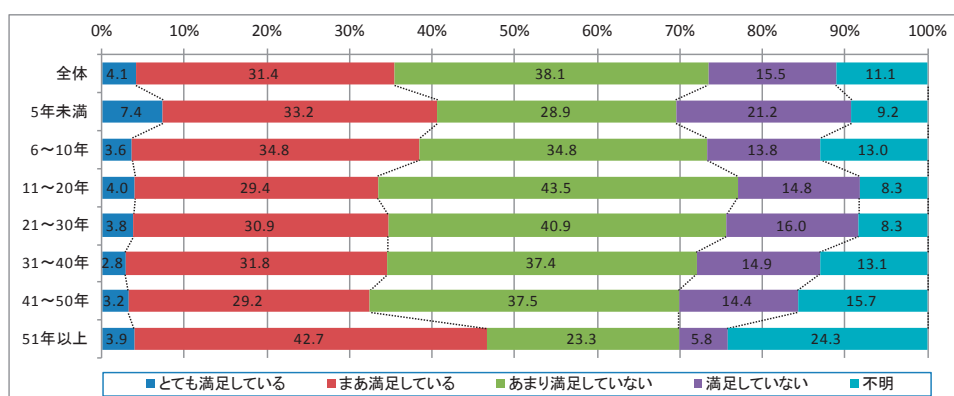


図 3.4.15# 収入等についての満足度（H28年度）

### ③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

- ・「仕事ができる限り続ける」は「6～10年（66.1%）」が最も大きい。次いで「5年未満（65.3%）」。
- ・一方「41～50年（35.9%）」が最も小さい。
- ・「65歳で引退する」は「31～40年（20.7%）」が最も大きい。次いで「21～30年（19.0%）」。
- ・「70歳で引退する」は「41～50年（28.1%）」が最も大きい。次いで「31～40年（24.1%）」。
- ・「仕事がないため近々退職・引退する予定である」は「5年未満（1.9%）」が最も大きい。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「51年以上」で「75歳で引退する」、「仕事ができる限り続ける」が増加している。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか							
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明	
全体	2147	7.6	14.6	13.0	3.2	49.7	1.1	10.8	
経験年数	5年未満	317	9.1	10.1	2.5	0.3	65.3	1.9	10.7
	6～10年	165	7.9	10.9	4.8	1.2	66.1	0.0	9.1
	11～20年	505	10.5	15.0	9.1	2.4	53.5	1.6	7.9
	21～30年	479	11.7	19.0	11.3	1.0	47.6	1.3	8.1
	31～40年	323	3.7	20.7	24.1	2.8	37.2	0.3	11.1
	41～50年	281	0.0	10.0	28.1	8.9	35.9	0.7	16.4
	51年以上	69	1.4	1.4	10.1	18.8	44.9	0.0	23.2

表 3.4.16 何歳まで仕事を続ける予定か（H29年度）（割合％）

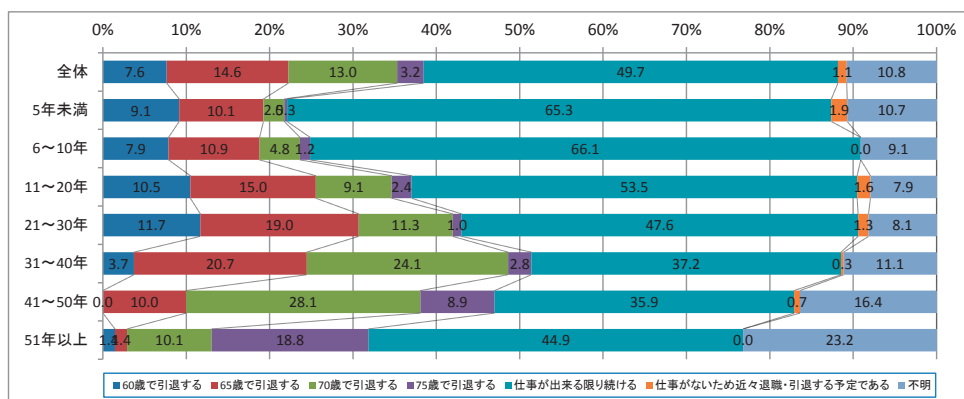


図 3.4.16 何歳まで仕事を続ける予定か（H29年度）

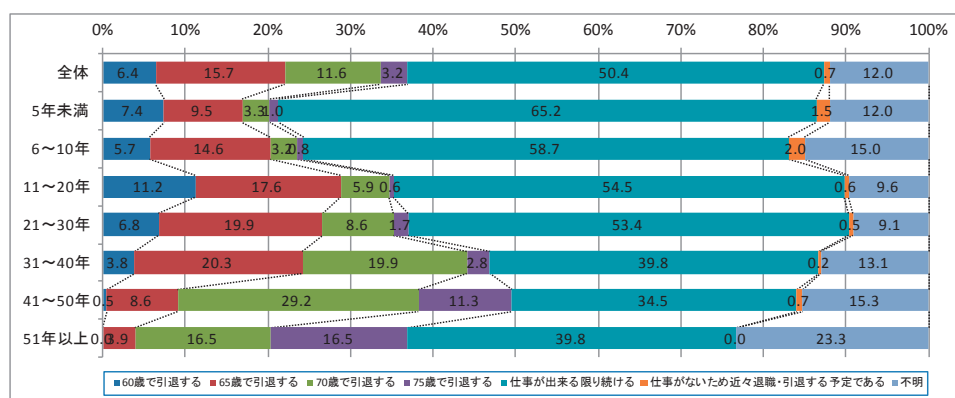


図 3.4.16 何歳まで仕事を続ける予定か（H28年度）

## (5) 担い手育成について

### ①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

- ・「現在育てている」は「51年以上（17.4%）」が最も大きい。次いで「31～40年（15.8%）」、「41～50年（14.6%）」。
- ・「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」は「6～10年（52.7%）」が最も大きい。次いで「11～20年（45.5%）」、「21～30年（43.0%）」。
- ・「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」は「31～40年（40.6%）」が最も大きい。次いで「41～50年（38.1%）」、「21～30年（33.0%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「41～50年」以下で「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」が増加している。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか				
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明	
全体	2147	12.2	38.2	32.8	16.8	
経験年数	5年未満	317	5.4	34.7	26.5	33.4
	6～10年	165	9.1	52.7	22.4	15.8
	11～20年	505	12.3	45.5	32.7	9.5
	21～30年	479	13.2	43.0	33.0	10.9
	31～40年	323	15.8	29.4	40.6	14.2
	41～50年	281	14.6	24.9	38.1	22.4
	51年以上	69	17.4	31.9	29.0	21.7

表 3.4.17 担い手の育成状況（H29年度）（割合%）

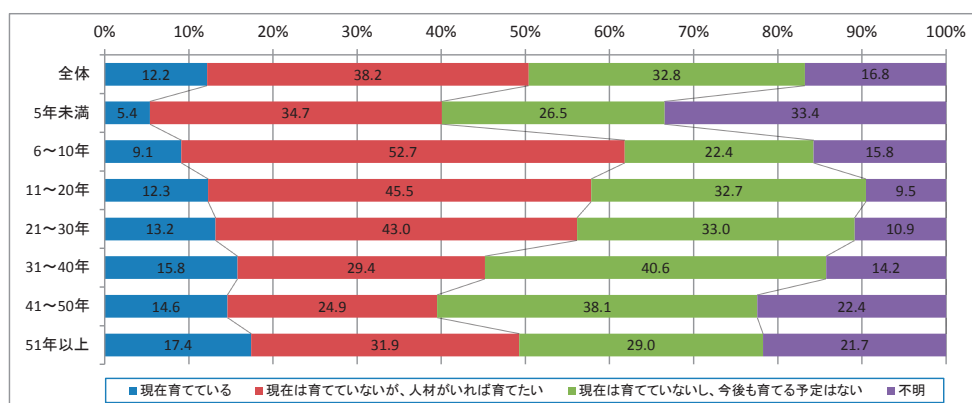


図 3.4.17 担い手の育成状況（H29年度）

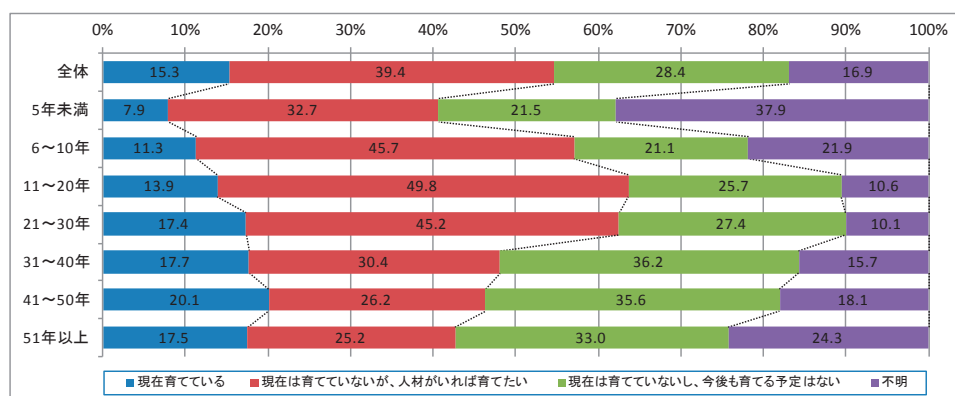


図 3.4.17# 担い手の育成状況（H28年度）

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

- ・「正社員（職業訓練校）」は「5年未満（47.1%）」が最も大きい。次いで「6～10年（33.3%）」。
- ・「正社員（弟子として）」は「51年以上（91.7%）」が最も大きい。次いで「11～20年（72.6%）」。
- ・「一人親方にあずける（職業訓練校）」は「41～50年以上（7.3%）」が最も大きい。次いで「5年未満（5.9%）」。
- ・「一人親方にあずける（弟子として）」は「11～20年（17.7%）」が最も大きい。次いで「6～10年（13.3%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「11～20年」から「41～50年」で「正社員（職業訓練校）」が減少している。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方 等にあずける (職業訓練校)	一人親方 等にあずける (弟子として)	不明
全体	261	15.7	63.2	1.5	11.9	7.7
経験年数						
5年未満	17	47.1	35.3	5.9	5.9	5.9
6～10年	15	33.3	53.3	0.0	13.3	0.0
11～20年	62	9.7	72.6	0.0	17.7	0.0
21～30年	63	11.1	69.8	0.0	11.1	7.9
31～40年	51	13.7	56.9	0.0	9.8	19.6
41～50年	41	17.1	53.7	7.3	12.2	9.8
51年以上	12	8.3	91.7	0.0	0.0	0.0

表 3.4.18 育成期間の担い手の立場（H29年度）（割合%）

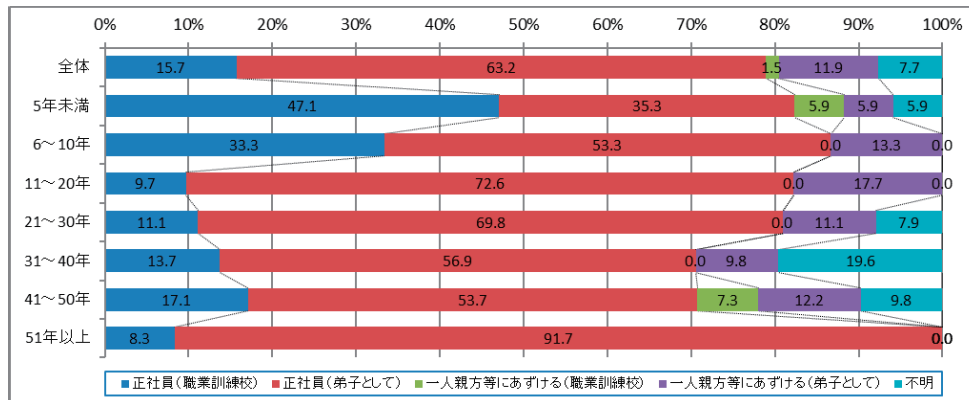


図 3.4.18 育成期間の担い手の立場（H29年度）

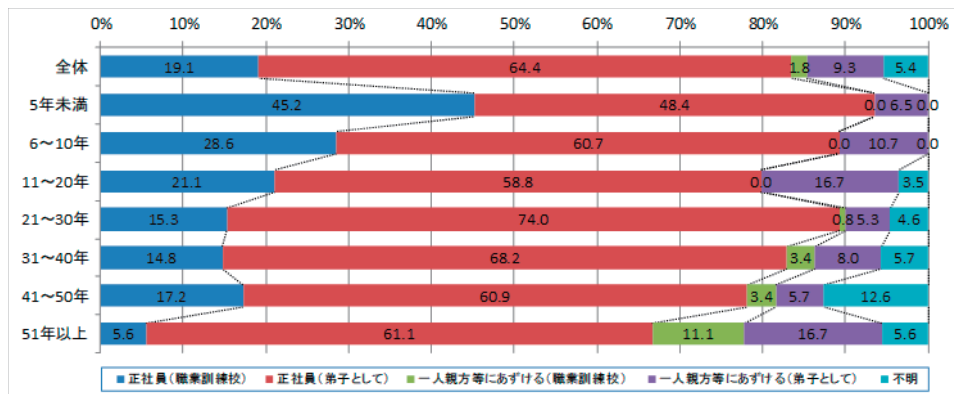


図 3.4.18# 育成期間の担い手の立場（H28年度）

③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

- ・「有る」は「21～30年(42.9%)」が最も大きい。次いで「11～20年(40.3%)」、「5年未満(29.4%)」。
- ・「無い」は「5年未満(52.9%)」が最も大きい。次いで「6～10年(40.0%)」、「11～20年(17.7%)」。
- ・前回調査(H28年度)と比較して「5年未満」、「21～30年」、「31～40年」で「有る」が増加している。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか			
		有	無	不明	
全体	261	31.4	18.0	50.6	
経験年数	5年未満	17	29.4	52.9	17.6
	6～10年	15	13.3	40.0	46.7
	11～20年	62	40.3	17.7	41.9
	21～30年	63	42.9	14.3	42.9
	31～40年	51	21.6	11.8	66.7
	41～50年	41	22.0	12.2	65.9
	51年以上	12	25.0	8.3	66.7

表 3.4.19 育成期間にかかる費用負担 (H29年度) (割合%)

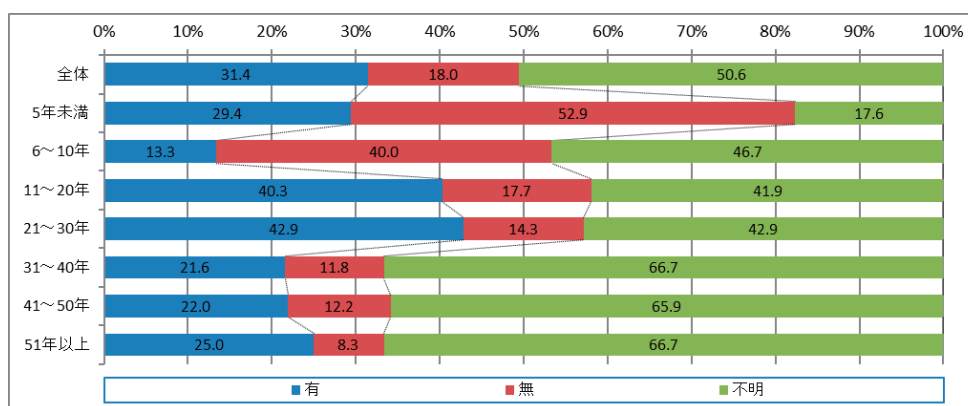


図 3.4.19 育成期間にかかる費用負担 (H29年度)

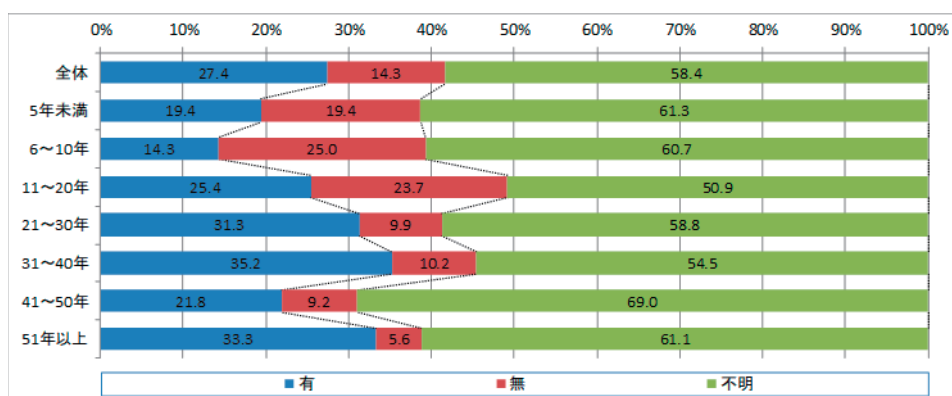


図 3.4.19# 育成期間にかかる費用負担 (H28年度)

④ 「4.現在では育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

- ・育てる予定がない理由として回答した割合の合計値は、「21～30年（190.0%）」が最も大きい。次いで、「41～50年（186.1%）」。
- ・「将来の保障ができないため」は「5年未満」、「51年以上」以外の経験年数で最も割合が大きい。
- ・「費用がかかるため」は「11～20年（29.7%）」が最も大きい。次いで「21～30年（28.5%）」、「31～40年（27.5%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「6～10年」以上で「費用がかかるため」が増加している。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	705	10.1	11.1	23.8	4.3	19.7	16.0	37.9	11.8	9.8	15.0	5.5	12.6
経験年数													
5年未満	84	2.4	9.5	6.0	0.0	14.3	26.2	7.1	14.3	3.6	3.6	13.1	21.4
6～10年	37	5.4	21.6	21.6	2.7	16.2	24.3	29.7	5.4	8.1	8.1	13.5	8.1
11～20年	165	10.3	14.5	29.7	4.2	20.0	18.2	38.2	1.2	6.7	12.7	5.5	11.5
21～30年	158	15.2	12.7	28.5	7.6	20.3	15.8	51.3	3.2	10.1	21.5	3.8	9.5
31～40年	131	13.0	9.9	27.5	3.8	21.4	13.7	45.8	13.7	8.4	16.8	3.1	12.2
41～50年	107	7.5	4.7	20.6	4.7	23.4	7.5	39.3	33.6	22.4	19.6	2.8	10.3
51年以上	20	5.0	0.0	10.0	0.0	15.0	5.0	15.0	40.0	5.0	10.0	5.0	30.0

表 3.4.20 なぜ育てる予定はないのか（H29年度）（割合%）

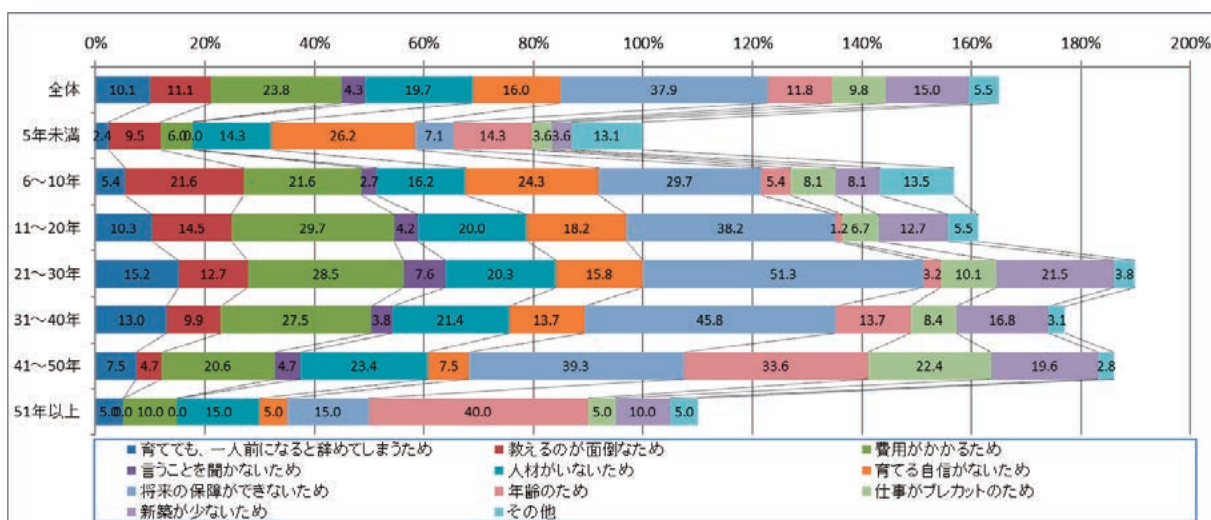


図 3.4.20 なぜ育てる予定はないのか（H29年度）

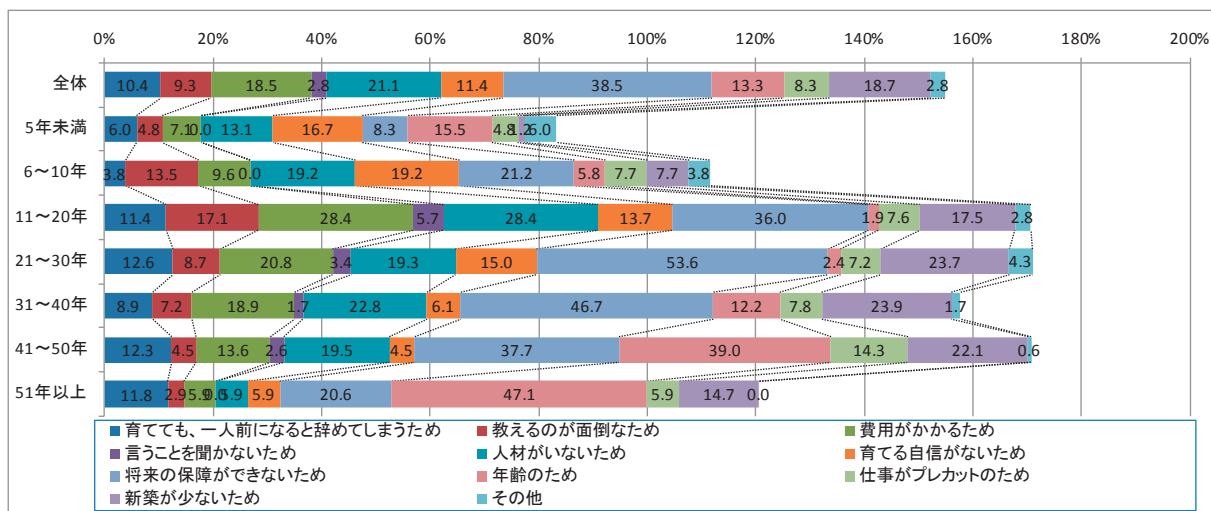


図 3.4.20# なぜ育てる予定はないのか（H28年度）

⑤ 担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

- ・「5万円/月」は「6～10年（17.0%）」が最も多い。次いで「11～20年（16.0%）」。
- ・「10万円/月」は「11～20年（33.9%）」が最も多い。次いで「31～40年（33.7%）」。
- ・「15万円/月」は「21～30年（22.1%）」が最も多い。次いで「11～20年（22.0%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助ほどの程度必要か					
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体	2147	3.1	14.2	27.9	18.1	3.4	33.4
5年未満	317	2.5	14.8	18.9	9.8	4.4	49.5
6～10年	165	4.2	17.0	22.4	20.0	6.1	30.3
11～20年	505	2.6	16.0	33.9	22.0	3.6	22.0
21～30年	479	4.0	14.4	31.1	22.1	2.9	25.5
31～40年	323	2.5	11.8	33.7	17.0	1.2	33.7
41～50年	281	3.2	11.4	21.7	15.3	2.8	45.6
51年以上	69	2.9	11.6	17.4	11.6	5.8	50.7

表 3.4.21 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H29年度）（割合%）

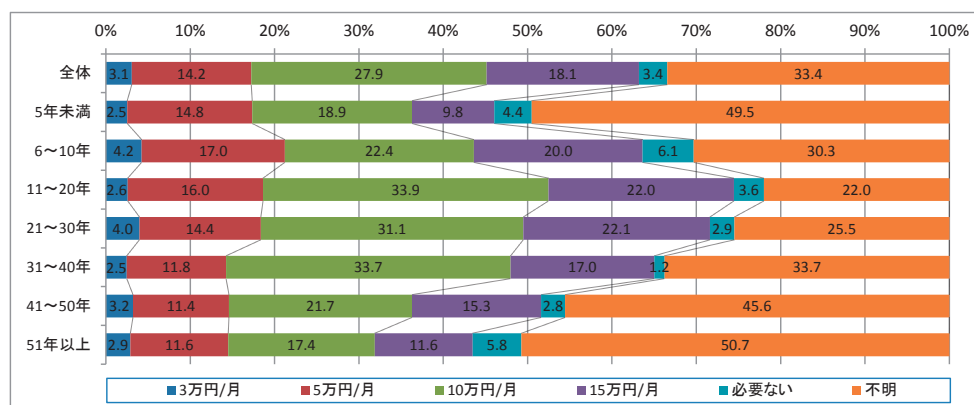


図 3.4.21 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H29年度）

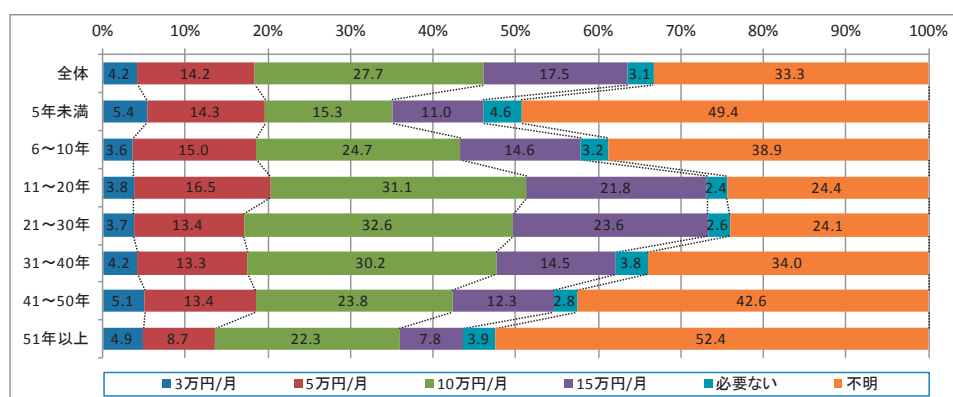


図 3.4.21 # 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H28年度）



## 5. 雇用形態別集計

### (1) 職業等について

#### ①職種においてベテランだと思いませんか。

- ・「ベテラン」は「元請として仕事 (31.4%)」が最も大きい。次いで「外注常用 (坪請主体) (23.3%)」、「外注常用 (日当制) (18.7%)」。
- ・「ややベテラン」は「その都度契約 (28.8%)」が最も大きい。次いで「元請として仕事 (25.8%)」、「外注常用 (坪請主体) (25.5%)」。
- ・「中堅」は「外注常用 (日当制) (35.6%)」が最も大きい。次いで「外注常用 (坪請主体) (33.8%)」、「工務店社員 (32.1%)」。
- ・「やや中堅」は「その他 (アルバイト等) (27.3%)」が最も大きい。次いで「工務店社員 (15.4%)」、「外注常用 (日当制) (12.4%)」。
- ・「見習い」は「その他 (アルバイト等) (54.5%)」が最も大きい。次いで「工務店社員 (27.9%)」、「外注常用 (日当制) (16.0%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「その他 (アルバイト等)」で「ベテラン」が減少しているものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	2147	19.5	19.3	31.5	11.5	15.5	2.7
雇用形態							
工務店社員	806	10.3	12.4	32.1	15.4	27.9	1.9
外注常用(日当制)	225	18.7	14.7	35.6	12.4	16.0	2.7
外注常用(坪請主体)	275	23.3	25.5	33.8	10.9	3.3	3.3
その都度契約	73	15.1	28.8	31.5	11.0	11.0	2.7
元請として仕事	660	31.4	25.8	29.7	6.8	3.9	2.4
その他(アルバイト等)	22	0.0	9.1	9.1	27.3	54.5	0.0

表 3.5.1 職種のベテラン度合 (H29 年度) (割合%)

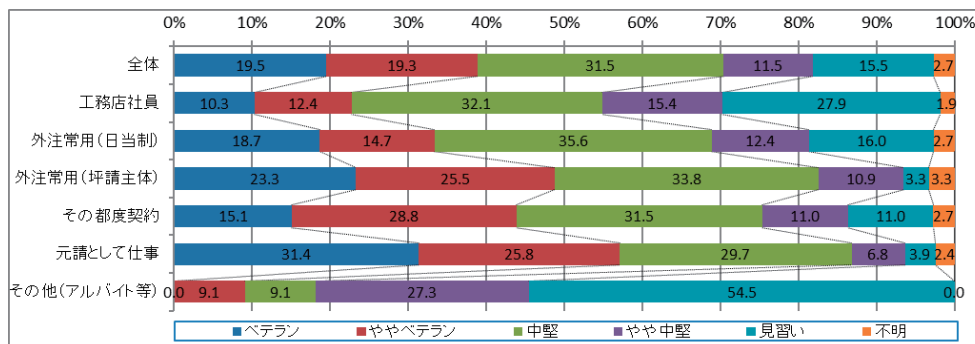


図 3.5.1 職種のベテラン度合 (H29 年度)

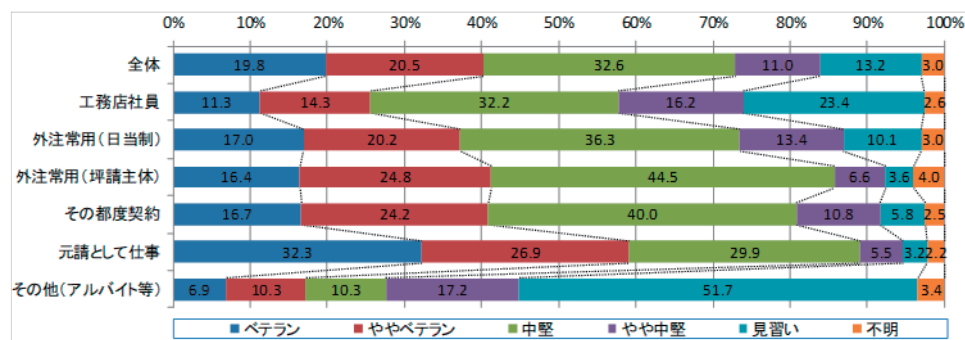


図 3.5.1#職種のベテラン度合 (H28 年度)

## (2) 雇用形態について

### ①就業規則

- ・「有る」は「工務店社員（44.3%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（22.7%）」、「その他（アルバイト等）（22.7%）」。
- ・「無い」は「その都度契約（69.9%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（65.5%）」、「外注常用（日当制）（59.1%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(7)就業規則		
		有	無	不明
全体	2147	27.7	49.0	23.3
雇用形態				
工務店社員	806	44.3	32.3	23.4
外注常用(日当制)	225	13.8	59.1	27.1
外注常用(坪請主体)	275	12.0	65.5	22.5
その都度契約	73	13.7	69.9	16.4
元請として仕事	660	22.7	58.8	18.5
その他(アルバイト等)	22	22.7	50.0	27.3

表 3.5.2 就業規則（H29年度）（割合%）

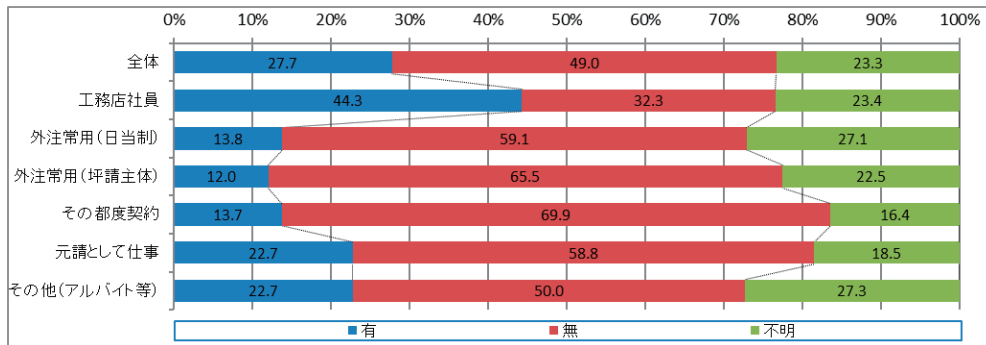


図 3.5.2 就業規則（H29年度）

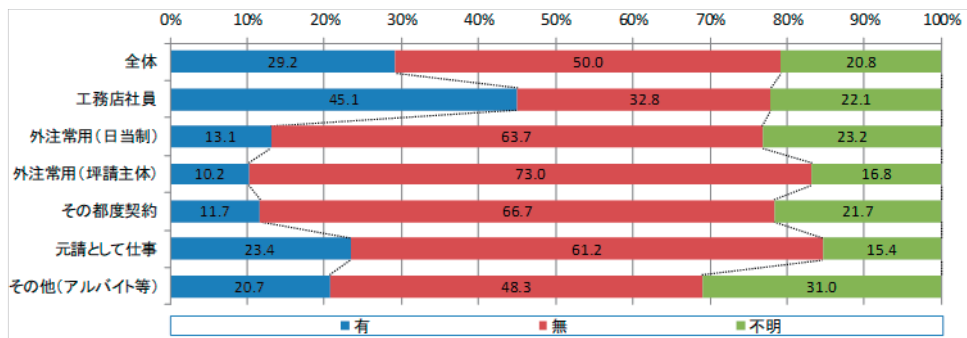


図 3.5.2#就業規則（H28年度）

## ②有給休暇

- ・「有る」は「工務店社員（26.8%）」が最も大きい。次いで「その他（アルバイト等）（18.2%）」、「元請として仕事（11.4%）」。
- ・「無い」は「外注常用（坪請主体）（72.7%）」が最も大きい。次いで「その都度契約（71.2%）」、「元請として仕事（65.5%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して各雇用形態ともに「有る」が減少している。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	2147	14.8	60.6	24.6
雇用形態	工務店社員	26.8	53.0	20.2
	外注常用(日当制)	3.1	64.9	32.0
	外注常用(坪請主体)	3.3	72.7	24.0
	その都度契約	1.4	71.2	27.4
	元請として仕事	11.4	65.5	23.2
	その他(アルバイト等)	18.2	59.1	22.7

表 3.5.3 有給休暇（H29年度）（割合%）

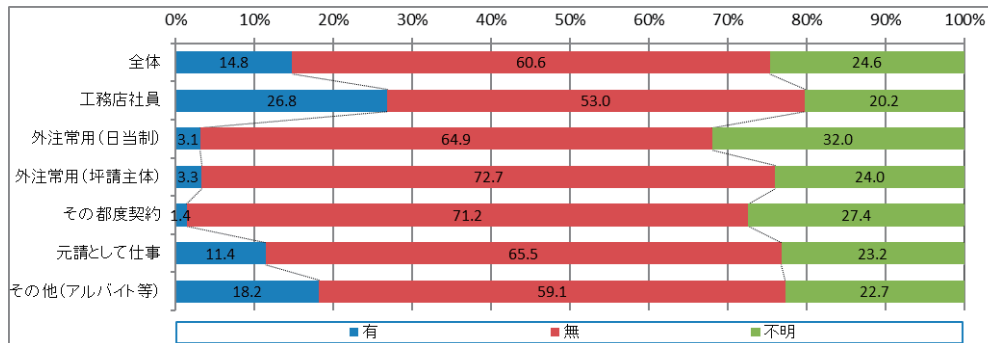


図 3.5.3 有給休暇（H29年度）

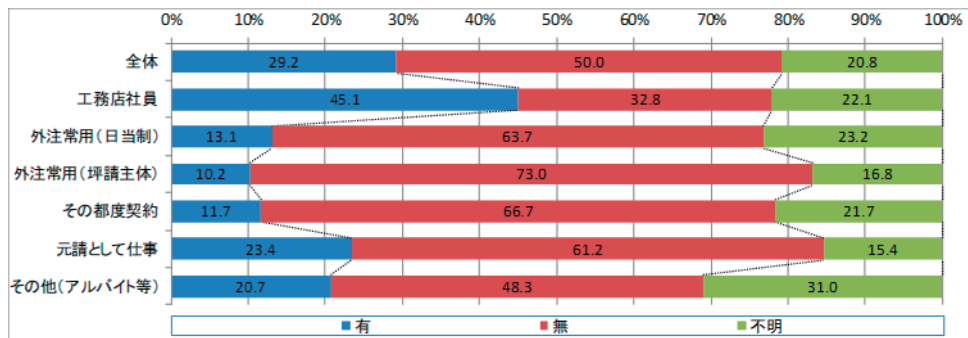


図 3.5.3# 有給休暇（H28年度）

### ③年間就業日数

- 平均年間就業日数は「外注常用（坪請主体）（270.00日）」が最も多い。次いで「工務店社員（263.13日）」、「元請として仕事（262.30日）」。
- 平均年間就業日数は「その他（アルバイト等）」（236.67日）が最も少ない。次いで「外注常用（日当制）（259.25%）」、「その都度契約（260.33%）」。
- 前回調査（H28年度）と比較して「その他（アルバイト等）」で「100日未満」「300日以上」が減少しているものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	
全体	2147	3.7	0.8	0.6	5.3	19.0	25.2	45.5	262.63
雇用形態									
工務店社員	806	3.5	1.1	0.5	4.1	21.8	23.1	45.9	263.13
外注常用(日当制)	225	3.1	0.4	1.3	5.8	16.0	20.9	52.4	259.25
外注常用(坪請主体)	275	4.4	0.4	0.4	2.5	15.6	35.6	41.1	270.00
その都度契約	73	4.1	0.0	1.4	11.0	19.2	27.4	37.0	260.33
元請として仕事	660	3.6	0.6	0.5	7.6	20.2	26.5	41.1	262.30
その他(アルバイト等)	22	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	27.3	45.5	236.67

表 3.5.4 年間就業日数（H29年度）（割合%）

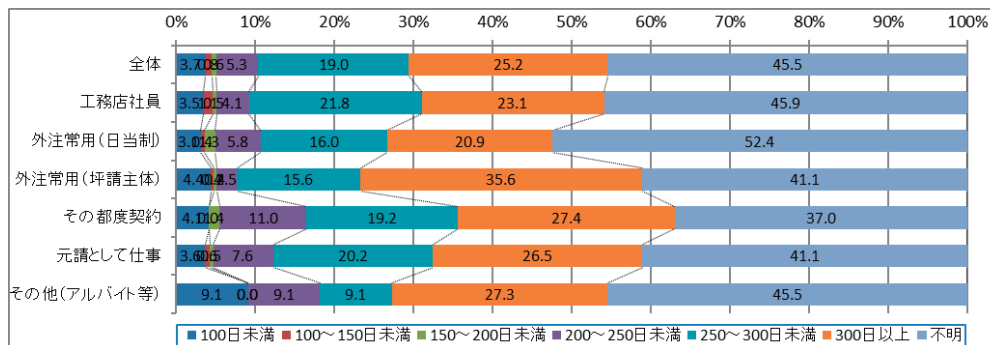


図 3.5.4 年間就業日数（H29年度）

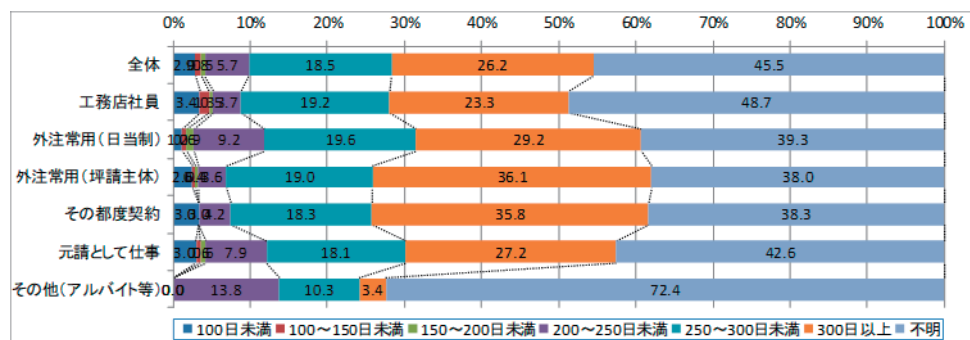


図 3.5.4#年間就業日数（H28年度）

#### ④保険等について

##### 1) 年金保険

- ・「厚生年金」、「国民年金」、「企業年金」の合計値は「元請として仕事（91.8%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（90.3%）」、「その都度契約（89.0%）」。
- ・「厚生年金」、「国民年金」、「企業年金」の合計値は「その他（アルバイト等）（81.8%）」が最も小さく、次いで「外注常用（日当制）（84.9%）」、「外注常用（坪請主体）（85.5%）」。
- ・厚生年金は「工務店社員（57.9%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（29.5%）」、「その他（アルバイト等）（13.6%）」。
- ・国民年金は「外注常用（坪請主体）（80.4%）」が最も大きい。次いで「その都度契約（79.5%）」、「外注常用（日当制）（76.9%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(10-1)加入している年金				
		厚生年金	国民年金	企業年金	不明	
全体	2147	33.0	54.4	1.0	13.8	
雇用形態	工務店社員	806	57.9	32.1	0.2	12.7
	外注常用(日当制)	225	6.2	76.9	1.8	16.4
	外注常用(坪請主体)	275	4.7	80.4	0.4	15.3
	その都度契約	73	9.6	79.5	0.0	12.3
	元請として仕事	660	29.5	60.2	2.1	10.8
	その他(アルバイト等)	22	13.6	68.2	0.0	18.2

表 3.5.5 年金保険（H29年度）（割合%）

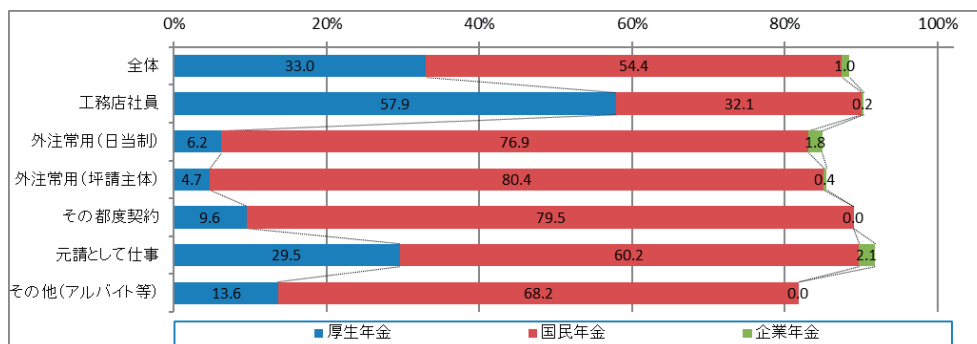


図 3.5.5 年金保険（H29年度）

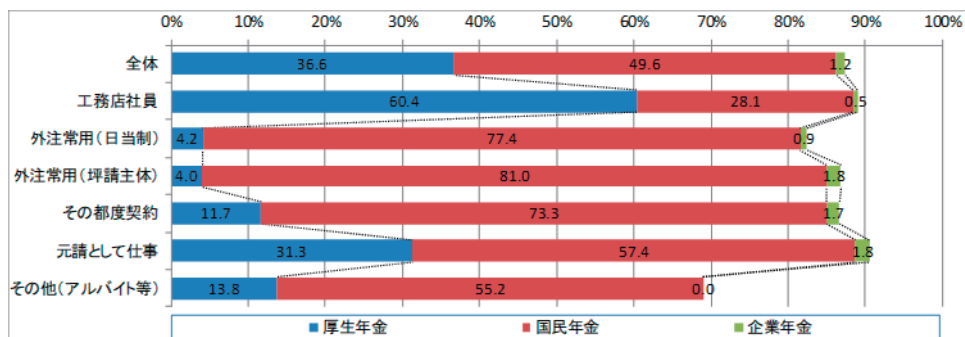


図 3.5.5# 年金保険（H28年度）

## 2) 労働保険

- ・「雇用保険」は「工務店社員（42.7%）」が最も大きい。次いで「その他（アルバイト等）（13.6%）」、「元請として仕事（11.8%）」。
- ・「労災保険」は「元請として仕事（41.5%）」が最も大きい。次いで「その他（アルバイト等）（36.4%）」、「工務店社員（31.9%）」。
- ・「一人親方労災保険」は「外注常用（坪請主体）（64.7%）」が最も大きい。次いで「その都度契約（58.9%）」、「外注常用（日当制）（43.1%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して、「その他（アルバイト等）」で「労働保険」「一人親方労災保険」が大きくなっているものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(10-2)加入している労働保険				
		雇用保険	労災保険	一人親方 労災保険	不明	
全体	2147	21.0	30.7	29.2	30.0	
雇用 形態	工務店社員	42.7	31.9	5.3	33.6	
	外注常用(日当制)	225	5.3	18.2	43.1	36.0
	外注常用(坪請主体)	275	2.5	16.0	64.7	21.1
	その都度契約	73	2.7	21.9	58.9	26.0
	元請として仕事	660	11.8	41.5	36.1	24.5
	その他(アルバイト等)	22	13.6	36.4	27.3	27.3

表 3.5.6 労働保険（H29年度）（割合%）

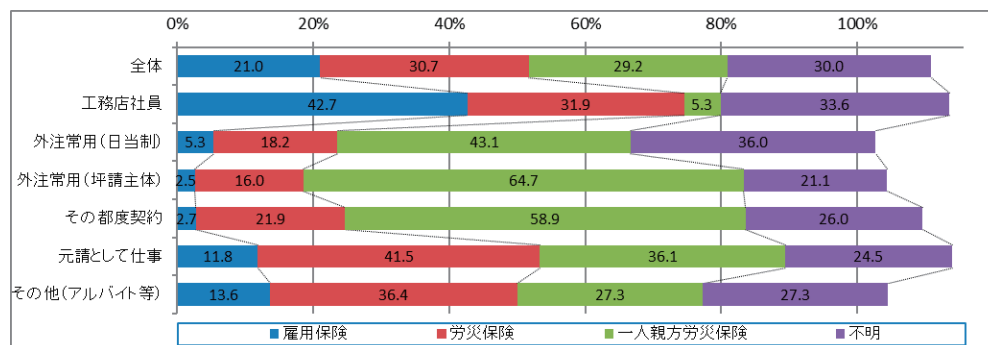


図 3.5.6 労働保険（H29年度）

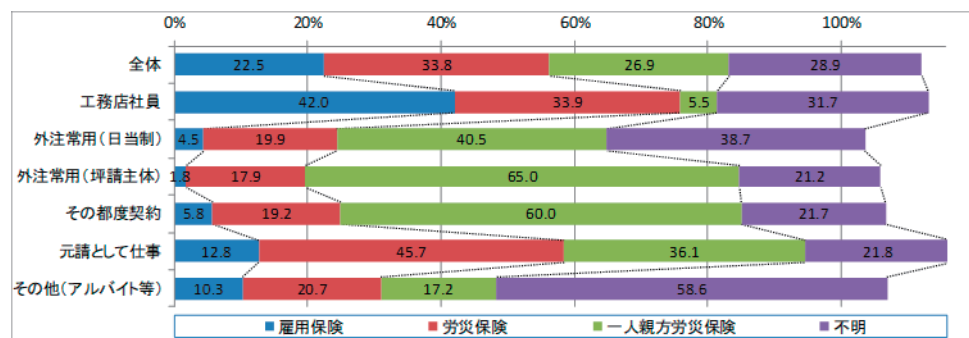


図 3.5.6#労働保険（H28年度）

### 3) 健康保険

- ・「国民健康保険」は「その他（アルバイト等）（40.9%）」が最も大きい。次いで「外注常用（日当制）（33.3%）」、「その都度契約（32.9%）」。
- ・「組合健康保険（建設国保）」は「その都度契約（49.3%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（49.1%）」、「元請として仕事（43.0%）」。
- ・「組合健康保険（建設国保以外）」は「元請として仕事（4.4%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（3.3%）」、「外注常用（日当制）（1.8%）」。
- ・「その他の健康保険」は「工務店社員（5.8%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（5.2%）」、「その都度契約（2.7%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(10-3)加入している健康保険				
		国民健康保険	組合健康保険(建設国保)	組合健康保険(建設国保以外)	その他の健康保険	不明
全体	2147	29.4	35.6	3.0	4.1	28.6
雇用形態						
工務店社員	806	31.8	23.9	3.3	5.8	35.5
外注常用(日当制)	225	33.3	38.7	1.8	0.9	26.7
外注常用(坪請主体)	275	28.7	49.1	1.5	0.4	20.4
その都度契約	73	32.9	49.3	0.0	2.7	16.4
元請として仕事	660	25.9	43.0	4.4	5.2	22.3
その他(アルバイト等)	22	40.9	27.3	0.0	0.0	36.4

表 3.5.7 健康保険（H29年度）（割合%）

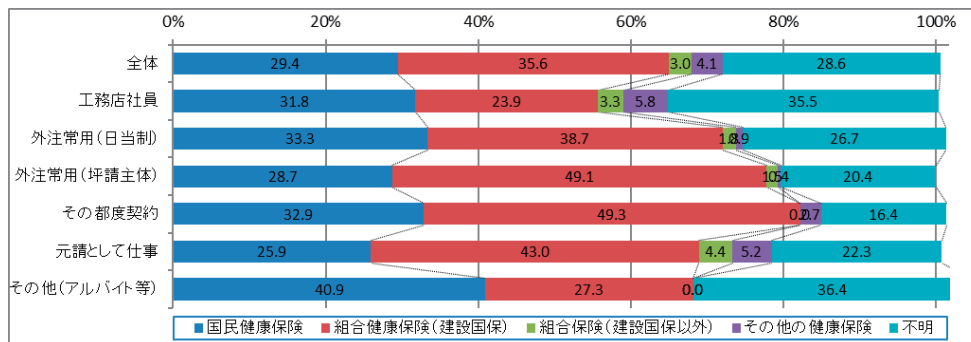


図 3.5.7 健康保険（H29年度）

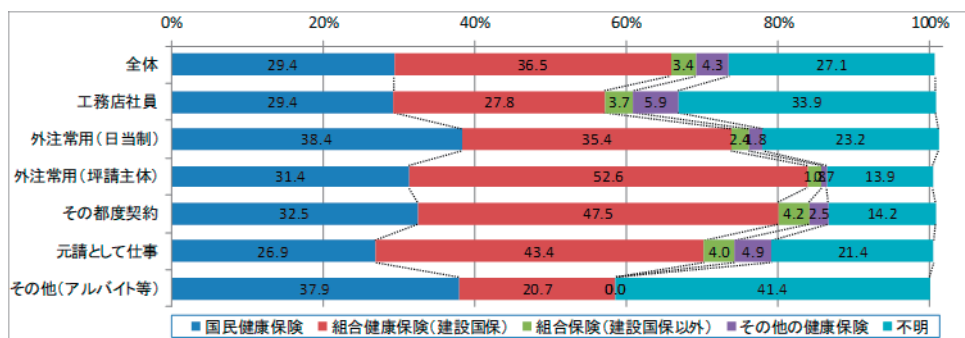


図 3.5.7#健康保険（H28年度）

### ⑤賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

- ・自己負担するものの割合の合計値は「外注常用（坪請主体）（441.1%）」が最も大きい。次いで「その都度契約（424.7%）」、「外注常用（日当制）（339.6%）」。一方「工務店社員（188.5%）」が最も小さい。
- ・「全て所属する工務店等が負担」は「元請として仕事（19.4%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（19.2%）」、「その都度契約（5.5%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(11)自己負担となっているもの							
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明	
全体	2147	69.2	63.4	25.2	51.9	51.7	14.4	9.0	
雇用形態	工務店社員	806	63.9	52.7	4.2	34.6	33.1	19.2	7.2
	外注常用(日当制)	225	84.4	87.1	15.6	76.4	76.0	2.7	4.0
	外注常用(坪請主体)	275	92.0	94.2	72.7	89.8	92.4	2.5	1.8
	その都度契約	73	90.4	91.8	60.3	89.0	93.2	5.5	0.0
	元請として仕事	660	60.5	53.6	29.4	44.7	43.9	19.4	14.4
	その他(アルバイト等)	22	77.3	59.1	22.7	63.6	63.6	4.5	0.0

表 3.5.8 自己負担となっているもの（H29年度）（割合%）

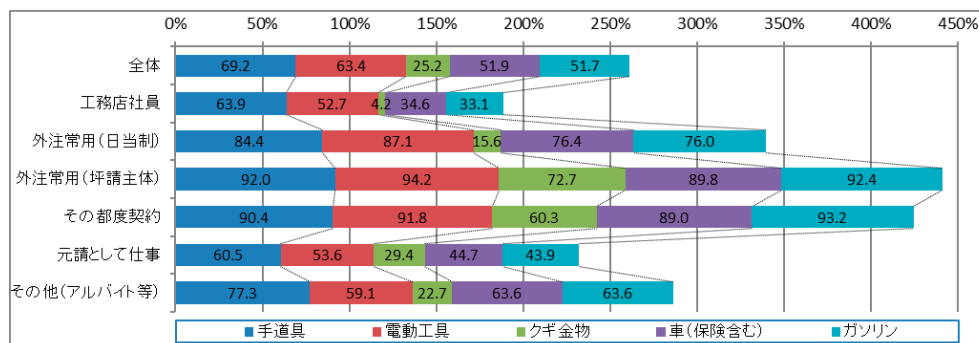


図 3.5.8 自己負担となっているもの（H29年度）

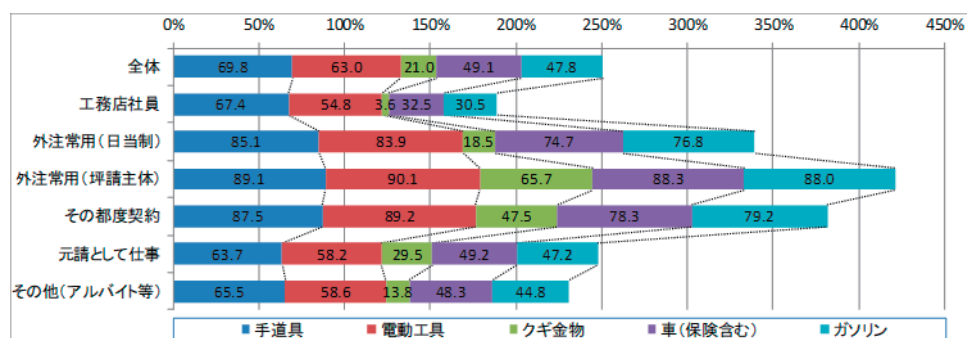


図 3.5.8# 自己負担となっているもの（H28年度）



### ⑥おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

- ・平均賃金は「外注常用（坪請主体）17,718円」が最も高い。「その他（アルバイト等）12,045円」が最も低い。
- ・「10,000～15,000円未満」は「外注常用（坪請主体）（42.2%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（41.1%）」、「その他（アルバイト等）（27.3%）」。
- ・「15,000～20,000円未満」は「その都度契約（65.8%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（48.7%）」、「元請として仕事（44.7%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金						
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明
全体	2147	6.7	8.4	31.2	35.2	10.0	3.4	5.1
雇用形態								
工務店社員	806	11.8	16.6	41.1	20.1	4.2	1.2	5.0
外注常用(日当制)	225	4.0	7.6	42.2	39.6	4.0	0.0	2.7
外注常用(坪請主体)	275	1.5	2.2	19.3	48.7	17.5	8.4	2.5
その都度契約	73	2.7	2.7	15.1	65.8	9.6	4.1	0.0
元請として仕事	660	2.7	2.4	23.2	44.7	16.5	5.5	5.0
その他(アルバイト等)	22	40.9	9.1	27.3	13.6	4.5	4.5	0.0

表 3.5.9 1日あたりのおおよその賃金（H29年度）（割合%）

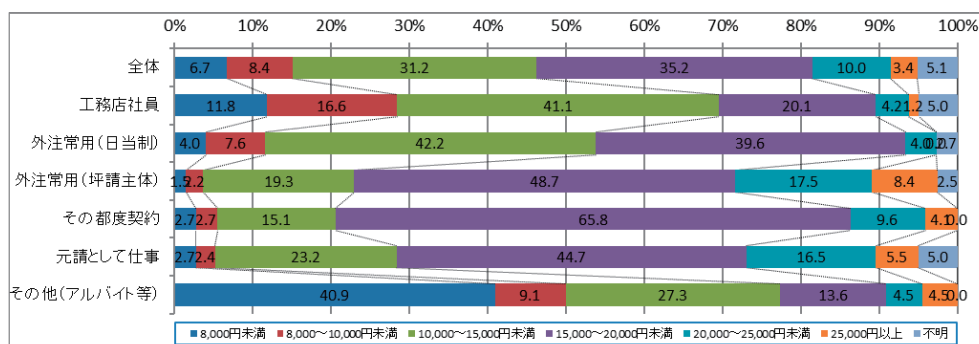


図 3.5.9 1日あたりのおおよその賃金（H29年度）

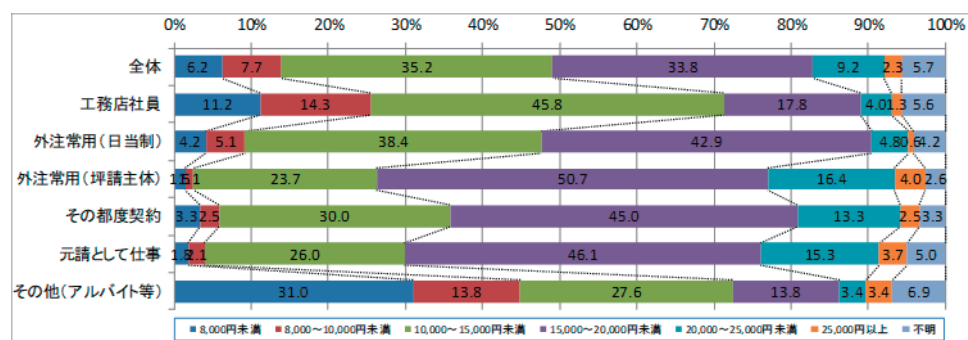


図 3.5.9# 1日あたりのおおよその賃金（H28年度）

### (3) 資格や技能について

#### ①持っている資格

- ・持っている資格の割合の合計値が最も大きいのは「元請として仕事（317.6%）」。最も小さいのは「その他（アルバイト等）（177.0%）」。
- ・「元請として仕事」では、他の雇用形態と比較して「職業訓練指導員」が大きい。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「その他（アルバイト等）」で「一級建築士」が減少しているものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	2147	4.7	27.2	2.4	4.2	12.4	22.2	1.9	9.9	6.7	39.8	39.8	45.2	16.9	9.8	18.3
雇用形態																
工務店社員	806	3.0	22.2	1.1	4.1	10.4	22.1	1.4	6.8	3.6	30.9	28.2	43.8	17.9	6.7	24.4
外注常用(日当制)	225	2.2	17.3	1.8	0.4	5.8	22.7	0.9	7.1	4.0	31.6	33.3	36.9	10.7	8.9	29.3
外注常用(坪請主体)	275	1.1	22.9	1.5	0.7	7.3	17.5	3.6	6.2	3.3	48.7	59.3	58.9	10.5	5.1	10.2
その都度契約	73	4.1	30.1	2.7	8.2	4.1	20.5	1.4	8.2	4.1	43.8	42.5	50.7	15.1	11.0	11.0
元請として仕事	660	9.4	40.3	4.7	6.5	20.6	24.7	2.3	16.8	13.6	49.4	47.1	44.2	21.5	16.5	10.5
その他(アルバイト等)	22	0.0	13.6	4.5	4.5	9.1	13.6	4.5	4.5	0.0	45.5	22.7	40.9	13.6	0.0	22.7

表 3.5.10 持っている資格（H29年度）（割合%）

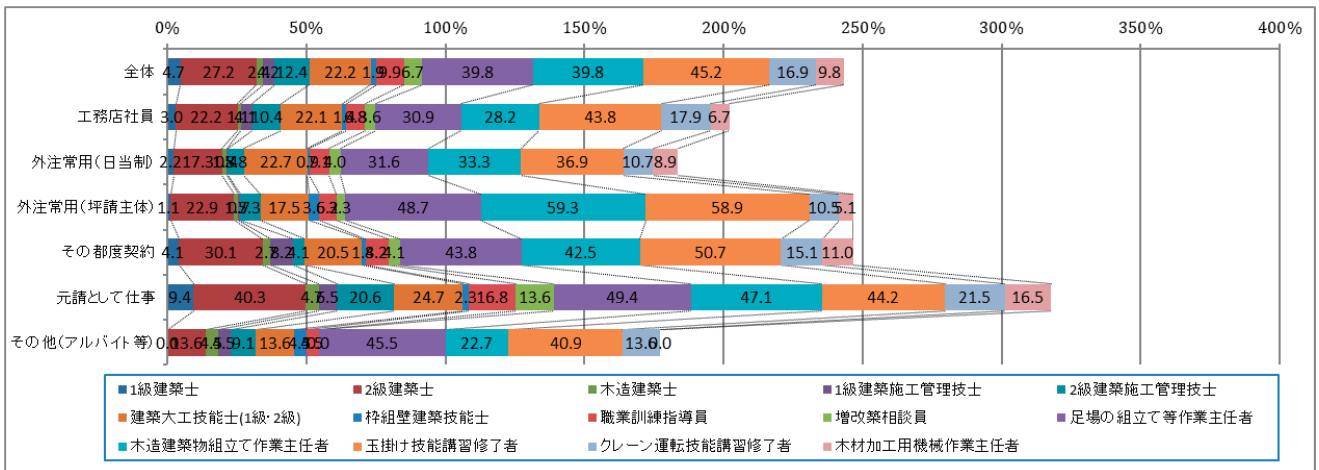


図 3.5.10 持っている資格（H29年度）

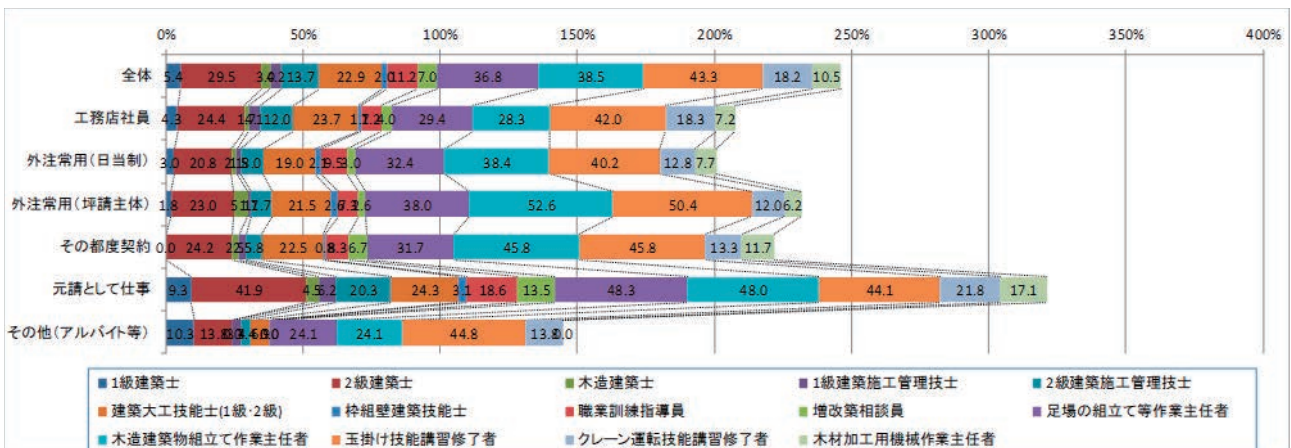


図 3.5.10# 持っている資格（H28年度）

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

- ・「はい」は「元請として仕事（78.6%）」が最も大きい。次いで「その都度契約（76.7%）」、「外注常用（日当制）（71.1%）」。
- ・「いいえ」は「その他（アルバイト等）（50.0%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（29.3%）」、「外注常用（坪請主体）（19.3%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して全ての雇用形態で「いいえ」が増加している。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	2147	67.8	19.0	13.2	
雇用形態	工務店社員	58.1	29.3	12.7	
	外注常用(日当制)	225	71.1	18.7	10.2
	外注常用(坪請主体)	275	69.5	19.3	11.3
	その都度契約	73	76.7	12.3	11.0
	元請として仕事	660	78.6	6.8	14.5
	その他(アルバイト等)	22	40.9	50.0	9.1

表 3.5.11 墨付け（H29年度）（割合%）

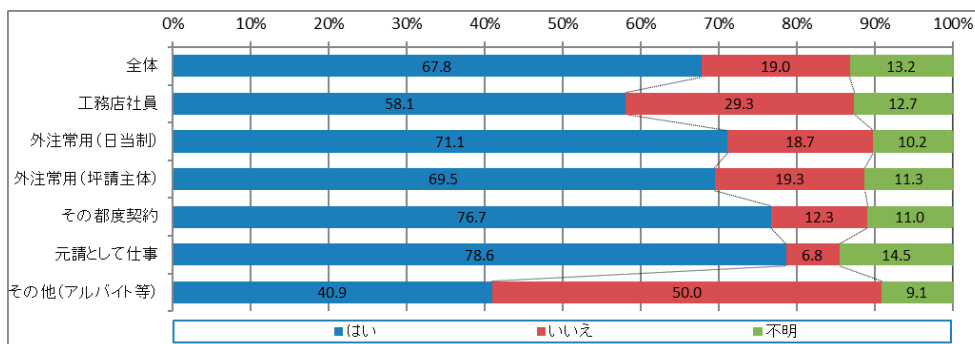


図 3.5.11 墨付け（H29年度）

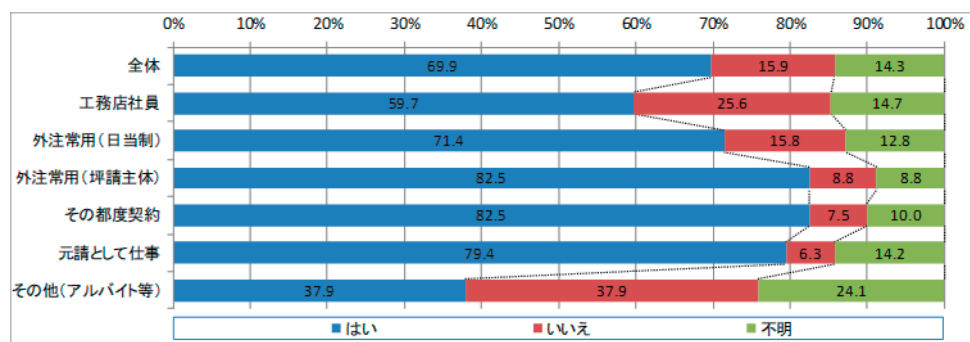


図 3.5.11# 墨付け（H28年度）

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

- ・「はい」は「工務店社員 (24.6%)」が最も大きい。次いで「元請として仕事 (19.8%)」、「外注常用 (日当制) (18.2%)」、「その他 (アルバイト等) (18.2%)」。
- ・「いいえ」は「外注常用 (坪請主体) (82.2%)」が最も大きい。次いで「その都度契約 (79.5%)」、「その他 (アルバイト等) (72.7%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「外注常用 (坪請主体)」、「その都度契約」、「元請として仕事」、「その他 (アルバイト等)」で「はい」が減少しているものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	19.3	66.6	14.1
雇用形態	工務店社員	24.6	62.8	12.7
	外注常用(日当制)	18.2	67.6	14.2
	外注常用(坪請主体)	6.5	82.2	11.3
	その都度契約	9.6	79.5	11.0
	元請として仕事	19.8	64.1	16.1
	その他(アルバイト等)	18.2	72.7	9.1

表 3.5.12 手刻み加工の仕事 (新築) (H29 年度) (割合%)

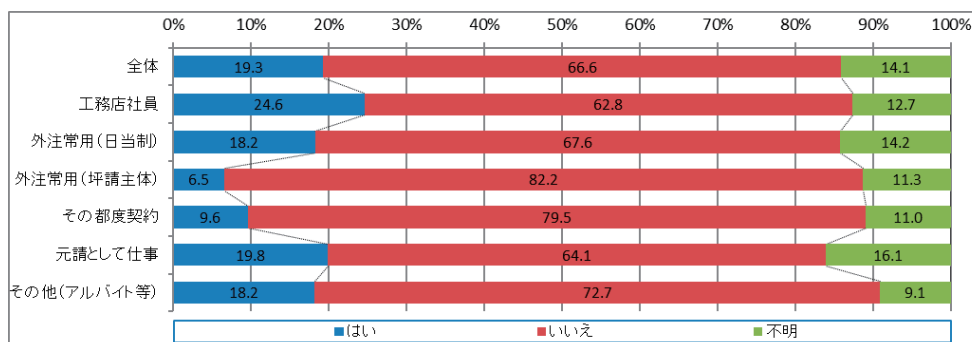


図 3.5.12 手刻み加工の仕事 (新築) (H29 年度)

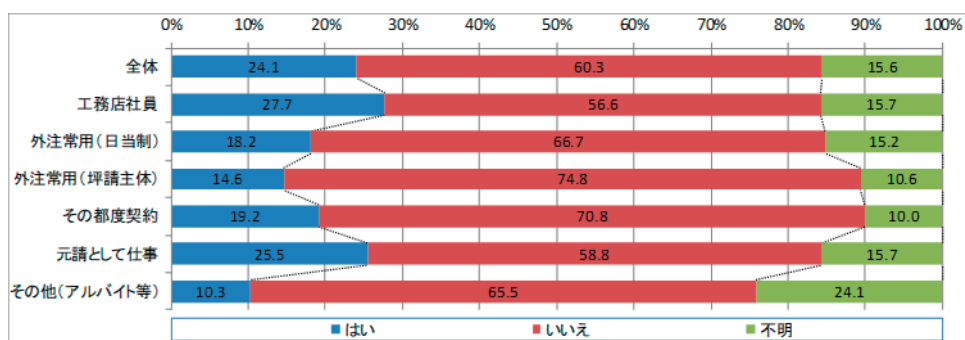


図 3.5.12 手刻み加工の仕事 (新築) (H28 年度)

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

- ・「はい」は「元請として仕事(48.8%)」が最も大きい。次いで「工務店社員(45.3%)」、「外注常用(日当制)(38.7%)」。
- ・「いいえ」は「その他(アルバイト等)(68.2%)」が最も大きい。次いで「外注常用(坪請主体)(67.3%)」、「その都度契約(56.2%)」。
- ・前回調査(H28年度)と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	41.3	44.4	14.3
雇用形態				
工務店社員	806	45.3	41.6	13.2
外注常用(日当制)	225	38.7	48.9	12.4
外注常用(坪請主体)	275	20.4	67.3	12.4
その都度契約	73	32.9	56.2	11.0
元請として仕事	660	48.8	35.2	16.1
その他(アルバイト等)	22	22.7	68.2	9.1

表 3.5.13 手刻み加工の仕事(増改築)(H29年度) (割合%)

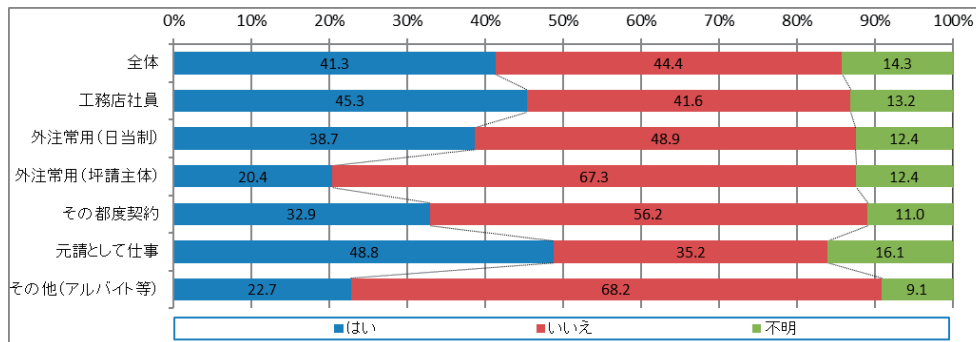


図 3.5.13 手刻み加工の仕事(増改築)(H29年度)

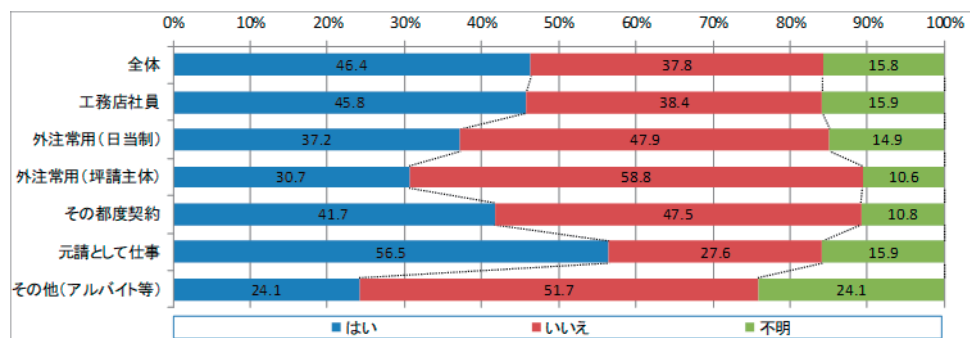


図 3.5.13 手刻み加工の仕事(増改築)(H28年度)

⑤ **大工職のみ回答** 和室造作ができますか。

- ・「はい」は「元請として仕事（75.0%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（72.7%）」、「その都度契約（69.9%）」。
- ・「いいえ」は「その他（アルバイト等）（68.2%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（40.0%）」、「外注常用（日当制）（24.0%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「その他（アルバイト等）」以外の雇用形態において「はい」が減少しているものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(14)④和室造作ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	2147	61.3	24.9	13.8	
雇用形態	工務店社員	46.3	40.0	13.8	
	外注常用(日当制)	225	63.6	24.0	12.4
	外注常用(坪請主体)	275	72.7	17.1	10.2
	その都度契約	73	69.9	19.2	11.0
	元請として仕事	660	75.0	10.2	14.8
	その他(アルバイト等)	22	22.7	68.2	9.1

表 3.5.14 和室造作（H29年度）（割合%）

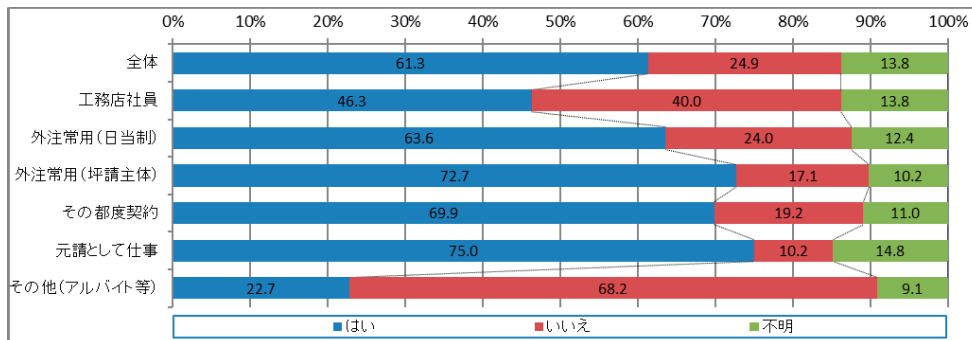


図 3.5.14 和室造作（H29年度）

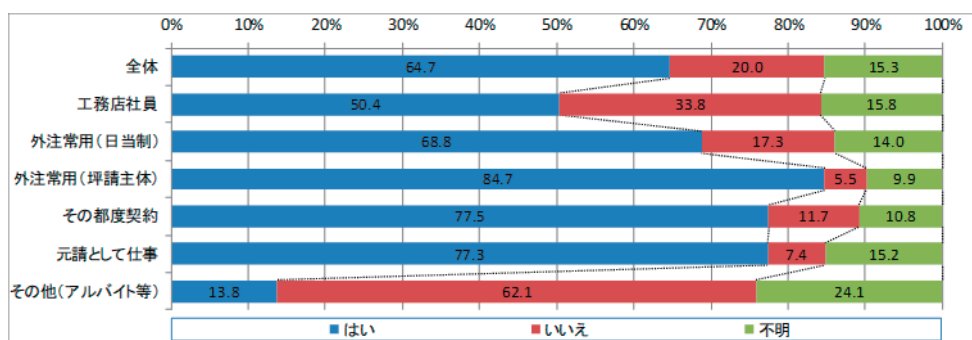


図 3.5.14 和室造作（H28年度）

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

- ・「はい」は「外注常用(坪請主体) (40.4%)」が最も大きい。次いで「外注常用(日当制) (33.3%)」、「その都度契約 (28.8%)」。
- ・「いいえ」は「その他(アルバイト等) (77.3%)」が最も大きい。次いで「工務店社員 (64.0%)」、「その都度契約 (58.9%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	2147	26.7	57.8	15.4
雇用形態				
工務店社員	806	21.3	64.0	14.6
外注常用(日当制)	225	33.3	52.9	13.8
外注常用(坪請主体)	275	40.4	47.6	12.0
その都度契約	73	28.8	58.9	12.3
元請として仕事	660	25.3	57.3	17.4
その他(アルバイト等)	22	13.6	77.3	9.1

表 3.5.15 2×4 工法の住宅の施工 (H29 年度) (割合%)

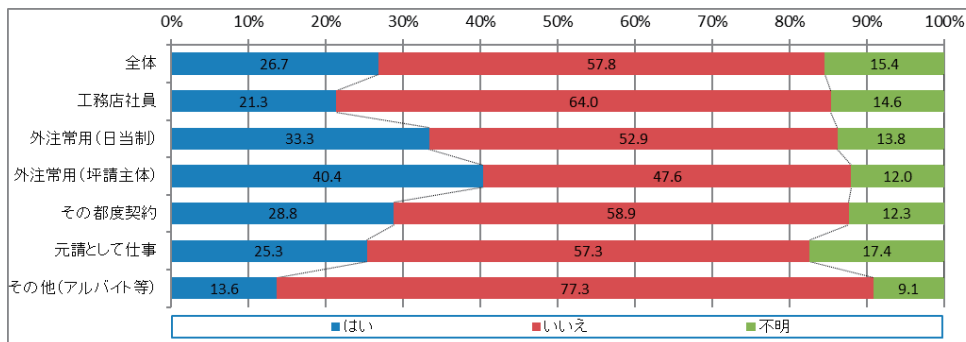


図 3.5.15 2×4 工法の住宅の施工 (H29 年度)

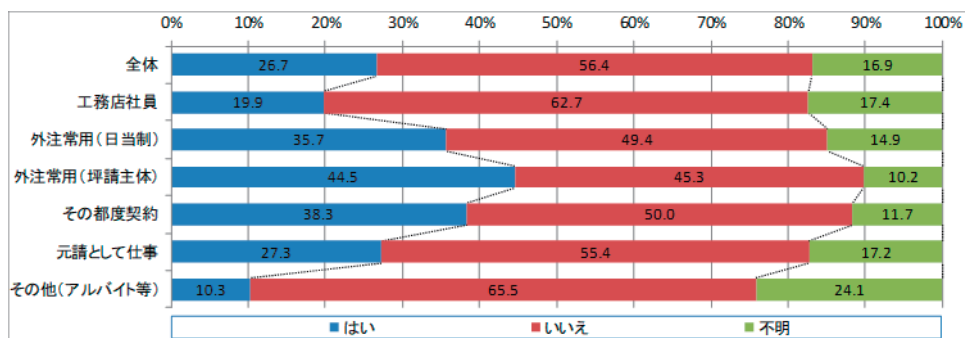


図 3.5.15 #2×4 工法の住宅の施工 (H28 年度)

#### (4) 仕事に対する満足度や今後の意向について

##### ①現在の仕事の内容について満足していますか。

- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「その他（アルバイト等）（72.7%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（66.6%）」、「元請として仕事（62.9%）」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「その都度契約（39.7%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（37.8%）」、「外注常用（日当制）（29.3%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「その都度契約」以外の雇用形態で「まあ満足している」が増加している。一方、全ての雇用形態で「あまり満足していない」が減少している。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	2147	10.2	51.8	22.3	5.6	10.1
雇用形態						
工務店社員	806	12.8	53.8	20.6	3.6	9.2
外注常用(日当制)	225	6.7	55.6	24.0	5.3	8.4
外注常用(坪請主体)	275	6.9	45.8	28.7	9.1	9.5
その都度契約	73	4.1	47.9	31.5	8.2	8.2
元請として仕事	660	10.9	52.0	20.8	5.8	10.6
その他(アルバイト等)	22	13.6	59.1	13.6	13.6	0.0

表 3.5.16 仕事の内容についての満足度（H29年度）（割合%）

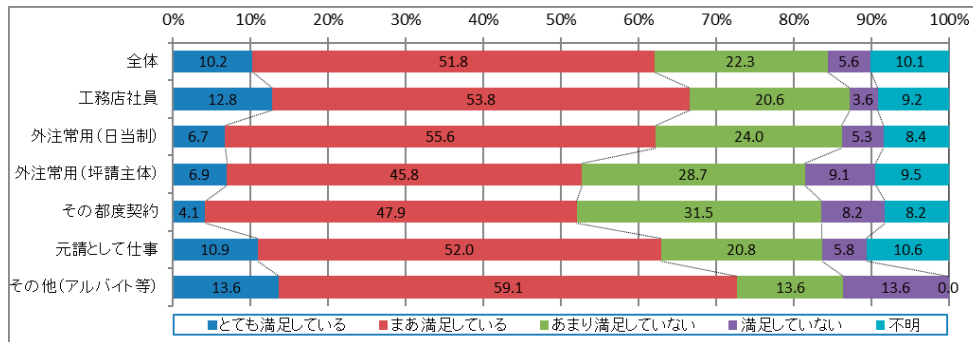


図 3.5.16 仕事の内容についての満足度（H29年度）

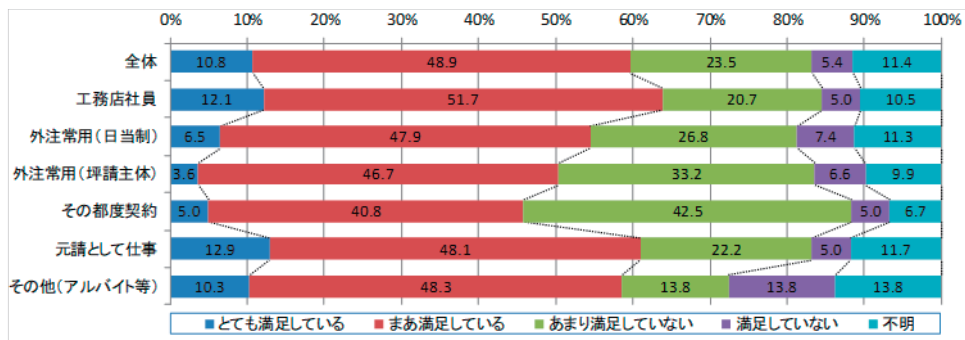


図 3.5.16 仕事の内容についての満足度（H28年度）



②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「工務店社員（43.2%）」が最も大きい。次いで「その他（アルバイト等）（40.9%）」、「元請として仕事（38.3%）」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「その他（アルバイト等）（59.1%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（57.8%）」、「その都度契約（57.5%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「外注常用（坪請主体）」で「まあ満足している」が増加し、「その都度契約」で「とても満足している」「まあ満足している」が増加しているものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	2147	3.9	34.9	35.5	15.4	10.3
雇用形態						
工務店社員	806	6.7	36.5	32.0	15.6	9.2
外注常用(日当制)	225	3.6	33.8	36.4	16.0	10.2
外注常用(坪請主体)	275	0.7	32.0	40.0	17.8	9.5
その都度契約	73	2.7	31.5	39.7	17.8	8.2
元請として仕事	660	2.1	36.2	37.9	13.0	10.8
その他(アルバイト等)	22	13.6	27.3	31.8	27.3	0.0

表 3.5.17 収入等についての満足度（H29年度）（割合%）

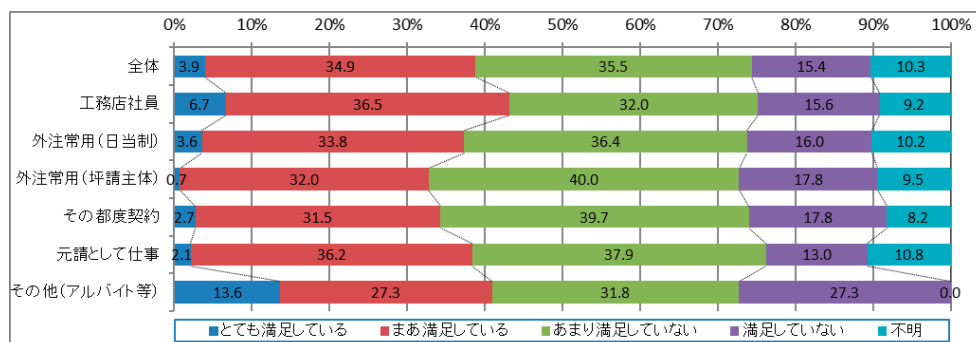


図 3.5.17 収入等についての満足度（H29年度）

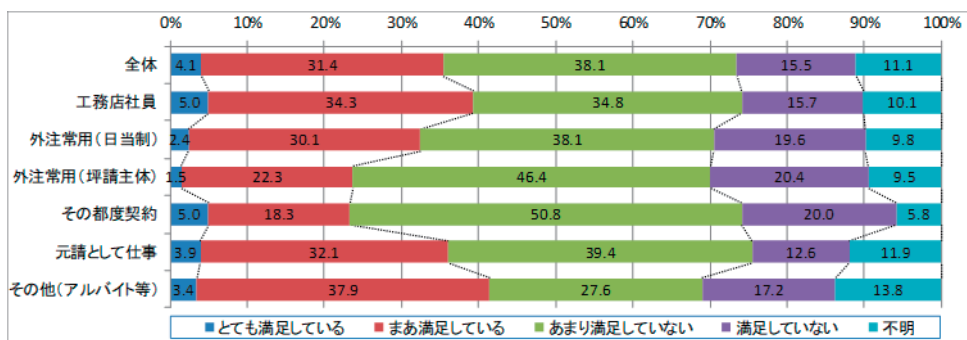


図 3.5.17# 収入等についての満足度（H28年度）

### ③今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

- ・「仕事ができる限り続ける」は「その他（アルバイト等）（68.2%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（54.7%）」、「外注常用（日当制）（53.3%）」。一方「その都度契約（41.1%）」が最も小さい。
- ・「65歳で引退する」は「その都度契約（19.2%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（16.4%）」「元請けとして仕事（15.3%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「その都度契約」で「60歳で引退する」、「65歳で引退する」及び、「その他（アルバイト等）」で「仕事ができる限り続ける」が増加したものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	2147	7.6	14.6	13.0	3.2	49.7	1.1	10.8
雇用形態								
工務店社員	806	8.4	16.4	7.8	1.9	54.7	1.7	9.1
外注常用(日当制)	225	5.8	9.3	14.2	4.9	53.3	1.8	10.7
外注常用(坪請主体)	275	6.9	12.7	18.5	2.9	48.4	0.7	9.8
その都度契約	73	13.7	19.2	15.1	0.0	41.1	0.0	11.0
元請として仕事	660	7.1	15.3	17.3	4.8	43.8	0.5	11.2
その他(アルバイト等)	22	13.6	9.1	4.5	0.0	68.2	0.0	4.5

表 3.5.18 何歳まで仕事を続ける予定か（H29年度）（割合％）

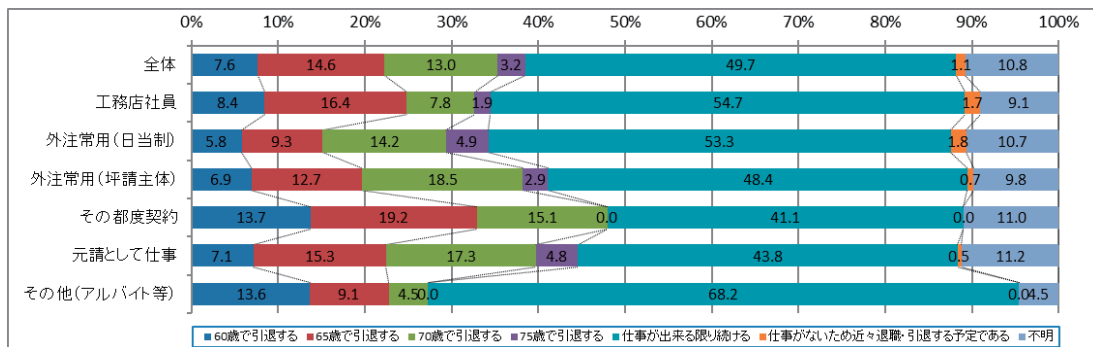


図 3.5.18 何歳まで仕事を続ける予定か（H29年度）

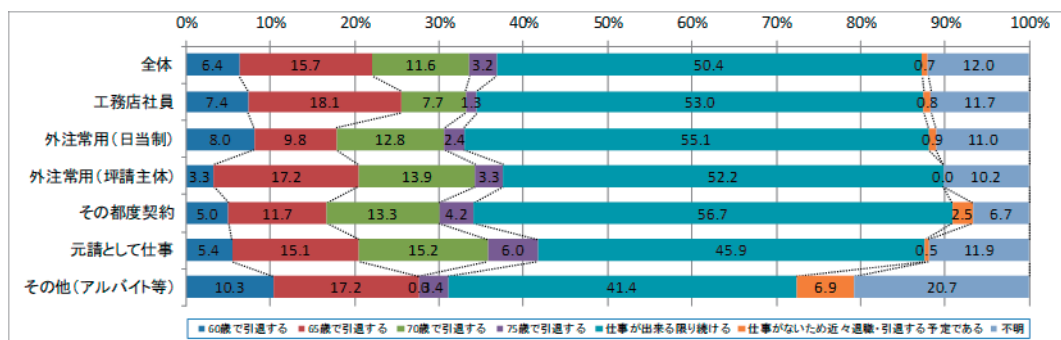


図 3.5.18 何歳まで仕事を続ける予定か（H28年度）

## (5) 担い手育成について

### ①現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

- ・「現在育てている」は「元請として仕事（17.7%）」が最も大きい。次いで「外注常用（坪請主体）（13.5%）」、「工務店社員（10.7%）」。
- ・「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」は「元請として仕事（42.0%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（40.6%）」、「その他（アルバイト等）（36.4%）」。
- ・「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」は「その都度契約（56.2%）」が最も大きい。次いで「外注常用（日当制）（47.1%）」、「外注常用（坪請主体）（40.0%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「外注常用（坪請主体）」「その都度契約」で「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」が減少している。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	2147	12.2	38.2	32.8	16.8
雇用形態					
工務店社員	806	10.7	40.6	27.4	21.3
外注常用(日当制)	225	2.2	33.8	47.1	16.9
外注常用(坪請主体)	275	13.5	34.9	40.0	11.6
その都度契約	73	4.1	28.8	56.2	11.0
元請として仕事	660	17.7	42.0	28.6	11.7
その他(アルバイト等)	22	9.1	36.4	36.4	18.2

表 3.5.19 担い手の育成状況（H29年度）（割合%）

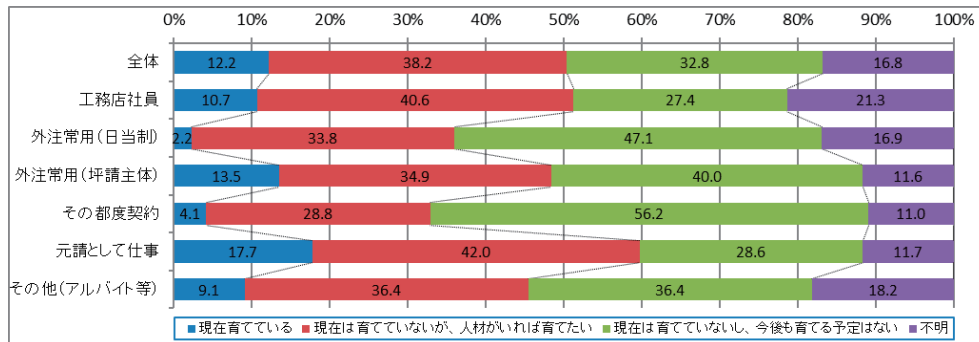


図 3.5.19 担い手の育成状況（H29年度）

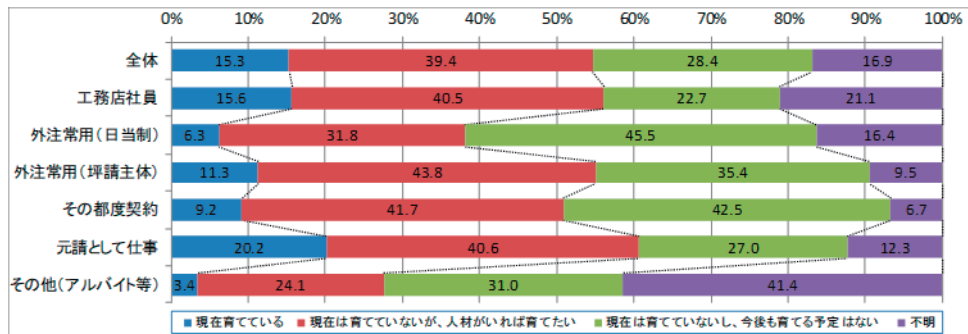


図 3.5.19# 担い手の育成状況（H28年度）

② 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

- ・「正社員（職業訓練校）」は「外注常用（日当制）（40.0%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（23.3%）」、「元請として仕事（15.4%）」。
- ・「正社員（弟子として）」は「元請として仕事（69.2%）」が最も大きい。次いで「工務店社員（62.8%）」、「外注常用（日当制）（60.0%）」。
- ・「一人親方等にあずける（職業訓練校）」は「工務店社員（3.5%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（0.9%）」。
- ・「一人親方等にあずける（弟子として）」は「その都度契約（66.7%）」が最も大きい。次いで「その他（アルバイト等）（50.0%）」、「外注常用（坪請主体）（48.6%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「外注常用（坪請主体）」で「正社員（弟子として）」が減少し、「一人親方等にあずける（弟子として）」が増加しているものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方 等にあず ける(職業 訓練校)	一人親方 等にあず ける(弟子 として)	不明
全体	261	15.7	63.2	1.5	11.9	7.7
雇用 形態						
工務店社員	86	23.3	62.8	3.5	2.3	8.1
外注常用(日当制)	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
外注常用(坪請主体)	37	2.7	40.5	0.0	48.6	8.1
その都度契約	3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
元請として仕事	117	15.4	69.2	0.9	6.8	7.7
その他(アルバイト等)	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

表 3.5.20 育成期間の担い手の立場（H29年度）（割合%）

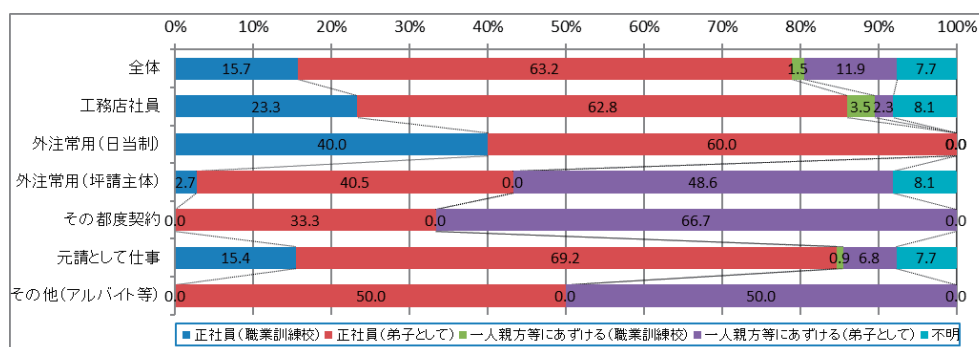


図 3.5.20 育成期間の担い手の立場（H29年度）

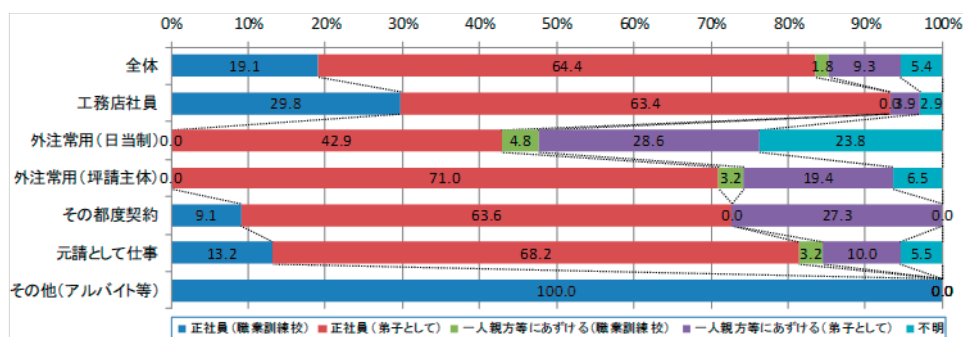


図 3.5.20# 育成期間の担い手の立場（H28年度）

### ③ 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

#### 育成にかかる費用負担

- ・「有る」は「外注常用（坪請主体）（48.6%）」が最も大きい。次いで「元請として仕事（36.8%）」、「その都度契約（33.3%）」。
- ・「無い」は「その他（アルバイト等）（100.0%）」が最も大きい。次いで、「工務店社員（27.9%）」、「外注常用（日当制）（20.0%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「その都度契約」で「有る」が増加している。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	261	31.4	18.0	50.6
雇用形態				
工務店社員	86	17.4	27.9	54.7
外注常用(日当制)	5	20.0	20.0	60.0
外注常用(坪請主体)	37	48.6	16.2	35.1
その都度契約	3	33.3	0.0	66.7
元請として仕事	117	36.8	10.3	53.0
その他(アルバイト等)	2	0.0	100.0	0.0

表 3.5.21 育成期間にかかる費用負担（H29年度）（割合%）

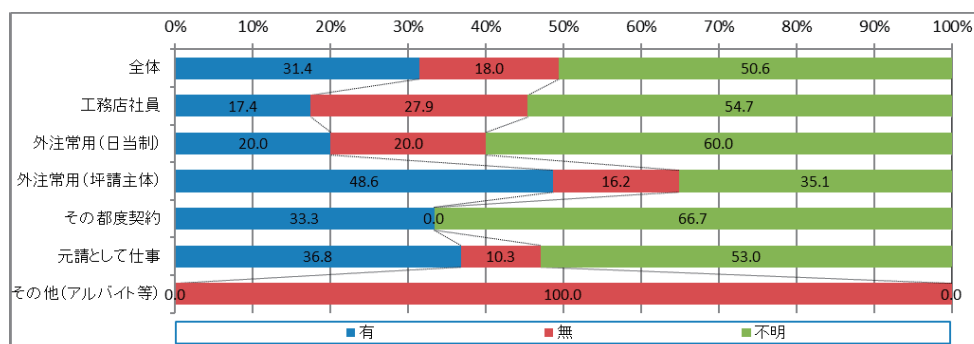


図 3.5.21 育成期間にかかる費用負担（H29年度）

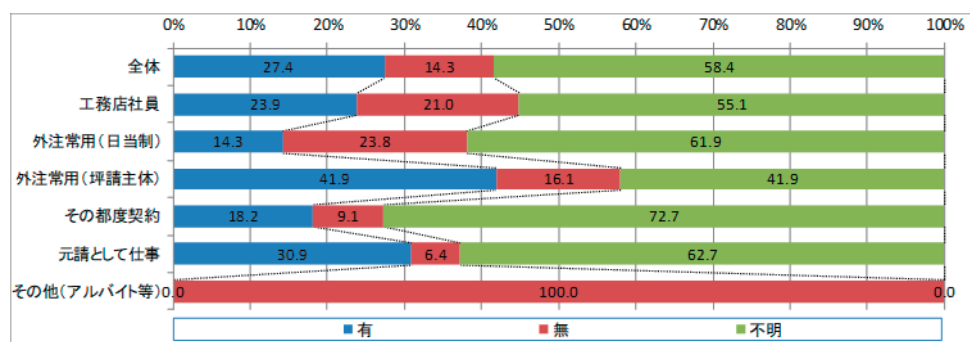


図 3.5.21 #育成期間にかかる費用負担（H28年度）

④ 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

- ・育てる予定がない理由として回答した割合の合計値は、「元請として仕事（188.3%）」が最も大きく、次いで「外注常用（坪請主体）（170.0%）」、「その都度契約（151.2%）」。
- ・どの雇用形態においても「費用がかかるため」、「将来の保障ができないため」が大きい。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「その都度契約」で「将来の保障ができないため」の減少しているものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	705	10.1	11.1	23.8	4.3	19.7	16.0	37.9	11.8	9.8	15.0	5.5	12.6
雇用形態													
工務店社員	221	8.6	14.0	16.3	5.9	20.4	22.2	26.7	10.9	5.9	10.9	5.0	15.4
外注常用(日当制)	106	7.5	11.3	17.0	3.8	19.8	19.8	36.8	6.6	10.4	16.0	3.8	8.5
外注常用(坪請主体)	110	14.5	9.1	40.0	3.6	20.0	15.5	43.6	6.4	10.0	7.3	3.6	13.6
その都度契約	41	7.3	12.2	22.0	4.9	22.0	14.6	34.1	12.2	14.6	7.3	14.6	14.6
元請として仕事	189	12.7	7.9	27.5	3.2	19.0	8.5	47.6	18.5	12.7	25.4	5.3	10.1
その他(アルバイト等)	8	0.0	37.5	12.5	0.0	12.5	25.0	37.5	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5

表 3.5.22 なぜ育てる予定はないのか（H29年度）（割合%）

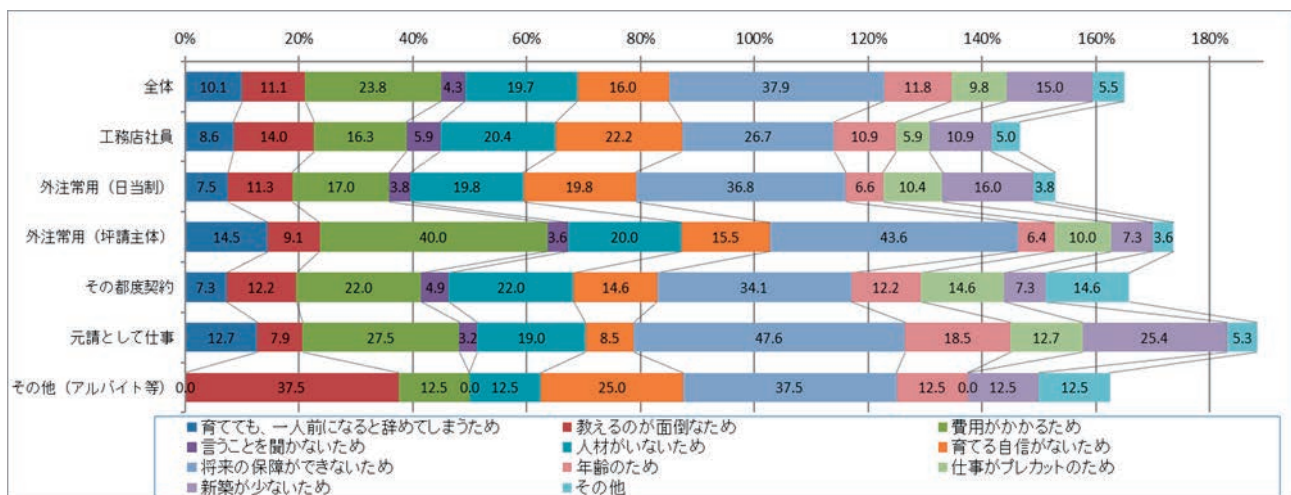


図 3.5.22 なぜ育てる予定はないのか（H29年度）

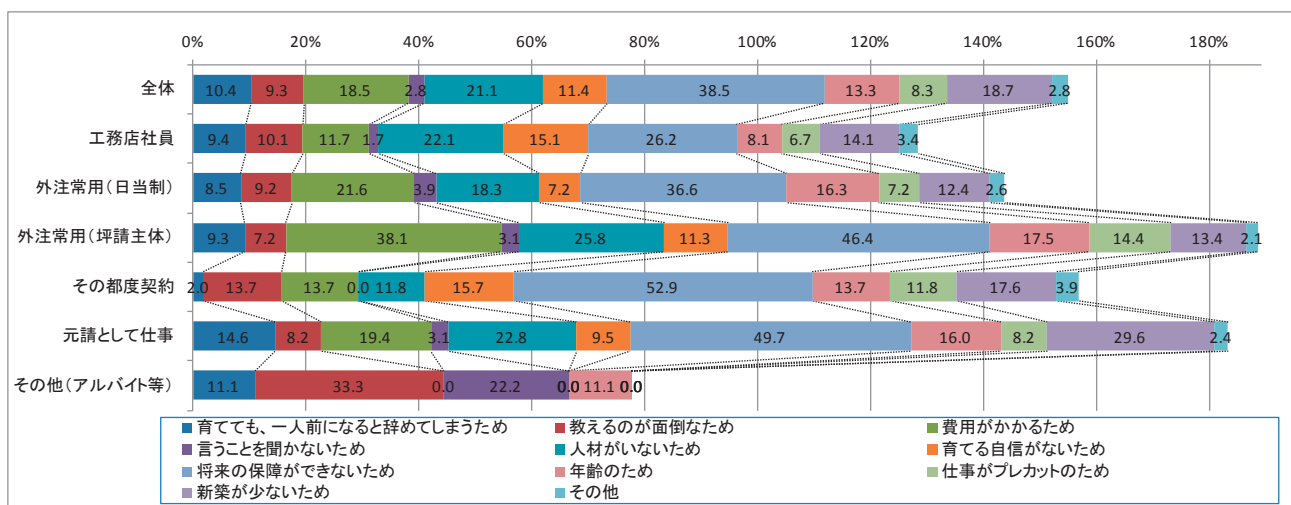


図 3.5.22#なぜ育てる予定はないのか（H28年度）

⑤ 担い手育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

- ・ 全ての雇用形態に共通して「10万円/月」の割合が最も大きい。
- ・ 前回調査（H28年度）と比較して「その他（アルバイト等）」で「10万円/月」増加したものの、総じて大きな変化はない。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か						
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明	
全体	2147	3.1	14.2	27.9	18.1	3.4	33.4	
雇用形態	工務店社員	806	3.7	15.6	23.3	15.9	3.6	37.8
	外注常用(日当制)	225	2.7	12.9	20.9	19.1	4.0	40.4
	外注常用(坪請主体)	275	2.2	13.1	31.3	23.6	2.5	27.3
	その都度契約	73	0.0	9.6	38.4	16.4	4.1	31.5
	元請として仕事	660	3.6	15.3	33.5	19.1	2.9	25.6
	その他(アルバイト等)	22	0.0	4.5	50.0	13.6	13.6	18.2

表 3.5.23 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H29年度）（割合%）

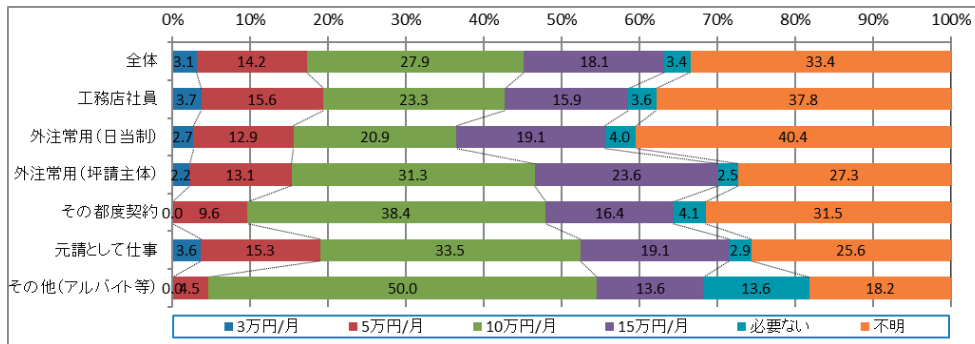


図 3.5.23 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H29年度）

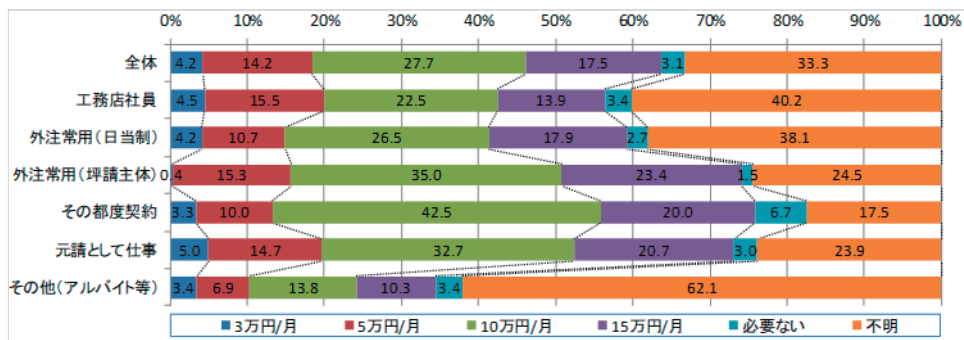


図 3.5.23# 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H28年度）



## 6. 賃金別集計

### (1) 職業等について

#### ①職種においてベテランだと思いませんか。

- ・「ベテラン」は「25,000円以上(32.4%)」が最も大きい。次いで「20,000～25,000円未満(27.4%)」。
- ・「ややベテラン」は「25,000円以上(29.7%)」が最も大きい。次いで「15,000～20,000円未満(25.5%)」。
- ・「中堅」は「20,000～25,000円未満(42.3%)」が最も大きい。次いで「10,000～15,000円未満(37.1%)」。
- ・「やや中堅」は「8,000～10,000円未満(18.3%)」が最も大きい。次いで「10,000～15,000円未満(16.1%)」。
- ・「見習い」は「8,000円未満(78.3%)」が最も大きい。次いで「8,000～10,000円未満(49.4%)」。
- ・前回調査(H28年度)と比較して「中堅」の賃金が「8,000～10,000円未満」及び「20,000～25,000円未満」で増加し、その他の賃金が減少している。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて						
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明	
全体	2147	19.5	19.3	31.5	11.5	15.5	2.7	
賃金	8,000円未満	143	7.0	4.2	6.3	2.8	78.3	1.4
	8,000～10,000円未満	180	3.9	5.0	20.6	18.3	49.4	2.8
	10,000～15,000円未満	669	14.8	18.2	37.1	16.1	11.2	2.5
	15,000～20,000円未満	756	26.5	25.5	33.7	8.9	2.9	2.5
	20,000～25,000円未満	215	27.4	19.5	42.3	6.5	1.9	2.3
	25,000円以上	74	32.4	29.7	20.3	6.8	8.1	2.7

表 3.6.1 職種のベテラン度合 (H29年度) (割合%)

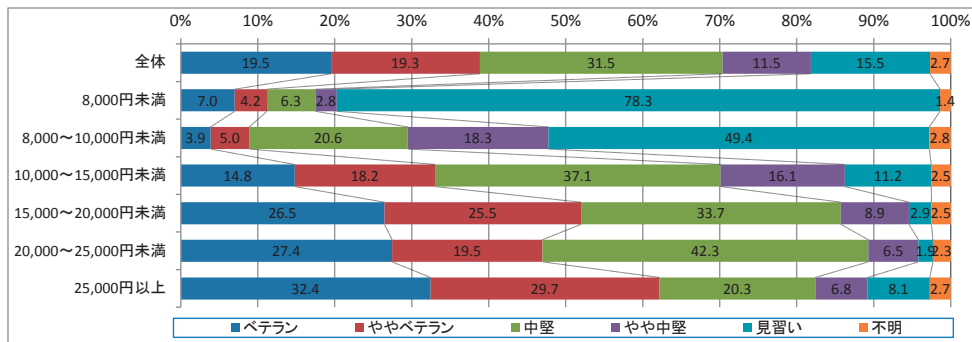


図 3.6.1 職種のベテラン度合 (H29年度)

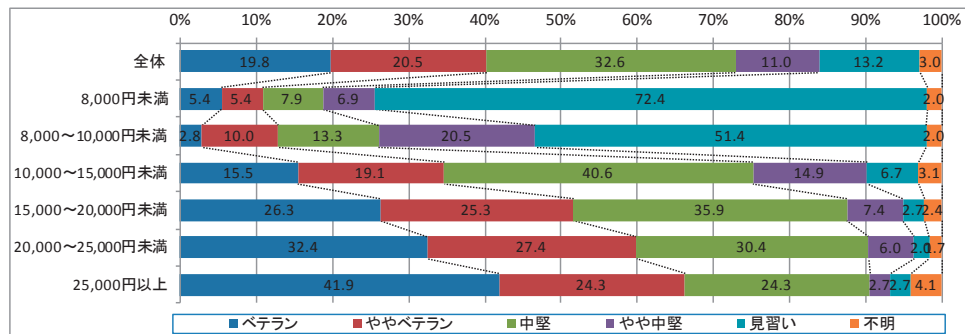


図 3.6.1# 職種のベテラン度合 (H28年度)



## (2) 資格や技能について

### ①持っている資格

- ・持っている資格の合計値は「15,000～20,000 円未満 (281.2%)」が最も大きい。次いで「20,000～25,000 円未満 (278.5%)」。一方「8,000 円未満 (123.9%)」が最も小さく、次いで「8,000～10,000 円未満 (145.5%)」。
- ・「25,000 円以上」では「2 級建築施工管理技士」、「枠組壁建築技能士」が多い。
- ・「10,000～15,000 円未満」以上の賃金では「2 級建築士」、「2 級建築施工管理技士」、「建築大工技能士 (1 級・2 級)」、「足場の組立て等作業主任者」、「木造建築物組立て作業主任者」との回答が増加する。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「20,000～25,000 円未満」及び「25,000 円以上」で合計値が減少している。

	合計	(13)お持ちの資格														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	建築大工技能士(1級・2級)	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	2147	4.7	27.2	2.4	4.2	12.4	22.2	1.9	9.9	6.7	39.8	39.8	45.2	16.9	9.8	18.3
賃金																
8,000円未満	143	1.4	11.2	2.1	2.1	4.2	14.0	0.7	2.8	0.7	15.4	14.0	38.5	13.3	3.5	43.4
8,000～10,000円未満	180	1.7	13.9	0.0	2.8	6.1	19.4	0.6	4.4	1.1	16.1	15.6	44.4	15.0	4.4	31.7
10,000～15,000円未満	669	3.7	26.9	3.0	3.0	14.1	25.0	1.3	10.5	4.8	42.2	39.5	48.1	19.4	8.2	15.7
15,000～20,000円未満	756	6.2	34.1	2.8	5.0	12.8	25.1	2.1	12.4	8.5	47.2	48.1	47.0	16.3	13.6	11.1
20,000～25,000円未満	215	7.0	31.6	3.3	6.0	15.3	17.2	2.3	11.6	13.5	45.6	48.8	45.6	17.7	13.0	12.6
25,000円以上	74	4.1	27.0	0.0	6.8	21.6	12.2	8.1	6.8	9.5	51.4	52.7	41.9	18.9	8.1	17.6

表 3.6.2 持っている資格 (H29 年度) (割合%)

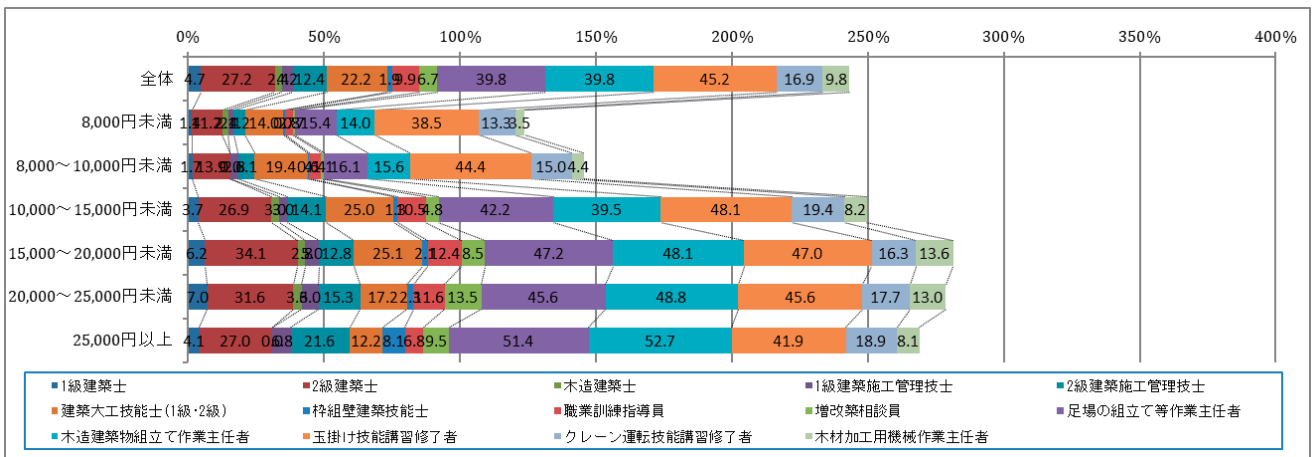


図 3.6.2 持っている資格 (H29 年度)

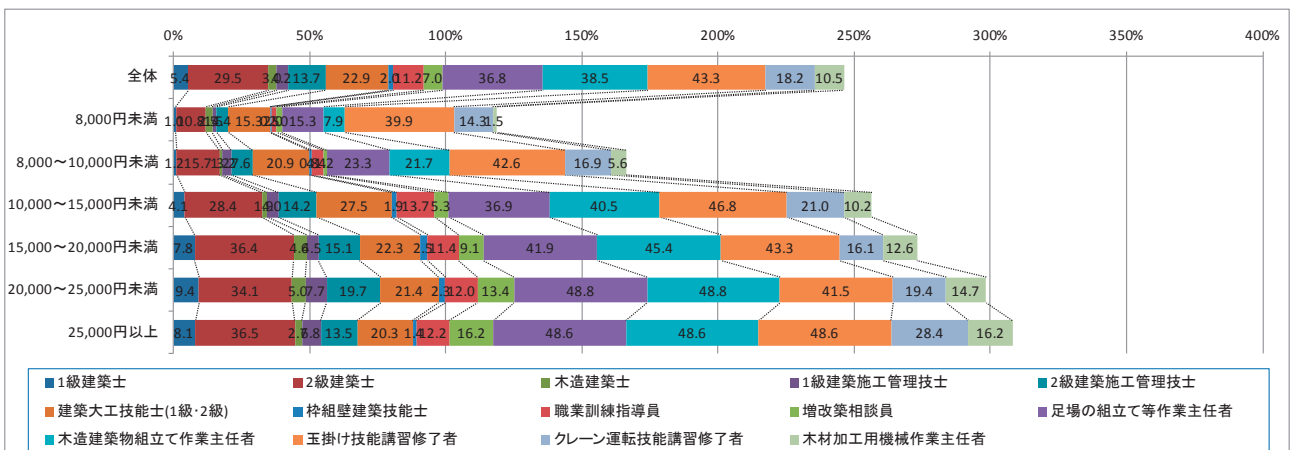


図 3.6.2#持っている資格 (H28 年度)

②大工職のみ回答 墨付けができますか。

- ・「はい」は「25,000円以上（79.7%）」が最も大きい。「10,000～15,000円未満」以上の賃金では7～8割程度が「はい」と回答している。
- ・「いいえ」は「8,000～10,000円未満（44.4%）」が最も大きい。また「8,000～10,000円未満」以下は4割程度が「いいえ」と回答している。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「はい」は「8,000円未満」、「25,000円以上」で増加しているが、その他の賃金では減少している。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	2147	67.8	19.0	13.2	
賃金	8,000円未満	143	44.1	43.4	12.6
	8,000～10,000円未満	180	41.1	44.4	14.4
	10,000～15,000円未満	669	67.7	19.9	12.4
	15,000～20,000円未満	756	78.7	10.6	10.7
	20,000～25,000円未満	215	71.6	15.8	12.6
	25,000円以上	74	79.7	14.9	5.4

表 3.6.3 墨付け（H29年度）（割合%）

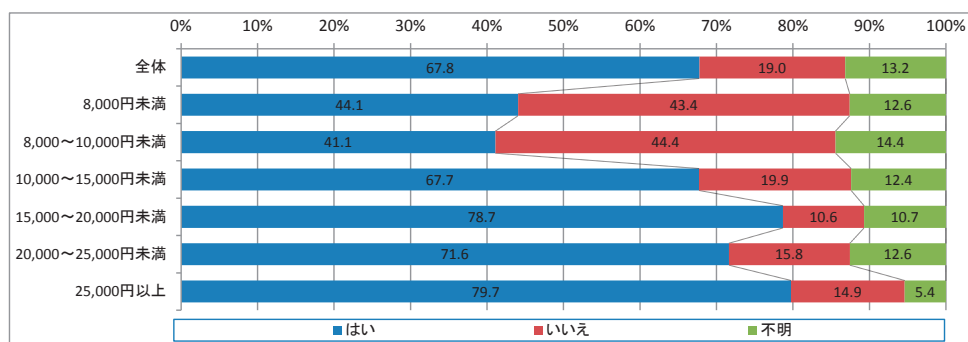


図 3.6.3 墨付け（H29年度）

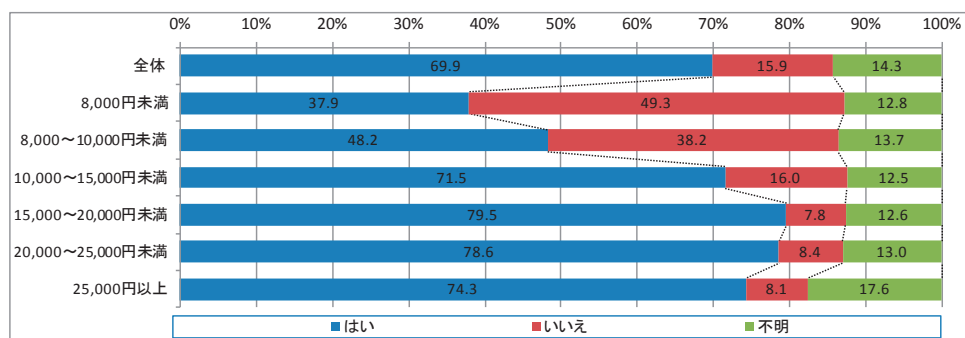


図 3.6.3#墨付け（H28年度）

③大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

- ・「はい」は「10,000～15,000円未満(24.4%)」が最も大きい。次いで「8,000円未満(23.8%)」、「8,000～10,000円未満(17.8%)」。
- ・「いいえ」は「25,000円以上(79.7%)」が最も大きい。次いで「15,000～20,000円未満(72.2%)」、「20,000～25,000円未満(70.7%)」。
- ・前回調査(H28年度)と比較して「はい」は総じて減少している。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	2147	19.3	66.6	14.1	
賃金	8,000円未満	143	23.8	62.2	14.0
	8,000～10,000円未満	180	17.8	68.3	13.9
	10,000～15,000円未満	669	24.4	61.7	13.9
	15,000～20,000円未満	756	16.4	72.2	11.4
	20,000～25,000円未満	215	15.3	70.7	14.0
	25,000円以上	74	12.2	79.7	8.1

表 3.6.4 手刻み加工の仕事(新築)(H29年度) (割合%)

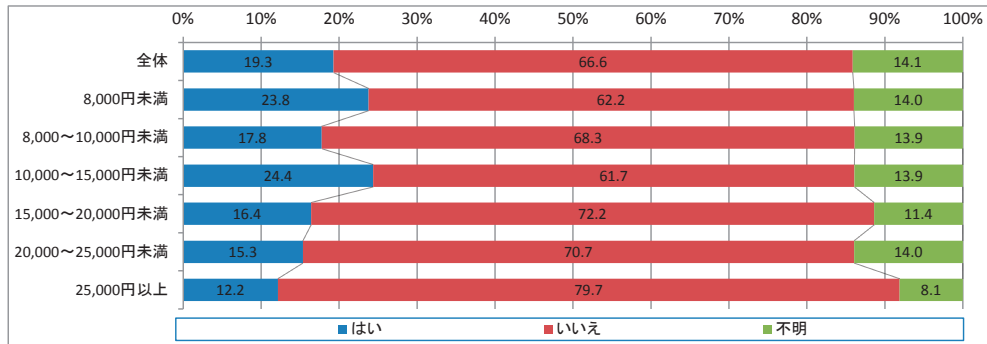


図 3.6.4 手刻み加工の仕事(新築)(H29年度)

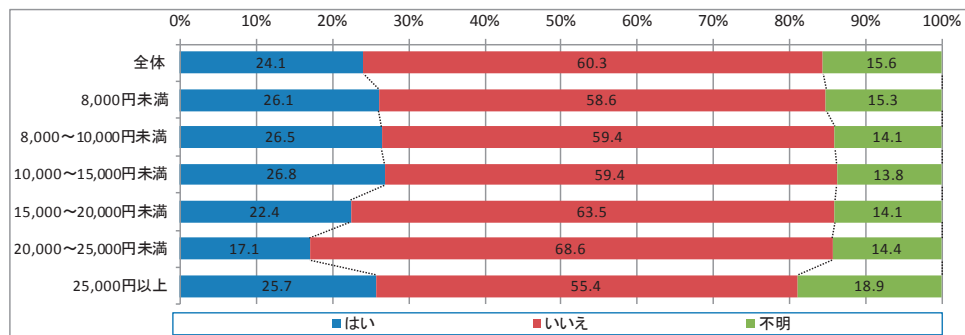


図 3.6.4# 手刻み加工の仕事(新築)(H28年度)

④大工職のみ回答 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

- ・「はい」は「10,000～15,000円未満(46.9%)」が最も大きい。次いで「15,000～20,000円未満(42.9%)」、「20,000～25,000円未満(39.5%)」。
- ・「いいえ」は「25,000円以上(58.1%)」が最も大きい。次いで「8,000円未満(53.8%)」、「8,000～10,000円未満(52.2%)」。
- ・前回調査(H28年度)と比較して「いいえ」は総じて増加している。

		合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		2147	41.3	44.4	14.3
賃金	8,000円未満	143	32.2	53.8	14.0
	8,000～10,000円未満	180	34.4	52.2	13.3
	10,000～15,000円未満	669	46.9	39.3	13.8
	15,000～20,000円未満	756	42.9	45.6	11.5
	20,000～25,000円未満	215	39.5	45.6	14.9
	25,000円以上	74	33.8	58.1	8.1

表 3.6.5 手刻み加工の仕事(増改築)(H29年度) (割合%)

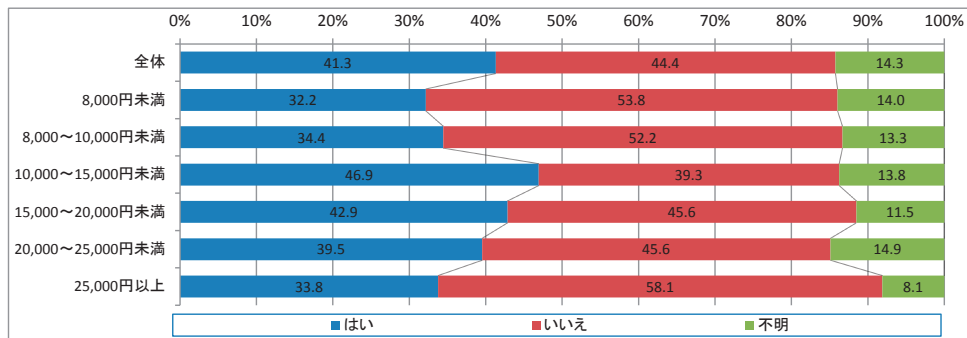


図 3.6.5 手刻み加工の仕事(増改築)(H29年度)

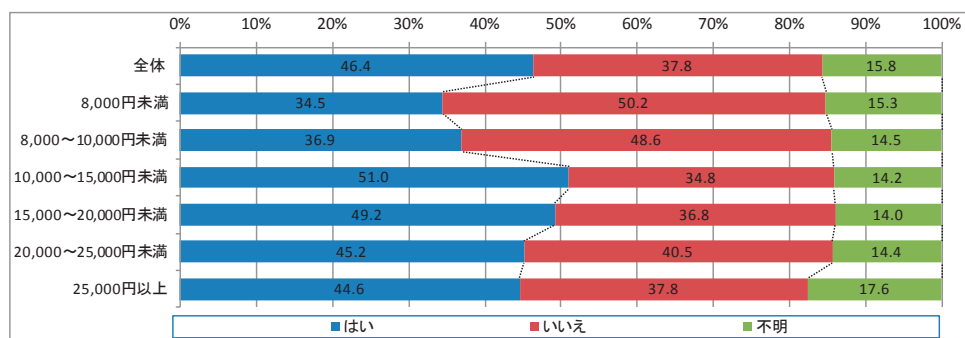


図 3.6.5# 手刻み加工の仕事(増改築)(H28年度)

⑤大工職のみ回答 和室造作ができますか。

- ・「はい」は「15,000～20,000円未満（77.0%）」、「25,000円以上（77.0%）」が最も大きい。次いで「20,000～25,000円未満（73.5%）」。
- ・「いいえ」は「8,000円未満（67.1%）」が最も大きい。次いで「8,000～10,000円未満（63.3%）」、「10,000～15,000円未満（26.2%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「いいえ」は総じて増加している。

	合計	(14)④和室造作ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	2147	61.3	24.9	13.8	
賃金	8,000円未満	143	18.2	67.1	14.7
	8,000～10,000円未満	180	22.2	63.3	14.4
	10,000～15,000円未満	669	60.2	26.2	13.6
	15,000～20,000円未満	756	77.0	12.3	10.7
	20,000～25,000円未満	215	73.5	13.5	13.0
	25,000円以上	74	77.0	16.2	6.8

表 3.6.6 和室造作（H29年度）（割合%）

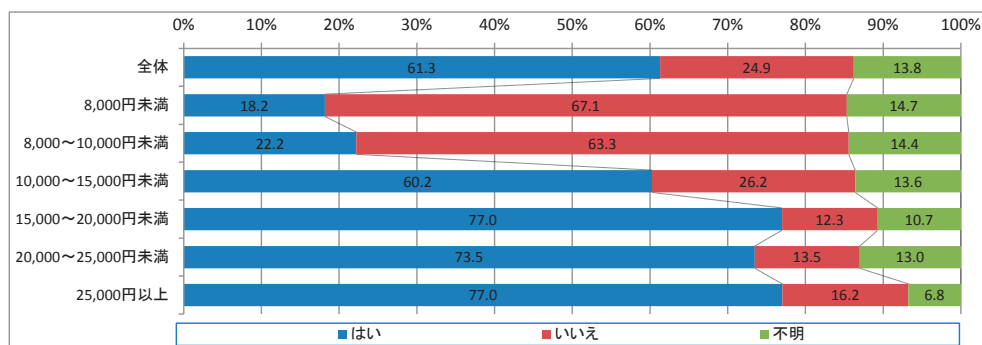


図 3.6.6 和室造作（H29年度）

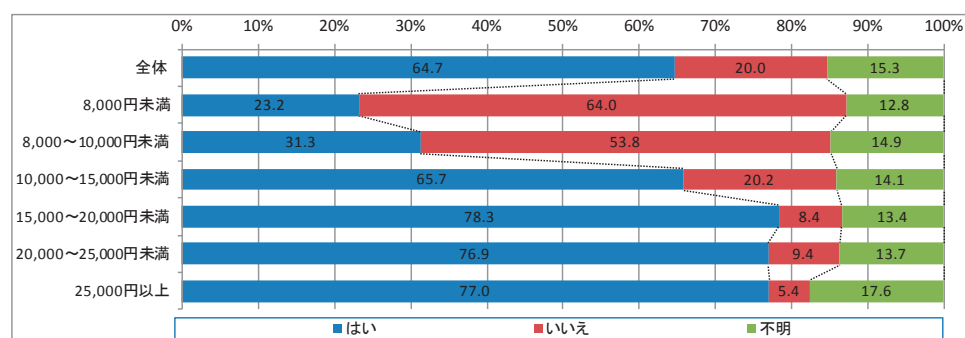


図 3.6.6# 和室造作（H28年度）

⑥大工職のみ回答 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

- ・「はい」は「25,000 円以上 (44.6%)」が最も大きい。次いで「20,000～25,000 円未満 (31.2%)」、「15,000～20,000 円未満 (29.8%)」。
- ・「いいえ」は「8,000 円未満 (74.1%)」が最も大きい。次いで「8,000～10,000 円未満 (66.7%)」、「15,000～20,000 円未満 (57.8%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「25,000 円以上」で「はい」が増加しているものの、全体的な構成に大きな変化はない。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工 ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	2147	26.7	57.8	15.4	
賃金	8,000円未満	143	11.2	74.1	14.7
	8,000～10,000円未満	180	18.3	66.7	15.0
	10,000～15,000円未満	669	27.5	56.7	15.8
	15,000～20,000円未満	756	29.8	57.8	12.4
	20,000～25,000円未満	215	31.2	54.4	14.4
	25,000円以上	74	44.6	47.3	8.1

表 3.6.7 2×4 工法の住宅の施工 (H29 年度) (割合%)

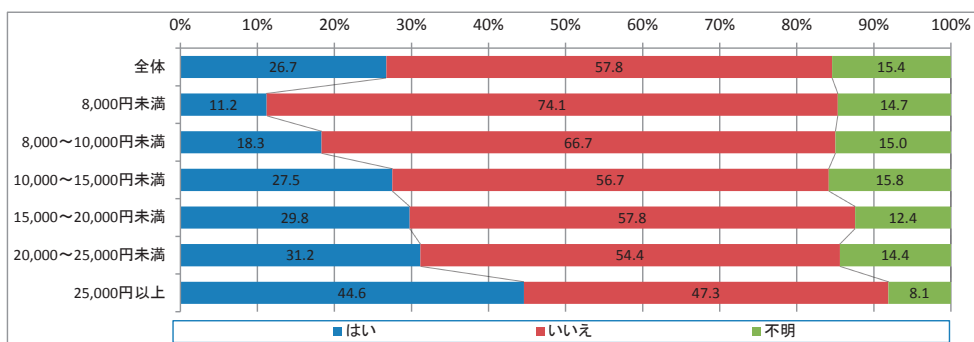


図 3.6.7 2×4 工法の住宅の施工 (H29 年度)

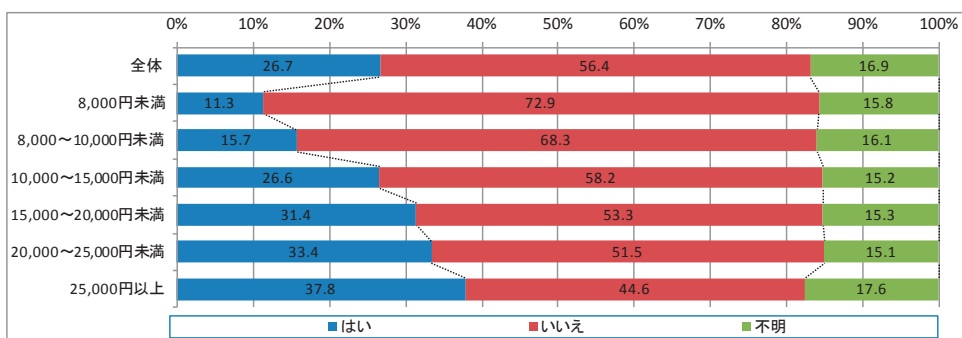


図 3.6.7# 2×4 工法の住宅の施工 (H28 年度)

### (3) 仕事に対する満足度や今後の意向について

#### ①現在の仕事の内容について満足していますか。

- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「25,000 円以上 (74.4%)」が最も大きい。次いで「10,000～15,000 円未満 (63.4%)」、「20,000～25,000 円未満 (62.8%)」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「8,000～10,000 円未満 (30.6%)」が最も大きい。次いで「15,000～20,000 円未満 (29.6%)」、「20,000～25,000 円未満 (28.4%)」。
- ・前回調査 (H28 年度) と比較して「8,000～10,000 円未満」及び「15,000～20,000 円未満」で「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値が増加している。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	2147	10.2	51.8	22.3	5.6	10.1	
賃金	8,000円未満	143	17.5	44.8	17.5	10.5	9.8
	8,000～10,000円未満	180	12.8	49.4	23.9	6.7	7.2
	10,000～15,000円未満	669	9.9	53.5	22.1	5.1	9.4
	15,000～20,000円未満	756	7.5	54.4	25.0	4.6	8.5
	20,000～25,000円未満	215	10.7	52.1	20.5	7.9	8.8
	25,000円以上	74	23.0	51.4	17.6	5.4	2.7

表 3.6.8 仕事の内容についての満足度 (H29 年度) (割合%)

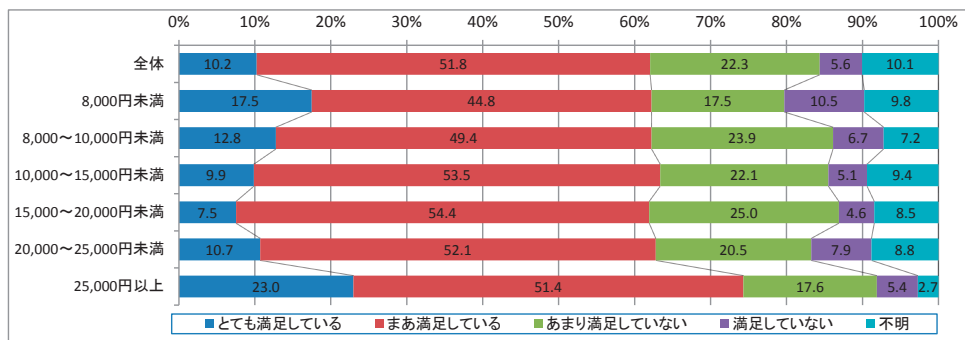


図 3.6.8 仕事の内容についての満足度 (H29 年度)

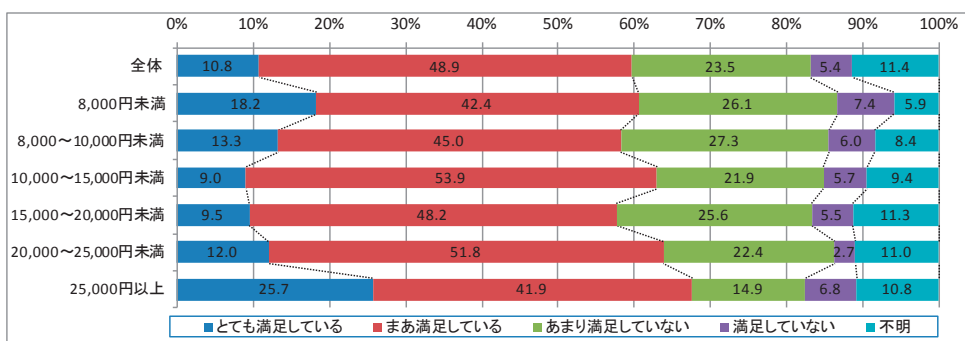


図 3.6.8# 仕事の内容についての満足度 (H28 年度)

②現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

- ・「とても満足している」、「まあ満足している」の合計値は「25,000円以上（52.7%）」が最も大きい。次いで、「20,000～25,000円未満（41.9%）」、「15,000～20,000円未満（39.4%）」。
- ・「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値は「8,000円未満（55.3%）」が最も大きい。次いで「8,000～10,000円未満（55.0%）」、「10,000～15,000円未満（52.5%）」。
- ・前回調査（H28年度）と比較して「8,000～10,000円未満」以外では「まあ満足している」が増加している。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	2147	3.9	34.9	35.5	15.4	10.3	
賃金	8,000円未満	143	8.4	26.6	26.6	28.7	9.8
	8,000～10,000円未満	180	8.3	28.9	31.1	23.9	7.8
	10,000～15,000円未満	669	3.3	35.1	37.1	15.4	9.1
	15,000～20,000円未満	756	3.3	36.1	39.3	12.4	8.9
	20,000～25,000円未満	215	1.9	40.0	35.3	14.4	8.4
	25,000円以上	74	5.4	47.3	33.8	9.5	4.1

表 3.6.9 収入等についての満足度（H29年度）（割合%）

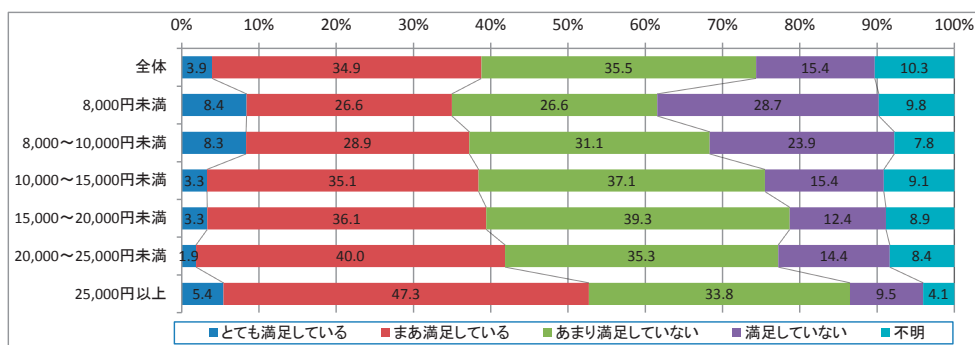


図 3.6.9 収入等についての満足度（H29年度）

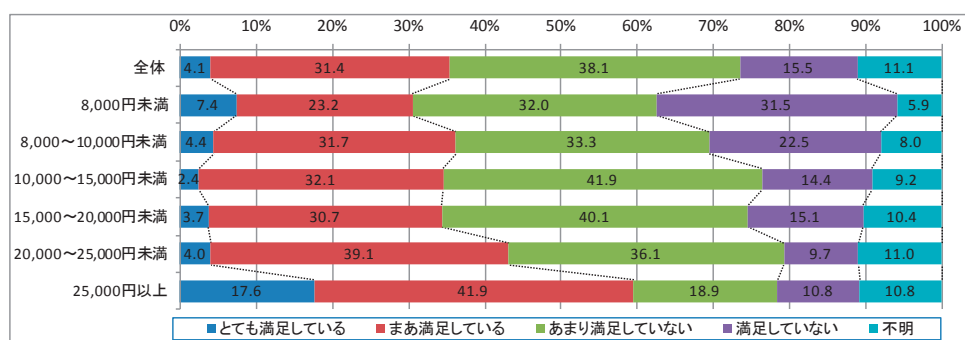


図 3.6.9# 収入等についての満足度（H28年度）





# 資料編

## 目次

### ■ アンケート調査 自由記述回答

- |                                       |         |
|---------------------------------------|---------|
| 1. 設問 (3) 職種 【その他】の自由記述回答             | 資料編-1-  |
| 2. 設問 (10) -3 健康保険 【その他】の自由記述回答       | 資料編-8-  |
| 3. 設問 (21) なぜ育てる予定はないのですか【その他】の自由記述回答 | 資料編-9-  |
| 4. 設問 (23) 担い手育成についての意見 (自由記述)        | 資料編-10- |

## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

### 4. その他

現場管理	345
施工管理	152
設計	152
現場監督	80
営業	65
学生	63
管理	45
工務店	27
現場管理者	24
監督	19
電工	17
電気工事	16
建築設計	16
現場監理	13
設計士	12
建築士	9
事務	9
建設業	8
塗装工	8
会社員	7
施工監理	7
電気工	6
行政	6
建設会社	6
経営者	6
設計事務所	6
設計、監理	6
建築板金	6
設計、管理	6
工務	6
設計、現場管理	6
配管工	6
現場施工管理	6
監理	5
設計監理	5
施工管理者	5
現場管理、設計	5
電気	5
工務店代表	5
管理者	5
建材店	4
塗装	4
大工ではない	4
現場代理人	4
検査員	4
工事管理	4
設備	4
工務店経営	4
検査機関	4
工務店社員	4
建材メーカー	4
検査	4
建築現場管理	3
屋根工事	3
不動産	3
販売店	3
施工	3
リフォーム	3
建築施工管理	3
カンリ	3
断熱施工	3

## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

### 4. その他

設計、施工管理	3
リフォーム業	3
工事監理	3
内装工	3
外壁	3
メーカー	3
リフォーム営業	3
職業訓練指導員	3
管理、設計	2
確認検査員	2
代表	2
手伝い	2
建築管理	2
住宅設計	2
施工業者	2
見習い	2
材木屋	2
管理職	2
電気工事業	2
現場監理者	2
建築業	2
現場カンリ	2
会社役員	2
建材営業	2
アフターサービス	2
コーディネーター	2
確認検査	2
設計・監理	2
指導員	2
プランナー	2
建築一般	2
現場管理、営業	2
電気工事士	2
現場員	2
元請	2
設計者	2
内装	2
営業、設計	2
内装仕上	2
設備メーカー	2
板金	2
設備設計	2
品質管理	2
全般	2
総合建設業	2
流通	2
販売	1
瓦屋根工事	1
水道	1
建材	1
適合検査員	1
建材、流通業	1
自営業設計施工管理	1
ゼネコン	1
設計、工事監理	1
建材メーカー営業系	1
総務	1
建材メーカー設計	1
土木	1
ゼネコン現場管理	1
建具工	1

## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

### 4. その他

建材卸	1
住宅会社経営	1
建材卸販売	1
設計、営業、代表	1
建材業、建築業	1
設計監督、現場管理	1
テクニカルマネージャー	1
設備工	1
建設営業部	1
大学生	1
デザイン	1
技術校生徒(建築大工)	1
建設会社、現場管理	1
旧建築大工	1
建設会社、代表取締役	1
不動産業	1
建設会社社員	1
事務員	1
建設会社経営	1
住宅メーカー	1
建設会社代表	1
置職	1
建設管理	1
設計(リフォーム)	1
ハウスメーカー	1
設計、見積、現場監理	1
建設業経営	1
グラスウールメーカー営業	1
建設現場管理	1
設計管理	1
建設資材販売	1
設計補助	1
建設設備設計施工	1
全般、元請	1
建築	1
代	1
建築(一般)	1
団体職員	1
建築、施工管理	1
サッシ取付、ガラス施工	1
建築、設計、施工	1
技術職	1
建築一式施工管理	1
給排水衛生設備工事業	1
ビルクリーナー	1
配管	1
建築会社の事務系	1
サッシ販売	1
建築確認検査	1
防水	1
ビルメン業	1
事業主	1
建築技術者	1
事務職	1
H・M施工管理	1
会社経営	1
建築業務全般	1
住宅営繕	1
建築検査機関	1
ガラス・サッシュエ	1
プレカット	1

## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

### 4. その他

解体	1
建築工事業	1
水道設備	1
ポリテク宮崎訓練生	1
設計、デザイン	1
建築施工	1
外部リフォーム	1
建築施工会社	1
外壁、ALC、パワーボード等施工代理店	1
ポリテク住宅リフォーム科	1
設計、施工監理	1
建築資材販売	1
設計・施工管理(監)	1
建築資材販売業	1
設計監理、管理	1
建築資材販売店	1
コンサル	1
建築請負	1
官公署	1
SRアドバイザー	1
サッシ	1
建築設計、コーディネーター	1
設備販売	1
建築設計、監理	1
総合建設業者	1
建築設計、現場管理、建設業	1
測量設計	1
建築全般	1
サッシ・ガラス工事	1
建築大工、設計士、施工管理	1
大工、現場管理	1
建築塗装	1
断熱材メーカー	1
メゾンリー建設	1
サッシ工	1
建築板全工	1
電気工事管理	1
メンテナンス、リフォーム	1
電気設備工事	1
1級建築士	1
塗装業	1
インテリアコーディネーター	1
内外装	1
リフォーム会社経営	1
内装リフォーム	1
インテリアデザイン	1
教育	1
元請現場管理	1
訓練生	1
現場(施工)管理	1
経営	1
リフォーム専門店代表	1
不動産営業	1
リフォーム全般	1
保検業務	1
意匠設計	1
防水工	1
現場監督、管理	1
資材販売・建築	1
維持管理	1
会社員、社員大工	1

## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

### (3) 職種...(MA)

#### 4. その他

現場監理、設計	1
事務系	1
一般建築業	1
自営業(アパート経営相続予定)	1
インテリア設計、管理	1
社員	1
現場管理(元大工職)	1
住宅サッシ業	1
営業(現在社長)	1
住宅営業	1
現場管理、監理	1
住宅会社	1
現場管理、検査	1
住宅建材販売店	1
営業、監督	1
省エネ計算代行	1
現場管理、大工手伝い	1
職業訓練(内装)	1
現場管理、不動産	1
申請業務	1
現場管理及び会社代表	1
水道屋	1
営業、管理	1
外構、左官、水道	1
現場管理職	1
設計(住宅)	1
問屋	1
設計、営業	1
冷凍空調設備	1
設計、監督	1
営業、管理職	1
1級建築士、現場管理	1
営業、現場管理	1
設計、現場監理	1
営業、施工	1
設計、現場管理、施工補助	1
個人元請店	1
設計、工務	1
公社	1
外壁屋、外装屋	1
公務員	1
設計・施工管理	1
工事カンリ	1
設計営業	1
営業、施工管理	1
CAD実施設計	1
ウレタン	1
設計監理、現場管理	1
営業リフォーム	1
設計技師	1
営業以外	1
設計事務など	1
工務店、管理	1
設計事務所経営	1
工務店、経営	1
設計職	1
工務店、現場管理	1
官公庁	1
工務店勤務営業	1
設備管理	1
営業兼設計	1

## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

### 4. その他

サッシ、エクステリア	1
工務店経営(内装工職人)	1
監理兼任	1
営業職	1
管工事業	1
工務店主	1
総合施工	1
営業補佐、事務	1
造園、大工手伝い	1
工務店代表取締役	1
多能工	1
営繕	1
代人	1
行政職	1
代理人	1
左官	1
大工、現場監督	1
左官、タイル	1
管理、営業	1
ガス屋	1
断熱	1
材木卸	1
サッシメーカー	1
材料メーカー	1
転職中	1
材料屋	1
電気屋	1
作業員	1
基礎工事	1
指定確認検査機関	1
技術管理	1
屋根工事業	1
電気水道工事業	1
卸	1
技術者	1
施工、現場管理	1
塗装、リフォーム	1
施工カンリ	1
給・排水設備	1
施工会社	1
土木・大工	1
卸売業	1
内勤(施工にたずさわっていません)	1
家電販売、住宅設備業、リホーム業	1
内装、リフォーム	1
施工管理(元大工)	1
内装業	1
施工管理、技工	1
内装工事仕上業	1
施工管理・営業	1
内装施工	1
施工管理会社	1
訓練校	1
施工管理技士	1
板金業	1
施工管理士	1
販売員	1
ガス会社	1
評価機関	1
施工管理職	1
建具	1



## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

---

(3) 職種...(MA)

### 4. その他

施工管理等	1
不動産関連	1
施工業	1
変場管理	1
会社員(現場管理)	1
保検検査員	1
施工指導等	1
防水、塗装	1
資材メーカー営業	1
木建流通	1
資材店	1
資材販売	1
現場技術者	1
労務	1
現場検査	1
(株)松尾組	1
現場工務	1

## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

---

10-3) 加入している健康保険について...(MA)

### 4. その他の健康保険

社会保険	152
協会けんぽ	12
全国健康保険協会	10
協会健保	2
政府保険	1
不動産組合	1
建設国保	1
生命保険	1
個人年金	1
東京不動産	1
社会、民間保険	1
企業保険	1
けんぽ	1
政府	1

## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(21) なぜ育てる予定はないのですか...(MA)

11. その他

見習いの為	9
会社員だから	5
職人でないため	4
大工ではないから	3
その立場ではない	2
仕事がない時がある	1
そこまで順調に仕事がないため	1
自分が新人だから	1
安すぎ	1
アルバイトなので	1
安定給与が保障できない	1
資格が必要だから	1
育てる立場にいない	1
まだ分からない	1
自分の生活でいっぱい	1
一人のため	1
入社してこないの	1
会社が決める事	1
仕事がない	1
会社に言われればそだてる	1
仕事が少ないため	1
その域に達していない	1
時間がない	1
機会がない	1
自分が未熟のため	1
教えられない	1
自由がきかない	1
他にも良い仕業が有	1
まだ考えられない	1
賃金が安いから	1
教える教材となるような現場がない	1

## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
3951	(22)の設問に必要なないと回答した理由は、国の税金を使って職人の技術を継承するという考え方が間違っていると思うから。伝統工法の促進により、手仕事の需要を掘り起こすのが自然だと思う。
2768	・国の補助金に頼る体制は経営としてよくない。・大工がエンドユーザーから仕事を取り、設計施工していく教育環境が必要。特に大学が職人教育をしないことがよくない。手仕事を軽視している。
4232	・不景気と言われている現在では、特に中小企業では担い手の育成はほぼ不可能だと思います(現在、自分の回りで担い手を育成している会社はほぼ0社です) ・国が少しでも早くこの状況をはあくして対策を取らなければ、職人がいなくなってからでは遅いと思います(今始めてもすでに遅いと思う)
2789	1社で担い手を育てるには、現状では余力がない。ので、全体でそだてられるようにならないだろうか。
62	1年目は軽負担で育成したい。
629	30～40代で若手と言う、将来不安しかない。
39	3Kの改善を、業界全体で行っていくべき
810	あまり該当しません。
1390	ありません
496	安定的、長期的に仕事を確保していくことが、担い手に意欲、情熱をもたせてやれると考えます。
3692	育成しやすいように、単価アップしてほしい。
3324	育成するいい環境があれば一番いいと思う。
74	育成する側の知識がもう少しあってもよいと思う。多くの大工、技術、知識がプレカットや2×4などでおぎなってくれるので若い子もそれなりにしか育たないと思う。
1714	育成できる人材を集めて、実演講習会等があると助かる。
944	育成できるような工期仕事内容にしてくれないと無理
3510	育成について
1253	以前担い手を育成したが、最近の若い人は飽きやすいしやる気が足りないと思います。自分達の年代の人とは違い、意地や根性がなくなったのかと残念に思います。
4368	一人前になるまでの保険等の補助があれば良いが
3386	いつ辞めてもいいように、後を入れる事が出来るか？
2863	今個人工務店がすごく少なくなっている。工務店の将来を考えたら“次の人”を育てるのは必要だと思う。しかし、きとうにやってきてしまった会社、育てる程お金に余裕のない業界に問題があると思う。これから“次の人”を育てるのは会社にとっても社会にとっても大事だと思います。
1943	今の住宅の考えが違いすぎる。
643	今の坪単価では、育成できない。
4139	今の若い人ははっきりした目標がない。がまんできない。根性がないと思う。会社員から転職してもまた会社員にもどる。40代の大工でも、下積(弟子)時代がないから、大工(九)でなく、大八、大七、大六で満足している。
736	今の若者は大工の仕事、中々続かないと思う。墨付けの仕事はむづかしいと思うから
4341	今は余裕のある仕事が少ないのでむづかしい！
3557	意欲向上が全てと考える。
4557	教える側の時間がない。
3783	教えることが少なくなった。工場生産の為。
4616	教える言葉を知らないから
243	会社に体力がないと無理。大手にまかせる
3106	各建築業界団体・協会・組合等へ担い手育成を目的とした事業促進を促してほしい。時代に合わない事業にとどまっているところが多い。
1879	各事業所とも見習生に対する、給料を補助制度を活用し高卒程度に統一を
1627	確実な仕事が確保できれば担い手はOK
3788	学生に建築業の分野の広さを説明すべき。
511	学生の体験が出来る環境が必要だと思う。
979	学校・訓練校の内容を増やすよう働きかける。
2831	ガマンができない人が多い
3462	監督、管理者不足
4172	企業主(会社役員)なのであてはまるかわかりません。
3089	キザミ仕事がない為、担い手にしてもらおう仕事が少ない。
3356	刻みをやった方がいいが、お金にならない
3127	基礎・大工・左官関係が少ないので、今の次世代の大工が必要不可欠。どこのメーカーでもそうだが、現場監督を育てようとする会社が少ない。現場をやってから、設計・営業をやるべきだと思う。
4492	きちんとして仕事を教われる場所が必要だと思います。
2640	きちんと休みをとらせる
1589	興味有る職業にするには、小学生高学年からの興味関る行事等が必要
2240	切り込み機械、カーペンター一定規等の復活が必要だと思います。
3734	国が政策を作ったり、補助金を出す。(担い手や育成する人に対して)

## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
3807	訓練校での実技をもっとしっかりやってほしい。
498	現在の収入では難しい。
3293	現在若い職人さんが減っています。昔は子供が将来大工になりたいと言っていたものです。大工になる魅力を感じられない世の中だと思います。大工やるよりコンビニのレジ打ちをやっていた方がもうかる時代を変えないと増えないと考えます。
2669	建築業、特に大工工事は見習い期間が長く給料が低いのが現実。生涯年収は他の業種よりも…
3811	建築業界が厳しいので若い人が入社しない。社長、若しくは上司が感情的な人が多い為、若い人が育ちにくい。(若い人はそのような人にはついていけない)教え方が上手ではない。
1294	建築現場において、賃金低下や立場が下がり、担い手になる若者が少なく、公的に補助金などがあれば有難い。(あればもっとと思う)
558	建築大工として、若い職人が少ない。道具が自分持ちなのに手間が少ないので、大工になろうとする人が少ないのかも…
2927	現場監督も次々辞めて心細いです。
248	現場での急な必要資材等がでてきたりする為
3787	現場に職人がみな作業をおしつける(新しい方法が出来るたびにである)
3124	こういう補助があれば、ぜひ担い手育成したい。
65	工業化(プレカスト)が中心の社会の中で技能をいかす仕事の機会がない家造りになりつつある。・個人の 大工の場合大きな加工場が必要。ホイストクレーンなど加工場維持費が必要。加工くずの処分も昔とちがい きびしいので費用がかかるなど問題が多い。
2288	公共の教育施設等があればいいと思う。
940	工事費用のアップ。建築業の週休2日制。業種の分化。
2410	高卒等のやる気のある若者が欲しい
4524	公的な補助よりも大工としての収入の方が大事。建築屋として生きていけなければ弟子は取れない。
4221	公的な問題もあるが、発注者側の意識が変わってくれなければ、育てる場が整わないのでしょうか？
3917	公的補助が1人/月15~20万ぐらいもらえるのであれば、若い世代をどんどん募集して、育てたいと思っている。本当にお金がかかるので、補助なしではなかなか厳しい。
3088	公的補助があっても、仕事が無ければ意味がない
2283	公的補助金を充実させて欲しい。技術職な為、身につくまで時間がかかる為。
1118	公的補助についての発想はありませんでした。担い手の育成の補助より、魅力ある職業である業界である べき(賃金や現場の環境などなど)と思います。仲間の職人さん達は厳しい状況だと感じます。元請さんや 親方はのぞいて！
2032	公平な施工の単価。仕事の多い事と年度末集中の日本の構造→公共工事の方向性。
2988	工務店に入社してくれる大工見習いを高卒時確保したいが、県南は建築科がないからコネクションをどう作 れば良いかわからない。
1342	個人事業主だともうキツイと思います。ちゃんとした会社にならできるようにしたい。
706	個人事業主でも(青色申告者)担い手育成すれば、減税・補助金等のシステムをお願いしたい！職人がいなく なっちゃうよ！
3988	これからの現代建築に技術はいらないと思う。
3358	これからは、社員大工になるべきだと思う。
952	今後大工が高齢で少なくなっていくことを若者ももっと広く知ってもらい、担い手になりたいと思われるような アナウンスを高校、中学で出来たら良いと思う。同時に、建方であればすぐ出来るようになることと、和室、 造作を出来る则需要があることを理解して欲しい。
2517	今後の建設業界における大工職の担い手育成は重要だと感じています。組み立て大工が多くなっている のが現状です。また、腕の良い大工さんが仕事を受注しにくい現状もある。また、昔のように工務店も社員 大工で育てていく企業耐力も難しく感じています。
3401	最近の若者は無理！
267	最低賃金は加速して上がる一方で、働き手は少なくまた、ダンピングや企業競争により収益が少ないので今 後の育成や、後継者育成に不安だらけです。
3357	先が見えない。
2214	昨年、新人を長野市の訓練校へ入学させ、1年間で退社してしまいました。やはり松本に訓練校があれば良 かったかと思えますし、週2日位授業があってもいいです。
893	資格取得などの補助があると助かります
4433	資格を取得して、この仕事を続けて行こうという気構えを持った若者がいない。
3968	時間をかけて育てた大工でも、その技術を発揮する仕事がない。賃金が安い。
380	仕事(仕事量)が不安定なため、育てられない。外注(坪請)の場合、工事単価が安価なため、育てられな い。
4287	仕事が無ければ担い手を育てる事に意味は無い。ハウスメーカーの様々な多能工程の仕事なら、わざわざ 育てなくても誰でもすぐに習得できる。つまり大工が必要な家づくりを推進する事が必要。
3110	仕事が良い仕事ばかりでもないし、毎日の仕事も減少して、給料も支払えない。自宅通勤ができるような人 材がいない。家賃分の給料を支払えない。



## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
2211	仕事に対する考え方が変わってきている為、難しい。
3894	仕事のやりがいと賃金のバランスを考慮した公的支援などを充実させると担い手が増えると思う。
3519	仕事量が少なくなってきたため、難しいかな？
2885	仕事をしながら担い手の育成は現在の日本の経済市場では難しいと思うので、学校みたいな機関が必要。
1075	時代が大工を求めている。
3612	時代の変化により、変えていく必要があるが、経験の少ない人には育成は難しい。だが往々にしてその場面がある。
3768	下請けでもサラリーマン(大手)に近い労働環境が必要。
1173	指導者の収入
1904	指導する間、自分の仕事が進まない。工期が短い。
1110	自分がした方が早いという思いが出てしまうので、なかなか担い手を育成することは難しい。
3376	自分で請負できる人材に育てたい。・設計(CAD)のできる大工さん(棟梁)であり、営業できる人材。・高学歴の大工さんがほしい。手加工できる大工さんになってほしい。
2877	自分の仕事量に対し、収入が満足していないのに、育成どころではない。
1512	地元に残ってくれる高校生などが少ない。
2514	社会におけるこの職の認知度の拡充と地位の向上
3353	社会保険加入が最低でも必要！
3474	従弟制では現代社会とマッチしないことが多いので地域でそだてる仕組みができれば、(担い手育成にかかる公的補助)最低賃金を考えれば必要。他に良い仕組みができれば不要。
3466	受注が安定しないと育成もできないので、営業受注面での組織的サポートも必要。
3433	紹介してくれる機関があったら良いと思います。
2147	上記(22)にあるように、育成する働きに対して公的補助をする仕組みを充実させることと考えます。
206	少子化、住宅着工減少のなかで新しく人材を育てるのは非常に難しい。リフォーム工事のみで生活設計を考えることは困難。国等の今後の建設業界の未来図が描かれていない。
31	将来、職人で充分生活してゆける賃金と各種保険の充実で安心して働ける労働環境が喫緊の課題と考える。
1895	職業訓練のインフラ整備が必要。民間では既に始動している。若年層へのイメージ操作で、業界の活性化をはかるべき。
1916	職人達の給与、福利厚生などを良くするべき
538	職人の地位が低く見られるのでこの点を、考えてもらいたい。
703	職人をなめすぎ。もう遅い。
3226	新規農業育成事業の様に、10万～15万3年間公的補助があれば育成されると思います。
1915	人口減、景気の影響で、人材が集まってこない。
3444	人口減少の為担い手不足なのは当然。国として人口増加、もしくは人口維持の為に子供の産みやすく、育てやすい国にしていくことがいちばんの根ではないでしょうか。
1587	墨付、刻みの現場があれば、技術面で教えがいがある。
1573	正社員でやとう
4173	専門的講習等の受講料がもう少し安くなったらいいと思う。
431	早急に大工養成学校の設置が愛媛県に必要です。将来家を作る職人がいなくなります。
300	育てる意識のある工務店への紹介制度が欲しい。
2506	その時に考えます
4247	大工(親方)の収入が増えなければ、若い人が担い手にならないし、子供等に進められない。
1453	大工、監督、人材紹介などあれば教えてほしいです。
2531	大工以外でも若手職人育成の為への公的補助の拡充が必要
1348	大工工事だけでなく、建築、建設、すべてを教えなければいけないと思う。(土木、設備、塗装、足場、鉄骨、鉄筋等)
4549	大工さんでも設計者もいません。公務員、メーカーに流れているようです。このままの状態が続けば地方の設計者(小さなもの、何でもできる者)は消えていきます。大学ではPCを使った設計が行われていないというのも問題です。そく戦力になりません。大学の意味とは？大工に断熱施工をやらせて、何でも屋になっている。こんなことでは育たないと思う。木工事に専念させるべきだ。なりたいたいと思わないだろう。
2406	大工職ではないですが、依頼している腕の良い職人さん達の技術の将来への保存は、社会全体にとっての重要な財産！でも最近の若者は続かない！未来への生活保障の充実！！
1871	大工人口不足をいち早く支援策して欲しい。将来の保障、生活ができる仕事になってほしい。
699	大工でないので記入できません
1752	大工でも内装のみなら、覚える期間は短いですが、すべての建物を構造から多業社仕事までも覚えるには、時間と経験がかなり必要だと。育てるには、時間と賃金とかまでは、負担できない。現状では、自分の生活でいっぱいです。
2213	大工という仕事と賃金の安さが大工のなり手をなくしている。単価を上げていかない限り、先のない職業である。これからは大工の取り合いになっているので、新築も大変。

## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
1291	大工になりたいという若者がいない。
1428	大工の高等専門学校(マイスター)制度の創設とトレーニングセンターの設立(職業訓練校ではない)
3998	大工の人工(賃金)が安すぎるからかな?大工が憧れの職業になれば。
1992	大工が一番損な分野になってしまった。
4110	大工は仕事が多いのに金にならない!
2209	大工への負担が多すぎる上に賃金が安すぎる為、担い手がいるわけがない。
1382	大工をしたい、やりたいという若者がいなすぎる。
3329	小さな工務店などは、担い手育成など費用がかかり、会社として運営できない現状
330	賃金アップ及び休日を他産業並みに出来るか? また、発注者への理解が得られるか?などの問題
2243	賃金体系を変えなければ今後増々下降する。建築業全体で。
619	賃金と待遇で魅力ある業界にしなければならない
568	通常のサラリーマンよりも高額な給料がもらえなければならない。仕事の量が不安定なので、ひまな時の仕事を考えなければならない。
1418	手おくれだと思う。
737	手刻みを教えられるような環境がつくれたらいいと思います。(予算、工期的にも)
3172	手間請負の時は、大工工事の坪単価が安いので教えている時間がない。私の弟子時代は、見ておぼえろだった。作事中に聞いてもくわしくおしえてくれなかった。
533	伝統工法を途絶えさせるべきではないと思います。
3953	ドイツのようにマイスターのようなものがあつたらいいと思う。
1463	道具代、機械代、などの補助が必要
785	とくにありません
377	特になし
634	特になし
799	特になし
1029	特になし
2057	特になし
2500	特になし
2737	特になし
2878	特になし
3463	特になし
3530	特になし
3781	特になし
3958	特になし
4070	特になし
4161	特になし
4299	特になし
4362	特になし
4622	とくになし
2157	なかなか公的補助金を申請しても費用が出ない。補助金がもらえない。
3171	なかなかむずかしい、おしえるのは。
888	無し
1084	なし
2447	なし
2467	なし
2663	なし
4706	何が出来る大工を育てるのか?等々があいまい。工法によってすべてに対応できる大工を育てるのは難しく
1712	なるべく補助を多く
4202	担い手希望の方がいれば会ってみたいですね。
372	担い手の給料分位欲しい
4333	担い手の窓口が少ない
640	担い手不足を解消する良い方法を考えてほしい
4292	担い手よりも新築の現場がない。このままでは社会として成り立って行かなくなると思う。
4	担い手を紹介してくれる人、場所が必要
1432	担い手を養う仕事量の確保が難しいです。
370	働くことに対する教育が全国的に学生から若年層に不足している。
1317	必要と思いますが、本人にやる気がなければ無理
3461	人手不足の為、育成する若い人が少ない。
4452	費用がかかるのはたしかです。現在ではむずかしい。人材もいないか。楽しいですよ。
2612	不可

## ■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
2703	プレカット加工がほとんどで手刻みの仕事が少なく、担い手育成の受入れが出来ない。
2186	プレカットが全盛になって、大工がいなくても家が建つ時代になった。悲しいが手間賃も下がり本物の大工はやがていなくなるだろう。
233	プレカット大工を増やす事より本物の大工育成に力を入れてほしい。建明では、チョウナ、ヤリ飽、ヨキ台鉋を教えています。(削ろう会参加等)
152	プレカットで業がいかせない。日本間を作る作業がなくなったね。
463	別にないです
1867	別になし
1591	勉強会や講習会等の開催で知識をつける
2334	補助がないと育てる余裕がないのが実情です(1人親方なので)
3766	補助金が欲しいです。
212	補助金の問題では無いと思う。
3960	ほんとに大変です。
4076	まじめで、やる気のある子を募集していきたい。
116	まず“大工の仕事”がないことが問題。やりがいのある大工本来の仕事でなく、誰でもできるような質のない、夢のない、時間のない夢のない仕事ばかり。生活もできない。厳しくても、夢があれば、やっていけると思う。伝統技術が失われる。改革を！！
1269	まず良さそうな人材探しが重要である。(32歳以下はほとんど使えない)
371	マニュアル座学の時間もあるといいと思います。
1282	見習いなのでよく分かりません
927	宮崎県内において、若者の現場離れが重大な影響が出ています。今後10年もしない内に職人がいなくなり、建設・土木は大変な状態になると思います。担い手育成にはお金がかかります。会社経営が良くならない限り、企業は若手を育てることが出来ません。入札等の金額が安すぎる。単価の見直しを宜しくお願いします。
3703	未来がない職に若い人がついてくるわけがない。工期の少なさ、金額の少なさ。
1765	昔とちがうのでむずかしい現状。
2532	無理、時代の流れに逆らう事、他産業と同じく、高機械化、高効率化、高規格化が…
987	もっと国が積極的に担い手育成に力を入れて欲しい。
4181	元請のため、アンケート内容で該当しない項目が多いと思います。
535	やる気があれば、OK
4131	やる気が見られない。
968	労働環境を良くしないと職人不足は無くならない。
468	若いから責任感がない！！
4369	若い子はつかない。
229	若い人が、仕事内容に魅力を感じていない。
2701	若い人が建設業に関心をもつようにしてほしい
4604	若い人がやらない職業だ。金にならないから。
1898	若い人達が資格を取りやすいよう、補助金等があると良いと思います。
3151	若い人に意識(興味)をいかにもたせるか？楽な仕事の方に行ってしまう。
3456	若い人の人材斡旋
2719	若い人は職人になろう！と思う人が少ない
2791	若い人は職人の見習いではなく、サラリーマン感覚で現場に入ってくるし、わがまま。社会人としての意識が足りないのでは？学生の時から学校で教育してほしい。
322	若い人はどこに行ったのだろうか？
4591	若い者が入ってこない。
1464	若手が安心して建築業に来れるような体制を作る事が大事だと思う。
1059	若手が少ないので、育成には力を入れないとだめだと思います。(外国人ばかり増えている)
2487	若手のやる気
2021	若手を育てる事はとても大事だと思います。
3568	私の前職は、異業種の総合商社にて営業勤務でした。(65才で定年退社)基本的に工務店での労働環境は、賃金含めて非常にきびしいと考えます。若手の後継者採用も苦労している。
4251	私の若い頃は見習いを育てる単価が良かったが、今は育てるよゆうがない。小企業にも3年～5年位の間で公的補助が出れば若い人をもっと育てたい。



---

平成29年度 国土交通省補助事業  
住宅市場整備推進等事業  
大工・職人の実態に関するアンケート調査 報告書

平成30年3月  
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会  
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F  
TEL:03-3560-2882 FAX:03-3560-2878 URL:<http://www.kiwoikasu.or.jp>

---